●月刊　ビデオ・アニメ・ファンのための情報誌

グローピアン11月号 昭和61年11月1日発
(毎月1回1日発行)第1巻第6号

Globian
グローピアン

11 NOVEMBER 1986
450 Yen

GLOBIAN RADAR
●いろんな情報をいっぱいつめこみました

GLOBIAN EYE'S
Video●『ガルフォース』『那由他』『エリア88』ほか
Record●オリジナルビデオアニメのレコード紹介
Book●『天空の城ラピュタ』『ガルフォース』ほか
Goods & Hobby●フィギュアモデルがたくさん

ANIMATION MAKING
●新連載！　矢尾一樹のぬすんでなんぼ

ORIGINAL VIDEO INDEX
●くりいむレモン●ドリームハンター麗夢Ⅲ●ダーティペア●バツ&テリー●蒼き流星／SPTレイズナー●GREY●ファンドラPartⅢ●愛の鼓動の彼方へ　ETC

Globian 11 NOVEMBER 1986

月刊グローピアン／目次

今月のおすすめは、ガラリと姿を変えてしまった、というわけで全部です。新連載で〝矢尾一樹のぬすんでなんぼ〟〝小説・アリアの涙――ぐっすん〟の2本がスタート。〝ANIMATION MAKING〟では現在活躍中のアニメ制作スタッフからの熱いメッセージ。こいつも読まない手はない。〝Globian INTERVEW〟はアニメーター・芦田豊雄氏と特撮映画監督・中野昭慶氏の2本。これからもますます生の声を君達におとどけすることを約束しようじゃないか！

CONTENTS



表紙／西口司郎

これさえ知っていれば情報通になれちゃうのだ!!

人物インフォメーション

今月号から『グロービアン』の表紙をイラストで飾ってくれる西口司郎さんを紹介しておこう。

トートツに今月号から表紙がイラストになった。とりあえずシリーズになる。そこでイラストを描いてくれた西口司郎氏のプロフィールを紹介しよう。

'48年5月26日長崎県に生まれる。'66年に大阪デザイナー学院に入学。'75年にイラスト集団㈱スプーン創立とともに参加。現在にいたる。

以後イラストレーターとして、"ソサエティ・オブ・イラストレーターズ(USA)入選""おいしいイラストコンペ一席""'86カレンダー展(印刷時報社賞)"などのキャリアをもっている。

アニメ・映画に無関係なわけじゃない。代表作に角川映画の『里見八犬伝』『カムイの剣』のポスターがある。『ああ、あれか』と思い出した人もいるんじゃなかかな。『グロービアン』でも紹介したことのある次回の角川アニメーション『火の鳥』のポスターイラストも現在制作中だ。『グロービアン』の表紙はちがったタッチの物になる。ファンなら期待したいね。

西口氏の事をもっと知りたかったなら、グラフィック社から出ている「エアブラシ・アート・イン・ジャパン」という本に氏の作品が載っているので読んでみるとおもしろいんじゃないかな。大阪のイラストレーター志望の人は朝日アルチャーセンターでエアーブラシ講座の講師をしていらっしゃるので、そちらをのぞいてみるのもいいかもしれないね。

リアルでブラシがきれいな西口氏のイラストは、これから『グロービアン』で、ファンタジックな世界が展開されて行くと思う。次号からのパワフルなイラストに、ぜひ期待していてほしい。


▲西口氏のアトリエ風景。

▲イラスト執筆中のヒトコマ。

レコードインフォメーション

『めぞん一刻』の音無響子［島本須美］"予感" 9／25

TVアニメーション・シリーズ『めぞん一刻』の我らがヒロイン響子役の声優さん、島本須美おねえさまが今度、挿入歌を歌うことになった。作詞は佐藤ありす、作曲は小坂明子。発売はキティレコードから。"浪人さん、頑張って下さいネ"

別冊少女コミック連載／赤石路代原作"ないしょのハーフムーン" 9／29

赤石路代先生の人気連載マンガのイメージアルバムが、めでたく発売されることになった。

血のつながらない兄妹の愛という原作の味をうまく音楽化している。作詞は阿部孝夫、作曲は平野孝幸、歌は麻生佳奈と谷口雅洋。発売は東芝EMIから。

初回特典として赤石先生の描き下ろしのポスターがついてるよ。

『11人いる!』のテーマ［川上進一郎］"僕のオネスティ" 10／22

萩尾望都原作のアニメ映画『11人いる!』の主題歌を歌うのは、川上進一郎という聞いたことのない人だった。川上氏のプロフィールは謎につつまれていて、レコード会社であるCBSソニーは絶対に公表しないという。彼の驚くべき美声は、どう聞いても女の子か、声変わり前の子供である。ホントに妖精みたい。必聴!! 作詞は神沢礼江、作曲は川上氏自身。

ビデオインフォメーション

にっかつが発売する虫プロアニメ4つ!

なんとにっかつビデオが、10月25日に懐しの虫プロダクションの名作アニメを一挙4作品発売することになった。手塚治虫原作のキャラクターたちは、いつまでたっても永遠に僕らのアイドルだ!!

■新ジャングル大帝(1話~4話) カラー、モノラル、100分、¥9800、'66~'67年作品。

※主人公のライオン"レオ"がジャングルを舞台に大活躍!!

■わんぱく探偵団(1話~4話) モノクロ、モノラル、100分、¥9800、'68年作品。

※江戸川乱歩原作、探偵明智小五郎VS怪人二十面相の異色作品!!

■鉄腕アトム(史上最大のロボット前・後篇+第26話アトラス+第126話ロボイド) モノクロ、モノラル、100分、¥9800、'63~'66年作品。

※言わずと知れた虫プロ代表作品。

■悟空の大冒険(妖怪連合篇パート1) カラー、モノラル、100分、¥9800、'67年作品。

※御存知『西遊記』のアニメ化!!

▲奇想天外なアクション、"わんぱく探偵団"

▲レオの声は外山高士、音楽はあの冨田　勲!!


▲なんと沙悟浄の声は愛川欽也、大笑い。

▲これぞロボットアニメの元祖、"鉄腕アトム"

みのがすと損するぜ!!

●イベント

『夢次元ハンター・ファンドラ パートIII』フィルム・コンサート

■11月1日(土)15時30分~　場所／名屋市公会堂
■問い合わせ／052(582)2022ヤマギワ・メルサ店
■11月9日(日)13時~15時　場所／東京・コロムビア本社4Fホール
■問い合わせ／03(584)8111日本コロムビアビデオ部宣伝グループ
■11月24日(祝)14時30分~　場所／大阪府立労働センター
■問い合わせ／03(584)8111日本コロムビアビデオ部宣伝グループ
■内容／景山民夫／渡辺真由美／掘江美都子／橋本潮らの出演
■申し込み方法／各会場共、入場

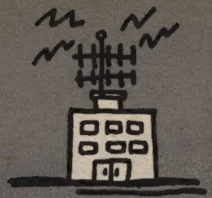
ディスクインフォメーション

『アニメビジョン』も5号目だ。

なにかと話題のVHDアニメビジョンも、もう早いもので5号めに突入した。内容はいつものように新作アニメを紹介する"アニメ最前線"、今回は『エリア88 ACT III』『イクサー1 ACT II』。アニメビジョンレーダーでは『ウインダリア』『ボトムズ』『ドリーム・ハンター麗夢』『傷追い人』が収められている。そして今回からのオリジナル連載アニメ『妖刀伝』の予告が収められているので、これは要チェック!! また、三ッ矢雄二のハロー・サンキューの今回のゲストは日高のり子ちゃんという『タッチ』コンビ!! それに先号からスタートした新コーナー"アニメ考古学"では、な、な、なんと『のらくろ伍長』(知ってる人は年がばれます)をとりあげているのだ。

1月21日発売　60分　¥4900

Globian Radar



整理券が必要です①名古屋会場はヤマギワ・メルサ店にて配布しています②東京・大阪会場は各々の地区の各レコード店、ビデオショップにて配布していますが、お近くのお店にない場合はハガキでお申し込み下さい 〒107東京都港区赤坂4－14－14日本コロムビア株式会社・ビデオ部宣伝グループ『ファンドラ・フィルム・コンサート』係

『プロジェクトA子』ファン感謝セール

■11月1日(土)2日(日)3日(月)10時～19時■場所／東京都渋谷区神宮前1－15－1ビア原宿3Fフェアリープレス■内容／A子秘蔵セルの展示即売／A子グッズをファン感謝プライスで販売
■お問い合わせ／03(478)05111

『アーバンスクウェア～琥珀の追撃～』完成上映イベント

■11月1日(土)3時～■場所／名古屋市公会堂■11月9日(日)7時30分～ 場所／東京・渋谷パンテオン■豪華ゲストとフィルム上映
■申し込み方法／往復ハガキにて、希望会場と住所・氏名・年齢を明記の上、10月25日(消印有効)までにお申し込み下さい。応募者多数の場合抽選になります。
■送り先／お問い合わせ／〒150東京都渋谷区神山町10－3 ネットワーク神南ビル6F(株) AE企画 ☎03(468)8211

『活劇少女探偵団』フェスティバル

■11月1日(土)15時～■場所／半蔵門 東修会館■出演／TARAKO／森口博子／山本百合子／三浦雅子／ほかスタッフ■内容／フィルム上映／ミニコンサート／他
■申し込み方法／往復はがきに住所・氏名・年齢を御記入の上、〒112文京区音羽2－12－13キングレコードAV制作部『活劇少女探偵団』フェスティバル宛まで
■お問い合わせ／キングレコードAS営業部☎03(945)2114

『銀河連合X'mas』フェスティバル

■12月24日(水)25日(木)■場所／東京・文京区ホテル本郷館■定員／150名■参加費／1200円前後
■内容／ダーティペア&クラッシャージョウの高千穂遙がフル稼働彼主催のクリスマスパーティに始まって、一晩中皆様のお相手をつとめます／ゲストに安彦良和／川又千秋／細野不二彦／竹村拓ほか多彩な方々を予定／素敵なプレゼントもある。
■お問い合わせ／返信用封筒に60円切手をはり、御自分の住所氏名を明記したものを同封し〒167東京都杉並区荻窪郵便局留『銀河連合X'マスフェスティバル』事務局まで

●募集

『エルフ17』イメージガール大募集

■応募資格／13～20才のキュートで健康的な女の子■〆切り／10月31日(金)当日消印有効■方法／カラー写真2枚(全身&バストアップサービスサイズ)履歴書と保護者の同意書を同封の上(出来れば水着姿の写真と一言メッセージ大歓迎)
■申し込み先／〒104東京都中央区銀座3－15－10東映ビデオ株式会社宣伝部『エルフ17'S』大募集係
■審査方法／第1次書類・11月初旬／最終発表・11月中旬の選考会
■賞品／ミス・エルフ17に賞金20万円副賞としてパイオニア15インチカラーTV／映画・TV出演他／準ミス・エルフ17にはヘッドホンステレオ／TV出演他
■主催／東映株式会社／東京ビデオ株式会社■後援／週刊ポップマガジン／TV東京■協賛／(株)ユニ・ピーアール／ワーナー・パイオニア(株)■協力／白泉社
■キャンペーンガールとして17人を選考・キャンペーンに全面協力を、その17人の中の1人がミス、2人を準ミス、この3人は映画、TV出演のチャンスあり。

『パッ&テリー』映画化記念 "あなたが選ぶキャスティング"

■「週刊少年マガジン」に好評連載中の『パッ&テリー』(大島やすいち原作)の映画公開を記念して、キャステングをファン投票により決定するというもの■この人こそピッタリという人のを書いて応募して下さい■応募者の中から抽選で『パッ&テリー』オリジナルテレフォンカードを200名にプレゼント
■応募要領／ハガキに住所・氏名・年齢・職業(学年)と声を演じてもらいたい人(声優・俳優・タレント、ジャンルは問いません)を明記
■応募先／〒104東京都京橋局私書箱223号松竹(株)映像宣伝部『パッ&テリー』キャスティングの係■〆切／12月10日■発表／1月中旬(新聞広告及び各アニメ誌上)

『Lガイム』重戦機デザインコンテスト

■豪華賞品あり／10月31日消印有効／神山町10－3ネットワーク・デザインコンティスト係まで／作品は制作会社に著作権がうつり、返却はいたしません

●ファンクラブ トワイライト倶楽部『Q』発足

■60円切手貼付の上返信用封筒を神山町10－3ネットワーク／トワイライトクラブQ』入会希望係まで／10月31日消印有効／会報を送ります。



『プロジェクトA子』のパーフェクトディスク！

天下無敵のスラップスティックアニメ『プロジェクトA子』がついにディスクになった。それも、劇場版＋メイキングというその名も"パーフェクト・ディスク"!!

いちばんうれしいのは、フルフレームサイズということ。というのはこのアニメ、もともとスタンダードサイズで制作されながら、劇場上映時には画面の上下がマスクされたビスタサイズとして公開された。ビデオはビスタで、ディスクはノートリミングオリジナルスタンダードサイズというわけだ。

VHD…9／21発売 ¥11、800
LD…9／21発売 ¥13、800



イベントインフォメーション

ファンタスティック・ビデオ・ウィーク'86

10月17日から1週間東京国際ファンタスティック映画祭が開催されるが、実は同じ頃に同じ渋谷でファンタスティック・ビデオ・ウィーク'86が開催されることは知っているだろうか。主催はポニーで、西武百貨店の協力を得て渋谷西武百貨店B館屋上に収容人員200名の特設ドームを設置し、200インチのスクリーンを使って上映する。期間は10月17日から21日までの5日間午前11時半より。

実はこの企画は、本誌で以前大特集したオリジナルビデオ『妖怪天国』が、ビデオながら映画祭に特別参加作品に決定したためなのだ。つまりビデオ作品は既成の劇場のスクリーンでは上映できないため、今回のファンタスティック・ビデオ・ウィーク'86で上映し、映画祭と連動しようというわけ。

上映作品は劇場未公開13作品を含む傑作ビデオばかり18作品!!

■上映作品スケジュール

10／17 "カルト・マジシャン～東西の妖術師たち" ――『妖怪天国』『妖術秘伝・鬼打鬼』『ラオ博士の7つの顔』『何かが道をやってくる』

10／18 "ワンダーランド復活～SFからファンタジーまで" ――『SFカインの剣』『七つの大冒険ミラクルマスター』『怪人ドクターファイブス』『王様と幸運の鳥』

10／19 "惨劇のポーシリーズ～ジャー・コーマンの世界" ――『大鴉』『アッシャー家の惨劇』『黒猫の棲む館』『呪いの古城』

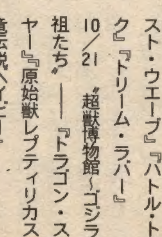
10／20 "アボリアッツ・プライズ～伝説の映画祭" ――『ザ・ラスト・ウエーブ』『バトル・トラック』『ドリーム・ラバー』

10／21 "超獣博物館～ゴジラの先祖たち" ――『ドラゴン・スレイヤー』『原始獣レプティリカス』『恐竜伝説ベイビー』




▲"恐竜伝説ベイビー"、ショーン・ヤングがマル。


▲G・パルの"ラオ博士の7つの顔"('64年作品)




▲これがニュー・マチック構造エアー・ドーム



今日もどこかでイベントが いつも詳しく紹介するよ!!

●イベントインフォメーション

『グロービアン・アニメフェスティバル』に来てくれてサンキュー!!

夏休みもおしつまった8月30・31の両日、神田小川町の"アニメニア21"でグロービアン・アニメビデオ・フェスティバルのファイナル・イベントが行われた。

30日は、『ルーツ・サーチ』の発売記念イベント。ゲストに脚本の島田満さん、主題歌を唄うかおりくみこさん、モイラ役の藩恵子さんを迎え、『ルーツ・サーチ』のダイジェスト版ビデオを上映するという趣向だ。上映後、かおりさんは主題歌「宇宙のラビリンス」を披露。また藩さんと観客のアフレコ大会もあり、(きびしい質問がとぶ一幕もあったが) 会場は和気あいあいのムードにあふれた。


▲コロムビアの高野氏と島田満さんのおしゃべり

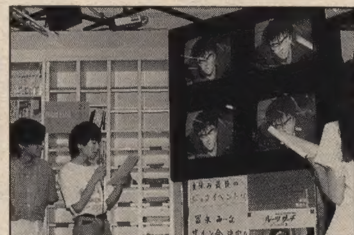


▲唄うかおりくみこさん。一曲だけなのが残念だ

翌31日は、声優・冨永みーなさんのサイン会。若さと可愛い声でアニメ・洋画・DJと様々なジャンルに活躍中のみーなさんだけあって、会場は300人以上の男の子でぎっしり埋まった。一人一人両手で握手をするみーなさんの笑顔に数十台のカメラが向けられる。前日まで渋谷のエピキュラスで劇団の公演があったため、少し声がかすれていたが、キャンディーをなめながらファン達と言葉を交した。

一時間程の短い間だったが、サインを胸にファン達は満足気だった。

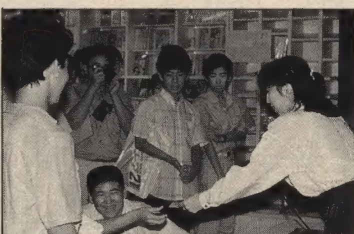
両日ともイベントは盛況で、スタッフはホッと一息。「読者とのコミュニケーションが深まったのが一番の収穫だ。」とヒロメディアの田中氏。イベント後、編集部に読者が遊びに来るなど、親近感を持ってくれたようだ。これからもこのような催しを企画したい。


▲藩さんと有志のアフレコ大会。意外と難しい


▲「写真写りが悪いんです」とみーなちゃん。


▲最後に読者諸君と記念撮影。ホラ、照れないで。


▲藩さん・かおりさん・島田さんも連名でサインを。


▲サイン会か握手会か撮影会かわからなくなった

●イベントインフォメーション

『グロービアン』に海外のアニメ・ニュースを連載してくれているフレッド・パッテンさんら、アニメファンがツアーで日本にやって来た

JAPANIMATIONというジャパンとアニメをくっつけた日本のアニメ界を視察するグループが8月13日、LAを発った。総勢で27名で、男性が22名、女性が5名でなりたち、皆、日本アニメ大好きアメリカ人である。本誌でおなじみのフレッド・パッテン氏をはじめ、学生からコンピューター技師まで含まれた視察グループである。

このグループの目的は、日本のアニメの実状が、アメリカで報道されているような事かどうかとか、アメリカで手に入らない商品グッズの購入、大阪で開催された日本SF大会の参加などである。勿論、東洋まで来たのであるから観光も目的である。

8月14日、成田に着き、宿舎の芝パークホテルに到着。

8月15日。アニメ制作会社の見学。東映動画、東京ムービー新社、しかし、お昼休みで制作過程が見られず、残念。

8月16日、土曜日は、都内の名所めぐり。

8月17日、日曜日はショッピング。一行は、アニメグッズを大量に買い入れた。

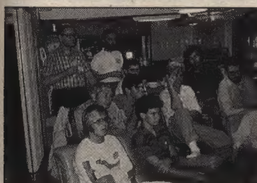
8月18日。カナメプロ、プロダクション・ウエイブを見学。『ファンドラ・パートⅢ』の資料設定など、直々に、渡辺真由美から説明を受ける。夜、芝崎宅で、ヒロ・メディアの企画制作した『ザ・ヒューマノイド』『M・Dガイスト』、そして、『カリフォルニア・クライシス』のビデオを観ながら、日米アニメに対して、情報や意見を交換した。

8月22日。大阪着。日本のSF大会に参加し、手塚治虫などSF作家から、日本のSFの実情などの説明を受ける。

8月23日〜24日。大阪市内を自由行動し、再びアニメグッズを大量に買い入れ、ホテルの室はすでにお土産でイッパイになる。

8月25日。大阪・伊丹空港からロスに向って離陸。来年も、このツアーを企画する予定。

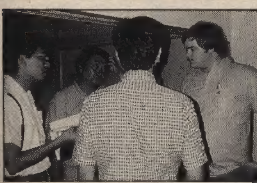
このツアーを総括して、25才のコンピューター・アニメーターをしているハロルド・ブキャマン氏は、『日本のSFアニメは、アクション、映像、そして、ストーリーにすぐれている。ただアートスタイルがいまいちで、もう少しフルアニメに近づいて欲しい。しかし、世界で日本ほどアニメが生き生きし、常に技術などが発展している国はない。』と語ってくれた。

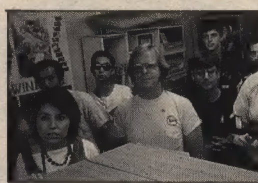

▲部屋に人がいっぱい


▲アニメツアーがやって来た


▲左に影山栁倫氏の姿が見える


▲作品を説明する芝崎編集長


▲影山栁倫氏ひ質問する


▲カナメプロの見学中


▲「グロービアン」を読んでいる


▲ビデオを見ている人々

Globian Radar

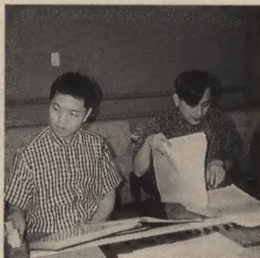
●レコードインフォメーション

伊福部昭のサウンドが現代によみがえる

これまで撮影されながら発表されなかったNGシーン、カットシーンの特撮フィルム(ゴジラ・ラドン・宇宙大戦争・キングコングの逆襲・キングコング対ゴジラ・海底軍艦他)を1時間に編集。「東宝特持撮未収録フィルム大全集」というタイトルで12月1日に東宝ビデオより発売される。(60分¥9800)こいつはスゴイ!! ファンならぜったい観なければいけないビデオだ。カットシーンたっていらないから切ったといっても『えーッ! なんでこんなスゴイのを切ってしまうの』と叫んでしまいたくなるようなやつばかりなのだ。

その音楽をキングレコードが担当。というより、それをいいことにゴジラ大好きの上野耕路氏がプロデュース。井上誠氏がディレクションで、「作りたいレコードを作っちゃえや!!」のノリでレコードまで出てしまう。それが「OST-INATO」。11月21日発売されるLPレコード(CDが12月21日。LPより曲が多く入ってしまう)だ。もうこいつもスゴイ。伊福部昭氏の全面協力のもと、当時のスコアをもとに現代の音楽技術で録音したというのだ。(当時はモノラルだったんだぜ)当時の技術では出なかった細かい音楽。豊かなリズムがこのレコードでよみがえってしまった。砂の入ったレコードで伊福部氏の音楽が好きなファンにはちょっと勝手が違うものかもしれないけれど。上野、井上氏とも音楽的に意気がある。ぜひやってみたかったんだとがんばって制作してしまったのだ。オーケストラ40名24曲の各曲に、録音当日伊福部氏が手を入れて出来上がったレコード。こいつはタマゲタゾ。(¥2800)

みんな応援しよう!!



●コンサートインフォメーション

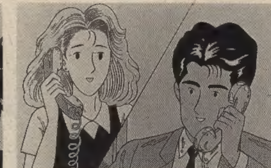
『ハートカクテル』の夕べはロマンチックナイト

去る9月11日、六本木PIT-INNで『ハートカクテル』の製作発表を兼ねた松岡直也のライブコンサート、『ハートカクテルの夕べ』が行なわれた。

すでに10月3日からオン・エアされているこの『ハートカクテル』は、週刊『コミックモーニング』に好評連載中のわたせせいぞう氏の原作をTVアニメ化した短編作品。毎週金曜日の深夜1時5分から日本テレビ系で放映されている。

当日は音楽を担当している松岡氏を中心に、原作のわたせ氏など関係者多数が勢揃い。約2時間にわたり熱狂的なステージがくり広げられた。会場のPIT INNはスタッフ、マスコミ関係者、そして一般観で立ち見席まで超満員。入口には入り切れなかったファン達があふれるほどだった。

松岡氏は超一流ミュージシャンとともに『ハートカクテル』の主題歌から最新のオリジナル曲まで乗りに乗って演奏。司会役の日テレの新人女性アナのトチリもかわいい暑い夜だった。


▲1話5分で完結する短編作。


▲オシャレ感覚がイッパイ


▲松岡直也氏(左)


▲ライヴステージの様子

●コンサートインフォメーション

『首都制圧』ライブでエキサイティング

9月17日、東京は恵比寿のサッポロビール工場内のイベントスペース"ファクトリー"で、いとうせいこう&TINNIE・PUNX VS RADICAL TVのライブが行なわれた。タイトルは"首都制圧ライブ/ビデオでたいまん"。

これは10月21日に発売されるいとうせいこう氏によるビデオ"業界くん物語"と、9月21日発売のRADICAL TVのビデオ"AV KIDS"を記念して行なわれたもの。

この日は自称"業界人"やトンガリキッズがわんさか押しかけ、ビデオの予告篇(これがめっぽうおもしろく、坂本龍一センセイが笑えます)が特別に上映された。

ゲストはビデオ編集のために寝ていない"業界くん物語"の監督、中野裕之、いつまでもパンクしている大竹まこと、あなどれないきたろう(2人ともシティ・ボーイズ)などの面々。

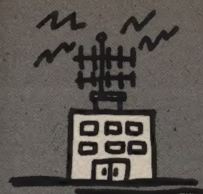
この日のライブは両者がっぷり組んで異様な盛り上がりをみせ、迫力あるイベントだった。


▲いとうせいこうのラッパは絶品


▲スクラッチは名人, 藤原ヒロシ


▲これがテクノ養成ギブスなのだ


▲パンクス大竹まこと(37才)





続々楽しいニュースをお届けしちゃいます!!

●ディスクインフォメーション

VHDビデオディスクマガジン『MOVIES』創刊!

日本ビクターがVHDビデオディスクマガジン第4弾として、アメリカ直輸入の最新映画情報を満載した、世界初のビデオディスクによるムービーマガジンを発売することになった。(11月5日発売、50分、¥4900、隔月発売予定)

創刊号の内容は、'87年正月映画大特集号ということで、『トップガン』『キングコング2』『ゴーストハンターズ』などが収められていて、ロードショーまで待ちきれない映画ファンにとってはたまらないところ。そのうえ、ハイライトシーンに加えてメイキング、監督やスターへのインタビューなどもバッチリはいっている。さらに巻末にはドラキュラなど、古今の人気モンスター達が一挙登場する"モンスター・グラフティ"もある。というわけで、まさに映画ファンの夢を実現した画期的なディスクマガジンといえそうな内容であります。お楽しみにね!!



▲キングコング2



▲トップガン

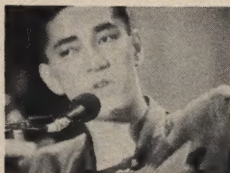
●ビデオインフォメーション

『坂本龍一ライブ』(SVI)

YMO散開後も目ざましい活躍を続ける坂本龍一。今年上半期の話題を独占した教授初のソロ・ツアー"MEDIA BAHN"を収録したライヴ・ビデオがついに出る。タイトルはズバリ『MEDIA BAHN LIVE』。NY、LAのトップミュージシャンの完璧なサウンドをバックに教授のフィジカルな魅力が溢れる。

あらゆる角度から迫るカメラワーク、高度な技術を駆使した編集は生のステージにはないスピード感と映像美を生み出している。特にエンディングは秀逸。

ビデオ(9千8百円)、8ミリ(8千8百円)、LD、VHD(各8千8百円)とも11月1日発売。(6月17、18日渋谷公会堂にて。30分)







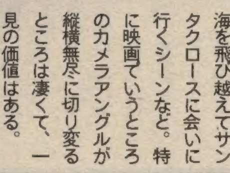
『スノーマン』

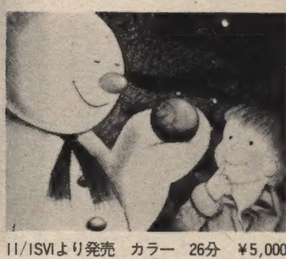
11月1日発売のこの作品は、アカデミー賞短篇アニメ部門にノミネートされたという佳作なのだ。監督はレイモンド・ブリッジ氏で、暖い手描きタッチ風の絵が叙情あふれる音楽に乗り、見ていて思わず楽しくなってしまう。

ストーリーは単純で、主人公の少年のつくった雪ダルマが夜になって動き出し、少年といっしょに遊んじゃうという内容。セリフは全くなく、すべて音楽に乗って物語は進行する。見どころは少年とスノーマンが、オートバイで雪の平原を疾走するシーンとか、街や海を飛び越えてサンタクロースに会いに行くシーンなど。特に映画でいうところのカメラアングルが縦横無尽に切り変るところは凄くて、一見の価値はある。









11/1SVIより発売　カラー　26分　¥5,000

●ファミコンインフォメーション

ファミコンソフト『ディーヴァ』

もうふつうのゲームじゃあきたらないという、ファミコンフリークのみんな、喜べ!! ついに究極のシュミレーション・ウォーゲームが発売されるぞ!!

製作はロールプレイングゲームの傑作『ハイドライド』を送り出した期待のT&ESOFT。

発売はファミコンが東芝EMIから11月末ごろ予定されていて、パソコンはT&ESOFTから11月から3月頃にかけて6機種発売される予定。(PCは11月末、FMは12月中旬、X1は11月末、MSXは3月、MSX2は11月末、そ

●ディスクインフォメーション

世界初の立体ビデオディスクが出てしまうゾ!!

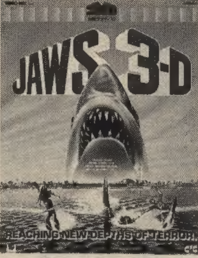


ソフト

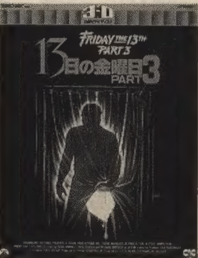
最近VHDがおもしろい。今度はなんと世界初の立体ビデオディスクを発売しちゃったのだ。

ソフト第一弾は、劇場用立体映画として大きな反響を呼んだ"ジョーズ3"と"13日の金曜日パート3"(9月21日発売)、そしてビデオディスクマガジン最新号の"MOMOCO CLUB第8号"(9月5日発売)の中の"3Dシアター・あぶないロッカールーム"。これは18才のさゆりとひろみがエアロビクスに挑戦するもので、若くてピチピチしたモモコ・ギャルが画面から飛び出しちゃうんだぜ。

このあともカンフーものだとか、ジェットコースターなどの3Dソフトが続々と登場する予定なので乞う御期待!! いやらしいやつもあるとかないとか…、ゴックン。







ハード

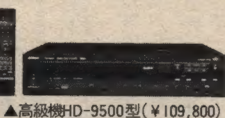
VHDビデオディスクの発展型の一つとして登場した3D(立体)VHDは、従来のプレーヤーに別売のアダプターと専用メガネを接続するだけで、いままで映画館だけでしか見れなかった立体映像が家庭のテレビで体験できちゃうというスグレもの。

立体ビデオディスク対応のVHDプレーヤーは2機種発売される予定で、第一弾は9月21日に発売された高級機"HD-9500型"。これは立体映像を再生する立体ビデオディスク・コントローラーと、立体音場再生のためのドルビーサラウンド・プロセッサーを内蔵しており、画像と音をともに3次元(3D)再生できるというもの。

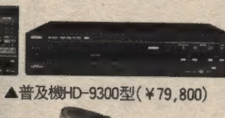
そして10月21日は第2弾、普及機"HD-9300型"が発売される。これはコントローラー内臓の他、フルランダムアクセス機能などがついており、きわめてコストパフォーマンスが高いプレーヤーである。

また、手持ちのVHDプレーヤーを立体にしたい人のために、立体アダプター"IF-D3A"と立体スコープ"IF-D3S"が9月21日に同時発売された。

立体スコープは何台でも接続可能ということなので、みんなで3Dパーティというもの楽しいかも。



▲高級機HD-9500型(¥109,800)



▲普及機HD-9300型(¥79,800)



▲立体アダプター(¥20,000)と立体スコープ(¥12,000)

Globian Radar

こんなにあります『記録全集』シリーズ

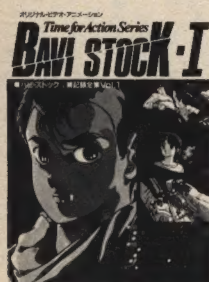


▲装鬼兵M.D.ガイスト　記録全集　A4判/100ページ/定価1200円

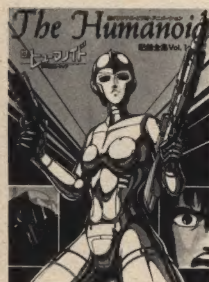


▲夢次元ハンター・ファンドラ記録全集Vol.1〔レム・ファイト編〕定価1200円


▲夢次元ハンター・ファンドラ記録全集Vol.2〔デッドランダー編〕定価980円



▲バビ・ストックⅠ〔果てしなき標的〕記録全集　A4判/100ページ/定価1200円



▲ザ・ヒューマノイド〔哀の惑星レザリア〕A4判/100ページ/定価1200円

オリジナル・ビデオ・アニメが一冊になって大好評発売中だ！中には残部少々のものもあるから、ほしい人はいそいで申し込んで下さいね。本の代金＋郵送料（250円）をヒロメディアまで！

株式会社ヒロメディア
作品名／冊数もお忘れなく



の他まだ未定が3月予定）価格は各6～7800円を予定している。

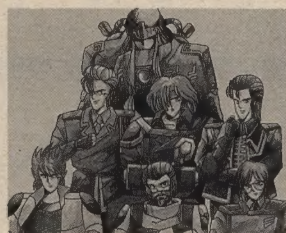
このゲームの大きな特徴は、何といっても発売される各7機種それぞれのストーリーが違うこと。主人公も設定も7種類あって、それらが集まって〝デーヴァ〟という一つの大きなストーリーを形造っている。そして、各7人の主人公は何らかの因果関係があり、15文字のパスワードによって各機種間の完全データ交換ができる。つまり、自分の戦力を持って異機種に入り込むことが可能なわけだ。みんな、友達の輪を広げて謎を解明しよう。

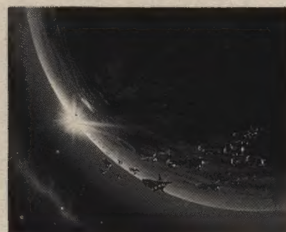


▲〝謎〟を解くたびに戦力がアップしていく。



▲〝謎〟を解かないと完全な勝利はない!!


▲登場人物のキャラクター設定なのだ。


▲アニメ化も企画中というから楽しみ。

●ファミコンインフォメーション

『ガルフォース』がパソコンゲームソフトになってますます面白くなる。

美少女兵士7人の活躍を描いた人気SFビデオアニメ『ガルフォース』。映画、レコード、書籍、パズル、各種キャラクターグッズに続き、11月21日にはついにMSX、ファミコン、各種パソコンのゲームソフトになって登場する。

140機種を超えるパワーアップで、7人の中から好きなキャラクターを選んでプレイできる。7人がそれぞれ異なったファイターを所持しているから、戦い方は君のお好みどおり。さらにゲーム中他の兵士と合流、その仲間の持つファイターで戦闘もできるというスグレモノ。問い合わせ先／SV1第2事業部　266—5834


▲今度はゲームで7人に再会

●ビデオインフォメーション

今月のビデオショップ紹介
明るい雰囲気『松竹ビデオハウス新宿』

ここは新宿・靖国通りに添った映画館街の並びにあります。通りに面したウィンドウは大きく、外からでも中が見渡せて、店内はとても明るい雰囲気。その為、OLや年配の方も入りやすく巾広い層のお客さんで賑っています。ビデオの在庫も豊富でジャンルに片寄りがありません。もちろんアニメ・ソフトも充実。もっとも土地柄か、売れ筋は洋画関係が多いとの事。「大脱走」のようなスタンダード物もよく売れるようだ。

営業時間は午前11時から午後8時まで。学校や会社帰りのお客さん、そして映画を見終ったお客さんが観た映画の余韻を残してフラリと立ち寄られます。その為、午後6時頃から閉店時間までが一番込み合うとの事、そして新宿という事もあって土、日も賑います。

さてアニメですが、各社のソフトも在庫が充実。新作から過去の名作まで、しっかり品揃えされております。今年の夏は「エリア88ACTⅢ」「ガルフォース」「リヨン伝説フレア」などが盛り上ったとの事。また、このお店の特徴は〝懐し名作アニメ〟が良く売れているという。「未来少年コナン」「仮面ライダー（実写だけど）」「鉄腕アトム」などなど、昔ボクらが少年だった頃、熱中したアニメを大人になったボクらがビデオで買って懐しむと云うパターンだ。キミらは良い。おもしろいと思ったアニメは、すでにビデオで出ているのだ。TVの深夜番組で〝懐しアニメ〟が紹介されているのも、売れている原因のような気がする。

また不思議なのは、アニメを買うお客さんはβの比率が高いこと。「ナゼだろう？」とお店の方が不思議がっておられましたが、本当に何故なんだろう？　βのデッキを持っているソコの君、理由をオセーてくれ。もっともVHSでなければならないワケでは無いんだけれどね。

今後、お店としてはビデオディスクの在庫量を増し、お客様のニーズに答えたいと亀崎店長は、おだやかに話してオラレました。



▲土地柄にめぐまれ、いつも店内は人が絶えない。

GLOBIAN EYE'S

『グロービアン』が今回から知的情報としてお届けするのが、「GLOBIAN EYE'S」。ビデオ、レコード、本などの良いところと悪いところを包み隠さず教えちゃおう！



今月から姿を変えた『グロービアン』ではあるが、やはり姿を変えただけで、中身が変わってないのでは情けない。そこで、ビデオ専門誌として、当然あるべき姿をまずは追求しよう。そう、ビデオ専門ならビデオの評論をしなければいけない！　評論とまでいかないにしても、どんな作品なのかを感想を折りまぜて紹介することは、『グロービアン』の使命でなければいけない!!　その使命に燃えて立ち上がったのが我々のチームだ。☺こと池ケ谷崇志と♬こと小橋法彦の二人はビデオ正論を求めて次々とビデオを制覇していく。

☺：というコンセプトでビデオ評をやっていくつもりなんだよね。

♬：けど、こういうのってコンセプト以上にこちら側の感覚の問題なんだよね。結局は主観的にものを見るわけだから、客観的なコンセプトなんて役に立たないでしょ。

☺：そりゃそうだ。要は、こちらの思ったことを正直に伝えればいいことだ。僕らにとっての正論を伝えることしか、僕らにはできないからね。

♬：もちろん、僕らと違う見方をする人もいるはずだ。そういう人はどんどん反論を送ってくれて結構です。その意見が面白ければ紹介もしましょ。

☺：そうだね。それでこそ公正な立場だ。そういえば、♬さん、「ただでもいらん」っていう記事知ってます？

♬：知らない。何それ。

☺：こんなビデオ、タダでもいらない、という形でケチをつけまくってる記事なんだけど、あれはいけないと思う。

♬：そのココロは？

☺：ただ単に、ここダメ、そこダメ、とケチをつけるのは、ほんのガキでもできることだし、何といっても、読者をバカにしてるよ。だって、人によっては、"タダでもいらん"とか言われた作品が好きな人もいるわけだぜ。

♬：なるほど、やっぱりどう良くないのか、説得力もある程度ないとね。

☺：できるだけ広い視点を持って見たいね。

♬：おっ。クサイ。地球人として。

☺：とにかく、そういうこと。

♬：了解。ともかく、ウチラのスタイルを確立するためにもバッサバッサと斬っていこう。読者からの参加も待ってるよ。

Video

ガルフォース



■カラー／75分■ステレオHi Fi■VBTT－41115－■監督／波多正美■制作監督／杉野昭夫■美術監督／阿部行夫■邦由他／藤代美奈子■キロ／藤田淑子／神谷明■東芝EMI－■¥14000

観おわった感想としては〃期待させたわりには、それほどの物ではなかった〃と言えそうだ。たしかに女の子が7人もいてお色気やアクションが楽しめたのはよかったが、たとえばエピローグの戦闘シーンで、どちらの船がソルノイドで、どちらの船がパラノイドかが、わかりにくくてグチャグチャしていたという欠点などが上げられる。まあそのまま観続けていればストーリーもわかってくるのだが…。

気に入った点は戦闘シーンがかなり凝った造りをしていること。それにストーリーがおもしろい。一人一人の女の子が消えて行く感覚はなかなかホラーしていたし、エルザのシャワーシーンやラビィのおトイレのシーンなんかは、いかにもファンサービス。

確かに主人公の女の子達は皆個性があったようだが、主人公が多くなった分、各々の個性を作り上げる作業に苦労の後が見える。見える分だけワザとらしさも付きまとう。SFアニメを色々見て感じるのだけど、何故SFアニメに描かれる宇宙船の内装はどれもよく似ているのだろうか？　ドアが六角形とかハッチ式なんかはパターンだ。10年前とまったく変わっていない。

メカは今までの各アニメからの集合体という感じだった。宇宙船もガンダムのようにパワードスーツになるくだりなんか、もう少しオリジナル性がほしかったような気がする。

総体的に、美少女、SF、メカなどが豊富に盛り込まれていて、肩の凝らないアニメになっているけれど、ここまで多額の制作費をかけた（と、聞いているが…）のなら人物描写やメカ設定などと同じ位、小道具にも手間ヒマをかけてほしかった。

種族を融合して、まったく新しい種族の誕生を思わせる最後のシーンもイマイチで残念だった。車が走るシーンも、ただ車の絵を横にスライドさせただけ。それまでが盛り上がっていただけに惜しい。最後の現代的なシーンの意味はアニメ雑誌なんかで知ってる人には分かるだろうが、作品的には不要だと思う。

しいてポイントをあたえるなら、本篇の後、メイキングの部分。スタジオでの声優たちの録音シーンなどは興味深く見る事が出来た。どうやって音楽が出来るのかがわかるし、声優たちの素顔も可愛かった。撮影状態が悪く画面が不鮮明だったし、もう少しMTV的演出があってもよかったが…。

キャラクターデザインの園田健一氏やアートミックの新鮮なパワーは、これからどんな作品を作ってくれるのだろうと期待させてくれる。その分、きっとアイディアあふれる、今までにない映像を作り出して行ってもらいたいものだ。

（広　芋手男）

那由他



■カラー／86分■ステレオHF■V00ZS－400－B00QS－400－■監督／秋山勝仁■キャラクターデザイン園田健一■原作・メカニックデザイン柿沼秀樹■SV－■¥12800

佐々木淳子さんの原作の中ではジャルン（輪）は複雑に描かれていたが、アニメではアップのシーンを除いてかなり単純化されていた。原作ファンにはジャルンがキーワードだけに少々残念なところ。原作は比較的簡単なストーリーなのだが、アニメでは話が進むにつれて複雑になって行った。初めて（原作を知らない）の人は2～3回観ないとボキャブラリー（単語）が理解できないんじゃないだろうか？

最後のセナルザイラーと那由他との会話は、メモをとらないとわからない。もっとも、そこまでの展開はハッキリしていてわかりやすいのだが…。

もう一つ映像があまりにもテレビアニメ的だったのがちょっとガッカリ。自分の家が燃えるシーンなどは、殆んど静止画像的で、ホースから出る水や燃え上がる家も迫力がなかった。アザドーと人間との違いがわからない。ただ緑っぽい姿では芸がなさすぎる。せっかくのオリジナルビデオアニメなんだから、実写にはできない工夫がほしかった。

キロの青年のデザインとソズのデザインは、ピッタリ役にはまっていた。この辺は原作者の意図だったかどうかわからないけれど、あと気が付いた事をアトランダムに上げていくと、アザドーと戦うリョータローに会うまでや、キロが一瞬にして変るところまではついていけたけど、その後はストップをかけながら進めないと、話が飛翔してわかりずらかった。多分原画マンが違うからだろうか、最初の頃より後半の方がイロっぽかったようだ。最初三角ばっていたアゴの線が後半は力ドがとれていたし、まつ毛も後半の方が女性らしく描きこまれていた。

全体的には及第点をつけられるけれど、背景にもう少し凝ってほしかった。キャラクターの服装がシンプルなぶん、余計に背景が単純に見えた。

キャラクターの感情表現や心理描写は原作同様、計算されていたし、那由他、キロ、リョータローの三角関係も、巧みにバランスがとれていた。

那由他役の藤代美奈子ちゃんも合格。脇役をベテランの声優さん達で占めていたので、美奈子ちゃんだけ浮き上がっていた部分もあったけど。最後のセナルザイラー役の永井一郎さんとの対話では、美奈子ちゃんが押され気味だった。まあ、主題歌も歌っているということで、なかなか好演でした。

最後のシーンの精神論や宇宙論は『ハース』みたいな感じ。アニメ事典みたいなものがないとわからない言葉が多すぎる。最初からテンポ良くストーリーが進んで来ただけに、徐々にわかりにくくなって行くのは残念だった。キャラクターは魅力的で好きだったけどね。（広　芋手男）

エリア88 ACTⅢ燃える蜃気楼



■カラー／88分■ステレオHF■[V]K48V－1008／[B]K48B－1008■監督／鳥海永行■キャラデザイン・作画監督／岡田敏靖■美術監督／中村光毅■音楽／新田一郎■風間真／塩沢兼人■キング■¥14800

♪：絵がきれいだったね。なんといってもキャラが芝居してるし、作画的にはすごいよ。

☺：鳥海監督が言ってた、回想シーンを使わずに主人公の暗さを表現するっていうのも、うまくいっていたみたい。

♪：ただ、ラストがちょっと。あれで終わりというのは、作品が長かっただけに、あれ？って感じ。うまく完結はしてたんだけど、やっぱり不満が残っちゃうな。

☺：でも、原作のほうがケリをつけてない以上、アニメのほうとしてもすっかりケリをつけて完結ってわけにはいかないでしょ。

♪：それはそうだけど、やっぱり後味がイマイチ。

☺：作画は良かったけど、アレは違う意味ですごかったね。

♪：ハリアーの垂直上昇のことかな。

☺：そうそう。戦闘中にいきなり垂直上昇しちゃうやつ。

♪：いきなり、リアリティを忘れるんだよね。それに、飛行機のこわれ方がおかしい。せっかくリアルな飛行機を飛ばしているんだから、燃料タンクの位置とかも考えて、爆発もリアルにやってほしかった。

☺：見てるぶんには、あれぐらい派手に爆発してくれるほうが楽しいってのもあるけど。

♪：それと戦闘機と戦車とリキの入り方が違うのね。地上戦用の戦車が、飛行機と同じツヤ感持ってたら目立っちゃうでしょ。このあたり、戦車には気配りが少ないのね。

☺：それでも演出、ドラマは良かったよ。買って損はしないんじゃない。ちょっと長くてビビッたけどね。

♪：もう、ACTⅢなんだな。けど、今だに真の声が塩沢兼人ってのはピンとこない。それから、玉川砂記子の声がこの前までと変わっちゃってるんで驚いたね。

☺：いいや、それ以上に千葉繁だよ。あの人はもう『北斗の拳』のナレーションのイメージが強くて、もう叫ぶだけで笑えちゃう。それだけに、重要なシーンでは叫ばないで欲しい。

♪：キャスティングはもう少し慎重に　お願いしますわ。

☺：それにしても神崎君は惜しいことを。この男の悲しい境遇を考えると、つい応援したくなるね。

♪：原作が終わってないから、続編もあり得るわけだ。レギュラーはともかく、アタリのキャストでやって欲しい。

☺：とにかく絵に関しては高水準だっただけに細部にもう少し注意してほしかったね。

湘南爆走族

■カラー／55分■ステレオHi Fi■V β TE-M960■監督／西沢信孝■作画監督／西條隆司■美術監督／坂本信人■助監督／梅沢淳稔■音楽／窪田晴男■江口洋助／翔■津山よし子／鶴ひろみ■東映ビデオ■¥12、800



☺：これは、はっきり言って予想外でした。

♫：まったく。これまで青春とバイクの組み合わせのアニメはつまらないのが多かったんだけどね。

☺：バイクものでストーリーまで見れたのって『バリバリ伝説』ぐらいだったけど、ひさびさに楽しめたよ。バイクの描写をうまく抑えていたのが成功なのかな。

♫：原作のおもしろさをテンポよく収めているからでしょ。シートの上で逆立ちしたりとか、ムチャクチャだから、バイクのリアリティもちょうどいいぐらい。

☺：なるほど、バランスがいいわけだ。でも、ちょっと江口の声がねえ。

♫：あれ？　僕はいいと思ったけど。

☺：イメージ的には確かにあんな感じだけど、語りが必要なときに、うまく語れてないんだよね。

♫：いやいや、そこがいいんだよ。だって江口って雄弁な奴じゃないでしょ。語りはヘタでいいんだよね。これは声優を使わなかったのが大成功だよ。翔を抜擢したスタッフは鋭かったね。

☺：なるほど。確かにぶっきらぼうな受け答えはピッタリだったな。

♫：難点としては、もう一度見ようという気がイマイチ起きないことなんだよね。

☺：それは、あのラストのあたりのせいじゃない？

♫：そうだね。

☺：横浜まで突っ走るってのはまあいいとして、三人が走っているところがアメリカに見えちゃうってのは、やっぱり映像化すると不自然。

♫：キレイにまとめようとしすぎなんだよね。ドロくさい連中として終わらせても良かったんじゃないかな。

☺：ドラマが面白いだけにやりすぎはかえって興ざめ。

♫：たぶん、それと後味がさわやかすぎることもあるんじゃないかな。見終わった時に感動が浅くて、何にも残らない感じだから。

☺：けど、軽く楽しめるアニメを見たいって時にはピッタリなんじゃない。アメリカの大平原の不自然さはともかく、何度見ても、江口の痛快さは感じられると思うし。

♫：まあ、大笑いのオマケもあるしな。

☺：吉田聡インタビューね。タマに見る分には、いつまでも笑えそうなインタビューだった。特に『キング』と『サンデー』はどちらが好きですかなんて質問はなかなかよい。

♫：ともかく、なかなか面白いものを見せてくれました。これだったら続編もイケるんじゃないかな。

☺：そうだね。津山さんなんかも、もっと見たいしね。

♫：僕は鶴さんのファンだよ。

東映スーパーギャルズメイト

■カラー／60分■モノラルHi Fi■V β TE-M962■¥8、800■東映ビデオ

戦隊もの、宇宙刑事ものなど東映特撮アクションに不可欠の女の子を全部まとめて一本にしたのがこのビデオ。



♫：面白いんじゃない。

☺：えっ!?

♫：これが『ギャルズメイト2最新スーパーギャル編』とかいうんだったらね。

☺：そうだよね。はっきり言って、これは見ていて困っちゃったよ。

♫：だいたいが名シーンがないんだよね。たしかにヘル・ヘレンなんかも良かったけどねえ。本当に入れて欲しい名シーンを押えてもらわないと。

☺：なんといっても時間配分もひどすぎる。やたらとアニーばっかり長いの。アニーとかチェンジマンとかは、もうビデオが普及したあとの作品だから、本当のファンはエア・チェックして、もう持ってるはずだよ。

♫：そう。本当に見たかったのはあそこじゃないんだよね。流れを追って作ってくれればこんなこともなかったんじゃないの？

☺：そういうこと。ビデオが普及するより前の作品こそ長くしてもらわなきゃ、このビデオそのものの意味がないよ。

♫：これがテーマ性とか、意図がつかめれば、ある程度判るんだけど、全体を通して構成の感覚が全く／　つかめない。だいたい僕らだったら、まずビジンダーがこなきゃウソでしょ。

☺：もっと言うと、最近の東映特撮の女性は好かないんだよね。見せるためのスカートで見える角度で撮ってるところが、色気を完全に消し去っているんだもの。

♫：それでもファラキャットと旧イエローフォーの戦いなんかはキマッてたなー。

☺：チラチラとだけ入ってた、なつかしい人たちが、やっぱり良かった。

♫：とにかく見たいところが見れない。白川エツ子はもっと見たかったぞ。それに、スーパーじゃない人たちも。

☺：それ賛成。スーパーヒロインじゃない、特撮美女たちね。

♫：そうすれば、日高のり子も出られるし。

☺：姉崎澄子も見られる。

♫：ロビンちゃんだって。

☺：新しい人だけど林美穂も入れてほしい。

♫：危ない人だな。そうそう、このビデオで注目できたのは新録部分があったことだね。

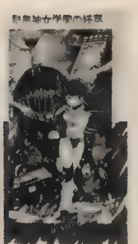
☺：チェンジマンの二人組の対談ね。

♫：それこそ何もしないで話をして散歩するだけだけど、ファンにとってはすごくうれしいことでしょ。撮影の裏話やなんかもずいぶん話してくれるし。

☺：そうだね。最後の救いになってたよ。

ドリームハンター麗夢II

■カラー／60分■Hi Fiドルビーサラウンド■V K28V-1001-6／β K28B-1001-6■¥12、800■サイ・エンタープライズ■原作・総監督／奥田誠治■作画監修／谷口守泰■監督／長尾粛■作画監督／逢坂浩司



☺：ちょっとチグハグだったね。高橋美紀の不良ってのは、意表をつかれたなあ。

♫：いいんじゃない、ブリッ子不良で。それよりバラ打ちの刑とか、アブナイ人々と思わなかった？

☺：シャワーシーンとかも。

♫：あそこは、なんか〝くOいむ〟してた。

☺：胸とか見えると、おっ、やった、とか思ったけど、考えてみたら最初は18禁で出たんだっけね。

♫：体育教師がボソボソしゃべるのがちょっと気になったけど、それより何より、富山敬。ラストのうめき声はムチャクチャ気持ち悪かった。せめてあそこだけは島本須美でやるお慈悲が欲しかった。

☺：円光もカッコよくなったけど、せっかくの呪文が聞き取りづらかったね。

♫：ストーリー的には、もう少し押えるべきところを押えてほしかった。前作で、警部たちが来ると、「あ、いけない」とか言って拳銃を隠すとこなんか、すごくいいと思ったのに、今回はそういう心使いが全くなかった。

☺：せっかく〝アリス〟の一節で始めたんだから、もっと最後まで引っ張って欲しかったしね。

♫：夢と現実の描き分けはやっぱり必要だよ。

☺：この作品は脚本段階でストーリーを知ってたけど、脚本にある事件の結末が削られてるんだよね。だから、事件そのものが単調になって、アクションばかりを追っちゃったんじゃないかな。

♫：とにかく、ストーリーには現実性がもう少しほしい。説得力が今回は弱かったね。派手になるのはいいんだけどさ、やっぱり私刑で人一人殺して放っとけるはずはないしね。

☺：脚本にはある説得力を持たせるための部分が残らず捨てられてるみたい。

♫：やっぱりノリだけじゃ、見る方は納得できないよ。

☺：やっぱりメリハリがないとね。

♫：監督の奥田さんも、そのへんは判る人のはずだから、ちゃんとスタッフの暴走を食い止めなくちゃ。

☺：何しろ『麗夢』は、『麗夢』だからこそ見る人が多くなってるからね。他より高水準のものが求められちゃう。

♫：期待が大きいから、ちょっとやそっとじゃ満足しないファンがふえるし。とにかく、今回のような行きすぎは抑えてもらいたい。

☺：期待が大きかっただけに辛い点がついたけど、他と遜色はない作品だよね。

Video

ルーツ・サーチ

■カラー／45分■ステレオHi Fi■[V]C69—9295／[β]C69—9795■¥9、800■日本コロムビア■監督／須貝尚■脚本／島田満■キャラデザイン・作画監督／小林早苗■製作協力／芦田豊雄



☺：これはちょっと、ねえ。

♪：中味が、ねえ。

☺：一言でいうと、青臭いストーリーで、魅力に乏しい。壮大なテーマに取り組もうとして、力及ばずって感じ。

♪：意味のつながりがとにかくわからない。だいたいが、何でここにいた奴らは人を殺したことがある連中ばかりなんだ？ リアリティがないね。

☺：もうこういう愛は人類を救う、っていう図式をモロに出すのは消えたと思ったのに。

♪：どうせ「エイリアン」をやるんだったら、もっとモロに「エイリアン」やったほうが面白かったはず。ハンパにやるもんだから、「エイリアン」のつまらないところを固めたみたいになってるんだよね。

☺：「エイリアン」の面白いところは単純な食われる恐怖で、ドタバタだったところだよね。

♪：そうね。物体Xのアイデアとか絵とかは良かったんじゃない。残念だよ。

☺：確かに絵はきれいに仕上がってはいたけど、どうも平均点でしかなくて。どこか突き抜けた部分がないと、やっぱり不満が残っちゃうね。

♪：なるほど。

☺：一番いけないのは、やはり心理描写だね。モイラってのはスコットという婚約者がいながら、そのスコットが死ぬとその余韻もさめないうちに別の男、バズと出来ちゃう。これはいけない。

♪：だって言ってることとやってることが違うじゃない。「オレは他人なんか信じられない」なんて言いながら、あっさり信しちゃう。

☺：ビデオなんて時間が短いんだから、心変りは描けても、さらに別の恋までするには無理がある。婚約者の設定だったら、別れるか、くっつくかどっちかまでがやっとだよ。

♪：誰かニセモノか、というパターンも出そうだったのに、結局、そんなミステリー仕立ての部分はなかったし。なんといっても、この物体が人を殺すパターンが違いすぎるよ。

☺：謎の岩に刺されたり、宇宙船の外へ連れ出されたり、はては中から食い破られたり。

♪：いくら心を読む物体といっても、殺し方は同じじゃなきゃおかしいよ。殺しは、その物体にとって、一番楽な方法をとるはずだから。

☺：目が見えないバズがモイラの手を取って先導していく、というのもおかしい。

♪：とにかく筋が通ってないところが多すぎるよ、これじゃ。

☺：まあ、愛が二人を救うっていうのは、見ていて安心できるけどね。

♪：絵がきれいなのも好感が持てる。

☺：モイラの表情が生き生きしているのは特に良かったよ。

魔法のスターマジカルエミ——蟬時雨

■カラー／60分■ステレオHi Fi [V]VBES—160／[β]BEB—160■¥9、800■ネットワーク■監督・演出・絵コンテ／安濃高志■作画監督／岸義之■舞・エミ／小幡洋子■特典／原画トランプ



☺：これはファンじゃないと楽しめないね。

♪：そうね。ファンなら楽しいかな。イベント用の「ごめんなさい」フィルムなんかはやっぱりファン向けだものね。

☺：なんといっても、小金井さんが問題だよ。なにしろ行動が掴めない。まだ働き盛りだというのに、危ない状態になりつつあるのかしら。

♪：その解釈もアブナイな。まあ、確かに「エミ」をずっと見ていても、ちょっと良く判らないところが多い。

☺：総集編だけでも良かったかもね。

♪：けど、それじゃファンは納得しないよ。

☺：小金井さんが最初にもごもご言ってる言葉が明らかになるのかと思えば、そんなことは無かったし。

♪：とにかく、全編が謎解きになっていて、しかも答がないんだよ。将のさがしものが舞へのおみやげだっていうのは分かったんだけど、そのほかのエピソードは結論がない。

☺：おじいさんとユッコさんもまあ判る。それにしても、おじいさんの手先の器用さはスゴイね。

♪：キャラは一応、平均点に動いていて良かったけど、全編見てもエピソードのほうで「良かった探し」が出来ない。タイトルが「蟬時雨」だから蟬の鳴き声を気にしてたんだけど、蟬が鳴くところがポイントってわけじゃなかったんだよね。まあ、蟬の鳴き声が最初、アブラゼミで最後はツクツクボーシだったのは芸が細かかったけどね。

☺：同じ魔法ものでも「マミ」のオリジナルは一本のストーリーとしてまとまってたから見た気がしたんだけどな。

♪：こういう見せ方もおもしろいとは思うけど、やっぱりファン向けでしかないね。

☺：絵的にはすごくきれーだし、雨やどりから雨がやんで虹が出るところあたりの描写は好きなんだけど。雨がやんで、すぐ駆け出す舞の笑顔なんて、すごくカワイく描けてるし。

♪：武蔵君がカワイかった。

☺：そ、それは——良く判らない。けど、ユッコさんがどうもTVシリーズほどカワイくなかったのは確かだ。

♪：それはさておいて、やっぱりまとまった話で見たかったでしょ。

☺：まったく。見終った後で、あれは何だったのかな、あれはおかしいな、なんて考えちゃうと、消化不良になっちゃうものね。

なりすスクランブル

■カラー／25分■ステレオHi Fi■[V][β]SC—014■¥9、800■創映新社■キャラデザイン・作画監督／美橋亜矢子■メカデザイン／冬越蛹■原画／美橋亜矢子／よしゆきもとき■演出／亜久竜夫



♪：よかったじゃない。

☺：エロが少なかったね。

♪：なんか『ななこSOS』みたいな感じを受けたな。もっともTVの『ななこ』よりはるかに『ななこ』らしかったようだね。

☺：それにしても簡単に出来てるアニメだね。こんなに金がかかってなくて、しかも楽しめるってのはなかなか。これなら買うほうも楽しめて、作るほうも安くすんで、二つもよかったが見つけられる。

♪：まったく軽くて良かった。けど、これじゃエロがほとんどないから、18禁にする必要もなかったんじゃないかな。

☺：はっきり言おう。ない！

♪：そうすると、これから先の『くりいむレモン』っていうのはどういう立場のものになっていくのかな、なんて考えちゃうわけだ。

☺：確かに〝美少女〟が〝やる〟という最低条件は入っていたけど、〝やる〟シーンは全然やらしくないものね。

♪：これからどんな作品がくるのか、僕は知らないけど、もしかしたら、ネットワークのC・MOONレーベルにもなりかねないんじゃない？

☺：それは大丈夫そうだよ。『エスカレーションⅢ』もあるみたいだし。

♪：それは安心。

☺：そうそう、美少女フィギュアのコレクターの♪さんは、あの校長先生、どう思う？

♪：靴が片っぽなくなった、なんていうのはすごく良く判る。あれは、実際、大騒ぎになるから。

☺：それにしても『くりいむレモン』名作パロディが驚きだったなあ。

♪：いきなり『媚・妹・Baby』ごっことかやり出して、しっかりパッケージまで見せる。ダメ押しに「『エスカレーション』ごっこもできますよ」ときちゃうからね。

☺：もうすごい勢いで笑いを提供してくれたからねえ。

♪：なりすがパワード・スーツと合体するところとか、急に廻り込んだりして作画が凄くなったりもするし。

☺：あそこ以外の動画枚数なんてほんと、たかが知れてるんだけど。

♪：ある意味じゃ、見せ方がうまいんだよね。

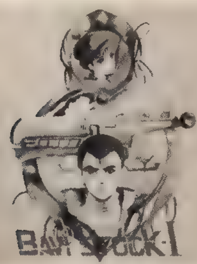
☺：こういう作品は、本当に楽しめればすべて良しだね。

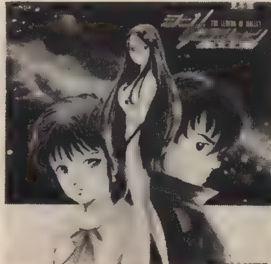
♪：アダルト・アニメの目的があくまでも娯楽である限り、テーマがどうのこうのっていうのは野暮というもの。とにかくキャラがカワイかったんだし、これ以上求めたらバチがあたっちゃう。

☺：キャラがみんなクセの強い人たちだったから、続編とかも簡単に作れるんじゃないのかな？

楽は既成の枠を越えた!!

今、アニメ音楽が急激に変わりつつある。オリジナル・ビデオ・アニメ界にレコード会社が参入する事により、今まで以上に音楽がグレードアップし、一昔前なら考えられない意外なアーチストが参加するケースも出てきた。今後アニメ音楽はどう変わるのか!?


バビ・ストック－I（フォノグラム）


ラブポジション（ビクター）


モスピーダ（ビクター）



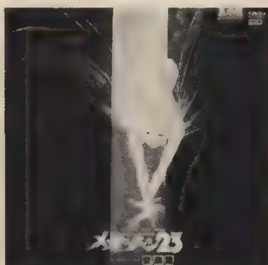
マクロス　愛・おぼえてますか（ビクター）
ご存知、飯島真理を生み出したアニメレコードの傑作。その後の飯島真理はニューミュージック歌手として大活躍、幅広い人気を獲得。


ザ・超女（ビクター）

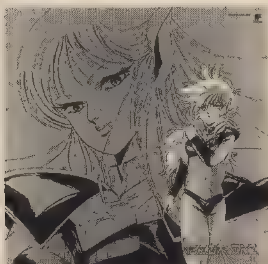

炎トリッパー（ビクター）

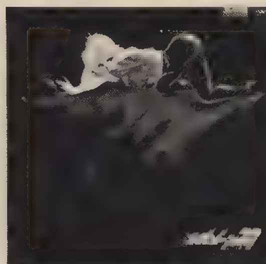

超戦機神ダンクーガ（ＥＰＩＣソニー）

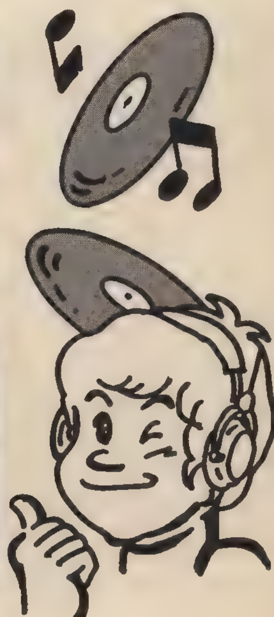

戦え!イクサー1　ACTI（東芝EMI）
ＳＦ音楽の第一人者・渡辺宙明氏が手掛け、"最も好きなアニメレコード"として常に上位にランクされている。特撮ファンにも好評。


メガゾーン23（ビクター）

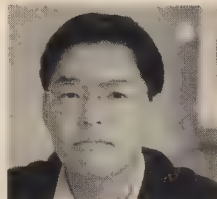

バリバリ伝説（ビクター）


イクサー1ACTII（東芝EMI）


メガゾーン23パートII（ビクター）



今後、ますます音と映像のメディアミックスが強化されるだろう


長崎行男（ＥＰＩＣソニー）
音楽プロデューサーとして、今後のアニメ音楽の動向を鋭くさぐる。代表作『吸血鬼ハンター"D"』「ガルフォース」等。

「レコード全体の売れ行きが鈍化している現在において、アニメレコードの人気は驚くほど高いですね。

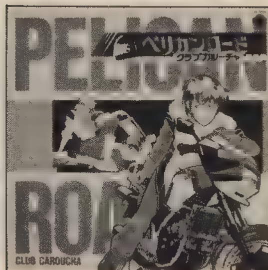
特に人気の高さを実感するのは、新人歌手が参加する時です。普通、コマーシャルソングもＴＶ主題歌も経験していない新人のレコードは、大がかりなコマーシャルなしでヒットするケースは少ないのですが、アニメのサウンド・トラックなら万単位の見通しが立つんです。つまりアニメファンの固定客がついているので、制作側も腰を据えて作る事ができる。日本の実写映画では音楽が一番後回しにされてしまうケースが多いだけに、アニメ音楽の場合は固定数の目算が立つというのはとても恵まれていますね。オリジナル・ビデオ・アニメのレコードが当初、新人歌手のデビュー作になる事が多かったのは、こういう理由からでした。

ところが昨年後半から今年にかけて、ビデオ・アニメのレコードが大きく変わってきました。いわゆるメジャーなアーチストの参加です。今思いあたる作品をざっとあげるだけでも、『バビ・ストック－I』の本田恭章、『吸血鬼ハンター"D"』のＴＭネットワーク、『バリバリ伝説』の荻野目洋子（主題歌の作曲は高中正義が担当）『県立地球防衛軍』の忌野清志郎＆チャーなどなど。

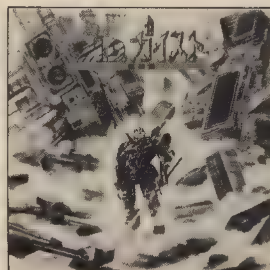
このような傾向は、これからますます増えてゆくでしょうね。その理

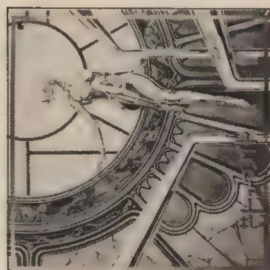
Record ビデオアニメ音


ガルフォース（ＥＰＩＣソニー）



ペリカンロード（コロムビア）


M.D.ガイスト（コロムビア）


ザ・ヒューマノイド（東芝ＥＭＩ）

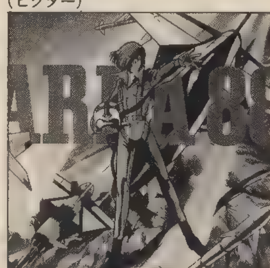

ファンドラⅡ（コロムビア）


県立地球防衛軍（東芝ＥＭＩ）
やった！　ついにアニメ音楽に忌野清志郎が登場。チャーのギターも絶好調。アニメレコード史上に残る話題作。


コスモス　ピンクショック（ビクター）


那由他（東芝ＥＭＩ）


アイ・シティ（東芝ＥＭＩ）


エリア88　ＡＣＴⅢ（キング）


プロジェクトＡ子（ビクター）



コール・ミー・トゥナイト（リバスター）

イメージアルバムも健在 根強い人気を保っている


魔界行（東芝ＥＭＩ）


姫クンシリーズ（フォノグラム）

急激に変化しようとしているサントラ盤とは別に、いわゆるイメージアルバムも地味ながら好調な売れ行きを保っている。某レコード会社の担当者によれば、それほど派手な扱いこそ受けないが、イメージアルバムもサントラ盤と同程度の売れ行きを示し、時にはサントラ盤を越える大ヒット作も飛び出すという。

音でキャラクターやストーリーを表現するからこそ、一層イメージが広がる。



ミンキーモモ夢の中の輪舞（ビクター）


ルーツ・サーチ（コロムビア）



傷追い人（キング）

由の一つは、新人歌手がアニメの主題歌（あるいは挿入歌）でデビューすると、アニメのカラーが濃くなってしまい、アニメから離れたオリジナル曲が一般に受け入れられにくくなる事がはっきりしてきたためです。アニメの曲を歌えばかなり売れるのに、アニメ以外の曲は極端に売れなくなる。それで再びアニメ音楽に戻るという場合が多いんです。しかし、既にある程度名の知れたアーチストはファンがついているので新人の場合のような極端な売れ行きの悪化がない。むしろアニメ音楽を手掛ける事により新しい一面が発揮され、それまで以上に広い層にアピールする事が出来るんです。

一方ビデオメーカーにとっても、有名なアーチストを起用する事により、他社の作品との差別化がしやすくなり、〝あのアーチストが曲を書いているなら一度見てみたい〟という風に、新しいビデオファンを開拓する事が出来るんです。

ビデオ・アニメの本数が増えれば増えるほど、一層こうした傾向は強くなりますね。特にビデオは買って見るまで内容がわからない事が多いだけに、有名なミュージシャンのネームバリューが大きな価値を持つ事になります。

レコード会社がビデオを手掛けるという事は、それだけ音楽を重視した映像を作りやすいわけで、これからは音楽を先行させて映像を作る事も可能になると思います。現に、プロモーションビデオは先に曲が出来て、それに合わせて映像を作っているわけですからね。

オリジナル・ビデオ・アニメもタイトル数が増えるに従って、かつてのように出せば売れるというわけにはいかなくなった。だからこそ一層、音楽と映像のメディアミックスは、これからますます重視されますね」

天空の城ラピュタ(上)(下)

著者／宮崎　駿（原作・絵）
　　　亀岡　修（文）
発行／徳間書店
NO／前篇…N―016
　　　後篇…N―017
定価／380円（アニメージュ文庫）




突然ですが、この小説を映像を全く見ていない、『天空の城ラピュタ』を知らない人が読んだとしたら、一体どれだけ話が理解できるのだろうか？

まあ、こういう本を買う人は映画を見てファンになった人が買うのがほとんどだと思うけど、かりにこの本からはいった人はまわりの描写とか背景を頭に浮かべることは少し難しかったと思う。どういうことかと言うと、人間同志の会話の内容は掴むことができても、例えばドーラ一味のタイガーモス号とか、ラピュタ城の輪郭とか構図などはよく分からない。また、小道具などの描写ももっと詳しく書いてほしかったと思ったりする。

しかし、会話のテンポについて言えば、スムーズで分かりやすく、所々に小さなクライマックスがある。例えば、前篇でドーラ一味がムスカの乗っている飛行船を見つけるまでの、雲の出現、落下してきたシータをつかまえるパズー、ドーラ一味に追われるパズーとシータが汽車に乗るまでなど、かなりテンポよく描いていて読みごたえがある。ところが、残念なことに後篇にはそれがない。例えばクライマックスであるはずの〝ラピュタ〟を発見したくだりとか、〝ラピュタ〟が崩壊していくシーンでさえ、映画ほどの感動はないように思える。

しかし、そのかわり後篇は、〝ラピュタ〟についてからのパズー達の行動とかその周辺については詳しく書いていて、読んでいてよく分かり、伝わる。

とにかく、これはノベライズの宿命なのかもしれないけれど、例えばメカのデザインについていくら詳しく文章で説明しても、実際に絵を見てみないとよく分からない。(たまに逆もあるけど)

つまり結論として、こういったノベライズを楽しむためには2種類の方法があって、あくまで映画の添えものとか付録として読むか、または全然別の、独立した小説として読むかである。

そして、これはたぶんSFであると思うから、本来は自分の尺度で想像すべきものであろう。極言すれば宮崎駿氏の絵は参考程度に留めるべきである。

ただ、あくまでこれをアニメのノベライズとしてみるならば、アニメができなかったシーンの背景をもっと活字で補うべきだったと思う。各キャラクターの生いたちなどの背景、性格などの人物設定など、補助的説明は割と必要なのではないだろうか。

最後に述べておきたいこととして、この小説はあくまで小説としてみるならば、肩のこらない楽しい小説であることは間違いない。だからもしストーリーだけを追うならば、すぐに読み終えてしまうだろう。（H）

プロジェクトA子

講談社版
／川崎智子
／講談社
／講談社X文庫
文庫版／¥360

角川版
著者／越沼初美
発行／角川書店
NO／角川文庫
6464
文庫版／¥340




さて、『プロジェクトA子』は人気作品だけあって二つの出版社から異なるタイプの作品が出ている。

まずは、講談社から出ている、ストーリー・ブック版『A子』から紹介しよう。

この作品、ストーリー・ブックと言うだけあって、本家アニメ版『A子』とまったく同じストーリーになっている。私の見た限りでは、違う所は一ヵ所もなかったようだ。

したがって、ある意味では安心して読めたのだが、ちょっと物足りない感じは拭えなかった。

やはり、パワフルに動きまわり目、耳に訴えるアニメーションと、文字という仮の姿で目に訴える小説とでは、動きを見せるにはハンディーがありすぎる。

できれば、小説ならではの表現で書いてほしかった。

まあ、ストーリー・ブックとしては完成しているので、ビデオを持っていない人や、電車の中でも『A子』をたのしみたい人には、お薦めできる一冊であろう。

つづいて、角川書店版『A子』。

この作品、講談社版から読んだ私は、度肝を抜かれてしまった。本家アニメ版『A子』と、まったく違うストーリー展開になっているからだ。

こちらの小説版では、本家アニメ版のストーリーが、かなり変更を加えられ（真理にC子を襲わせる所が中心）第一話という形で初めに語られており、その後につづく、第二話から第五話までは、作者のオリジナルストーリーになっている。

だが、そのオリジナル部分も、『A子』の世界から外れる事なく、うまくまとまっており、このままアニメ化すれば、一本一本がTVの三十分ものとして通用しそうな出来だった。（ぜひ、それを見たいものだ）

全体的な傾向としては、アニメ版の元になった同人誌と同じく、かなり濃厚なレズシーンの応酬があり、冷や汗ものだったが、濃厚なわりには、軽く書かれており、イヤになる事はなかった。

これも、作者が女性であるためだろうか？（男は、あまりホモ小説を書きたがらないが、女性の方は、どうなのだろうか）

キャラクターに関しては、主役級のキャラは当然の事、わき役のキャラたちも、イメージを壊す事なく活躍しており、特に、真理（北斗もどき）のサイドストーリーには、おもわず涙させられてしまった。

これは、この作品の作者が、『A子』に出てくるキャラクターの性格をすべて理解しているからであり、そのため、どんな話でも異和感なく書けるのだろう。

この作者のオリジナルの作品を読んでみたい気がする。

（安田寸柱）

ガル・フォース　赤い悪魔のサンバ

著者／富田祐弘
口絵・本文イラスト／園田健一
出版社／角川書店
NO／6495
文庫／¥460



映像化される作品の多くは、原作が小説や漫画であったりする。模型雑誌に3Dフォト・ストーリィとして登場した『ガルフォース』は、新しいタイプのメディア作品と呼べるだろう。それがこの夏、アニメビデオ化され、3人だった美少女達も7人に増えた。活躍の舞台も一惑星から宇宙空間へと広がり、壮大なスケールのスペースファンタジー作品として、新たに生れ変わった。

小説版の著者は『機甲創世紀モスピーダ』『魔法の妖精ペルシャ』等のTVアニメ作品のシリーズ構成を手がけた富田祐弘氏。『ガルフォース』本編でも、脚本を担当、ノベライゼーションには最適な人物のはず……。

ところが、何かが違う。小説版としてのオリジナル部分は、本来メインストーリーを盛り上げるためのものであるはず。それが、2ページにわたって本編とは関係のないジャムの作り方の説明等、うんちく小説でもあるまいしと言いたくなってしまう部分が多々みられた。さらに女性生態に関する解説に至っては、たとえ本編に関係ある事として割り引いて読んでみても、行き過ぎの感は拭えない。

小説版としてのオリジナリティーを出すために、本編では描かれなかった性生活を描写してしまった点にも、疑問が残る。女性だけの種族（ソルノイド）をリアルに描写すれば『ガルフォース』をとりまく世界感が浮き彫りになるかと言うと、そうとは限らない。女性種族の陰の部分だけが突出してしまったために、本来描かれるべき〝テーマ〟が薄れてしまい、読後感がすっきりとしないのだ。個人的な読後感が云々と言うよりも、問題なのは「これが〝ガルフォース〟なのか！」と、本編を観ていない読者に、早合点されてしまう部分にあると思うのだが。

ともあれ、既に本編を御覧になった方には、本編では描ききれなかった7人の美少女達の個々のキャラクターが、それなりに描かれている部分で楽しむ事もできるだろう。ルフィ、ポニー、エルザといった過去を背負ったキャラクター、彼女達の行動に関する性格的裏づけがなされている部分に、小説版としての価値を見い出す事もできるし、本編の参考書としても役立ってくれるだろう。

小説『赤い悪魔のサンバ』は、原作でもなければ、ノベライズとも呼び難い。言わば富田氏オリジナルの異なった『ガルフォース』世界を味わう事ができる作品になっている。ただし、個人的には、18禁小説に指定したいところだが。

（海槌　啓）

Book

大熱血



著者／火浦功
発行／角川書店
NO／角川文庫6486
シリーズ／未来放浪カルディーン①
文庫版／¥460

〝軽い〟。

この作品を一言で表わす言葉はこれしかない。

軽い。とにかく軽いのだ。

どの作品を読んでも、軽いイメージを受ける火浦功の作品の中にあって、この作品は群を抜いて軽く感じられた。

これは、おそらく作者の悪ノリに原因があるのだと思う。

私は、内輪受けのある小説という物を初めて読んだ。

最近の風潮として、軽く読める小説がはやっているようだが、この作品のように短時間で読み終えてしまうようでは、どんなおもしろい作品でも、損をしたような気がのこってしまう。

やはり、出した金額分の時間は楽しませてもらいたいものだ。

ストーリーも、初めの舞台説明が失敗しているために、20ページ以上読んでも、世界観というモノがつかめなかった。

失敗の原因も軽さにあるように思える。

文章を軽くするために、説明となるべき描写が以上にカットされているのである。

このために、もう一つ問題として、小説からのイメージが伝わらず、イラストのイメージだけが頭にのこる事になった。

そのため、読み終えた後の感覚は、マンガを読み終えた後のそれになってしまう。

やはり、小説なのだから、そうなるのは避けたい所だ。

まあしかし、この作品、もともとアニメの企画としてスタートしただけあって、アニメとしてはおもしろそうなストーリーになっている。

文字で見るアニメと考えれば、短時間で読める事もあって、ちょっと楽しむには、いい本かもしれない。

（安田寸柱）

バトン・ガールは、もう泣かない



著者／喜多嶋隆
発行／角川書店
NO／角川文庫65−3
シリーズ／喜多嶋隆作品集(3)書下し青春コメディー
文庫版／¥380

テレビシリーズ『ポニー・テールは、ふり向かない』の脚本家、喜多嶋隆の最新作である。

まず、読み始めて気になった事を一つ。

全体の章分けが13章まであり（これも278ページの作品には多めだが）、その中がまたいくつもの短かい文章で分けられている（具体的には、場面が変わるごとに）、なんとその数、162章。

278ページの小説が、162にも別かれているのである。はっきり言って、これでは、小説のコマギレか、短文章の羅列である。

読んでいてうっとおしい。

おそらく、脚本的な書き方になってしまっているのだと思うが、小説はあくまでも小説なのだから、流れをたいせつにしてほしかった。

流れのうまい小説は、一つ一つの文章に〝橋〟という物がかけられていて、すらすらと無理なく読ませてくれるものだ。

そして、つぎに気が付いた事は、普通の小説の場合右上から左下へと斜めに視線をうつし読み進める物だが、この小説の場合、右上から左上へと直線になってしまう。

下に何もないのである。全体を通して、二行以上に渡っている文が、175しかない。

後の四千三百近い行は、すべて、その行内で終っている。

内容の方は、きっちり喜多嶋隆しているので、TVのファンの方で、小説の型式にこだわらない人には、お薦めします。

（安田寸柱）

地球の緑の丘



著者／ロバート・A・ハインライン／矢野徹訳
発行／早川書房
NO／ハヤカワ文庫SF673
シリーズ／未来史②
文庫版／¥520

〝わが生をうけし地球に
いまひとたび立たせたまえ
わが目をして、
　　青空に浮く雲に
涼しき地球の緑の丘に
　　安らわせたまえ〟

さて、新装開店の書評コーナーで、強引に割り込ませたSFの第1号は、御大ハインライン先生にご登場願いました。

この本は自ら設定した未来史にそって書かれた短編集です。

もともと説教くさい作家ですが、この作品を含めて、'50年代以前は〝売れる〟小説を描こうとして、娯楽色の強い作品ばかりでした。アニメファンに名高い『宇宙の戦士』はその過渡期にあり、力強いストーリーでぐいぐい読者を引張りながら、半分はお説教でした。ここから入った人達は2度とハインラインを読んでくれませんが、初期短編集や『夏への扉』『スターマン・ジョーンズ』『スターファイター』（映画の小説化ではない――最低の邦題だ）』など、楽しめる作品はいっぱいあるんですよ。

そして、表題作『地球の緑の丘』の紹介に移ります。その前にひとつ注意しておきますが、〝地球の緑の丘〟という言葉にグッとこない人は、少くとも宇宙SFには向いていませんから、ここはパスして、『メガゾーン』や『カルフォース』『ZZ』なんかを観ていた方がいいでしょう。

とは言っても、このタイトルはハインラインのオリジナルではなく、CLムーアのノースウエストスミスシリーズ中の酒場のシーンで流れる詩のタイトルで、作者の許可を得て作品化したものです。もちろん、詩の内容は違いますよ。ハインラインもこの言葉の語感にシビれたロだと思えますね。

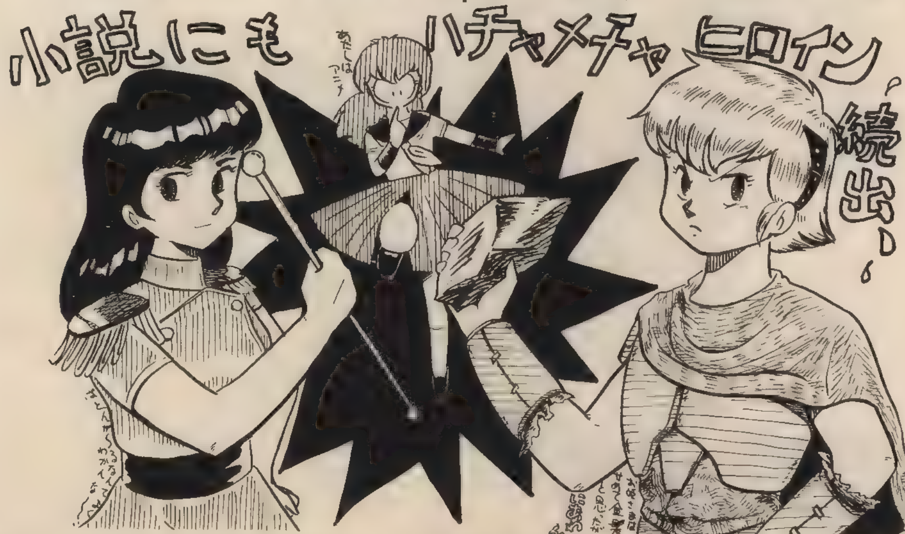
内容については、短編ですから読んでいただくとして、この作品集を貫く基本姿勢について少し述べます。

それは、宇宙が行ってみたい憧れの対象である、ということです。我が国のアニメでは、宇宙は単なる戦闘空域（バトルフィールド）であり、キャラクタの感情や理性になんら影響を及ぼす事はありません。が、憧憬として宇宙が存在すれば、逆に故郷・地球への思いは強まるのです。そこに人間たちのドラマが発生しています。

ただ、いかなハインライン先生といえど、初期の作品でもあり、肩に力が入ったのか、タイトル負けの感もあります。

この作品集には他に、少年の頃からの憧れに向けて全力で努力した男が、最期に月面へと降り立つ『鎮魂曲』という二重丸の小品もあります。これの前史があの名作『月を売った男（未来史①）』なのです。

でも、どーしてあんな力バー画をつけたんだ！　あれじゃあ水耕栽培のかいわれ大根だよ。ふざけんな！　（望月雄太郎）



❶ 〝エミしぐれ〟ガレージキット対決！
～3D化されたエミと舞～

さて、このコーナーの栄光ある第1回目を飾るのは、オリジナルビデオも発売され、まだまだ人気のある『マジカルエミ』のガレージキット（以後GK）の特集であります。
　この『エミ』のGKは、大手ガレージキットメーカーの海洋堂とフカヤから計6種のGKが発売されています。

　詳しいデータについては、写真の解説を見てもらう事にして、ここでは私が気づいた事を少し書いておきます。
　まず、海洋堂1／6エミとフカヤ1／6舞ちゃん。どちらも、かわゆく出来ていてGood。
　海洋堂1／6舞ちゃんとフカヤ1／12舞ちゃんは、手足に間接がないのが、ちょっと悲しい。
　フカヤのディフォルメエミは、なかなかかわいいけど、ちょっと足が太すぎかな？
　フカヤ1／12エミは、ちょっとパーツを細かく割りすぎて、組み立てにくい。



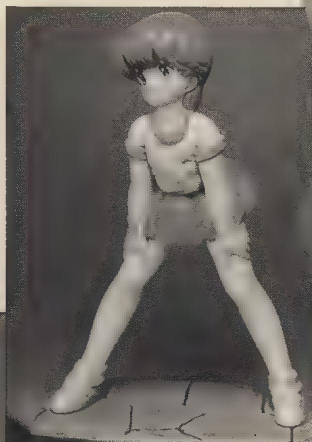
▼海洋堂・1/6　マジカルエミ
　このキットは、巨大である。組み上げれば、300㎜も越える。ディテールは、かなり細かい。
　パーツは、体（頭+体）と両足、両手、他に割かれている。（計11パーツ）



▲フカヤ・ディフォルメエミ
「ボクシングなんか大嫌い」に出たエミ。（全長95㎜、1パーツ）



▲海洋堂・1/6　香月舞
全身180㎜、体（頭+体+足）と両手、他、台というパーツ割り。（計7パーツ）



▲フカヤ・1/12　香月舞　夏服
　このキットは、台をのぞけば、スカートもふくめてすべて一体成型となっている。（計2パーツ）
　前かがみのため、後から見るとパンツが……。（全長87㎜）



▲フカヤ・1/12　エミ　OP（オープニング）
フカヤの「エミ」シリーズの第1作目。全長130㎜にもかかわらず、9個というパーツの多さ。



▲フカヤ・1/6　香月舞　冬服タイプ
　フカヤ製ガレージ中、唯一のビッグスケールモデル。全長210㎜。
　パーツは、下半身と上半身、両手、他と大別されていている。（計10パーツ）
　フカヤの最新作だけあって、なかなかの出来である。お買特品！
　おまけのトポも上出来だぜ！

Goods & Hobby

商品名	メーカー	価格	作品名
●1／12エミ　オープニング	フカヤ	2,000円	マジカルエミ
●1／12香月舞　夏服	〃	〃	〃
●1／6　〃　冬服	〃	4,000円	〃
●ディフォルメエミＢＮＤ	〃	1,000円	〃
○ディフォルメエミＮＮＴ	〃	1,000円	〃
○1／12エミ　普段着	〃	未定	〃
●1／8 リオ	フォルクス	4,800円	くりいむレモン
●1／8 亜美	〃	〃	〃
○1／12 〃	〃	2,500円	〃
●1／8 アーナス	〃	〃	ウィンダリア
●1／8 魔神英子（Ａ子）	烈風	4,800円	プロジェクトＡ子
○1／8 寿　詩子（Ｃ子）	〃	未定	〃
●1／6 森沢　優	海洋堂	3,500円	クリィミーマミ
●1／12ナウシカ	〃	2,800円	風の谷のナウシカ
●1／12クシャナ	〃	4,000円	〃
●1／12ユリ	〃	2,500円	ダーティペア
●1／12ケイ	〃	〃	〃
●1／12クラリス	〃	2,300円	ルパン三世
●1／12白鳥ジュン	ムサシヤ	2,500円	ガッチャマン
●1／8 浅倉南	〃	4,000円	タッチ
●1／12　〃	〃	2,700円	〃
●1／8 結城沙羅	〃	3,800円	ダンクーガ
●1／12　〃	〃	2,700円	〃
●1／12ルーナ	〃	〃	〃
●1／12亜弓先生	〃	〃	プロジェクトＡ子
○1／12Ａ子	〃	〃	〃
○1／12Ｂ子	〃	〃	〃
○1／12Ｃ子	〃	〃	〃
●1／6 キューティーハニー	ボークス	6,800円	キューティーハニー
●1／6 シスタージルⅠ	〃	4,800円	〃
○1／6 シスタージルⅡ	〃	〃	〃
●1／12キューティーハニー	ホビーベース	2,500円	〃
●1／12ハニーアクション	〃	〃	〃
●1／12如月ハニー	〃	〃	〃
●1／12ハリケーンハニー	〃	〃	〃
●1／7 魔神英子	むげん	5,000円	プロジェクトＡ子
○1／7 大徳寺美子	〃	〃	〃
○1／7 寿　詩子	〃	〃	〃
○1／7 亜弓先生	〃	〃	〃
●1／8 ガルフォース７人娘	ラーク	各3,600～3,800円	ガルフォース
●1／8 時祭イブ	〃	3,800円	メガゾーン23
●1／8 夏見ルミ（スーコ）	〃	〃	CALL ME トゥナイト

●次回予告？●

さて、今回の『マジカルエミ』と『アニメに出てくる美少女ガレージキット』の特集は、いかがだったでしょうか

次回は、オオイケという会社の『エリーナ』という人形の特集（今までの人形では考えられない程、可動部が多い）と、『くりいむレモン』の人形の特集を考えています。

お手紙まってるよ～！

（担当／小橋・千葉）

②美少女フィギュアモデルリスト（ガレージキット編）①

このコーナーの左表は、「アニメに出てくる美少女ガレージキット」を示したものです。

名前の前についている●は、すでに発売中の物で、○は、これから発売される予定の物です。



この表のほかにも、いろいろな「美少女ＧＫ」が発売されているけど、今回はスペースの関係で、おもな物だけになってしまいました。ごめんなさい。

割愛した物の中でも、（ガレージとはちょっと違うけど）ツクダのフィギュアシリーズとバンダイのＢクラブガレージキットは、近いうちに特集したいと思っています。（上、写真は、ツクダの新製品「シータ」「パズー」1／6スケール、各¥3，000）

君たちの中で、特集してほしい物があったら、どんどん手紙を出してくれ。

このコーナーは、君たちの手紙で内容をきめていく予定だ。

☆最後に、うれしいおしらせ

この「Ｇｏｏｄｓ＆Ｈｏｂｂｙ」に写真の載っているキットが、第一回目を記念して、大勢の人にプレゼントされるぞ。

内訳は、海洋堂マジカルエミと舞が各3名に。フカヤディフォルメエミが2名に。他のフカヤエミシリーズが各1名に。ツクダシータとパズーが各2名だ。すぐP68の応募要項を見よう。

③特撮用新兵器出現！カメラ搭載ＲＣカー、ラジカメ



カメラ少年の君に強い味方が登場した。

その名も「ラジカメR－900」

簡単に言ってしまうと、ラジコンカーの上にカメラが乗っているだけなんだけど、これさえあれば、人が入れないような所の撮影でさえ可能だ。

カメラは、上下90度の向きが変えられ、フィルム自動巻き上げ。ストロボもセットされ、本体は郊外でも50ｍ～100ｍは、コントロール可能のスグレ物。

これは買うしかないぜ！

☆データー

■発売元／㈱ヨネザワ■¥16，000■全長／270㎜■周波数／27ＭＨ■スピード／6㎞／h■110用カートリッジフィルム使用



芦田豊雄

スタジオ・ライブ主宰

●写真／荒谷良一

――『グローピアン』は今月から、見せる雑誌から読ませる雑誌として生まれ変わりました。アメリカの雑誌『ピープル』のように、単なるスタジオ紹介ではなく、芦田さんご自身の人柄を中心に紹介したいと思います。
まず経歴から伺いたいのですが、今お年は？

芦田「42才です」

――千葉商業を出られて、まず山崎製パンへ入社されたそうですが。

芦田「えッ！　そんな事まで知っているんですか。まいったな(笑)。
　商業高校に入った理由は、とりあえずソロバンや簿記ができれば、それなりに食べていけるだろうという軽い気持ちで決めました。
　山崎製パンでは宣伝部に勤務していたんですが、それも大した理由ではなく、高校で美術クラブに入っていたので、宣伝部の方がいいだろうという程度の事ですね。山崎には1年半から2年位いました」

――宣伝部ではコピーを書いたり絵を描いたりしていたのですか？

芦田「僕の仕事はほとんどパッケージのデザインでした。その当時から山崎製パンは総合食品メーカーとして君臨していたので、インスタントラーメンやスパゲティ等のパッケージをデザインしていました」

――それからアニメ業界へ入られたキッカケは？

芦田「大きな会社になると、どうし

GLOBIAN INTERVIEW 芦田豊雄氏に聞く

今後若いファンを獲得してゆかなければ、アニメ界は重大な危機を迎える事になる

スタジオ・ライブの代表として、また一人のアニメーターとして、幅広い活躍を続ける芦田豊雄氏。魅力あふれるキャラクターで多くのファンの心をつかむと同時に、ヒットメーカーとしてアニメ界に確固たる地位を築いた芦田氏だが、アニメの未来は決して安泰ではないと断言する。今後のアニメはどうあるべきなのか!? 芦田氏の熱の込もったメッセージを送ろう。(インタビュアー・芝崎寛政)



ても学歴という大きな現実の壁があるんです。それで大学を出ていないとダメな部分があるんですよね。それである日新聞を読んでいたら、"アニメーターはがんばれば月ン十万は軽い"と書いてあったんです。実際やってみて、すぐウソだとわかりましたけどね(笑)」

――その時お入りになったのが現在のエイケンですね。これは誰か知り合いがいたとか?

芦田「いえ、一般で募集していたんです。ちょうど人手を探していたみたいですね。

宣伝部にいた時とは仕事の内容が全々違いましたが、昔からマンガは好きだったし、それほど抵抗感はありませんでした。むしろアニメ漬けで育った人がこの世界に入れば成功するかというと、それはまた別問題ですね。当然、仕事には情熱を持たなければいけないけど、自分と業界内の事を冷静に見る目を持たないとプロとしてはやっていけません」

――そしてエイケンから虫プロを経て、スタジオライブを設立したわけですね。

芦田「いや、ライブを創る前に『宇宙戦艦ヤマト』のパートⅠをやりました。会社を創立したのは『ヤマト』の後でした。今年で設立10年位になりますね」

――会社設立後『サイボーグ009』『青い鳥』『Dr.スランプ』『ミンキーモモ』『バイファム』『北斗の拳』……と数多くの作品を手掛けられましたが、最も印象に残っている作品は何ですか?

芦田「それぞれの作品に思いはありますが、あえて名をあげるとすれば『銀河漂流バイファム』ですね。ちょうどアニメがマニア志向になりつつある時に『バイファム』をやったんですが、最初のうちは不評でしてね。多くのアニメファンは"ロボットアニメの登場人物は劇画調でなければならない"という固定観念を持っていたんですよ。でもあの作品で、新しいアニメファンを開拓する事が出来た。小学校高学年から中学、高校生の間で大きな反響がありました。中には"TVシリーズで最初から最終回まで見たのは『バイファム』が初めて"というファンもいました。だから我々は、あの路線をもう少し続けるべきだったんですよ。それが出来なかったので、せっかく開拓したアニメファンが再び離れてしまった。僕がやれなかっただけでなく誰も続けようとしませんでした。その後のアニメは全て『ヤマト』『ガンダム』に似てしまい個性がなくなりましたね」

――『バイファム』以後新しい路線が続かなかったと同時に、子供達がテレビアニメをあまり見なくなったような感じもしますが、その辺は？

芦田「それは完全に僕等アニメ製作者のパワー不足ですね。ファミコンが急激に普及して、子供達の目がそちらに向いている事は確かです。しかしアニメの人気が落ちた事をファミコンのせいにしたら、もうアニメ業界は終わりです。ファミコン以上に魅力的で、スリリングで、感情移入出来る作品を産み出してゆくのが僕達の役目ですからね」

――〝感情移入しやすい〟作品とは、どういう基準で判断するのですか？

芦田「例えば『バイファム』で言えば、あの作品には4才位から16才までの子供達が13人登場します。すると見ている人は、自身と大体同じ年齢のキャラクターに自己を投影したり、恋人にみたてたりしているんです。単純に言えばそういう事ですよ。

テレビに限らず、ビデオアニメについても僕は楽観出来ないと思っているんです。ビデオを仮に1本1万円とすれば、普通1万円持っていたら、女の子は服を買うとか他にいくらでもほしいものがあるはずです。男の子も同じですよね。そこであえてビデオを買うというのは、本当にマニア中のマニアなんです。そういうマニアが出て来たのはちゃんと理由がある。小さい頃に『ムーミン』があり、それから『マジンガーZ』や、『ヤマト』『ガンダム』と続き、そして『うる星やつら』が出てきた。言わば今のアニメマニアは、偶然にもマニアになるべく育てられてきたんです。だから、今10才の子が5年後にビデオを買うようなマニアになるかと言うと、そうじゃない。もう違う世代になってしまうんです。そこで今、新しいアニメファンを作っていかなければ我々に未来はないんです。当然ビデオアニメにも未来はない。今ビデオアニメを買ってくれている人達は、極端な言い方をすれば特殊な人達だと思いますね。だから今後も高いお金を出してビデオを買ってくれる人がいると思っていたら、それは大きな間違いですよ。今のアニメマニアがアニメから卒業したら、次の世代はもうついてきませんね。若いアニメファンを開拓していかなければ、本当にアニメはダメになってしまいますよ」

――〝若い〟とは、どの辺の年齢を指しているのですか？

芦田「下は幼児から考えてます。アニメはある意味で時代の鏡だと思うんです。アニメの人気が落ちてきた理由の一つは、今という時代を反映していないからじゃないですかね」

『カムイ外伝』から新作『ルーツ・サーチ』まで
芦田氏のアニメ歴紹介

TCJ（現エイケン）から始まる芦田氏のアニメ歴を簡単に振り返ってみよう。

まずTCJ時代は『カムイ外伝』などの作画を担当。その後第一次合作ブームがおこり、合作をやるため虫プロへ移籍。『新ムーミン』『小さなバイキング・ビッケ』などの作品に参加。なお当時虫プロには後の日本サンライズの中心人物となる伊藤氏、岩崎氏、[illegible]井氏、岸本氏等もいた。



GLOBIAN
INTERVIEW 芦田豊雄氏に聞く

アニメの人気を盛り立てる事が、人材の育成にもなる

——芦田さんご自身は、今のテレビアニメのどの部分に不満を感じておられるのですか?

芦田「一口に良いアニメと言っても、それぞれ違った見方があり、それぞれの正義があるんです。TV局、スポンサー、代理店ではそれぞれ違った見方があり、それぞれの正義があるんです。例えばTV局のディレクターにとっては、1%でも多く視聴率を上げなければいけない。そのために人気の安定している原作モノが多くなる。それがTV局にとっての正義なんですよね。それに対して『安易だ』とか『冒険しようとしない』なんて批難するわけにはいきません。TVシリーズの場合はそういう問題で困る事が多いですね。今『ドラゴンボール』や『ハイスクール鬼面組』の人気が高いけど、それはアニメの人気というより、むしろ原作マンガの力だと思いますね」

——原作のマンガは一人のマンガ家がデザインから演出までやるわけですが、アニメは分業として確立していますよね。各部門のプロ達をうまく統轄して、能力を存分に引き出す事が芦田さんの役割ではないかと思いますが。

芦田「でも僕はね、自分は狭い意味での一人のアニメーターだと思っているんです。だから自分から『北斗の拳』の監督をやらせてくれとか、『吸血鬼ハンター"D"』をやらせてくれと言ってるわけじゃないんですよ。むしろ一度お断わりしたぐらいなんです。それなのに僕に話がくるという事は、はっきり言って人材が不足している証拠ですね」

——新しい人材を育成しようとする動きはあるんですか?

芦田「果たして演出家や絵を描く人間が、育てようとして育つものなのか疑問がありますね」

——では新しい才能が出てくるためには、具体的にどうしたらいいのですか? 活躍する場を提供するとか?

芦田「場を提供すると言っても、そもそも人が集まらなくなっているんです。あるプロダクションで大々的にスタッフを募集したら、応募してきたのはたった一人だけだったという話もある位ですからね。こういう事は、6~7年前には考えられない事ですよね。つまりそれだけアニメの人気が落ちているわけですよ。熱烈なアニメファンが高じてアニメーターになるケースは非常に多いですから。だからさっきも言ったように、感情移入出来る作品を作り、下は幼児も含めたアニメファンを作ってゆく事が人材育成の土壌作りにもつながると思うんです。

本来なら、アニメファンの年齢層はピラミッド型になるべきなんです。底辺に幼児がいて全体を支え、上に行くに従って少なくなり、その頂点にマニアがいる。ところが現実には逆三角形になってしまっていて、上の方にアニメの常連がたくさんいるんですよね。そして、その人達が僕等にとってのお得意さんになっている。だから今の状態というのは、本当に特殊だと思います。

アニメはあらゆる年代の人に愛されるものですが、その対象の大部分は子供であるべきだと思うんですよ」



アニメにかける情熱は誰にも負けない芦田氏。アニメを愛するが故に、インタビューでは本質をついた厳しい発言が多く出た。インタビュアーの芝崎氏も思わずうなずく。

——しかし以前の『千夜一夜物語』のような大人に目を向けた作品もあっていいのではないですか?

芦田「確かに大人に目を向けた作品もあっていいと思います。でも例えば、昔『鉄腕アトム』がアニメ化された時、子供達と一緒になって大人達も夢中で見ていた。大人が見ても面白かったんですよね。優れた作品とはそういうものだと思うし、大人はあくまで子供達の付録でいいと思いますよ。意図的に大人向けに作るよりも、結果として大人も楽しめる作品になる事が理想じゃないですか」

——芦田さんはアニメーターでありたいという事ですが、それと会社経営とは別の問題ですよね。その辺はどうやって両立させていらっしゃるのですか?

芦田「最終的にはお客さんを満足させる事が目的ですから、プロ意識を持って仕事をする事がアニメーターと経営者との両立にもつながると思いますね。

よく"アニメの原点に帰れ"とか言うけど、ではアニメの原点とは何かと言うと十人十色だし、中には誤解している人もいますね。特に多いのは技術論で語る人です。"ちゃんと動いたものでなければいけない"とか。普通のお客さんにとってはね、そんな事はどうでもいいんですよ。要はいかにワクワクして見れるかです」

——確かに、作り手側のマスターベーション的な作品もありますね。

芦田「それがアマチュアリズムなんですよ。プロである以上、自分が楽しむんじゃなくて、見る人達を楽しませる事を一番の基本としなければならない。一時、アニメーター達が一つのブランドとしてもてはやされた事もありましたが、あれは幻想だったと思うんです。これからはきちんと、プロとしての仕事をしていかなければいけませんね」

——どうもありがとうございました。

虫プロ倒産後、仕事仲間が結集し「宇宙戦艦ヤマト」を製作。日本中にアニメブームを巻き起こす。そして昭和50年、スタジオライブを設立する。その後の活躍は、みなさんご存知のとおり。

昭和54年「新サイボーグ009」に参加。初めて作品全体のキャラデザインと作画監督を担当。56年「Dr.スランプ アラレちゃん」57年「魔法のプリンセス ミンキーモモ」、58年「銀河漂流バイファム」59年「超力ロボ・ガラット」「北斗の拳」と続く。いんとり小屋の陽となり影となり、"吸血鬼ハンター"D"や"ルーツ・サーチ"等のビデオアニメも手掛ける。

芦田豊雄（あしだ・とよお）[illegible]

ANIMATION MAKING

グロービアン が新しくなったことで、この企画がスタートした。アニメーションの制作にタッチしていらっしゃる方々のメッセージやインタビューを掲せるコーナーだ。今回は第1回ということもあってこんなに多くの方からじきじきにメッセージをいただいた。中には連載になるのもある。アニメーション制作の現場を君ものぞいてみないか!!

ドクター・ポチ
本名はあかせないが、なかなかのアニメ通。ビデオマガジンやアニメ雑誌にアニメ評などを発表している。

鷹・OTAKU・四郎
アニメ業界に通じているが、あくまでも自分はファンとして見ている。これからアニメ業界をレポートしてくれる。

栃平　吉和
昭和25年9月10日生まれ。昭和57年スタジオユニコーン設立。「カリフォルニアクライシス」のプロデュースほか

須貝　尚
いつも少年のような目を持ったアニメ青年。『ルーツ・サーチ』ではじめての監督。今年も夏が来た事に気づかず秋を迎えた。

小西　正夫
昭和24年生まれ。和光プロ、竜の子プロなどをへて、昭和53年にニシコプロを設立。日韓のアニメの交流に務める

フレッド・パッテン
本誌に海外のアニメレポートを送ってくれている。今回アニメツアーを企画。多くの青い目のアニメファンが日本に来た。

松浦　典良
昭和18年8月14日生まれ。虫プロで編集にたずさわりアニメーションへ。以後音響に従事。音響制作プロ「現」主宰

永井　豪
あまりにも有名な漫画家。漫画の原作がアニメ化されたのは多数。OVAでは『夢次元ハンター・ファンドラ』がある。

樋口　純郎
カナメプロダクションのスーパーアドバイザーとして活躍。小説風にアニメ業界を連載してくれる。

押井　守
『天使の玉子』などで有名。独特なイメージに多くのファンがいる。今回はインタビューで『グロービアン』に参加。

水出　弘一
昭和22年4月6日生まれ。脚本家としてのデビューは30才になってから。藤子不二雄原作での活躍が光る。

ライター

ドクター・ポチの独断・偏見

アニメ名作ブッタ切り

ドクター・ポチ

昭和38年1月、我が国最初のTVアニメ『鉄腕アトム』が放映された…なーんて書き始めると、「あーあ、またオジンくさいアニメの歴史かよ」とボヤク読者の声が聞こえそうだが、おーっとどっこい、そうは行かない。アニメビデオフリークばかりを読者に持つ『グロービアン』がそんなダサイ企画でOKするわけが無い!!（ヨイショッ）アニメが市民権を得てから今までの中で、ブッ切り的においしそうなところだけを、いかにもグルメチックにねちねちと味わって見たいと思う。そこで、まずは日本最初のTVアニメ『鉄腕アトム』に敬意（?）を表して「ロボットアニメ」を料理してみるとしよう。

とは言っても、今までに登場した膨大な作品群の名前をいちいち挙げていた事にはそれだけで頁の大半を埋めてしまうことになりかねない（本音はそれで逃げ切りたいのですがネ）。今回は、日本全土をブームに巻き込んだ一大エポックメーカー『機動戦士ガンダム』をまな板に乗せて、「ガンダム」とその周辺にスポットを当ててみよう。

昭和55年1月26日、『機動戦士ガンダム』はごく一部の熱狂的ファンの失意の内に、全52話の予定を43話に切り詰めて終了した。打ち切りの理由は視聴率の低迷（一桁以下の時もあった）と……そして、当時のメインスポンサーであったクローバー（後に倒産）の玩具商品の売れ行き不振であったと推測される（あれっ? 最近もそんなのなかったっけ? 今だったら、すぐにでも「TVでは放映されなかったストーリーを含む総集篇とオリジナルストーリーのビデオ化決定!!」なんて、広告がでるんでしょうね…)。その一週前、当時、筆者は社会人となって5年。アニメばなれの日々を送っていたが、土曜日の夕方、することも無しにテレビを見ていた。偶然にもチャンネルを10chに合わせてガクゼンとしてしまった。「す、すごい…こんなアニメをやっているのか…これは完全にSFしてるじゃないか。モビルスーツだと?…ハインラインのパワードスーツがここまで進化したのか…」そして更に…

「え!? 来週が最終回? そんな…」

その数十分後、行きつけのプラモデル屋の店頭で、

筆者「ねえ、ガンダムのプラモル出てんの?」

店主「何種類か出てるけど、売れないねえ。ほら、そこに積んであるでしょ?」見ると、あるわあるわ、赤や緑の「ザク」がそれこそザクザク。それに混じって赤青黄のシグナルカラーでいかにも「ヒーローメカ」でございって感じの「ガンダム」が山と積んである。思わず手を伸ばすと…

店主「あれ? スケール物しか作らないんじゃなかったっけ?」（うるさいな、こんにゃろう。余計なお世話じゃ）と思いつつも…

筆者「う、うん…たまには息抜きにね…こんなのもいいんじゃないかと思って…はっはっは…（ウツロやなあ）これ、ちょうだい」

と全種類をたやすく買い求めることが出来た。ところが、最終回の放映が終わったあたりから様相がおかしくなって来た。アニメ誌や模型誌に、当時まだまだ普及していたとは言えなかったビデオテープの借用希望があふれ、いちはや

ANIMATION MAKING

くブームの到来を予期したように、ホビージャパン誌が不定期ながらも（後に定期化）全国のガンダムファンのスクラッチビルド作品の紹介を中心にした頁を設けた。現在では、アニメ、プラモ評論家として著名な小田雅弘氏が初回の放映を見るなり、仲間うち（後にガンダムのプラモデラーグルとして名を轟かせる「ストリームベース」）に、「このアニメは絶対に当たる!! みんな絶対にビデオを取っておけよ！」と、激を飛ばしたという逸話は有名である。また、限定版という触れ込みの設定集が珍重され、それこそ、『ガンダム』のバイブル的な扱いを受けたのも放映が終わってからの事であった。全国各地で散発的におきた、さまざまな活動が統合されていった結果、「ジオング」が発売された頃からプラモデル店々頭において品切れ現象が起き、ついには奪い合いにまで発展していく。こうした熱狂的なファンの「声」が放映終了後にも関らず、相次ぐ映画化を実現させたと言っても過言では無い。だが、その「声」には「購売力」と言う名の、はなはだ現実的な「パワー」が裏付けとなっていたことを忘れてはならない。「企業（アニメ制作会社も含めて）」は「売れる見込み」があるからこそ、ブームを維持する為に「投資行為（新規制作、再放送、影画化等）」を推進するのだという鉄則をいっときなりとも忘れさせてしまう程の「手応え」をガンダムブームは確かに持っていた。中・高・大学生から発したガンダムブームは、映画化と次々と発売されるプラモデルの新製品によって、一気に低年齢層にまで広がり、小学生の間ですらも「ガンダム」を知り、「ガンプラ」（ガンダムのプラモデルを当時こう呼んでいたのですヨ。念の為…）を友人より一つでも多く所有することがファッションであり、ステイタスになってしまった。まして、アニメ好きを多少なりとも自認する人種においては、「ガンダム」を語ることが「カルチャー」になったのである。この時期、他人の知らないメカの名前や各種設定を得意気にしゃべりまくるアニメファンのクラ〜イ本性が明らかになった（ジョーダンですよ、冗談……でもないか……?）ただ、ガンダムブームを軸として「アニメファン」という人種が、アニメを商売にしている各種企業にとって、大きなボリュームゾーンであるという認識を与えたのは事実である。これが、大きな誤解であったことに気付くのは、まだまだ後のことだ。それよりも大事なことは、ガンダムブームによってアニメファンがアイデンティティを持つことが出来たことであり、アニメがその作品自体で評価される土壌を、それ以前の『宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道999』を上回る規模で再び造り出したことであろう。それと同時に『ガンダム』は、より先鋭化した「マニア」を育て、アニメ作品の視聴者を限定する方向にアニメ界を導いてしまった。それが、今日の「オリジナルアニメビデオ」の隆盛と、俗に言う「アニメ業界」の不振を一緒に招いたのも事実である。それはさておき、放映から六年の月日が流れた現在でも『ガンダム』の魅力は衰えていない。（と、筆者は勝手に思い込んでいる）ここで、当時よりは多少なりと醒めた目で『ガンダム』を見直してみよう。

『機動戦士ガンダム』のすばらしさをひとことで言うならば「バランスが良いアニメ」と言うセリフで事が足りる。こう言ってしまうと、まるで『ガンダム』をけなしているように聞こえるかもしれないが、それは大マチガイ!! アニメーションを造る上で、すべてのスタッフの才能がバランスを保つと言うことが成功の秘訣。特に、テレビアニメシリーズというのは毎週毎週二〇〇人を越える関連スタッフをまとめて行くという大仕事。これは並大抵の苦労ではない。シャアの言葉を借りるなら正に「冗談ではない!!」のだ。それができない作品に限って、始めから一人や二人のスタープレイヤーの名を前面に出すことでファンを誤魔化していると言っても過言ではない。筆者はこういったアニメを「ブランド化したアニメ」と呼んでいるが、ガンダムにおいては後になってスタッフの名前が、それまでアニメを知らなかった人達の間でもてはやされたのであって、後に多発する「ブランド化したアニメ」と成り立ちが異なる。ガンダムを面白くしていた最大の要因は「プロ中のプロ」といえる人達、特に監督の富野善幸（当時はこう書いていた）氏、キャラクターデザインの安彦良和氏、メカデザインの大河原邦彦氏の三人の才能がぶつかり合う中でバランスが取れていたことだ……なんて言うと、いささかキレイ過ぎてしまう。ひらったく言ってしまえば、「三すくみ」と言うコトバがぴったりではないかと思う。「三すくみ」を御存知ない読者（『うる星』にも出てきたんだけどネ）の為に若干説明すると、ガマガエルはヘビが苦手で、ヘビはナメクジが苦手、ナメクジはガマガエルが苦手と言う前提で三者が出会ったらどうなるか? 三者三様に苦手な相手の裏をかこうと必死に考えを巡らすが、思い切って飛びかかることもできず、タラ〜リタラ〜リ…というのが"三すくみ"。ただ、すくんで動けないというのとは違い、必死に考えながら勝手なことができないところがミソ。その「汗」を汲み取って生かしたのが『ガンダム』であった（筆者注・お三方をどれになぞらえているわけではありません。念の為…）。三氏の才能が今はやりのブレーンストーミングに閃いたのではなく、それまでの「ロボットアニメ」とどう差別化していくかを、それこそ油アセを流しながら作りあげたという感じで結実したと言える。「宇宙世紀」という壮大な構想や「ニュータイプ」というスーパーヒューマンが暴走することなく、またネクラ少年の「アムロ」を始めとするキャラクターも現実の視聴者に限り無く近いとは言いながら、ほんのちょっとだけ現実の上をいっている。「兵器」としてのロボットを確立した「モビルスーツ」ですらも、物語中で「使う人によって性能が変わっちゃう……」などとアムロに言わせながら、やはり「ガンダム→アムロ」であり、「赤ザク→シャア」であり、「グフ→ランバ・ラル」であった。本来、兵器であればだれが乗ろうと、名手であれば問題がないハズであるが、そこには微妙なタッチで人物キャラクターの投影が感じられた。その後の、何でもかんでも新型メカに乗り換えるアニメと大きく異なる点である（最近は「ム、ム、早い…敵の新型か?」」と言うだけで、新型の可変モビルスーツが登場するらしい……困ったもんだ……）。

さて、いくつかの切り口から『機動戦士ガンダム』を料理してきたが、現在ビデオソフトとして見ることが出来るのは映画版の三部作『機動戦士ガンダム』『機動戦士ガンダムⅡ哀・戦士』『機動戦士ガンダムⅢめぐりあい宇宙』（そら）のみである。幸いなことに、TV版の主要なエピソードはほとんど網羅されている。ただ筆者としては「イセリナ、恋のあと」がないのが不満だが……まあ、いいか。この映画版で面白いのは、TV放映当時オモチャ屋さんのゴリ押しで（そうとしか思えない）登場した「Gパーツ」という不格好なガンダム強化パーツ（ぬわんと、順列組み合わせで4〜5タイプに遊べる!! いかにも……）がどこかにワープしてしまい、そのおかげで、Gパーツの助けでやっと倒すことが出来た「ザクレロ」までがどこかへ行ってしまった。まあ、両方とも大してストーリーに影響するほどのメカではなかったんでしょうネ!? 読者の中で「ロボットは合体が全てじゃあ!!」という方は友人をたどって「標準（或いはBⅡ）で全話持っている。」などというもはや社会復帰が不可能なマニアを捜すこと。（筆者もそうですがネ）Gパーツとの合体シーンの度にノケゾルのは保障ツキ。もう一つ、映画版で特筆すべきことがある。それは『ガンダムⅢ』のロードショー当日、筆者も当然映画館へ足を運んだ。周りはほとんどが小・中学生のガンダムファンであったが、彼らが一様に高級一眼レフカメラを持っているのに驚いた。「ははあ、これはきっとモビルスーツを撮るんだナ。」などと思う内に映画は始まった。ところが…ところが、である。「ガンダム」が出ようが「ゲルググ」が出ようが、彼らは一向にシャッターを切ろうとしない。「はて、面妖な…?」と思ったとたん突如、まるで嵐のようにシャッターの音が一斉に（オオゲサでは無い）巻き起こった。中にはストロボを焚くアホまで居る。「な、何なんだ。こいつらは…」がく然とする筆者の目に写っていたシーンは、なんとTV版よりも延長されたセイラの入浴シーンであった。「この少年ファン達が数年たったら…」その時、筆者にはきたるべき「ロリコンアニメブーム」がおぞましくもはっきりと予感できた。昭和57年3月13日のことであった。…「もしかしたら、私はニュータイプではないか…?」…

つづく（…かな?）

ライター

アニメ業界えぐり・エグリ

鷹・OTAKU・西郎

『グロービアン』の愛読者のみなさん、初めまして。鷹・OTAKU・四郎です。ニックネームでおわかりのように生来のアニメ好きと好奇心旺盛なのが災いして、アニメ界をあっちへフラフラ、こっちへチョロチョロ。確認・未確認を問わず各種情報をあさりまわって一人でニタニタしていた所、『グロービアン』の偏執部（失礼!!）編集部に目をつけられたのが、ウンのつき。アニメ業界のウラ話を書くという、一見ラクな話に乗ったのが大間違い。これを書いたらアイツにうらまれる、あれを言ったらヤツに殺されるといったネタばかり。あれも駄目これも駄目で、あれよこれよという間に締め切りが近づいてきてしまった。さあ、困った。「自分の若さ故の過ちというのは認めたく無いものだなあ」などとバカを言いつつ数時間。「えーい、もうしょうがない。やってやるぜっ!!」とばかりに書き始めたのがこの文章。中には人から聞いただけの話もありますので、全てが真実とは限りません。根性固めて、さあ、スタート。

アニメ業界って?

のっけから「そんなこと知ってらい。」と言われそうだが、果たしてそうかな? まあ、お付き合いくださいヨ。アニメ業界と言って

まっさきに思い浮かぶのがアニメプロダクション。その他にもTV局、スポンサー、ビデオ会社、レコード会社、出版社、文具会社、アニメショップ等々……アニメで商売をしている企業は数多くある。大きな目で見れば、そのどれもがアニメの成功をめざしていることは間違い無いのだが、各社ごとに見ていくと何をもって「成功」と言うかはずいぶん違うようだ。さしあたり重要そうな企業を多少いじわるく見ていくと、まず、TV局、ここは何といっても「視聴率」。視聴率さえ取れれば何年でも同じアニメを続けて行きたいクチ。『うる星やつら』や『キン肉マン』はそのいい例。次は、すぐ悪玉にされるカワイソーなスポンサー。ここは「キャラクター商品」が売れることが「成功」の条件なのは、皆さんご存知の通り。それも月に何百万何千万も提供料を払っているんだからしようがない。売れなくてツブレた会社がずいぶんありましたなァ。ツブレッちまえばアニメも無くなると言う理屈が、どうして「頭のいい」アニメファンにわからんのかねェ。日曜日の昼間のアニメが無くなったでしょ。さて、アニメプロダクションを後にしたのは、前にあげたTV局とスポンサー双方の目的を同時に狙っているのがアニメプロダクションだからだ。つまり、アニメの人気が出ることで、新たに放映したいという地方局や再放送したいという局が増えてくれれば、微々たる額ではあるけれども放送権料がはいり、キャラクター商品が売れればそれだけ収入があがる仕組みだから。もっとも、TVアニメの制作費が本来赤字なんだからこれはやむを得ないことか。でも、極端な言い方をすれば、百円の商品ひとつ売れても、その何%かが入るんだから……。最近では、ビデオソフト化にかなり熱心なところもあるようですが……。ビデオが出たところで、次はビデオ屋さん。ここは、かなりしっかりしている。TV放送が中途で打ち切りになるという情報が流れたとたん、「幻の最終回ビデオ」をすかさず発表するという始末。最近では打ち切りを待ってるのではと思わせるペースです。まあ、「幻の最終回」や「オリジナル後日談」なんてのは、歓迎できる部類ですが、アニメプロダクションと一緒になって「一つのアニメで二〜三回は儲かるTV総集篇」を何本も出されると、「よーやるよ」としか言えなくなる。どうしても、こういった各種企業の手を経なければアニメが見られない以上、もし理想的なアニメを見たければ、大会社の社長になって、アニメ一本を丸ごと提供するっていう「仁丹テルモ方式」をとるっきゃない。もっとも、こんなドロドロした状況を経て放送されるアニメ作品の中にもたまーに素晴らしい作品が出て来るからこそ、アニメファンがやめられないんですがネ。

　最初にクライ話をしてしまったので、後がラク。

業界デマについて

　とにかく、この業界ぐらいウワサ、デマのたぐいが多い業界もないでしょうネ。これが全く根も葉もない話ならいいんだけど、いかにもホントって言う感じのデマが多いこと、多いこと。これはアニメ業界の体質になってしまった、アニメファンからマニア（言い変えればキ××イ）になり、プロダクションに出入りしているうちにそこの仕事を手伝うというパターンに起因していると思うんだけど、自分の職業と趣味がごっちゃになってる人が多いようだ。それでもアニメーターとして社員になっている人は良いのだけれど、仕事なのかそうでないのかはっきりせずに、あっちこっちのプロダクションに出入りしているタイプがこわい。なまじ知識もあるし顔も広いので、言うことに妙なリアリティーがある。そういう人が流す情報は、大抵悪いうわさで「××プロはあぶない」とか、「誰それがプロダクションを辞めるそうだ」とか、「あの企画はツブレた」などが大体のパターンと言えるが、中には「スポンサーのどこそこは×月には不渡り手形を出す」なんていうオソロシイのまである。更に恐ろしいのは、それらのうわさが現実となる確立は何%かはあるということだ。従って、この手の人種とのつきあい方は、まず最初「ふむ、ふむ、なるほど…」などと言いながら、いくつかの情報を聞き出す。次に、何カ月かの間にその実現確立のデータを取り、当たる確立の高い人をピックアップして…これじゃ、競馬の予想屋選びになってしまう。まあ、悪気は無い人達ですので、適当につきあってやってください。

アニメのネーミング

　読者のみなさんはアニメのネーミングと言うと、企画スタッフのだれかが、以前から考えていた名前とか、発作的に思いついたんだろうぐらいにしか思わないでしょうが、どっこい、ネーミングを決定するまでには大変なのです。かの『機動戦士ガンダム』が当初は「ガンボイ」と言う名前だったことは、有名なことだし、『魔法使いサリー』が最初「サニー」とする予定だったのに、当時新発売の自動車の名前に使われるのが判明した時点で名称を変更したなんていうのは、つい先頃も他誌に乗っていたネタでみなさんご存じのハズ。ところが現実はこんななまやさしいものでは無く、ネーミングを決定するのに、どうしてもクリヤーしなければならない難問があるのです。それは「登録商標」が取れなければならないこと。何せ法律のことですので、非常にややこしくて、詳しく説明することはできないが、簡単に言うと「他の会社が以前に同じ名前や似た名前で商品を登録していないこと」が必要なのだ。そうでないとアニメを作ったり、商品を売り出した後で、名前の使用料や名前の変更を要求されても文句が言えない。万一、そんなことが起こったら、商品パッケージを変更したり、宣伝用のポスターやコマーシャルまですべて作り直すことになって、大損害を受けてしまう。そこで、考えついた名前に似たものが無いかを、全て事前にチェックするわけだが、これが四〜五日かかる上に費用もかなりかかるのだ。特に一般的な名称は要注意。雑誌に連載されていた時は『コブラ』でよかった作品が、アニメ化するのに「スペースコブラ」と変えたのが良い例です。ところがこの例でも『スペース・コブラ』というようにスペースとコブラの間に点を打つと、コブラを単独で使ったのと同じとみなされてアウト。それが理由で、はたから見ると適当なカタカナを組み合わせたような、意味不明な名前が多くなるわけだ。ところが、不思議と似たような名前はあるもので、一時はタイトルの一部に銀河××とか、宇宙××とかをくっつけて登録するといった手でにげた例も多いのだが、最近ではそれも難しくなったようです。この苦労が作品タイトルに限らず、商品化されると予想されるすべての物（メカ等）に必要なのだから、これは大変。その上、英語での表記もするとなると今度はスペルの問題も出てくる。英語で一般的に使われる名称の場合は、スペルを変更しなければならないのだ。傑作メカ「バルキリー」の英語表示も、本来の「ワルキューレ」から発したスペルとは変えられている。これらの法律的な規則とは別に、タイトルの一部に昔からある商品名などが含まれていた場合に、後でお互いにイヤな思いをしないために自発的に変更することもある。企画当初は『オメガゾーン23』という名だったのが、時計に「オメガ」があったので『メガゾーン23』としたのが、その例だ。

　さて、そろそろ最終コーナー。最後はアニメファンにとってかなりハードなお話。

オリジナルとTV、どっちがお得？

　昨今、アニメ界はオリジナル（ここでは、TVシリーズ以外のものという広い意味で捉えてください）ばやり。それに反して、TVアニメは『飛影』『ユーミ』『レイズナー』の相次ぐ打ち切りでやや不調ぎみ。秋からいくつか、おなじみのプロダクションで新作が放映されるものの、アニメファンを自他共に認めるみなさんは「ジャリ向けが多いなあ」とガッカリしているのではないかな？　そう、今またアニメは一つの節目にさしかかっているのですヨ。それは、最初に書いた「アニメ業界」のなかで、TV局は「やっぱりファミリーで見てくれるモノでなきゃ視聴率が取れん」と考え、スポンサーは「ガキでなきゃTVで見たものにすぐ飛びつかん」と思い、アニメプロダクションは「オリジナルは儲からん。若手がはりきるのはエエが、その分コストが嵩むし、TVみたいに一つ作ると財産になって何年は商売でける方がエエ」と言い、一部のビデオ屋は「前みたいにボロイ商売でけんようになった。レンタルは増えるし、ファンも減ったようで、前みたいな本数が出エへん」とぼやいているのが現状であります。言い方は多少脚色しているものの、ほぼ実際に聞いた話を要約しているつもりです。これを読んで腹のたたない方がもし居たら（居ないとは信じていますが）、その人はすぐにアニメ関係のビデオ、書籍をお払い箱にして「アニメファン」を廃業すべきでしょう。まずアタマに来るのがビデオ屋の言い草。ブームに乗っかってクソおもしろくもないビデオアニメを粗製濫造しておいて、よく言ってくれるとは思いませんか？　ただ面白いのは、つまらないアニメを出しているビデオ屋に限ってこういった発言をしていることで、小品ではありながら、次々と話題作を出しているビデオ屋さん（あえて「さん」をつけちゃう）のプロデューサーはちょっとニュアンスが違う。「まあ、以前の映画用の超大作の数字と比べれば少ないけれど、どだい比べるのがおかしい。作品をきちんと作れば損はしませんよ」少し補足すると、レンタルだけでも損をせずに、しかもそこそこ面白いアニメを作ることは不可能では無いし、もうちょっと売りたいと思えば、もう少し費用と時間をかければアニメファンはちゃんと反応してくれるから、心配はしていないという、何とも心強いコメントをくれました。こんなプロデューサーが増えれば文句は無い。逆に、TV局やスポンサー、それにアニメプロダクションは低年齢向けのアニメでたっぷり儲けて、余力をつけてもらうと同時に、アニメファンの予備軍をせっせと造ってもらう方が、アニメ市場もでかくなるし、余程我々の為になるのでは？　さあ、アニメファンの君、弟や妹、近所のガキからファミコンを取り上げて、TVアニメを見せよう。もし、塾で見る時間が無いなんて言ってたら、ビデオにとって寝る前に見せちゃおう。アニメの未来は明るいぞ。あーあ、やっと明るくなった…。やれやれ…。

研究家

『ロボテック』はなんと日本の『マクロス』と『メガゾーン23』をたして出来た海外アニメだ

フレッド・パッテン

過去一年間、アメリカでは、どうやって、『マクロス』、『サザン・クロス』、『モスピーダー』を組合せて、一本のテレビ番組『ロボテック』に構成したのかと多くのニュースが流れた。今まで、テレビシリーズのアニメは、基本的には、日本のそれぞれの番組を翻訳し、そして、オンエアされてきた。この夏からは、この『ロボテック』シリーズに新しいオリジナルの作品を追加し始めた。勿論、アメリカ人が考えた新しい作品だ。

7月25日に、テキサス州ダラスで、『ロボテック』の映画のロードショーがあった。タイトルは『今だ語られない物語、ロボテック』だった。この映画は、一九八四年に制作された『マクロス、愛を憶えていますか』ではない。実は、これは、ハーモニー・ゴールドが買付けた映画、『メガゾーン23』を参考にして制作された新しい映画なのだ。何故この作品を買ったかという理由は、美樹本晴彦氏のデザインによるこの『メガゾーン23』が『マクロス』シリーズの一部によく似ているからであった。

この物語は、『マクロスSDF－1』がプルート（冥王星）軌道に入ってから二〜三年後、そして地球に戻る以前に設定されている。新しい地球統一政府は、将来において、ゼントラエデなどの異星からの攻撃から地球を守る為に、極秘的に防衛網の強化に急いでいた。何故極秘的に動いていたかというと、一般人をおびやかさないように指示されていたからである。

イブの知的スーパーコンピューター（『メガゾーン23』でのバルモウド）など『マクロスSDF－1』で発見されたようなテクノロジーを政府は利用し始めていた。しかし、新しい悪漢（『サザンクロス』では、ゾール・ロード）どもが地球を支配しようと企てていた。

この悪漢は、ロボテック・コスターと呼ばれ、保安隊将校であるB・D・アンドリュー大佐（『メガゾーン23』のB・D役と同じ）を秘かに殺害してしまい、代わりに、クローンで複造し、全ったく同じような人間を支配下に置く。そして、このクローンの人間、にせもののアンドリュー大佐に政府を転覆させるように命令する。しかし、大佐の部下の一人、若い兵隊は、疑惑をもつが、保安隊の誰一人にこの話を打ち明けなかった。そこで、彼は、民間人の友人に調査を依頼する。この若い兵隊は、トッド・ハリス（『メガゾーン23』のしんじ役）、そして、彼の友人はマーク・ロンダリー（矢作章吾役）だ。

これからのストーリーの展開は、『メガゾーン23』と同じである。ハーモニー・ゴールドは、『メガゾーン23』のプロデューサーにこの『ロボテック』の映画の為に15分のアニメの製作を依頼した。この部分には、最初の方とクライマックスのシーンが含まれている。クライマックスは、章吾役のマークがB・Dと対立し、そして、撃退するまでであるが、このシーンは、ちょうどゾール・ロードの侵略が始まる前に決着する。

8月22日、『ロボテック』の漫画の出版社、コミコ社は〃ロボテック・ザ・グラフィックノーベル〃という48ページの本を出版した。この本は、映画とは、全く関係のない内容になっている。この出版の目的は、『マクロス』で見られたような冒険を再現する為に、アメリカのロボテックファンの要望にこたえてである。

この漫画は、いかに『マクロス』のSDF－1が建設され、乗務員を失い、そして、一九九九年に地球に墜落したまでが描かれている。リック・ナンター（一条輝人の役）の子供の時や父とエア・サーカスでの飛行なども描かれている。又、ロイ・フッカーが、一九九〇年代の世界大戦の中での戦闘パイロットとしての姿もかきだされている。



音響監督

僕のポジションから音楽監督の仕事について話してみよう

松浦　典良

仕事についてのコメントはにが手だ。キャストについてはキャラクターを一番把握している監督が語るべきだと思うし、音楽のつけかたなどは自分のハラワタを見せるようでカッコ悪いと思う。送り手の説明は受け手の想像力を枯渇させぬように思うし、音という感覚的な（論理的な裏づけはあるのだけれど）面まで理屈をこねるのはつまらない。そしてどうも自己弁護をしそうでヤバイなあという気がするのだ。しかしかといって、文才もない。たのまれた原稿用紙は埋まるのだろうか。

さて、音楽監督の仕事の仕方は人によりまちまちだ。音響現場からの発言といっても普遍的なものではない。今回は、あくまでも僕のポジションから見えることごとを記してみようと思う。

※　※

TVカメラの二十数年の歴史にもかかわらず、アニメ創りの理想的なシステムは今だ確立されていない。そしてビデオというメディアを得たものの、やっぱりアフレコ・ダビングに絵が間に合わない場合がある。言葉の勢いがなくなるから、多少の口パクのズレにはこだわらないが、問題は位置関係や、口のあけ方等の表情によるニュアンスのちがいが、役者の芝居を浮かせてしまう事だ。ラインミスなどにいたっては問題外である。TVシリーズなどでは、プレスコ的なセリフのガイドを作っても、役立ててもらえるヒマもあらばこその殺人的スケジュールなのだ。セリフだけではない。白いフィルムにどうやって効果音をつけるか!?　音楽の出し入れの繊細な部分も把握しずらい。カッティング前のフィルムなども問題外である。最近のビデオはさすがにそんなひどいのはないが、音響監督がアホやからでは済まされない。作品そのもののグレードを落としてしまうのだから。アニメ界全体のシステムに起因するところが多く、制作スタッフの苦労は承知しているが、だからこそ、企画から制作GOの段階でのしっかりしたツメが欲しいと思う。

じゃあ、絵がそろえば優れた仕上げが出来るかという論議は別の次元のことである。

※　※

たくさんのキャラクターたちに声を配してきた。

企画の段階で決められているものは、僕の力量不足もあって、音響現場でツジツマを合わせせられず、ブーイングごもっともというのもあるし、思いがけぬ新鮮さに出会うこともある。この点はプロデューサーの見識とセンスに期待する他ない。

決定までに紆余曲折はあったものの、いいキャストが組めたなあと思ったのに、すさまじいブーイングがおきたのが「みゆき」の若松みゆきと若松真人である。原作のイメージを尊重するのは第一義なのだが、ムードでなく絵が動くということ、アニメとしての作品への視点なども考えてのキャストだったが、罵声とびかう一年であった。しかし特に荻野目洋子のテクニックを越えた得がたい清潔さ、おにいちゃんを連発してもいやらしくないケロリとしたイントネーションの可愛いさを聞き取って欲しかった。キャラへの想い入れや好みは多様だから、いつの場合も万雷の拍手は期待してないが、あのおそろしいブーイングは今だに残念である。もしかしたら僕にケンイがあれば納得してもらえたのかもしれない。音についてはわりとそんなところがあるのだ。洋子ちゃんには気の毒であった。

ただ、作品への視点が登場人物に同化するのでなく、〃あんなこと言ってるよ〃〃かわいいね〃〃やさしいね〃、と俯瞰でほほえましく見守ったり、〃バカだねえ〃と指さして笑ってしまったりという、おじさんの視点だったからかなあと思ったりしてもいる。

※　※

TVシリーズの場合、週一ペースのスケジュールの都合で、あらかじめ録音したものを毎回選曲という形で音楽をつけてゆく。この場合、選曲だからこその大胆な独創的なことが出来る場合もあるが、音楽を色わけ的に使いがちで、テクニックとしてもフェーダー処理によって音楽を仕切らざるを得な

いため、作品によってはいまいち全体の深みとか余韻が出ない。せめて映画やビデオでは、カッティングを終えた段階で構成を組み、作曲家に依頼するのが望ましいのだが、なかなか許される状況にない。

そこで絵コンテの段階で構成をきめ、音楽メニューをつくることになる。ここをラフに流してしまうと、出来上ったところであわてたりする危険もあるので、絵コンテの共通解釈と音像の確認ベースとして（絵の動きに合わせる為でなく、あくまでも奥行きを出すという意味で）、構成メニューは目いっぱい書き込んだ松浦式メニューと相成る。どんな曲調でどこで転調して、どこでクレッシェンドしてどう終るか等々作曲家のイメージの泉にくらべれば貧相な言葉が並ぶわけだが、たたき台として重宝してもらってるし、現状ではベストの方法だと思う。カッティングで多少の変更はあるものの、まあ、うまくいってると思う。

スケジュールの都合で、シナリオの段階で構成をおこして、音楽を創ったのが『バンパイアハンター〝D〟』。一曲ずつの展開にドラマ的起伏をつけてもらったので、映画音楽としてうまく乗ったが、タイミングの処理には細心の注意とエネルギーを要した。

『ハビストックI』の本田氏とは直接コンタクトがとれず燃焼不足のところがあったのが残念である。

オリジナルでなく、既成の音楽を使いたい場合もある。映画では『イージーライダー』あたりからよくこの方法が使われているが、簡単なようでいて作り手のセンスを問われるむずかしい方法だと思う。

僕自身は『みゆき』で'50～'60年代のアメリカポップス、いわゆるオールディズの原盤を使いたかったが、音楽使用料は計り知れず、BGMにそのフィーリングをとり入れるにとどまった。

『カルフォルニア・クライシス』は『みゆき』や『街角のメルヘン』でも音楽志向の強い演出をした西久保監督が、シナリオの段階から音楽を充分に意識して作った作品である。'60～'70年代のウェストコーストサウンド。スリードッグナイトの〝オールド・ファッション・ラブソング〟とか、初期のイーグルスの〝ディク・イット・イージー〟とかのちょっとなつメロ的なカントリーロック風のサウンドの原盤でいきたい意向だった。ライブシーンはパット・ベネターを想起させるワイルドなギンギンのハードロックである。予算的なところで監督は音楽的にずい分歩み寄る作業となった。

結果的には音楽のクオリティも高く、映像とのフィットもよく、素敵な作品に仕上ったと思うが、音楽への想い入れの深い監督の初志が貫ける状況があればと思う。

日本の演奏盤のあるクラシックや日本のアーティストのものはレコード会社の協力があれば可能になっている。手法としては新しいことではないが、将来に向けて企画制作各社、レコード各社のご尽力が欲しいところである。

※　※

映像のお助け音楽的な役割を強いられた場合は、音楽も活かされず、何かあざとく底の浅い仕上りになってしまう。やはり演出がしっかりしていて映像のクオリティが高ければ、無理なく音像が乗り理想効果が得られるのだ。

そして音楽についての監督の理解と、音楽プロデューサーのパワーと、何よりも作曲家の才能がなければ僕なんぞ逆立ちしたっていいサウンドは得られない。

近頃はこのスクラムがしっかり組めるケースが多いので、納得のいく仕事をさせてもらうことが多い。

すぐれた音楽が、アニメの世界のその場かぎりで消えることなく、たとえば『カサブランカ』の〝時の過ぎゆくままに〟のように映像共々スタンダードナンバーとして世に残って欲しいと思う。

※　※

音楽のように目立たないが、効果音の音質はとても気になるし、効果音の効果に期待するシーンも多い。僕が自らお願いしているスワラプロの伊藤克巳氏はオリジナリティを重視して、その都度サウンドを工夫してくれる。一週間も家に帰ってないのを承知で、〝これちょっと違うんじゃない?〟など、と、酷な注文をして、ムッとして、コンチクショウと確実にいい音を創り直してくれるガッツマンである。

スタジオの技術スタッフも、黙々と根性のすわった作業で吹けば飛ぶよな音響カントクをサポートしてくれる。

音響カントクというポジションはけっこう気をつかうのである。本質的には監督の代行である。しかし専門セクションとしてのアイディアやセンスは要求される。だが作品は監督のものである。意見が割れてまとまらなければ譲るべきである。とはいえポリシーのない強権発動や変節には断固抵抗すべきである。そうするとクビになったりもするのである。まこと吹けば飛ぶよなポジションなのである。とに角、お役に立つ裏方でありたいと思う。

※　※

ビデオアニメが増えた。そしてTVアニメと同じように粗製乱造の屈辱的フレーズをぬぐい去ることが出来ない。

スタッフにパワーがあれば好条件を引き出せるのか、条件が悪いからパワーが出せないのか。食うために仕事の場を与えられるのはありがたいというのは本音である。しかしのどごしのいいメシを食いたいと思う。

誰がリスクを背負うのかということを考えれば、売れないという論理も当然である。しかし売れるというのはどういうことなのか。今のところはまだ既成の市場価値で判断されることが多いと思う。ホームビデオで映画を見る感覚の作品で路線を拡張出来ないだろうか。アニメファンは映画ファンの親爺さんと並んで見るのだ。子供も背のびして大人の世界を見るのだ。甘いかなあ。

『第三の男』が好きだ。モノクロ画面の光と影のバランス。構図。オーソンウェルズのにくいキャラ。アントンカラスのチター一本の音楽。シンプルだが吸引力のあるストーリー。画面がチラチラする程見たってあきない。良質高度のエンターティメント。

いろいろな作品にたずさわって、関係者の意欲や苦悩や歯ぎしりを聞いている。才能と意地がいくつかの佳作を生んでもいる。アニメ界のパワーは捨てたもんじゃないと思う。でなきゃ、メシがのどを通らないではないか。

プロデューサー

カリフォルニアクライシス制作後記

栃平吉和

昭和61年7月22日、『カリフォルニア・クライシス』が発売された。

オリジナルビデオ作品として企画がスタートしたのが昭和60年9月だったので、約10ケ月の制作期間だったことになる。

通常45分の作品の制作期間は5～6ケ月というところなので、『カリフォルニア・クライシス』はスケジュール的には恵まれていた事になる。しかし、それでも時間がもっとあればと思うのはアニメーションの制作に関っている全員が持っている希望だと思う。やはり一日でも時間があれば、やり直したいカットが必ずあるからだ。『カリフォルニア・クライシス』にしても、時間がもっとあればやり直したいカットはいくつもある。

次に、作品の内容へ話を持っていく事にしよう。最初の企画では、日本人にとっても憧れの地であるアメリカ西海岸のカリフォルニアの青い空と海、近代的な街々。荒涼と広がる砂漠を舞台に、現代でもその実体は謎に包まれているUFO（未確認飛行物体）や宇宙人との遭遇を中心にしたSF色の濃い作品にするはずであった。

本作品の題名『カリフォルニア・クライシス』、つまりカリフォルニアの危機とは、正に宇宙人と米軍やソ連軍まで巻き込んでのカリフォルニア滅亡の危機を指すまでストーリーは発展していった。従って本編ではSF色を弱くして、宇宙人の存在は匂わせているが、UFOらしき物は2～3カットの登場場面したなかったのである。

しかし監督がシナリオを書き進むに及んで、どうしても、作品の狙いの雰囲気に宇宙人の存在は無理が生じてしまうのがわかった。狙いとは作品を思い切ってイラスト的にする事である。

さて、シナリオの進行と同時に、舞台となるカリフォルニアの資料が必要になってくる。本当はロケーションに行くのが一番良いのだが、限られた予算とスケジュールの中ではとても無理と、日本国内での資料集めとなった。

海外旅行でも数多くの日本人がカリフォルニアに行っているのだが、観光ルートを一歩はずれた場所の資料は本当に少なく、書店、旅行社、図書館、そしてアメリカ文化センターなどを何日も捜し歩く事になった。特に現代でも使用している小物類などの資料はなかなかみつからず、作画に入ってからも資料集めをしているほどだった。シナリオ、絵コンテが完成すると作画に入るのだが、この作品で特に大変だったのが美術ではなかったかと思う。〝イラスト的に〟という事は、画面を静止状態にしても観賞に堪えうる背景でなくてはならないからである。短いカットであろうと長いカットであろうと、かなり描き込まなくてはならず、又、光と影の陰影を強調する為に影になる部分は思い切って黒色を多用した。当然、画面がかなり暗くなるカットもあったが、それなりに雰囲気は出たのではないだろうか。秒数の長いカットが多かったのも本編の特徴である。30秒、40秒、いや1分にもなろうとするカットもあったのである。

1カットが長いという事は同じ背景が続くので、ここではさらに多く描き込まなければならなかったはずである。このカットは仕上げの彩色ミスなどがあり、二度、三度と撮影をやり直し、ビデオ調整でも最後まで苦しんだので、特に忘れる事が出来ないカットである。

美術だけでなく、キャラクター・

デザインにも大きな特徴があった。イラスト的な背景とマッチさせるにはキャラクターを陰影を強調しなければならず、その為にトレス線を全て黒色にした事である。メカニックなどでは、よく影色を黒色でトレスする事があるが、人物の影そのものを黒のトレス線にしたのはこの『カリフォルニア・クライシス』が始めてではないかと思う。ロングの人物では黒のトレス線がつぶれてしまうのではないかと心配したのだが、背景との取り合わせはぴったりで、静止画面でも十分満足出来る仕上りになったと思う。

又、音楽とのドッキングも試みた。主題歌を唄う美穂さんのライヴ・シーンである。実際の美穂さんとは少し違っているが、アクションなどはかなり合っていたと思う。このライヴ・シーンも作画には苦労したカットである。まず出来た曲を小節ごとに秒数を割出し、美穂さんのライヴ・シーンの実写フィルムを参考にコンテを書いていくのである。曲のテンポはかなり激しいので、スピード感のある作画が要求されたのである。しかしこの音楽シーンも、最初の監督の考えては、一九六〇年～七〇年代のちょっと懐しい雰囲気をイメージしていたという事であったが、現代のカリフォルニアのイメージには美穂さんがぴったりであったと思うがどうだろうか。

他の作品とは一味違った『カリフォルニア・クライス』は、アニメファンだけでなく、イラストや音楽に興味のある方にも一度見てほしい作品である。

監督

ボクはいつでもアニメ少年

須貝　尚

僕は子供の頃からまんがが好きでした。おもちゃという物をほとんど持っていなかったので、良く絵を描いて夢や希望をふくらませていました。とにかくどこでも描いたんです。部屋の力べや地面や机の上などに描きました。今でもいなかの家に帰るとまだ消えずに残ってます。

そしてこんな僕はいつしか、自分が考えたキャラクターを物語の主人公にした作品を描きたい、そんな気持をつのらせていきました。

学生の頃は同人誌などに作品をのせたりしていました。しかし現実はなかなかきびしいもの。自信のある絵も人にみとめてもらうまでになるにはなかなかむずかしい事でした。

いつしか時は流れ、学校をでて就職が近づいて来るにしたがって、少年の頃からの夢は現実の社会のきびしさの中でいつしか忘れさっていきました。

僕は山形から東京へと、とある商事会社に入社し、営業マンとして働き、自分の一生はサラリーマンで終るのかと考えていた時、昼休みに入った喫茶店で読んだ求人広告が僕の人生を昔夢みたものへと、ふたたび変えていきました。

アニメーション、そう、それはTVアニメーション制作のプロダクションスタッフ募集の記事でした。僕はさっそくそこへ電話をして、面接を受ける事にしました。

そして面接を受け、採用と決まった時「ヤッター」と僕はもううれしくてうれしくてしょうがなかったのを今でもおぼえています。

一度あきらめていた夢がもう一度現実のものとなって、新たな第一歩を踏み出すことができるんだ。そしていつか自分の作品をひとつのメッセージとして、完成させたいという気持ちでいっぱいでした。

それからいろいろな作品の制作をてがけて、いろいろと勉強していきました。そして今、ようやく自分が心に秘めていた物を形にする時がきました。僕は今の視聴者にどの様な作品をどのような形でどの様なメッセージを伝えるか、責任を持った映像作りをしていかなければいけないのではないかと思っています。愛とか死、生、をあまりにも無責任に作りすぎているのではないでしょうか。愛のある死を美化しすぎていると思います。僕は生きる、生きているという事がどんなに尊く楽しい事かという事を一人一人自分の経験の中から感じとってほしいのです。

今までの一部のアニメの中で描かれている様な、きれい事の中に逃避するのではなく、現実から目をそむけずに自分の目と耳と手と足で体験してほしいのです。その様な事をふまえた上で僕自身の考え方をこれからの作品作りの中に盛り込んでいくつもりです。そしてロマンある夢は徹底して壮大であってほしいものです。僕は映像を作る者の一人として責任ある作品を作って行きたいと思います。

そのために、アニメーションは一部の人にだけあるのではなく、広く、世代にアニメに対するある概念をとりはらってもらい理解してもらう様に努力していかなければいけません。しかしそうは言っても小さな子供に感動や未来の夢を与える事を忘れてはいけません。

僕はこれからも、子供の頃に描いていた物をいかに正確に、そしてストレートに映像に出来るかという事を忘れずにアニメを制作していきたいと思います。

これが僕にとって次の世代に残していく大切な仕事だと考えています。

プロデューサー

韓国のアニメ業界の援助を抜きにして語れない

小西正夫

日本のアニメ作品、その約五分の一近くを生産する韓国、今や韓国アニメーターを抜きにして、アニメ業界は成り立たない。

君が何げなく見ているTVアニメ番組、あるいはビデオソフトは、多かれ少なかれ韓国アニメーターの手によって完成されたものと言っていい。

今日でこそ一定のレベルに達してきたものの、当初は出来上っても、その大半は使いものにならず、えらい苦労をしたものである。今日より約15年以上も前の話してはあるが。とはいえ、日本のロボットアニメに端を発した飛躍的なアニメ技術の進歩にはなかなかついてこれない事も現実である。

ただ韓国人のアニメーターは、自分の作品を、フィルムで見る機会を持てず、また資料等も入手がままならない。だからそれも無理からぬ事と思う。

ビデオデッキで、日本より作品を持ち込んで参考に出来るアニメーターは、ごく限られたひと達でしかない。

まだまだビデオデッキは、韓国では高価であるし、その普及率も低い。カラーテレビ放送が始まって、まだ3、4年しかたってないのだ。

邦画界がそうであるように、アニメ業界も又、若者の犠牲的な情熱なしには成り立たないのだが、全てにビジネスライクな韓国のひとたちには、経済的事情もあり、なかなか日本アニメは理解し難いものであったようだ。

韓国アニメーターは単に絵が好きであるからと言った理由だけで、アニメを続けていられるほど豊かではないのである。ただもう言っ



た意味ではひとつの職業としてりっぱに、成り立っているし日本以上に市民権を得てもいる。
日本の制作会社は大手を別としてまだまだ企業として体裁をなしてないが、韓国では少なくとも表面から見る限り、確立されているように思う。
ところで、君はどの程度韓国に対しての知識を持っているのだろうか？
生活日常品のなかにメイド・イン・コリアはすでに氾濫している。
歴史上、日本とは色々な意味で深い関りをもつ韓国ではあるが、その国の事はあまりにも知られていない。
なんとなく暗い国（日本人のもつ一般的なイメージ）などと思っている君に少しだけ韓国と言う国を紹介したい。
まず、韓国は軍事国家であるという事。
大統領はネクタイは締めてはいるがレッキとした軍人である。
三十八度線では今だ北朝鮮軍と国連軍（と言ってもほとんどがアメリカ軍、および韓国軍である）が対時し、今日に至るも停線状態のままである。つまりいつ何時、戦争が始まっても対応できるよう今日現在も、戦制体成なのだ。国家の安全保障は何にも増して、優先される国なのだ。
君たちが生まれた時よりタダ同然に思っている個人の自由は、この国ではかなり制限されているのだ。
男子は強制的に軍事訓練に狩り出され、ついこの前までは、夜間12時を過ぎると、外出禁止令なるものもあった。
高速道路上に着陸するジェット戦闘機はこの国の置かれている現実を象徴するものである。と書いてしまえば、えらく恐しい国、結局暗い国などと思うかも知れないが、決してそうでもないのだ。国の置かれている立場は、立場として韓民族はたくましく生きている。今やかつての日本の高度成長時代と同じ勢いである。
北朝鮮との関係も徐々にではあるが緩和し、今日では板門店で直接平和のための会談も重ねられている。ただ北の脅威なるものは、政治的に利用される事が多い。時には都合の悪い事が起った時の、韓国政府自身であったり、東西大国、つまりアメリカ、ソ連、又は中国であったり。あるいは軍事費を増そうとする。日本政府が韓国は北の勢力の防波提であるなどと利用したりもする。もっとも韓国防波提論なるものは、韓国政府が、日本からの借款を増そうと言い出した事なのだが、何の事はないお互いが、ちゃっかり利用しあっているのだ。
確かに北よりの脅威と言うものは歴然としてあるが、一方国際緊張を必要とする大国やその国柄に膨大な軍事産業を抱えた国の思惑が問題をより一層ややこしくしている。
地理的に重要な位置に存在するとは言え、他国が平気で韓国をもてあそんでいる。
こんな事がいつまでも続くようでは、やはり近くて遠い国でしかない……。
一方日本人の韓国観は、差別意識なしには、語れない。あえて多くは書かないが、アニメに関係する話では、韓国人アニメーターの名前はごく最近までスタッフ表のクレジットにすら出なかった、制作会社、あるいは放送局・クライアントのえら～い人たちが出させてくれなかったのだ。
話がよこ道にそれてしまったのだが、このくらいの事は、特に若者に、知ってもらいたいのだ。人と人が信頼し合ってこそ本当に良い仕事が出来るというものである。
アニメ制作上、一番の障害は言葉である。韓国の若者は、あたりまえであるが日本語がわからない。だからよほど綿密に打合せを行なわないと演出家の意図とはまったくかけはなれたものが出来上ってしまう。
同じ顔をしたアジア人ではあってもその感情表現は日本人とはあきらかに違い、しばし演出家は頭をかかえ込んでしまうのだ。
同じ喜怒哀楽の表現の仕方が違うのである。従って韓国で作画する場合、演出家は日本で作画する場合の倍の能力を要求されてしまう。その能力のない演出家では韓国とコンビは組めない。
たまにそうでない演出家との合作でとんでもない作品が出来上ってしまい、夜を徹してのR作業になってしまう事もしばしばである。
又、韓国で作画すれば早いと、基本的に誤まった考え方の基に作業は進められている。
韓国のアニメーターにしてみれば、作業が早いのではなくて、あたえられたスケジュールに合わせているだけの事である。
時間がなくては、良いものが出来上らないのは、日本も韓国も同じ事なのに、何故か時間のないものばかり韓国に送ってしまい、結果的に日本に着いてからの直し作業でてんてこまいしているのである。
どうも制作会社の認識がどこかおかしいような気がするのだ。
さらに経済的事情のために日本人のアニメーターのように趣味的な仕事はできない。収入面を無視しては、親や兄弟に対する援助が出来なくなるからだ。
韓国では大半のひとびとが一人前になれば、いや一人前になる以前から、親や兄弟のために働いているひとが多いのだ。
さらに突貫作業のまっ最中に軍事訓練に狩りだされたりもする。
こんな苦労を海をへだててしているのだ。
韓国内でもアニメ人気は高く、日本で作られた『フランダースの犬』『アルプスの少女ハイジ』『ミンキーモモ』などは、韓国製のテレビアニメーションがないせいもあって、かなりの人気を博していた。
公の機関、局などでは日本語は話せないので、字幕スーパーではなく全て韓国語にアフレコされていて、なんとミンキーモモが韓国語を喋ってしまうのだ。なかなか見ていて楽しいものである。以前には『マジンガーZ』『ガッチャマン』『遊星仮面』『鉄腕アトム』（確か、韓国でのタイトルは『アトムボーイ』だったと思うが…）などが放送されていたが、今では放送禁止となってしまった。暴力的であるというのが、その理由であるが、まったく残念である。
もっとも実写ではあるが、アメリカの戦争映画は、何故か許可されている。もちろん日本軍が敗退する内容のもののみであった。
この問題は表向きの理由はともかくとして、奥の深い問題を含んでいる。ちなみに、日本の実写作品は一切韓国内では、公開出来ない。
又、韓国内では、韓国の企画制作によるアニメ作品が春又は夏休みに劇場で公開されている。
だいたいが歴史物などであるが作品の完成度は、おせじにも良いとは言えない。
なんたって、予算が少ないのだ。
いずれにしろ韓国ではテレビ番組に（アニメも含めて）にしろ劇場で公開される映画にしろ、国策の一環であるのだ。例え子供向のアニメーションであろうと政府の意向を無視しては制作出来ない。
だからと言って韓国は怖い国だなどと思ってもらってはこまる。
韓国社会の今日置かれている厳しい状況には、かつての日本の誤まった国策が深く影をやどしていることを忘れないでほしい。
こんな事を知った上で日韓合作のアニメを見てみると、又違った見方が出来るのではないかな。

アドバイザー

スーパーアニメーターへの道

第1章　入門の巻

樋口純郎

まず××アニメーション学院とかc.c.c.c.デザインとかを2年間ほとんど遊び呆けた者供が〃卒業見込み〃なぞという訳の分らぬレッテルを貼られ、突然バタバタとあわて始める。そして部屋の隅にうず高く積み上げられているアニメ制作会社の電話番号をさがし出す。が、その日はその作業だけで疲れ果て明日TELしようとそのまま寝てしまう。
翌朝、というよりは昼すぎに起きた僕は着変えようとしてハタと困ってしまう。昨日というよりもう4、5日もはいたジーンズは雑巾の煮しめのようだし押入れの中にしまったままの洋服はすでに異臭を放っている。いくらアニメーターがあまりきれいではないとはいっても、これでは……と思った僕は近所のコインランドリーに駆け込む事になる。常日頃から時間を無駄についやす事になれてしまっている学生であるからして、待ち時間につい隣のパチンコ屋に行き一週間分の食費代をかせごうとして失敗！ポケットにはわずかな小銭しか残らぬ結果となる。そしてプロダクションへの電話代とか、電車賃の事が頭をかけぬけ、額には油汗を浮かべ、洗濯物をゴミ袋につめこみながら、「オレはなんて馬鹿なんだろう。最後の、それもなけなしの2千円をパチンコですってしまうだなんて……。これじゃわずかなお金でぼくの将来を売り渡してしまったようなもんじゃないか。」
と毎度おなじみの後悔をしつつ仏様のような友人の顔を思い浮か

漫画家

マイアニメメモリー

永井豪

僕が生まれて初めて見たアニメーション映画は、あの「ディズニーランド」の王様ウォルト・ディズニーの小鹿を主人公にした物語『バンビ』だった。
『バンビ』を見たのは、僕が幼稚園に入ったばかりの昭和24か25年の頃で、幼稚園でつれていってくれた最初の映画だ。だけどあいにくその日は雨で、田舎町（石川県・輪島市）の古びた映画館の前で、他の園児達といやいや傘をさしながら並んだのを覚えている。
その当時はまだテレビのない時代（君達には想像もつかんだろうが、そういう時代もあったんだぜ）で、町に映画館もほんの少ししかなかった頃だ。そして、僕がそれまでに見た映画はモノクロの洋画（あのジョニー・ワイズミュラー

ANIMATION MAKING

べ、受話器を取る。(かわいそうだねえ、君、残金わずか190円)そのうちの2人は家人が君に留守を伝え、一人にはあいそよく断わられ、(残金わずか160円) じっくり考えた上で、最悪のパターンの女友達（いつもわずか1000円借りただけで30分は文句を言われる）にTELする。だが、彼女も不在。又、夜にTELする事にする。

　こういう日に限って天気は快晴、他人はやたら浮々として、世界中で不幸者は自分一人しかいないような気になってしまう。

　（かくして彼はアパートの万年床に横たわり、プロダクションの電話番号とニラメッコ、どこから先に電話をするかと大いに悩みながら、夜になるのをジッと待つ。あ！なんと待つ刻の長き事か…）

　彼女、徳山恵子、同級生、容姿中の下、仲間ウチではブスの世話やきとしてとても有名。

　ぼく、伊部サトシ、友人によると恵子はぼくに気があるとよくからかわれるが、ぼくは何とも思っていない。ただ入学時からなにくれとなくぼくの回りにいた事は確かである。彼女のアパートは国鉄で2駅。片道150円。電話代が10円。しめて160円也。ジャスト全財産である。恵子がもし旅行にでも行ってたりするともうぼくに明日はない。

夜　8時　TEL入れる。不在。

夜　9時30分　またもや不在。電話器故障10円玉もどらず。叩いたりゆすったり5分。やっと戻る。アセル……。

夜、10時30分　やったぜ。彼女が出る。思わず天使の声のように錯覚する。が要件は切り出せず、これから遊びに行っていいか？　などと言ってしまう。彼女しばらく沈黙の後、一時間位なら……と返答有り。

　とりあえず電車に飛び乗る。10時50分。改札を抜けて、彼女のアパートまで歩いて10分。友人と数人で訪ねた事はあるが、一人で行くのは始めてである。途中で突然のにわか雨。あまりの雨足に二、三度軒下で雨宿りをしながら彼女の部屋に着いたのが、11時25分。「ハーアーイ」とドアを叩くと中から美しい声。容姿はともかく、声だけ聞けばすこぶるつきの美人のようだ。ドアが開く。明るく女の子らしい部屋。自分の心の虚しさからくらべると別天地のようである。「どうしたのよ、こんなおそくに」とそれでも優しく。「あらあら、ビショぬれじゃない、早く上がって服をかわかさなくっちゃ」

　と中にいざなう。ソックスだけはすばやく脱いだものの、サトシははたと困ってしまった。

　（モノローグ）服をかわかすのには脱がなければならない。でも恵子は服を脱ぎなさいとは言わなかった。ブーッブーッ「どうしたの早くしなさいよ」とニッコリ微みながら何かを促がす。笑顔だってそんなに悪くはない。いやむしろとても可愛い位だ。いや待てよ、しかしこれは特異な状況の演出した錯覚かもしれない。などと考えている間に彼女はもうぼくのシャツのボタンをはずし、それをサッサとぬがせてしまう。そしてバスタオルを勢いよくぼくに投げつけると、サッと背を向け「後は自分でやって……」と小さく呟やくとドライヤーをシャツにあて始めた。そんなんじゃかわかないよ、と思ったが仕方なくジーンズのスラックスを脱ぐ、下着までビショビショだ。しばらく躊躇したが、思いきって腰にバスタオルを巻き下着もとる。(11時55分) かたくなに背を向けたままの恵子の背をジッと見つめる。ピンクの上下のスウェットシャツ、ポニーテールにまとめた長い髪。激しい雨に風が加わったのか、近くで電線のうなりがヒューヒューと耳を打つ、ドライヤーの音と風の音、それ以外全ての音がかき消された世界。ぼくは立ったまま、彼女は時おり疲れた手を持ちかえながらまるで狂女のようにぼくのシャツに熱風をかけ続ける。どちらかが動いた途端にこの引きしぼった弓のような緊張のバランスがくずれるに違いない。一体、俺はここに何をしに来たのだろうか。彼女のうなじにうっすらと汗が浮んでいる。時刻は12時15分首都圏は時ならぬ異常発生の低気圧の為暴風雨が吹き荒れ、時折水しぶきをまき散らしながら、通りぬける車の外は、狂奔する自然だけが支配する世界と化していた……。

つづく

の『ターザン』など）ばかりだったので、美しいカラーで、しかも僕の大好きなマンガが動くという、アニメを見た時の驚きは大変なものだった。

　やがて僕自身がアニメにかかわるなどとは夢にも思わず（あたりまえか）無我夢中で見たものだった。そのおかげで『バンビ』の、各シーンを、今だに鮮明に思いだすことができる（『バンビ』を見たのは、その時一回きりだよ）。

　その次にアニメを見たのは、僕が東京に出てきてから(昭和27年・夏、小学校一年の時）で、同じくディズニーのアニメ（ミッキーマウスやグーフィ）で、短編アニメだった。その当時は映画館に映画を見にいくと今とはちがって、本編の前に必ずニュース映画（見たことないだろう）というものが上映されたのだが、たまにおまけでアニメの短編がついたというわけなのだ。

　モノクロの日本の映画の前にカラーのディズニー・アニメが入るというのはかなりインパクトの強さで、本編の映画より印象に残ることがたびたびだった。そしてそのニュース映画と短編映画を何本か集めて、それ専門に上映する「ニュース映画館」というものが、東京には何軒かあった。

　僕の家はその頃、国電大塚駅の近くにあったので、一番近いニュース映画館というと、となり町の池袋にある「ニュース文化」だった。ニュース映画館は普通の映画館より料金が安く、大人三十円、子供十円ぐらいで見れたので、おこづかいの十円玉を握りしめてトコトコと池袋まで歩いて見に行ったものだった。

　小学校低学年の子供にとって、池袋までの距離は迷子になりそうなくらいとても遠く、大変な思いをしてのアニメ見物だった。だから現在のように毎日テレビで、アニメが見られる時代になるとは予想もしなかったのだ（アニメファンには、今は幸せな時代だよね）。

　アニメファンにとってさらに幸せなのは、オリジナルビデオアニメの普及だろう。テレビアニメとちがって、色んな制約がないオリジナルビデオアニメは、よりマニア向けの作品が作られるからだ。

　そしてそんなアニメファンの幸せは、僕達、制作者側にとっても幸せなんだ。これまでテレビコードにひっかかるような作品（たとえば僕の作品でいうと『バイオレンスジャック』や原作版『デビルマン』など）は、ぜったいアニメにはならないだろうと思っていたのに、オリジナルビデオのおかげで作ることができるのだもの、こんなにうれしいことはない。

　だからこそ、この「アニメ幸せ時代」をファンといっしょに、より発展させていきたいものだと思うのだ。

監督

オリジナル・ビデオ・アニメと次回作について

押井守（インタビュー）

　これは今月号で大特集した（P82参照）『紅い眼鏡』の取材の時、の押井　守監督に、最近のビデオアニメについてや次回作（宮崎駿さんと共作）についてお聞きしたことをまとめたものです。

　オリジナル・ビデオ・アニメについては最初、かなり期待感を持っていたんです。現場がつくりたいものをつくって、しかもそれを買う人がいて、それで素晴しいことができるなあと思っていたんですね。だけど、やっぱりいまは外的な条件がかなり悪化しちゃっているので、それがとても残念です。また、逆にビデオだからといってそうそう自由ではないということもありまして、テレビとは違うけれども独特の、ある程度の制約がすでに生まれちゃったということですね。

　あとはやっぱり、依然として価格の問題は突破できていないということ。まあ、レンタルがもっと整備されればとか、色々なことは考えますけれども、ちょっと残念ながらビデオというのはポピュラーになっていない。また、ポピュラーになれるんだろうかと最近疑問に思うこともあります。

　結局、ある種のマニアの世界になってしまったからということで、それはテレビアニメがいま低調であることと無関係じゃないと思うんです。やっぱりアニメーションの世界全体が、ちょっといまパワーダウンしてるなあと思います。どこの現場に行っても活気を感じないんです。ビデオアニメの数だけは結構たくさんできていますけど、スゴイなあというのはあまりないですね。質的にも話も、これ・・・ぐらいというふうなつくりになってしまって、それは本来ビデオが持っていた可能性の世界とは違うなあと思いますね。

――次回作について

　まだ企画がスタートしたばっかりなんで、どうなるか全然わかっていないんです。まだまだこれからというところですけど、アニメーションだけど宇宙に行ったりとか、どこかの城が出てきたりとか、そういうことじゃなくて僕らが日常的にみている世界が舞台としていちばんおもしろいというテーマでやりたいと思っています。

　僕ら自身が具体化している現実というのは、ちょっと見方をかえてみれば実はおもしろいものに満ち満ちているんです。だから現実の日常的空間が冒険物語の舞台にならないんだとすれば、それはやっぱり映画の側の責任であるような気がしていたんです。

　特にアニメーションの場合は、安直に〝宇宙〟とか〝次元〟にスタイルを求めるんじゃなくて、たとえば現実のものをおもしろく見せることができれば、たぶん映画としてはいちばん成功したことになるんじゃないかと思います。

　つまり意外と僕らがいる環境というか、現実の世界におもしろさを見出すことができれば、何かある種の希望につながっていくような気がするんです。まあ、そういうことをいま宮崎(駿)さんと話しているところですね。

脚本家

体験的ドラエもんの世界

水出弘一

「ド、ドラえも～ん！」

のび太がランドセルを鳴らしながら、あたふたと学校から帰ると、いよいよドラえもんの登場である。

「どうしたの、のび太くん?」

「そ、そ、それが……」

ここまで書くと、ドラえもんのストーリーがいくつも思い出され、あの作品、この作品と、今さらながらに原作者（藤子不二雄）の凄さに驚かされる。

そんなドラえもんのシナリオを書くようになって、そろそろ八年目。あと一年で義務教育の終了と同じ年数だ。その割には少しも上手にならないのがシナリオの難しいところ。

さて、体験的ドラえもんの世界のスタートは、まずドラえもんの四次元ポケットから出された道具のベスト5の紹介だ。

(1)タイムマシーン（これがあれば、いつの時代へも時間移動ができる。

(2)タケコプター（体の一部に付けると空が飛べる）

(3)どこでもドア（このドアをあけると、行きたい所へ行ける）

(4)もしもボックス（このボックス内の電話を使えば、もしもの世界がつくれる）

(5)タイムテレビ（過去や未来のことが居ながらにして観られる）

以上、ベスト5は誰もが知っている馴染の道具ばかりである。

だが、これではあまりにも芸がなさすぎるので、次はなまけ者のシナリオライターであるぼくが選んだ、とっておきの道具のベスト5を紹介しよう。

(1)室内旅行機（自室にいながら、立体映像で旅行気分が味わえる）

(2)ごきげんメーター（相手の気分がメーターに天気であらわされる）

(3)石ころ帽子（これをかぶると、道端の石ころのように誰も気にとめなくなる）

(4)キューピットの矢（この矢があたった人は、射った人を好きになる）

(5)ポータブル国会（勝手に好きな法案が作れ、それが日本中で守られる）

ここまで書けば、ドラえもんファンなら自然と何かが見えてくるはず――。

そう、このなまけ者のシナリオライターは、まず石ころ帽子でその存在を道路の石ころのようにして若い娘に接近し、ごきげんメーターで機嫌をさぐり、キューピットの矢を射って旅行に誘い、自室でちゃっかり旅行気分を満喫しようというのだ。もちろん、その日はポータブル国会で臨時の休日である。

だが、こんな安穏としたなまけ者のシナリオライターを恐怖のどん底にたたき落とすべく道具が、実はドラえもんの四次元ポケットには隠されているのだ。

それは、その名もズバリ『シナリオライター』である。この道具はライターの形をしていて、何でも好きなことを書いて入れると、その通りになるという便利な道具である。これが世に出廻ったら、もはや本物のシナリオライターは全滅だろう。そうでなくても、このシナリオライターには苦い思い出がいくつもあるのだ。

その一つを次に紹介しよう。

あれは数年前のことである。シナリオが書けず悶々として床につくと、夢の中にドラえもんが現れ、四次元ポケットからシナリオライターを取り出してからかうのだ。

「ほら、書けないなら貸してやるぞ。ほら、ほら！」

夢の中のドラえもんはヤケに意地悪で、シナリオライターをかざして、本物のシナリオライターをせせら笑うのだ。

「い、いるもんか、そんなもの！」

だが、こうなるともう絶望だ。何をどう書いてもうまくはいかない。そればかりか、次の日も、そしてその次の日も、シナリオライターを手にしたドラえもんが夢に現れ、ケタケタと笑うのである。

さすがに最近は見なくなったが、この夢の中のドラえもんに悩まされた思い出深き作品が三つあるので紹介しよう。それらはいずれもドラえもんを使ったキャンペーン映画であるから、アニメの資料集にも載っていないものばかりである。

その一つは、数年前の国際障害者年の協賛映画として制作したもので、題名を『ケンちゃんの冒険』といい、あとの二つは『ドラえもんの交通安全』パート1、パート2の計三本である。

これらの作品がどこで観られるのか、またどこで貸りられるのか、残念ながらわからぬが、制作会社のシンエイ動画には間違いなく置いてあるはず。いや、それよりもこういった作品こそ、本当はビデオにでもして図書館に保存しておけばいいのだが…。

そこで、観られない読者のみなさんに、そっとそのストーリーを教えようというのが、次のコーナーである。

では、ドラえもん『ケンちゃんの冒険』の幕開け、幕開け――。

この作品は、ある日、のび太のクラスに車椅子に乗ったケンちゃんという男の子が転校してきたところから始まる。

のび太たちみんなは車椅子がめずらしく、あれこれとその乗り心地などをきいたりするが、もちろん悪気があってのことではない。逆に、みんなでケンちゃんを特別扱いし、給食の後片付けも掃除当番もケンちゃんにはさせないで、みんなで代わってあげたくらいである。

それなのに、ケンちゃんは翌日、学校を休んだ。あんなに親切にしてあげたのに…。のび太たちは気になって、学校の帰りにケンちゃんの家をたずねる。

ケンちゃんはズル休みだった。そのため、誰とも会いたくないと部屋から出てこない。応接間で待つのび太たちは、そこに飾ってある美しい蝶の標本に感嘆の声を発す。

「わーっ、キレイだ！」

その声を耳にしたケンちゃんは嬉しくなりぼくが作ったのだと、部屋から出て来て自慢する。ケンちゃんの心がひらかれたのだ。

だが、それらは全部デパートで買ったものばかりで、足の悪いケンちゃんが自分の手で捕まえたものは一匹もいなかった。

「ダメだよ、自分で捕らなきゃ！」

のび太はつい口を滑らせ、ケンちゃんのひらいた心を、また閉しさせてしまう。ジャイアン、スネ夫、しずかはのび太を非難する。

そこで、のび太はおわびのしるしに、ケンちゃんを蝶捕りに連れて行くことを約束する。みんなも賛成し、ケンちゃんの車椅子を押して川原にやって来るが、目当ての蝶はどこにもいない。

そこで、ドラえもんにタイムマシーンを貸りて、蝶が飛んでいた頃へ行こうとする。がケンちゃんはどうせなら蝶の先祖を捕まえたいと夢を話す。新生代の化石から蝶の先祖が発見されたのを、ケンちゃんは本を読んで知っていたのだ。

こうして、タイムマシーンでケンちゃんを新生代に連れて来たのび太たちは、早速蝶の先祖を捕まえに出た。だが、蝶の先祖はなかなかみつからない。途中で雨に降られたり、空腹のため仲間割れとなったりして、散々な目に遭う。

そして、最後は火山の大噴火に遭遇して、タイムマシーンの置いてある場所がわからなくなってしまう。絶望だ。みんなは仲直りして、力を合わせて岩穴に住むことにする。何もできないと思ったケンちゃんが、火のおこし方や毒キノコの見分け方などを知っていたりして、みんなを驚かす。ケンちゃんは車椅子の上で、本を読み、いつも野山で生活することを夢見ていたのだという。

翌朝　誰よりも早く目覚めたケンちゃんは岩穴の外を飛ぶ一匹の蝶を発見し、夢中で車椅子を駆って表へ飛び出した。そして、蝶を追いかけているうちに、肉食巨鳥のディアトリマに襲われ、車椅子から放り出される。そこへドラえもんがタケコプターで現れ、肉食巨鳥を追い払い、何とか危機を脱す。

だが、ドラえもんは車椅子から投げ出されたケンちゃんには手を貸さない。駈けつけたのび太たちにも、手を差しのべさせなかった。

「ケンちゃん、ひとりで乗るんだ！」

ケンちゃんはドラえもんの言葉の意味を理解し、ひとりで懸命に車椅子に乗ろうとするが、仲々うまくいかない。

「ガンバレ、ケンちゃん！」

みんなの声援を受けて、遂にケンちゃんは車椅子に乗った。

「や、やった～～！」

のび太たちは拍手と歓声でケンちゃんをたたえた。その時、ケンちゃんの目に、数匹の蝶が飛び込んで来る。

「あッ…」

見ると、彼方の空から無数の蝶が乱舞しながら追って来る。

「凄い…蝶の谷渡りだ！」

ケンちゃんはのび太やドラえもんたちの協力で、とうとう蝶の先祖に出会ったのである。そして、その手で蝶を捕まえたのだ。だが、ケンちゃんは虫捕り網の中で苦しそうにしている蝶を見て、再びはなしてやる。

「ケンちゃん、どうして?」

「蝶だって、本当はああして自由に飛んでいたいと思うんだ。だからさ…」

ケンちゃんは放してやった蝶が仲間の後を追っていくのを、嬉しそうに見送る。

この蝶の谷渡りとケンちゃんの喜びの表情は圧巻である。今だ、これ以上の蝶のシーンを観たことがない。是非とも、読者のみなさんにも観ていただきたいシーンである。

乞う御期待！

もちろん、『ドラえもんの交通安全』パート1、パート2も、それぞれが一本の作品として充分に面白く、かつ交通知識も学べるように工夫されていて、気に入った作品に仕上がっていると自画自賛できるが、やはり作品をお観せできないのが残念だ。こちらの二本は、各警察署の交通課にあると思うので、その気になれば観られると思います。

なまけ者のシナリオライターは、こういった幻の作品を集めて、東京競馬場の大画面に映して観たいと思っているのだが、きっと誰かがやってくれるだろうと、またなまけグセを出して、のび太のように昼寝を決め込むのだ。すると、その夢の中にまたドラえもんが現れて、きっとこういうのである……。

「ほら、書けないなら貸してやるぞ。ほら、ほら、シナリオライターだ！」

〈完〉

芝居

『悪魔のいるクリスマス』夫婦で夫婦役!? 鶴さんと難波さん

9月12日から9月15日の4日間に渡って、渋谷区SKスタジオにて『C・D・B』の芝居『悪魔のいるクリスマス』が公演された。キャスティングは主人公である〝わたし〟に塩屋浩三さん、少年Aには難波圭一さん、同じく少女Aには鶴ひろみさん、天使を勝生真沙子さんが演した。

『悪魔のいるクリスマス』のあらすじを紹介しよう。

売れない作家が、クリスマスの公園で少女と少年に出会う。3人は打ち解けて、心の傷をいたわりながら小さなクリスマスケーキを頬ばる。その夜、3人のもとへ天使が訪れた。

天使は3人を順々に回り、彼等がすでに死んだ事、天国へいくか地獄へいくかを色ちがいの輪で選ばせることを伝える。そして愛しあう少年と少女が、別れ別れになるような選択を無理にさせるのを見た作家は、隠していた悪魔の本性を現わして天使を追い払ってしまう。その後、今までずっと言い続け独り言をまたつぶやいた。

「寒く……ないですか?」

最後まで気弱な人間を演し続けた塩屋さん、天国でも地獄でも少年とならどこでもいいと言った少女役の鶴ひろみさん、高慢だが権威に弱い天使を好演した勝生さん皆さんの演技が印象に残った。が、中でも難波さんの演技した何も持っていない、でも希望はもっている少年のあこがれを感じさせる言葉が、大変印象に残った。

ライブ

富沢美智江『エンドレス・サマーライブ』貴子のノリで熱唱ダンシング!!

9月14日(日)に新宿ルイードにて富沢美智江さんのライブ『エンドレス・サマーライブ・ビートでダンシング』が多くのファンを集めて公演された。

歌われた曲は『プロジェクトA子』より『フォロウ・ユア・ドリーム』『ダンス・アウェイ』それから富沢さんがファンでもある白井貴子さんの曲『ネクスト・ゲイト』『チャンス!』他2曲。オリジナル『トウキョウ・ゼロサンひとりごと』『ルート・カルフォルニア』他3曲。ゲストの2人もコーラスと踊りで出演! マドンナより『イントウ・ザ・グローブ』他1曲。

さてそのゲストは矢尾一樹さんと、JACの水本隆司さんで、水本さんは富沢さんがJACにいた時からの友人で現在コカコーラのCM秋編の、CMのラストの所でおいしそうに飲み干す役をやっているそうです。3人の歌の合間の語りもなかなか傑作でした。

▲マドンナの曲「イントゥ・ザ・グローブ」を歌う富沢さんと矢尾さん、水本さん

今回のライブのバックバンドはなんと白井貴子さんのバンドだそうで、前からTAKAKOファンだった富沢さんのために特別に貸してくださったのだそうです。

最後アンコールとして『ガルフォース』の『素顔のスパイたち』を特別ゲストとして、松井菜桜子さん、山本百合子さん、渡辺菜生子さん、川村万梨阿さんの4人を迎えて歌われ、次に『ニュース・キャスター・レイコ』『チャンス!』3曲とも会場中の大合唱となりました。歌い終えた富沢さんがひっこんだ後、またもやアンコール。再登場の彼女に、会場総立ちで『ルート・カルフォルニア』が歌われ、幕をとじました。

それでは、ライブ終了後のお話を矢尾さんと山本さんに聞いてみましょう。

——今日のライブはいかがでしたか?

矢尾：す〜んごい疲れたの!以上

山本：すごいパワーで驚きました。踊りもカッコ良かったし。

矢尾：そ〜か〜?

山本：美智江ちゃんのね(笑)。

矢尾：あれ?矢尾は?

山本：隆司くんはカッコ良かったと思います。次のライブのいい刺激になりました。チャンチャン♫

——どうも有り難うございました。

ライブ

宮内タカユキ『銀牙—流れ星銀—ライブ』ちびっ子たちと大合唱だ

9月20日。(土)渋谷のライブハウス『エッグマン』にて宮内タカユキさんの『銀牙—流れ星銀—ライブ』が行われた。

当日はあいにくの小雨模様にもかかわらず、チビッコファンやお父さん、お母さん方が詰め掛けて大盛況だった。またゲストに『とんがり帽子のメモル』『メイプルタウン物語』などを歌っている山野さと子さんが出演。宮内さんとデュエットで『マイ・パートナー』が歌われた。

今回のライブは、1部と2部に分かれていて、第1部では『銀牙—流れ星銀—ライブ』と題され、『流れ星銀』の主題歌、挿入歌等。そして山野さんとのデュエットが歌われた。宮内さんの歌う『銀牙』は、仲間の友情や戦いの厳しさ、正義の心が歌いあげられていて、その中でも『男たち・仲間たち』という曲では、銀と仲間たちの友情を切々と歌いあげられた。

休憩をはさんで 第2部では、オリジナルのラブ・ソングを情熱的に歌われた後『なつかしのアニメソングメドレー』と題して『宇宙戦艦ヤマト』『仮面ライダー』『アタックNo.1』『キン肉マン』の悪役超人の歌『超電子バイオマン』『時空戦士スピルバン』『超新星フラッシュマン』等を熱唱。チビッコも一緒に歌ったりのライブは大成功!。

宮内さんとゲストの山野さんに終了後の感想を聞いてみた。

——今日のライブはいかがでしたか?

宮内：ええ、悪天候にもかかわらずかわいいチビッコやお父さん、お母さんが大勢来てくれて。サラリーマンの人で会社から帰ると『銀牙』を必ず見てくれているという方や、中には大学生の人もいて、受験勉強に息詰まって受験やめようか、あきらめようかと思った時に僕の歌を聞いてはげまされて、試験にチャレンジして合格したという。そんな話を聞いてすごくうれしくて、そしてもっともっと真心をこめて歌っていかなきゃなあって思いました。

山野：宮内さんとのつきあいも3年になりますけど、会うたびにビックになられますね。今日もすごく力強くて感動しました。

——お2人で歌ってみてどうでしたか?

山野：デュエットした曲は、私のオリジナルLPの『マイ・パートナー』という曲で本当はアイ高野さんという方と歌っているんですが、いい曲なのでぜひ一緒に歌って下さいってお願いしていたんです。

宮内：さと子ちゃんの歌は前から好きだったんですよ。さと子ちゃんと僕とは対称的な歌い方で、同じアニメの曲でも、心というものを一緒に歌えたらって思ってて、事務所でも仲良くおつきあいさせていただいて、今回はさと子ちゃんに来て頂いて本当に良かったなあって思っています。また機会があれば2人で歌いたいです。

——どうも有り難うございました。

▲『マイ・パートナー』を歌う宮内タカユキさんと山野さと子さん

ORIGINAL VIDEO INDEX

●オリジナル・ビデオ・インデックス

魔法のスター
マジカルエミ――蟬時雨

■発売中■HiFiステレオ■カラー60分■¥9、800■監督・演出・絵コンテ／安濃高志■キャラクターデザイン・作画監督／岸義之／高岡希一／本山浩司■動画チェック／鮑智行、豊島光子■色指定／勝沼まどか■美術監督／三浦智■美術設定／佐藤正治■撮影監督／菅谷信行■音響監督／藤山房延■脚本／小西川博司■制作プロダクション／スタジオぴえろ

☆人気のあったTVシリーズのオリジナルビデオ版の作品。 ☞P49

戦国奇譚
妖刀伝

■発売中／日本ビクター"アニメビジョン"（VHD）第5号より連載中■アニメビジョンは、一時間／ステレオ／¥4、900■原案／山崎理■脚本／鳴海丈■監督／桜井利之■美術監督／阿部行夫■キャラクターデザイン・作画監督／大貫健一

☆CAST■香澄の綾之介（綾女）／戸田恵子■織田信長／矢尾一樹

☆日本ビクター"アニメビジョン"に連載されていた「コスモス・ピンクショック」につづく、オリジナルアニメの第二弾。

妖魔大帝に操られた織田信長に、一族を殺された影忍たちの復讐劇。 ☞P42

活劇
少女探偵団

■発売日／11月25日■カラー30分■¥8、800

企画・制作：ジャパンホームビデオ㈱／㈱東京ムービー新社、発売元：ジャパンホームビデオ㈱／キングレコード㈱ ■LP：11月21日発売

月刊OUTに連載中の江口　勇の原作をもとに、オリジナルビデオははじめてという東京ムービー新社とJHVが新しい美少女アニメと製作する。



監督は奥脇雅晴、脚本は花園由宇保。

この作品のめだまとして、山本百合子、三浦雅子、TARAKOの声優3人が、"少女探偵団"として主題歌を歌う。目指せ、おニャン子!! ☞P46



ミルクハウス・ドリーミング

■発売日／通信販売でのみ販売、商品発送開始日11月25日予定■HiFiステレオ■カラー43分■¥8、800■原画／川原由美子■演出／鳥居宥之■構成／渡辺麻実■音楽／大貫妙子■アニメーション／百瀬義行（MOOK）■彩色／スタジオM■背景／河野次郎（スタジオユニ）■撮影／磯部覚（イソップ）■エアーブラシ／猪口利之■制作担当／清橋参子■発売元／小学館

☆人気マンガ家川原由美子の水彩画が、そのままのタッチで動く、新しいタイプのビデオ。 ☞P37

夢次元ハンター
ファンドラ PARTⅢ

■発売日／11月21日　カラー　40分■¥8800

企画・制作・㈱ヒロメディア／㈱カナメプロダクション■発売元／日本コロムビア㈱ ■LD／12月21日発売■EP／11月1日、LP11月21日発売

シリーズ第3作、完結編ということで話題もいっぱい。特に宿敵ヨグ＝ソゴスとの最後の闘いのシーンは、シリーズ中最高のハイライトなのだ。

また今回は、ファンドラ役の堀江美都子さんがなんと挿入歌を歌うという、ファン待望の企画があるんだぜ。そして主題歌はモチロン、橋本潮ちゃん。ホントに発売日が待ち遠しい!! ☞P54



SF超次元伝説
ラルⅡ

■発売日／11月中旬発売予定■HiFiステレオ■30分■¥9、800■キャラクター原案／このま和歩、計奈恵■発売元／創映新社

☆おなじみ"くりいむレモン"シリーズのパート15。

パート3の「ラル」の第2弾。成長したラルたちキャラクターが見物。

悪の異星人ラモールに体を乗っとられ、悪事を働く王女ユリアを、キャロンは救う事ができるのだろうか? ☞P34

ドリームハンター麗夢Ⅲ

■発売日／11月21日発売予定■企画製作／黒田誠吾■原作・総監督／奥田誠治■キャラクターデザイン／毛利和昭、アニメアール■作画監修／谷口守泰■監督／長尾粛■作画監督／逢坂浩司■美術監督設定／勝又激■音響製作／プロセンスタジオ

☆CAST■綾小路麗夢／松井菜桜子■榊警部／内海賢二■円光／速水奨■アルファ／後藤真寿美■ベータ／龍田直樹

☆首をなくした武者の亡霊が現代によみがえり、つぎつぎと殺人を繰り返してゆく。 ☞P35

アウトランダーズ

■発売日／12月5日■HiFiステレオ■カラー45分■¥9、800■原作／真鍋譲治（白泉社、月刊コミコミ掲載）■監督／山田勝久■脚本／富田祐弘、寺田憲史■演出／五月女有作■キャラクターデザイン・作画監督／浜崎博嗣■美術監督／宮前光春■撮影監督／橋本和典■音響監督／本田保則■音楽／若草恵■制作／竜の子プロダクション

☆真鍋譲治の人気マンガのオリジナルビデオアニメ化作品。 ☞P44

トゥインクルハート
銀河系までとどかない

■発売日／12月5日■カラー／45分■¥9、800

製作・発売：㈱サイ・エンタープライズ、販売元クラウンレコード㈱ ■EP：11月21日、LP：11月5日発売



サイ・エンタープライズが、『ドリームハンター』に続き、またまたシリーズものを製作します。今度は奥田誠治・寺田

憲史コンビによる〝究極の美少女アニメ〟を目指すとか。寺田さんによると、「これで美少女アニメの決定作にしたい」と意欲満々。懐しい山田パンダ氏（もと『かぐや姫』）の秘蔵っ子、尾高千恵の主題歌もなかなか良いのでオススメね。☞P41

戦え！イクサー1

■発売日／年内予定■HiFiステレオ■カラー30分予定■¥8、800■監督・脚本・絵コンテ・キャラクターデザイン・原案・総作画監督／平野俊弘■モンスターデザイン／わたなべぢゅんいち

☆年内発売を目指して作画進行中。

夢想遊戯
ロボット・カーニバル

■発売日／12月16日■HiFiドルビーサラウンド■カラー／90分予定■¥17、800■原作、監督、絵コンテ、演出、キャラデザイン、作監／大友克洋、福島敦子、梅津泰臣、大森英敏、北久保弘之、北爪宏幸、なかむらたかし、マオラムド、森本晃司■製作・発売／A・P・P・P

9月10日、原宿ピアザビルにて、「ロボット・カーニバル」の懇談会が開かれた。この時、梅津、北久保、森本、福島、マオラムド、大森の6氏が挨拶した。PDの野村氏も参加し、この作品がビデオ界の流れを変える、と結んだ。☞P47



夢からさめない

■発売日／1月25日予定■HiFiステレオ■カラー45分■¥9、800■原作・キャラクター原案／白倉由美■脚本／川西蘭■演出、絵コンテ／井上修■作画監督／富沢和夫■制服デザイン／森伸之■音楽／松尾一彦■作詞／秋元康■編曲／山川恵津子■主題歌／佐野量子■発売元／RVC

☆キャラクターを人気女性マンガ家白倉由美が担当、制服デザインを「東京女子制服図鑑」の森伸之が担当するこの作品では、極々普通の女の子の青春をアニメで描く。☞P36

GREY
デジタル・ターゲット

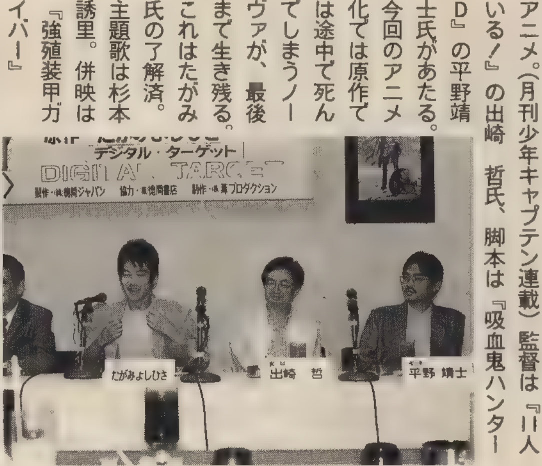
■発売日／1月25日　カラー／80分■¥13、800　製作・㈱徳間ジャパン　■EP／11月25日、LP／1月10日、LD&VHD／3月25日発売予定

12月13日より全国東映系で劇場公開される、たがみよしひさ原作によるSFバトルアクション・アニメ。（月刊少年キャプテン連載）監督は『11人いる！』の出崎哲氏、脚本は『吸血鬼ハンターD』の平野靖士氏があたる。

今回のアニメ化では原作では途中で死んでしまうノーヴァが、最後まで生き残る。これはたがみ氏の了解済。主題歌は杉本誘里。併映は『強殖装甲ガイバー』

上映館は今のところ新宿東映ホールーをはじめ、名古屋、大阪、福岡の4大都市が予定されているが、東映クラッシックフィルムの協力を得て今後続々と増える予定。やっぱり大きいスクリーンで見たい。☞P39

劇場用アニメーション映画
原作・たがみよしひさ
デジタル・ターゲット
製作・㈱徳間ジャパン　協力・㈱徳間書店　制作・㈱葦プロダクション



うろつき童子

■発売日／1月下旬発売予定■HiFiステレオ■カラー30分■価格未定■原作／前田俊夫（漫画エロトピア）■発売元／JAVN

☆エロチックで怪奇色の濃いストーリーに、残酷すぎるほどの暴力描写と衝撃的なSEX描写をも盛り込んだ、ヒーロー物。

それが、この「うろつき童子」だ。

原作の劇画とは、違ったタイプの絵で、どのように主人公たちや、魔界族などのモンスターなどが描かれるのか、非常に楽しみな作品。☞P43

夢幻紳士

■発売日／2月発売予定■HiFiステレオ■カラー45分予定■¥9、800予定■原作／高橋葉介（徳間書店）■監督・キャラクターデザイン・作画監督／辻初樹■脚本／橋本以蔵

☆高橋葉介の人気マンガのアニメ化。☞P44

その他

10月発売
「蒼き流星　SPTレイズナーⅢ」（10／21）　東芝映像ソフト☞P38

11月発売
「アーバンスクウェアー琥珀の追撃ー」（11／15）　ネットワーク☞P50
「ミンキーモモSONGスペシャル」（11／21）
「獣戦機隊SONGS」（11／21）　ネットワーク☞P49
「強殖装甲ガイバー」（11／28）　ネットワーク☞P51
「バビ・ストックⅡ」（11／25）　にっかつビデオフィルム☞P56
「11人いる！」（近日公開予定）
「扉をあけて」（近日公開予定）　キティ・フィルム☞P56

12月発売
「アウトランダーズ」（12／5）　ビクター音産☞P44
「バリバリ伝説PARTⅡ」（12／16）　講談社☞P42
「ウォナビーズ」（12／21）　SVI☞P43
「デルパワーX　爆発みらくる元気」（12／21）　日本コロムビア☞P40
「ブラック・マジック　M−66」（12月中旬）　ネットワーク☞P51
「学園特捜ヒカルオン」（年内予定）
「ホワッツ マイケル2」（年内予定）　講談社
「エスカレーションⅢ」（年内予定）　創映新社☞P34
「時空の旅人」（12月東宝洋画系公開予定）　角川書店☞P48

1月発売
「エルフ17」（1／10）　東映ビデオ
「ハート・カクテル」（1／15）　講談社☞P40
「トワイライトQ―リフレクション―」（1／15）　ネットワーク☞P51
「ダーティペア　まぼろし編」（1／21）　VAP
「マドール」（年明け前後）　創映新社☞P32

2月発売
「魔龍戦記」　ネットワーク☞P51

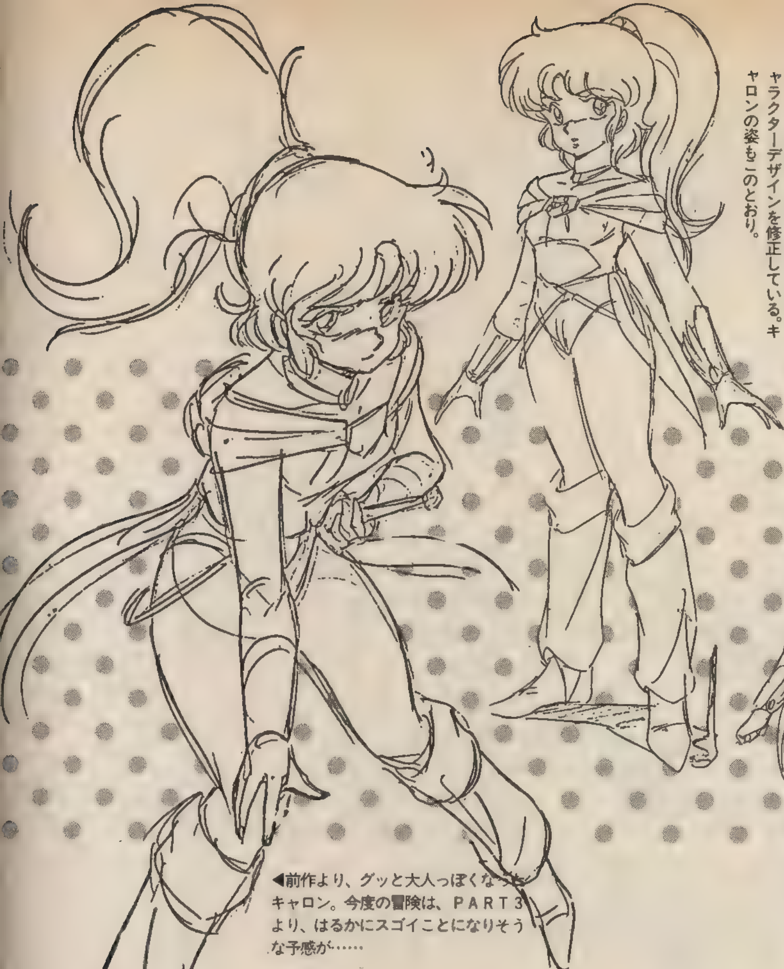
3月発売
「みんなあげちゃう」（3／1）　SVI☞P43
「重戦機エルガイム」　ネットワーク☞P51
「MAPS」　日本コロムビア
「4WD　EXPRESS」　松竹
「妖獣都市」　ジャパン・ホーム・ビデオ
「超獣機神ダンクーガ」　東宝
「ダーティペア」（3月松竹系公開予定）
「バツ&テリー」（3月松竹系公開予定）　日本サンライズ☞P38

発売未定
「DARK」　創映新社☞P34
「デビルマン」　キング
「アップルシード」　キング
「タッチ2」　東宝
「装鬼兵M・D・ガイストⅡ」　日本コロムビア
「プロジェクトA子2」　創映新社
「かもしだ君の楽しい幽体離脱」（森山搭原作でアニメ化は決定しているが、現在のところ発売元は決まっていない。また、この作品は森山搭バージョンと山本直樹バージョンの二本が制作される、とも伝えられている）

©フェアリーダスト

くりいむレモン 超次元伝説 ラルII

～ラモールーの逆襲～（仮）



◀今回は、このま計奈両氏はキャラクター原案ということで、アニメーターがキャラクターデザインを修正している。キャロンの姿もこのとおり。

◀前作より、グッと大人っぽくなったキャロン。今度の冒険は、PART3より、はるかにスゴイことになりそうな予感が……

▲ラル国の王女ユリア。今回は、悪の異星人ラモールーに体を乗っとられてしまう。

▶ユリアは村人を襲い、ラモールーの支配下におこうとする。このたくらみを阻止すべく、キャロンが行動を起こした。その作戦とは一体何か？

『なりすスクランブル』に続いて登場の『くりいむレモン PART15』は、あの名作『PART3 SF超次元伝説 ラル』の続編、『ラルII ～ラモールーの逆襲～』だ。

前作でラル国に飛び込んでしまった美少女キャロンは、ラル国の王女ユリアと出会っていたわけだが、今回は、そのユリアが悪の異星人ラモールーに体を乗っとられてしまう。ユリアはラモールーの意のままに村人たちを襲い、ラル国をラモールーの支配下におこうとする。ユリアのこの暴挙を止められるのは伝説の戦士、キャロンしかいない！ ラモールーの魔手からユリアを救い出せ!! 新作が途断えがちだった『くりいむレモン』シリーズが満を持して放つ、究極のスペース・ファンタジー。やはり、美少女は創映新社だ。

11月中旬発売予定。30分、￥9，800。

そのほか『くりいむ』情報

PART15『SF超次元伝説 ラルII』以外にも創映新社が多くの新作を準備中だ。

PART16は、なんと、『エスカレーションIII（仮）』。前作『エスカレーションII』でも異常ともいえるほどエスカレートしていたものが、はたしてそれ以上にエスカレートできるのだろうか。いくら、あの『エスカレーション』でもまさか、というラストが用意されているとのこと。発売は来年から年始にかけて、ということのだから今から期待だね。

PART17は『マドール』になりそうなようす。この作品は、『ハプニングサマー』『亜美・イマージュ』『なりすスクランブル』の作監をつとめたみばしあやこ嬢の企画で、耽美な作品をめざす、とのこと。企画者であるみばしあやこがシノプシス、キャラ、ストーリーボード、絵コンテ、原画、作監と八面六臂の大活躍で制作中。『天○ま』のような作品にもなりかねない、ということで、その内容に興味津々だね。発売は来年早々というところか。

さらに、前号でお伝えした『DARK』は、その後、企画そのものがふくれあがってきている。もしかすると、『くりいむレモン』のシリーズからはずれるかもしれないゾ。

そのほかにPART17ぐらいで、とある有名エロ漫画家の作品のアニメ化という企画も進行している。はたしてその作品は何か、発表をお楽しみに。

DARK（仮）

イメージデザインより

◀清純な美少女マリアだったが、彼女にはもう一つの顔があった。今夜もマリアは変身していく――

▶侍女のベス。このはかなげな表情が、新田真子ならではのいろっぽさ。

▶このベスがやはりホラーの常道で、襲われる美少女らしい。さて、何が彼を待つのか

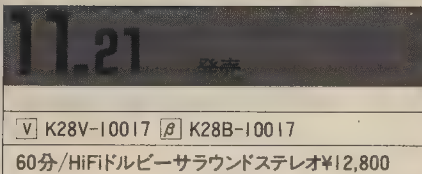
▲ネッド。この少年は眉の高さが必ず違っているのが特徴。ちょっと気の弱そうなのが、美少年好きにはたまらない

◀美青年ニールはひょんなことから、マリアの事件にまきこまれていく。彼を待つ恐怖とはなにか？

ドリームハンター 麗夢Ⅲ

夢隠　首なし武者伝説

サイ・エンタープライズ



Ⓥ K28V-10017 Ⓑ K28B-10017

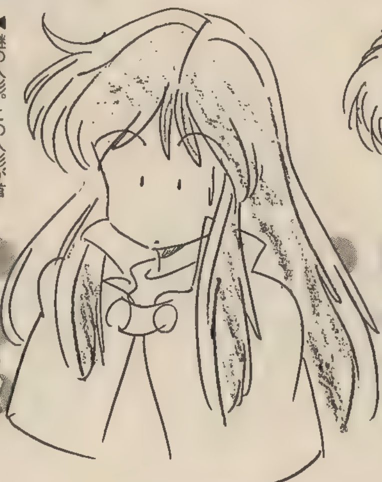
60分/HiFiドルビーサラウンドステレオ¥12,800

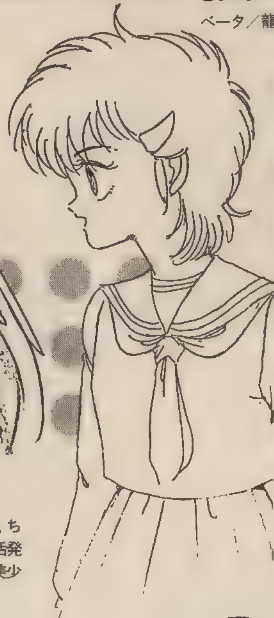
STAFF ■企画製作／黒田誠吾■原作・総監督／奥田誠治■キャラクター・デザイン／毛利和昭■作画監修／谷口守泰■監督／長尾粛■作画監督／逢坂浩司■原画／井上哲／佐々木かつひろ／糸島雅彦／井上康宣／アニメ・アール／ドラゴンプロダクション■動画チェック／アニメ・アール■動画／アニメ・アール／ドラゴンプロダクション■色指定／千葉賢二■仕上／ドラゴンプロダクション／スタジオボギー■美術監督設定／勝又激■撮影／スタジオ・ウッド■プロデューサー／外崎清／内山秀二■音響製作／プロセンスタジオ㈱

CAST ■綾小路麗夢　松井菜桜子■榊警部／内海賢二■円光／速水奨■アルファ／後藤真寿美■ベータ／龍田直樹

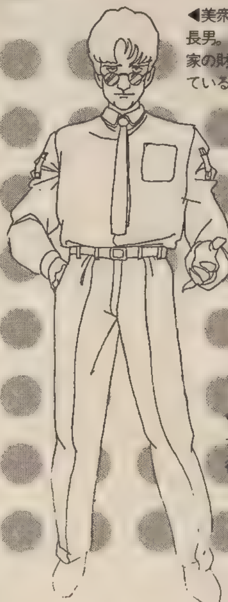


◀謎の人形。この人形が首なし武者の事件の鍵を握っていた

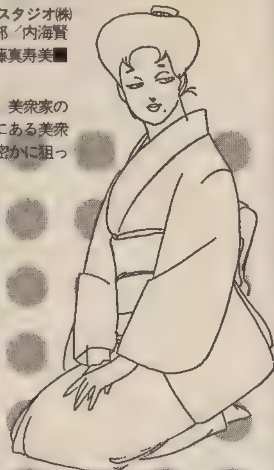




▶美衆家の末娘(14歳)。ちょっとボーイッシュで活発な子。今回の数少ない美少女の一人。



◀美衆達彦。美衆家の長男。伝説にある美衆家の財宝を密かに狙っている。

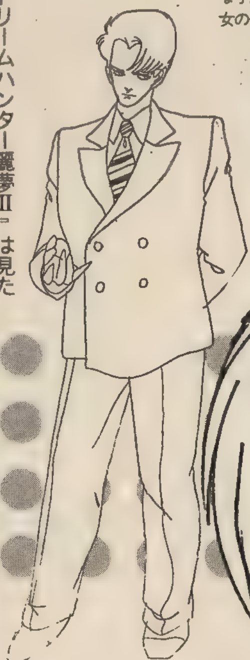


▼美衆恭子。伝統ある名家美衆家を守る未亡人。能面のようなその表情がコワイ

『ドリームハンター麗夢Ⅱ』は見たかな。まだ見てない人、早く見ようね。質は最高水準だぞ。さてⅢは！

聖美神女学園事件を解決した麗夢は、美衆家に招かれた。そこで麗夢を待っていたのは、自らの前世に因縁のある事件であった。そして次々に起こる奇怪な殺人事件。榊警部、円光らに力を借りながら、麗夢は核心にせまる！

今回、美衆恭章という男色の美少年が登場するが、この少年、『麗夢Ⅳ、Ⅴ』があれば登場しそう。なにしろ、とある人物に恋してしまうんだから……。



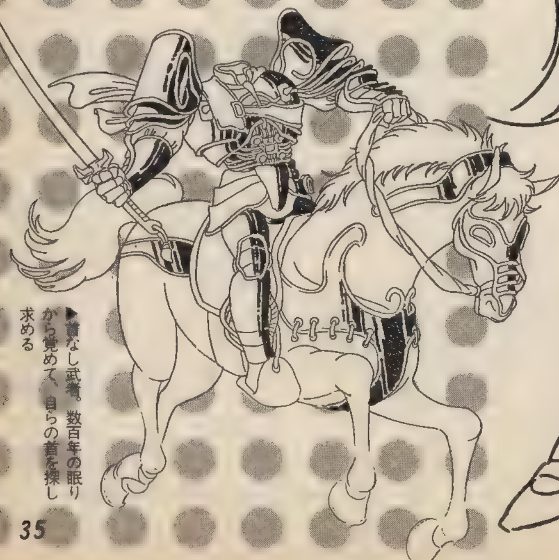
◀鬼堂海丸。超能力の研究をしている。麗夢の力に興味を覚え、執拗に麗夢を追いかけている。



▲そして、ご存知ドリームハンターの綾小路麗夢。美衆家に名前負けはしていない。聖美神学園事件よりもスケールの大きい事件に立ち向かうことに…。㊟この設定はスカートが違っています



▼美衆恭章。美衆家の次男。母ゆずりの美貌で、異様な雰囲気を持つ。実は、天性の男色。彼が目をつけた人物は、なんと……!!



▶首なし武者。数百年の眠りから覚めて、自らの首を探し求める

アニメ制服図鑑

冬服

夢からさめない



●髪型についての校則はそれほどきびしくない。ただし、パーマをかけることは禁止されている。リボンをつけることは認められているので、みんな、上手に利用している。

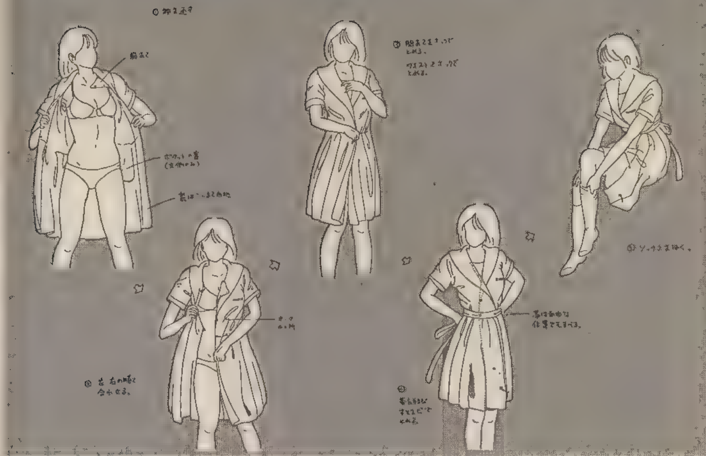
●この学校の特色ともいえる。オーバージャケット。セーラーカラーのため、後ろから見た姿は一見、普通のセーラー服姿。このジャケットの人気は高く、この制服、目あてに入学する子も多い。

●スカートはジャンパースカート型式。ベルトの変わりにリボンを腰に結ぶ。結ぶ位置は定められていないため、それぞれ自分のスタイルが良く見える位置で結んでいる。

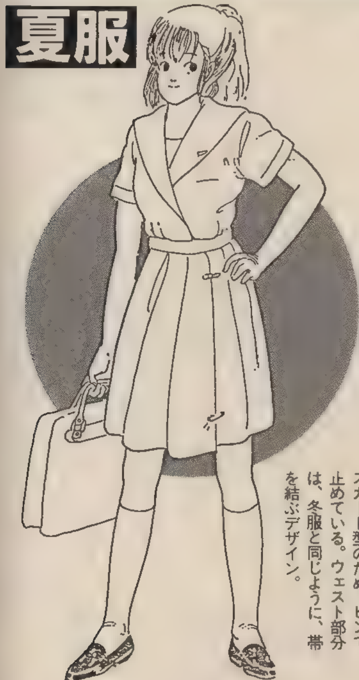
ブラウスは、ピーターパンカラーで、ネクタイをしめている。

●ジャンパースカートのたけは、最近はやりのひざが見える長さ。そうなるとソックスも必然的にはやりのニーソックス。このデザインだと、足の線の美しさが、こよなく表現できるしね。とどめのシューズはローファー。これは夏服にも共通している。

夏服の着用方法



夏服



◀冬服に負けず個性あふれたデザインの夏服。上図の着用方法を見てわかるようにこの制服はワンピース型になっている。

スカートのすそは、巻きスカート型のため、ピンで止めている。ウェスト部分は、冬服と同じように、帯を結ぶデザイン。



◀冬服の後ろ姿。パッと見た感じはセーラー服。そのために他の学校の制服と間違える人も多いだろう。だが、腰に結ばれたリボンを目印にすればすぐに見わけることができる。

マサユキ・モリのデザイナーズブランド

街で制服をかわいく着こなしている女子高生（リセ）たち。思わず、見とれてしまうことがあるきみ。そんな人たちにおすすめしたいのが、『夢からさめない』にでてくるこの制服だ。

デザイナーは、女子高生だけでなく、男性にも人気のある制服デザインで有名なマサユキ・モリ。彼のデザインによる制服は、個性的で、かわいいため、この制服が着たくて受験する女の子も多く、学校関係者からも現在、注目されている。

なかでも、最新デザインの制服はマサユキ・モリの代表作ともなるデザインとなりそうだ。

着ごこちをリセにインタビューしてみると、デザイン面では好評の様子だ。ただ、夏服に関しては、一部不評がでている。その理由は、スカートをピンでささえていることと、ウェストを帯でとめること。このデザインだと、動きまわると、下着が見えやすくなるためだそうだ。最近では、見えてもいいようなかわいい下着を着るようにしているとか。

白倉由美が描くと――



白倉由美の絵コンテ



特別な超能力があるわけでもないし、特殊な才能があるわけでもない。しいていうならば、かわいいということだけが特徴の女の子、川原砂緒。そんな、どこにでもいそうな普通の女の子が主人公となったのが、このアニメ『夢からさめない』だ。

主人公、砂緒は、思春期の少女特有の感性がするどすぎる女の子。クラスメートの女の子ですら忘れている女の子の気持ちを強くもっている。そのため、周囲の人たちから浮いた存在となっている。

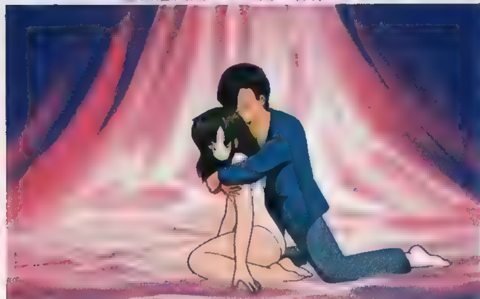
原作は、そんな少女の感性を描くことで定評のある白倉由美。脚本は『春一番が吹くまで』で純文学界にデビューした川西蘭。どこにでもある話のようでいて、見すごしてしまっている世界を2人の共作で描いている。

右の絵コンテは、川西蘭の脚本をもとに、白倉由美が、このアニメビデオのために描きおろした漫画用絵コンテだ。これがアニメでどう変わっていくか、今から楽しみだ。

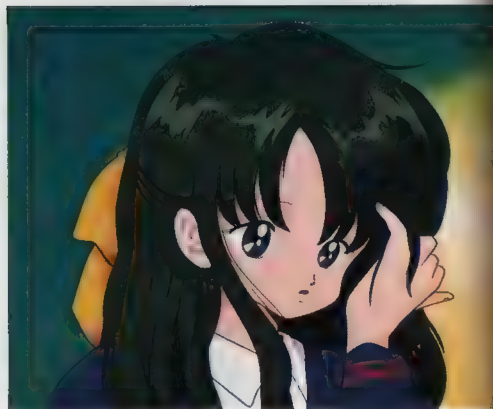
夢からさめない

C白倉由美・川西蘭・森伸之・RVC・シャフル

■発売日／1月25日予定■HiFiステレオ■カラー45分■￥9,800■原作／白倉由美■脚本／川西蘭■演出・絵コンテ／井上修■作曲／富沢和夫■制服デザイン／森伸之■音楽／松尾一彦







桜が満開の春。クラス替えで、藤井は砂緒の隣りの席になった。藤井は以前、自転車をパンクさせて困っている砂緒を助けたことがあったため話しかけたが、砂緒はつれない。クラスメートたちも「川原はポルノビデオの女優をしているという噂があるから近づかないほうが良い」と言う。

それでも砂緒のことが気になる藤井は砂緒をクラスになじませようと努力する。一度は心を開く砂緒。しかし、藤井の幼なじみの恵利の存在を知ってからまた心を閉ざしてしまう。

これはRVCビデオ第一弾ということで、主題歌にはRVCの推す人気歌手、佐野量子が起用される。しかも、作詞にはアイドルからアニメへと手広い活躍をしている秋元康。アイドル・アニメというイメージのあるこの作品にはピッタリだ。

実は、秋元康はこの作詞だけでなく、ストーリー作りにも助力をしている。プロット（あらすじ）作りの段階でアドバイスをしたということは、この作品のことを充分に知っているわけだ。これなら主題歌は作品のイメージから離れるようなことはないぞ。

川原由美子のイラストが動き出す!?

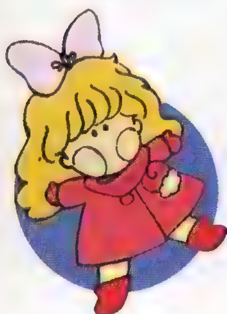


■発売／11月25日発送開始予定■HiFiステレオ■カラー／43分■￥8,800■ディレクター／木村真章■原画／川原由美子■演出／鳥居宥之■音楽／大貫妙子■アニメーション／百瀬義行（MOOK）■彩色／スタジオM■背景／河野次郎（スタジオユニ）■エアーブラシ／猪口利之■撮影／磯部覚（イソップ）

©川原由美子／鎌倉スーパーステーション／小学館プロダクション

『前略・ミルクハウス』で第31回小学館漫画賞と受賞した川原由美子。かわいい女の子の絵、美しいイラストでも大人気のマンガ家。その川原由美子のカラーイラストがビデオになった。

このビデオの特色は、川原由美子のカラーイラストを原画として、あの独特の水彩画を生かしたアニメにしていることだ。だから、これまでのアニメーションと違ってあくまでも川原由美子のタッチを生かした作品となる。このため、ビデオには、ストーリーはなく、音楽とイラストで世界をつくったイメージビデオとして楽しめる、まさに川原ファンとしては期待の一本となりそうだ。

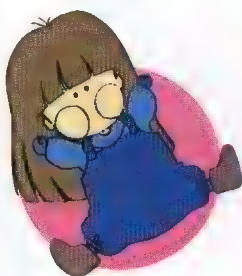


この水彩画手法のアニメに挑戦したのは、CFなどで活躍中の鳥居宥之。サウンド面は、『カイエ』『COmin soon』でファンタジックな音楽を発表している大貫妙子。

なお、このビデオは通信販売のみなので、欲しい人は早目に申し込もうね。先着6、000名には川原由美子イラストつきのケースもプレゼントされるぞ。

問いあわせ先　東京都千代田区神田神保町1-3ミヤタビル4F小学館プロダクション『ミルクハウス・ドリーミング』ビデオ係。

☎03-294-2450







バツ&テリー

作画スタッフ決定!

日本サンライズの制作の「バツ&テリー」の作画スタッフが決定した。
スタジオ・ライブ、アニメ・アール、スタジオ・ムー、金山昭博、二宮常雄、直井正博、佐藤千春、横山健次、遠藤栄一の面々だ。
さらに、このメンバーに加えて、キャラクターデザインが、いんどり小屋というのだから、これはもう最高の絵が見られるぞ!

■原作/大島やすいち(週刊少年マガジン連載)■脚本/平野靖士■絵コンテ・監督/アミノテツロー■アニメーションディレクター/芦田豊雄■キャラクターデザイン/いんどり小屋■作画監督/山内則康

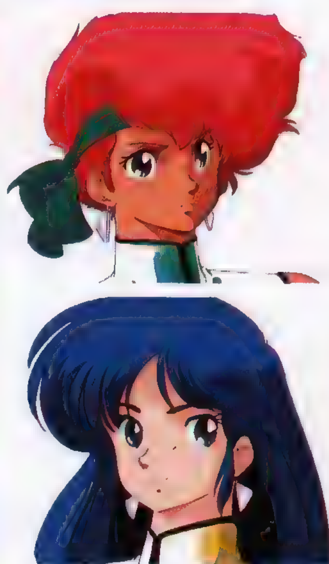


ダーティペア DIRTY PAIR

新たな二人の門出に乾杯!!



▲◀前号にも一枚写真を載せておいたので、気が付いた人も多いと思うけど、今回の映画版では、原作者の高千穂遙先生の意向もあって、コスチュームのデザインが大きく変わった。
前後の絵を載せておくので、よーく見てくれ。



テレビでビデオでと、大暴れしたダーティペアの映画版のご紹介。
宇宙最強のこの二人にあたえられた今回の仕事は、アガーナ星の三つの国家「ウルダス」「エディア」「シーグラン」で起きた様々な事件の謎を解く事だったが……。
新しいスタッフで作られる二人の活躍に注目!

■劇場/全国松竹系にて3月公開■監督・絵コンテ/真下耕一■脚本/星山博之■キャラクターデザイン・作画監督/土器手司■メカニカルデザイン/宮武一貴■美術/宮前光春■製作/日本サンライズ

蒼き流星 SPTレイズナー

エイジは再び蒼い流星となった!!







「ボトムズ」のシリーズと同じく、東芝映像ソフトから発売されている「レイズナー」のシリーズはもう見たかな?ACTⅠ・ⅡとTVの総集編が出ているんだ。
そして、それに続いて今度発売されるのが、ACTⅢである「刻印2000」だ。
これは、TVでは打ち切られてしまった4クール以後の話が、全編新作で見られるというもの。
この一本があれば、TVではわからなかった「レイズナー」の秘密が、すべてわかることうけあい。





■発売日/10月21日■HiFiステレオ■カラー/55分■¥9,800 ■原案/矢立肇■原作/伊東恒久・高橋良輔■プロデューサー/植田益朗■監督/高橋良輔■キャラクターデザイン・作画監督/谷口守泰■メカニックデザイン/大河原邦男■音響監督/浦上靖夫■美術監督/本田修・荒井和浩■撮影監督/三浦豊作■製作/日本サンライズ

GREY グレイ
デジタル・ターゲット
DIGITAL TARGET

マジック・バスの描く——たがみよしひさの世界









▶グレイ。彼は敵からだけでなく、仲間からも〝死神〟と呼ばれている。のちに、戦いの中で、傷ついた彼は、左下図のようなサイボーグになる。
▲中央・隊長レッド、左・E級女戦士ノーヴァ





徳間書店の『少年キャプテン』に好評連載中のたがみよしひさ作の「GREY」が、オリジナルビデオアニメになるぞ。

西暦25XX年、幾つかの大戦を経た人々は、小数の町に分かれ、コンピュータの管理下で生きていた。

しかし、戦争は終らなかった——。

戦いそのものがコンピュータに管理されれ、人々は、平和な生活を手に入れるためには、戦士となるしかない。

そんな時代にあって、出撃するたびにただ一人生き残る男〝死神グレイ〟。

彼は、そんな世界に疑問を持つが……。





■発売日／来年1月25日■HiFiステレオ■カラー／80分■¥13,800 ■監督／出崎哲■演出／富永恒雄■脚本／平野靖士■キャラクターデザイン／四分一節子■メカデザイン／鈴木伸一■作画監督／小林ゆかり■美術監督／新井寅雄

デルパワーX
爆発ミラクル元気

©ぷろじぇくとX

アニメ誌から産まれた『デルパワーX』、新たなるロボットプロレス物の魅力爆発！

女子中学生羽根木愛美は、祖父の造った人型スーパーロボット〝デルパワーX〟で、フォン・ゲッツェル博士の造ったゲルマノイド（白兵戦用装甲服）と戦う事になってしまうが……。

錚々たるメンバーによって、デザインされたキャラクターたちが、どんな動きを見せてくれるのか、たのしみな所だ。

■発売日／12月21日■カラー40分■HiFiステレオ■¥8,800■監督／佐藤真人■作画監督／知吹愛弓■脚本／塚本裕美子■販売／日本コロムビア

みらくる元気プログラム、発動!!







◀これが主人公ロボ〝デルパワーX〟だ！
▼敵のゲルマノイドたち。右・ストラウディ、左・ヴァリウス、中央・ギャラクレス。

ハートカクテル

爽やかな映像のカクテルはいかが？

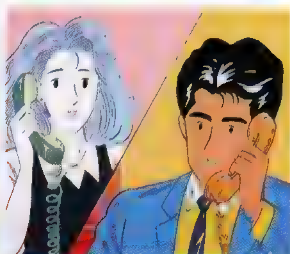
日本テレビ系で放送を開始した話題のショートアニメ『ハートカクテル』が、来年2月頃をめどに、ビデオとしてもお目見得することになった。

内容はTVシリーズ13話分（1クール）を一本のビデオとしてまとめる予定。その後パートⅡ、パートⅢ……と続編ができる予定もあるので　ファンの人達は期待してほしい。ひょっとしたらビデオオリジナルのおまけがつくかも。

音楽担当は、TV同様キーボードプレイヤーとして日本の音楽シーンをリードする松岡直也。中森明菜の『ミ・アモーレ』の作曲者としても知られる松岡さんのオリジナル曲がハイファイ・サウンドで楽しめるのも目玉の一つだ。

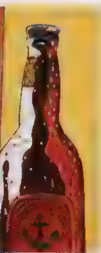
静止画像を効果的に生かした小粋な映像としっとりしたサウンドが、君の部屋をオシャレに飾ってくれる。（原作／わたせせいぞう　発売元／講談社　62年2月発売予定　定価9800円）

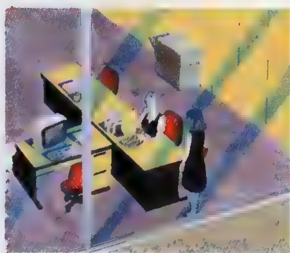








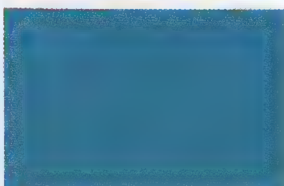
















究極の美少女が問う！ 究極の究極とは何!?

『麗夢』でご存知、サイ・エンタープライズとプロジェクトチーム永久機関が送る、究極を問う美少女アニメがこれ。

天竺界に住む、オー！ ゴッドさまが、天竺界究極の〈お宝物〉LOVEを失い、弟子の巫女、チェリーとレモン、神の跡継ぎ、ベリーの三人に〈お宝物〉追跡を命じた。

ということで始まる物語。〝西遊記〟になるのかな、と思いきや、この三人娘、天竺界を飛び立つと地球に寄り道して女学生しちゃう。

はてさて、LOVEは見つかるのやら。

三人娘でメインとなるのが、意外やレモン。これはパターン破りか、それとも気まぐれか。前代未聞の完全アゴなし美少女の運命やいかに。何でも、空前絶後の能力を秘めているとか、いないとか……。


◀ベリー ◀チェリー ◀レモン







■発売日／12月5日■HiFiドルビーサラウンド■カラー／45分■Ⓥ OAS-1014／Ⓑ OAB-1014■¥9,800■原作／奥田誠治・寺田憲史■総監修／奥田誠治■作画監修／谷口守泰・村中博美■監督／遠藤克己■脚本／寺田憲治


▼セシリアン


▼J・J





バリバリ伝説PART II

鈴鹿サーキットを駆けるグンの勇姿!!

今回の「PARTII 鈴鹿編」での舞台は当然、鈴鹿サーキット。ここでの4時間耐久レースにグンと秀吉、みいとヒロは二人ずつで組み、一の瀬レーシングチームとして参加した。

この参加はグンに土下座までして頼みこんだ秀吉の熱意によって、ようやく実現したもの。秀吉はプロのレーサーになって二人きりの妹に楽をさせたかったのだ。

レースを中心としたドラマなので、前作以上にバイクの描写に注目されるが、作画スタッフがすべて「エリア88」のメンバーということで、グッと期待度が上がってるぞ。完成が待ち遠しい。


▲みいが戻ってこないのに不安を感じる歩惟

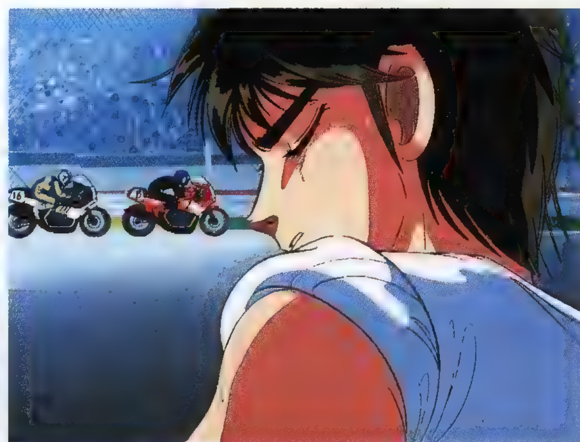
■発売日／12月16日予定■HiFiステレオ■カラー50分■￥9,800予定 ■原作／しげの秀一■監督／池上誉優■脚本／柚木圭、渡辺麻実■絵コンテ／池上誉優、案納正美■作画監督／古瀬登■美術監督／勝又激■音響監督／斯波重治■グン／田中秀幸■歩惟／荻野目洋子■秀吉／中尾隆聖■みい／戸田恵子■ヒロ／二又一成■市川／堀勝之祐ほか


▲転倒したみいはかなりの負傷。続けるか、リタイヤか？

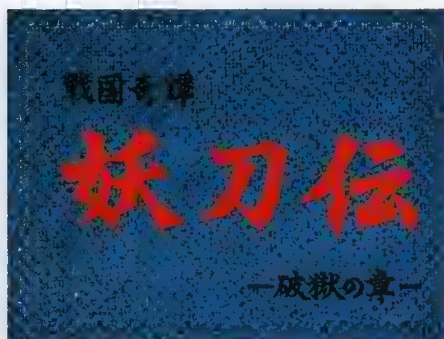

▲レースを見守る歩惟と市川



▲練習走行では、グンのタイムはうなぎ上りだった

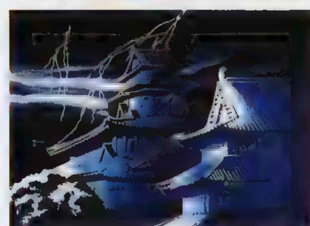

▲秀吉のストレートでの通過音の違いにグンは気付いた

大胆な設定で、SF時代劇アニメが登場!!



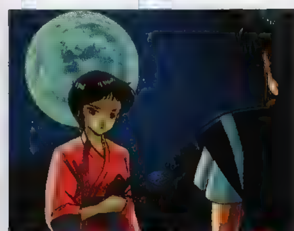


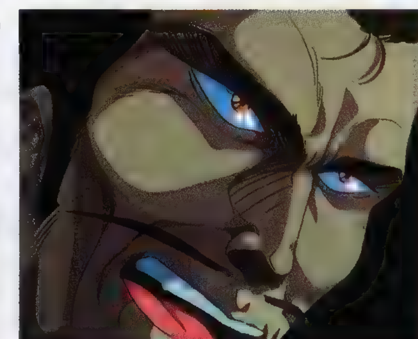




■9月21日発売「アニメビジョン第5号」より連載中■原案／山崎理■脚本／鳴海丈■監督／桜井利之■作画監督／大貫健一


▲香澄の綾之介、推参!


▲妖しげなムードの綾女と桔梗


▲嵐を呼ぶ恐怖の城、安土城
◀戦乱の世を妖魔の力で一手に掌握しようともくろむ織田信長。その目には魔性が宿っている!

「アニメビジョン」の顔でもあった「コスモスピンクショック」はとりあえず、しばらく休載ということで登場のこの作品は、往年の名作「仮面の忍者 赤影」を彷沸させる。

なにしろ、戦国の世に妖魔の操る巨大な怪物ムカデが現れて大暴れしちゃうのだ。妖魔を倒すべく活躍するのは、影忍の生き残り、香澄の綾之介。だが、綾之介の正体は綾女という女だった!

綾之助は左近、龍馬という二人の強い味方を得て、一族の仇、織田信長を狙う。そして、この信長こそが妖魔大帝に操られる、戦国の魔将なのだ!!

この対決の鍵となるのが〝古き妖刀〟なのだが、その秘められた力とは、はたして……!?

©弓月光



みんなあげちゃう

再映像化はアニメで

■発売日／3月1日予定■HiFiステレオ■カラー45分■¥9,800 ■原作／弓月光（集英社『YOUNG JUNP』連載）■監督／上村修■作画監督／つかさ匡■美術監督／勝又激■音響監督／本田保則

以前、にっかつで映画化されたことのある、集英社『YOUNG JUNP』連載中の弓月光原作「みんなあげちゃう」がアニメビデオ化されることになった。

大金持ちの女の子に恋されたものの、そのためにまきおこる、ほとんど不条理な出来事に翻弄される男。はたして、この恋は幸運か不運か、というような物語。何といっても注目されるのは、大金持ちの娘で奔放な女の子、悠乃がどう描かれ、また、誰が声を演じるのか、だね。

©SVI／ムービック／アートミック

ウォナビーズ

アニメ界初の本格的女子プロレスアニメの登場だ!!



▶園田健一画によるミキとエリ。いざマットへGO!
◀ミキのキックが炸裂!





▶エリのラリアットが喉元に一閃!!
▼二人は、果たしてこの大きなトロフィーをかかえることができるか!?



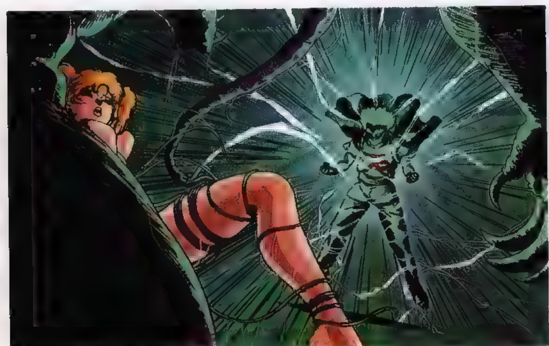
■発売日／12月21日■HiFiステレオ■カラー45分■¥9,800■原作・脚本／鈴木敏充■監督／長谷川康雄■キャラクターデザイン／園田健一■作画監督／清水義治・太田博光■美術監督／南郷洋一■原画／太田博光／高田三郎／戸倉紀元／清水義治／田中二郎／島田ひであき ほか

アニメで初めて女子プロレスを描く「ウォナビーズ」。当然、女子プロレスの世界を描くために、ウォナビーズ以外にも美少女レスラーが登場するぞ。

残念ながら絵は入手できなかったが、ドリームエンジェルというタッグチームが悪の軍団フォクシーレディースに挑む。だが、奮戦むなしく、ドリームエンジェルのスーとランの二人は、フォクシーレディースのパワー殺法に敗れ、再起不能にまでされてしまう。

だが、これら一連の事件の裏にはいつも鬼堂コンツェルンの総師、鬼堂鉄馬がいた。鉄馬の仕込んだ陰謀とは、一体何か?

©JAVN



うろつき童子

SFハードコア！　アダルトアニメ界に嵐が吹きあれる!!

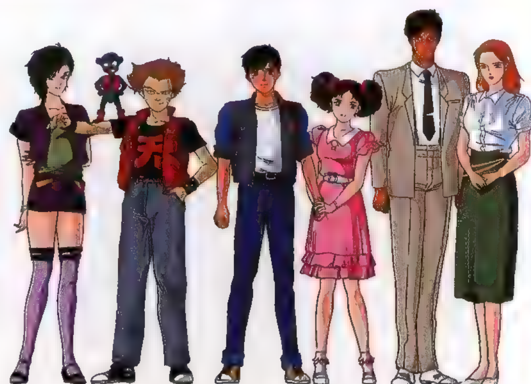
■発売日／1月下旬■HiFiステレオ■カラー30分■未定■原作／前田俊夫（漫画エロトピア刊）■制作・発売／JAVN■スタッフ／公表されません

アダルトアニメ界は宇宙企画の参入などで、今は大荒れ。「くりいむレモン」シリーズも老舗の力を見せようと、活発な動きを見せている。

そこに、さらに新しい旋風を起こそうと登場するのがJAVNが発売する「うろつき童子」。原作は前田俊夫が『エロトピア』に発表した超越的SFハードコア劇画だ。

これをアニメ化するスタッフは名前こそ明らかにしないが、ここ数年、アニメファンはTVでお世話になっている、有名アニメーター集団。ビデオのほうでも、最近よく誌上をにぎわせている人たちだ。キャラ表を見て、スタッフを推測するのも面白いね。

原作のスケールが大きいことをうけ、ビデオは3巻または4巻とし、さらに原作をパワー・アップさせる、とのこと。18歳以上のキミ、注目だよ。



OUTLANDERS
アウトランダーズ

火の玉王女が、かる～く反逆！

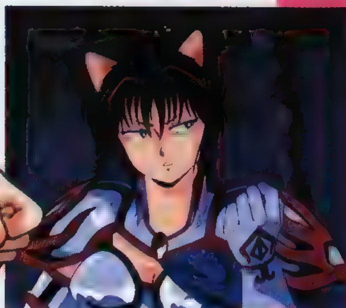
突然、地球を襲ってきたエイリアンたち。彼らは、地球を〝聖なる星〟と呼ぶ地球の先住民族だったのだ。
彼らと地球との戦いの中で出会う日本人カメラマンの若槻哲也と帝星セントー＝エバスキュレーゼの王女カーム。
二人の関係を中心に、異星人との戦いを描く、白泉社の人気マンガ『アウトランダーズ』のアニメ化だぞ。
ストーリーは、原作を読んでいる人にも、いない人にも楽しめるように、マンガとは少し違う展開になる事に決定。今から楽しみだね。

▶これがエバスキュレーゼの王女カームだ。
頭の角は、地位の高い事を示し、術（超能力）を使う事もできる。

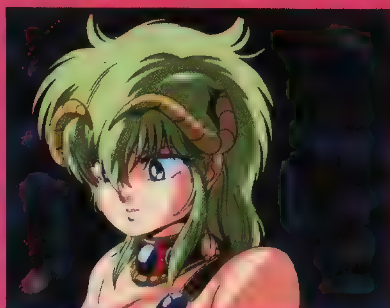
©真鍋譲治／白泉社・タツノコプロ・ビクター



▼この恐い顔のオッサンがカームの父、皇帝ウエイヴァス13世だ。



▲カームの親友、帝国軍女戦士バティア。



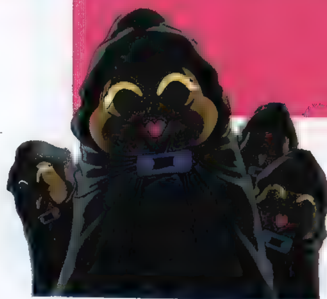
▲王女カーム。彼女の任務は地球人の殲滅だったが……。



▲カームの写真を撮ったテツヤは……。



▲テツヤとカームの関係に反対なバティア。



◀惑星ナンヤネンのヌバ族たち。彼らは、下働きとして帝星にいたが……。
中央にいるのが、頭領のナオ。



▼ヌバ族の頭領ナオの妻、モモ。

STAFF ■製作　吉田健二・須田英昭■企画　井上明子■原作　真鍋譲治（白泉社）■監督／山田勝久■脚本　富田裕弘・寺田憲史■演出／五月女有作■キャラクターデザイン・作画監督　浜崎博嗣■美術監督／宮前光春■撮影監督　橋本和典■音響監督／本田保則■音楽　若草恵■原画／西島克彦／梅津泰臣ほか

夢幻紳士



©高橋葉介／徳間書店・ビクター

■発売日／2月下旬■HiFiステレオ■カラー／45分予定■￥9,800予定■原作／高橋葉介（徳間書店刊）■監督・作画監督／辻初樹■脚本／橋本以蔵■美術監督／山本二三■監修／早川啓二■演出助手／高木宣弘

独特の画風と語り口で人気の高橋葉介作品がアニメ化。それも高水準の作画で評価されているスタジオぎゃろっぷの手で制作されるということでファンは狂喜乱舞している。はたして、あの一種奇妙な雰囲気がどのように再現されるのか、注目したい。







併映 少しロマンチックにファンタジー

『11人いる!』と同時上映されるのが、同じマジック・バスの作品、『扉を開けて』だ。

この作品は、女性新進SF作家の新井素子さんの同名小説のアニメ化なんだけど、アニメの絵の方は、新井さんの女性らしい感性をよく捕えていて、いい雰囲気をかもし出していてよいのです。

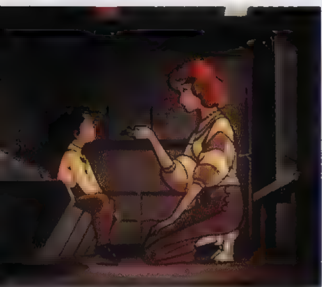
この作品と『11人いる!』が同時上映なんて、見に行くしかない!

11人めは——おまえ!!



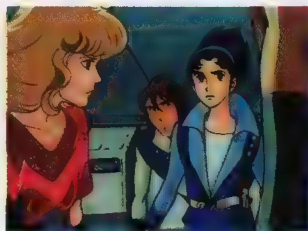


◀エスペランサ号内部で起こった謎の爆発。だが、この爆発は試験の一環であった。そうとは知らない受験生たちは——

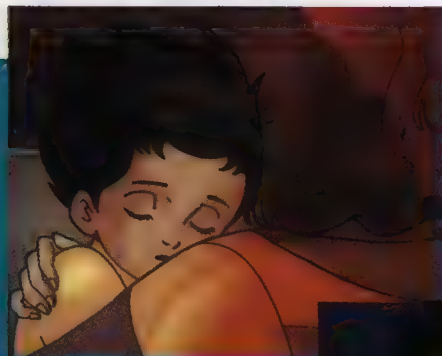


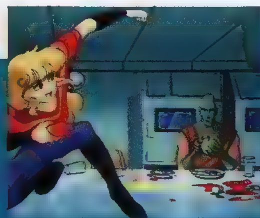


▲ガンガの体にデル赤斑病の症状が現れた。受験生の生命は守られるか



▲フロルの言動に疑いがもたれた。他の受験生たちはフロルを詰問した——





▲不安な毎日を送る彼らは食堂でも暴れ始める



▲エスペランサ号にやたらとくわしかったタダの秘密が判った。かつてこのエスペランサ号はデル赤斑病で滅んだ宇宙船で、タダは唯一の生存者だったのだ！ ▶フロルの腕の中で母の感触を思い起こし、記憶の隅に追いやっていたエスペランサ号の一件をタダは思い出した



▲"王さま"は艦内の不安材料を早く排除しようと焦っていた 試験の合否以上に生命の危険も迫っている今、決断の時と"王さま"は11人めを断定「11人めは——おまえだ!!」

▼フロルが両性体と知って、タダは驚いた。フロルは男になりたくて、男として扱かってほしくてだまっていたのだ



萩尾望都原作の人気マンガのアニメ化であるこの作品、制作も順調に進み、作画はすべて終了した。

11人も主役がいるのにかかわらず全員が、それぞれの個性を見せながら生き生きと描かれていて、作画スタッフや、他のスタッフの力の入れ方が伝わってくる。

君は、どのキャラのファンかな？ また、原作を読んでいない君は、だれが11人目なのかを当てる、推理物としてドラマを楽しむのもいいだろうね。

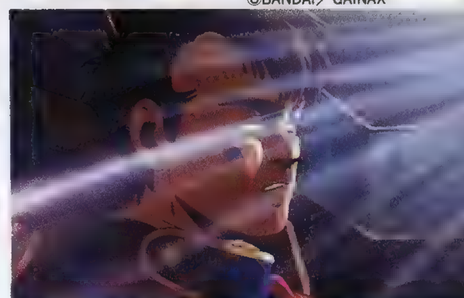
何にしても、期待の大きな作品だ。近日東宝洋画系公開。同時上映は、『扉を開けて』。

STAFF ■原作・構成 萩尾望都（小学館・萩尾望都作品集より）■制作 多賀英典■企画 落合茂一■プロデューサー 古徳稔■脚本 今泉俊昭、小出一巳■監督 山崎哲、富永恒雄■作画監督 清水恵蔵■美術監督 東潤一■キャラクターデザイン 杉野昭夫、清水恵蔵■製作 キティ・フィルム、キティ・エンタープライズ、日本ビクター

オネアミスの翼
―王立宇宙軍―



◀王国と対立する共和国は宇宙軍の妨害に乗り出し、シロツグは共和国に送り込んだ刺客に狙われ、逆に使命感を強める



▶シロツグは世界初の宇宙飛行士となることで注目を集める（顔のマーキングは、この国の習慣で、正装時には不可欠）

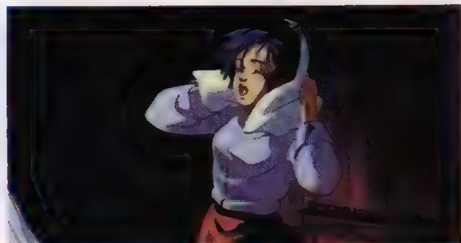
宇宙をめざすシロツグはヒーローになれるか？



▲はたしてこの戦火の中、ロケットは打ち上げられるのか？



▲共和国はロケットの発射を実力で阻止しようとする



▲リイクニはシロツグの安らぎであり、はげみだったが……



▲シロツグは宇宙船のコックピットで何を見るか？

我々の地球ではない、どこかの地球。そこの山地の中に湖に面した小国、オネアミスがあった。

シロツグ・ラーダットは水軍のパイロットにあこがれていたが、落ちこぼれて王国のお荷物、宇宙軍へ入隊、無気力な日々を送っている。そのシロツグが、リイクニという少女に出会ってやる気を出した。宇宙軍が初めて打ち上げる有人ロケットのパイロットに、彼一人が志願したのだ!!

来春、東宝洋画系にて全国ロードショー公開予定。



▲この地球は、我々の地球と異なるといっても、非常識な生態系をしているわけではない。その自然は雄大で美しいのだ

活劇 少女探偵団

聖ゴータマ女学院の中でうごめく恐ろしい陰謀――立ちあがれ！少女探偵団

▼〝活劇〟する女子高生三人組。左から、チョッピリ大人びた一の谷碧、普通の女子高生江戸川友里子、キャピ・キャピ・ルンルン・ギャルのイングリット・静香・G。

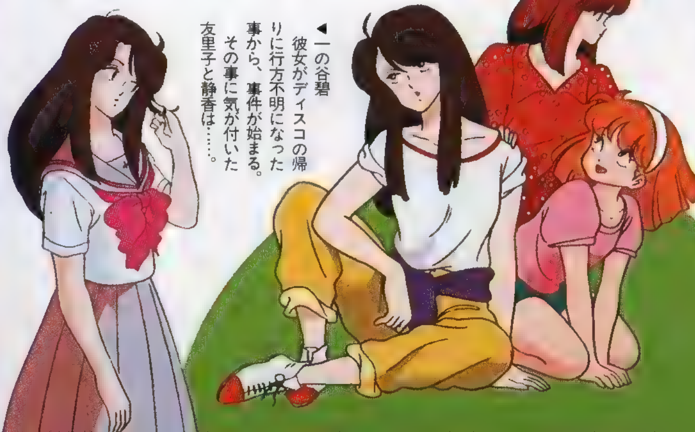
東京ムービー新社、初のオリジナル・ビデオ・アニメーションがこの『活劇少女探偵団』だ。

究極のお嬢様学校である聖ゴータマ女学院で起こる事件に巻き込まれた三人の極々普通の少女たち。

この三人に世界征服を企む学院理事長や、防衛隊の新兵器までからんできて、もうハチャメチャ！

11月25日、ジャパンホームビデオより発売予定。30分、￥8，800。

後藤真砂子が作監。以下、亜細亜堂の面々が名を連ねている。



◀一の谷碧 彼女がディスコの帰りに行方不明になった事から、事件が始まる。その事に気が付いた友里子と静香は……。





森本晃司

『フランケンの歯車』
「迷宮物語」「レンズマン」「コブラ」の森本晃司さんの作品は、小さな風車小屋で起こる、世界征服の野望を持つ博士と、怪物ロボットの話。
このページのロゴは森本さんの作。
美術は、池畑裕治さんが担当する。

梅津泰臣

『少女の足ながおじさん』
「ストップひばりくん」「レンズマン」「メガゾーン23Part2」(この作品ではキャラクターデザインも担当)の梅沢泰臣さんは、この作品でメルヘンを描く。
美術は、山川晃さんが担当する。

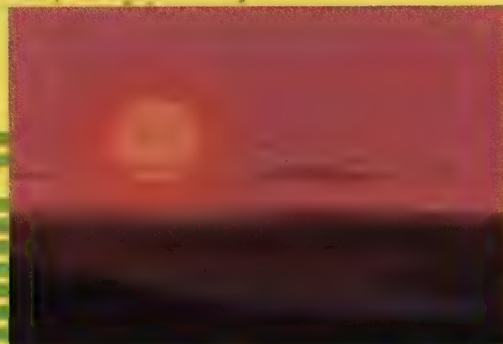




「何かやろう！」その一言であつまった７人のアニメーターたち。彼らが作り出したのが、この「ロボットカーニバル」だ。
この作品は、７人のアニメーター一人一人が、監督、原作、絵コンテ、キャラクターデザイン、メカデザイン、原画、作監と、ほとんど一人でこなして、自分個人の世界を作り出している。
構成としては、これにＯＰとＥＤが付くぞ。

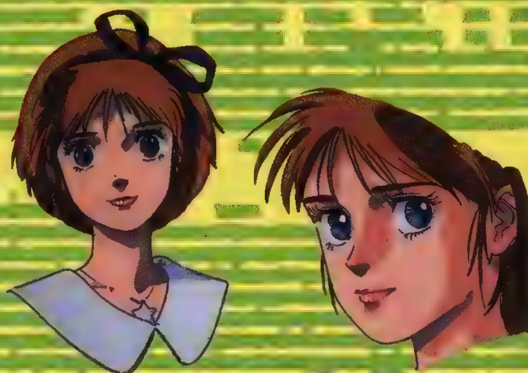


この一本はアニメ界の記録だ!!



大友克洋&福島敦子

この短編集的ビデオのオープニングとエンディングを担当しているのは、マンガ「アキラ」や、「幻魔大戦」のキャラクターデザインで有名なマンガ家大友克洋さんである。
また、この部分のアニメ作画は、「迷宮物語」(絵を大友さんが担当)や「金の鳥」の福島敦子さんだ。
これは、ＯＰとＥＤも見ごたえがありそうだぞ。



大森英敏

『DEPRIVE』
「エルガイム」「ダンバイン」などの一連のロボット物作品に参加してきた大森英敏さんの作品は、スーパーヒーロー物だ。
勧善懲悪のエネルギッシュな作品になるらしく、作画でも燃えている。
美術は、松本健二さんが担当する。

北爪宏幸

『遊園地のペンダント』
「エルガイム」「機動戦士Ｚガンダム」「機動戦士ガンダムＺＺ」(この作品ではキャラクターデザインも担当)の北爪宏幸さんの作品は、遊園地を舞台にした女の子の話。
美術は、島崎唯さんが担当する。



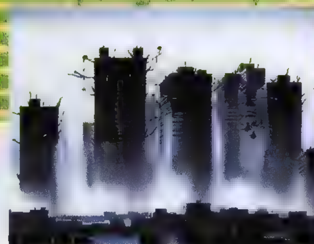
北久保弘之

『明治からくり文明奇譚』
「うる星やつら」「GuGuガンモ」「ポップチェイサー」(この作品では監督)の北久保弘之さんのこの作品、明治時代にロボットがあらわれたらどうなるかが、描かれる。
美術は、佐々木洋さんが担当する。



マオラムド

『～CLOUD～』
「ボビーに首ったけ」「金の鳥」のマオラムドさんの作品は、ロボット版ピノキオ的作品になる。
１人の男の子のロボットが、人間になるまでの過程が、描かれる。
また美術も本人が担当する。



なかむらたかし

『ニワトリ男と赤い首』
「ゴールドライタン」「幻魔大戦」「ウラシマン」のなかむらたかしさんは、夜の新宿を舞台にした、酔っ払いと亡霊ロボットのちょっとホラーめいた作品を作る。
美術は、沢井裕滋さんが担当する。

STAFF ■発売日　年末予定■￥17,800■カラー90分■監督、原作、絵コンテ、キャラクターデザイン、メカニカルデザイン、原画、作監　大友克洋(一部)、福島敦子、梅津泰臣、大森英敏、北久保弘之、北爪宏幸、なかむらたかし、マオラムド、森本晃司■美術／山本二三、山川晃、松本健二、佐々木洋、島崎唯、沢井裕滋、マオラムド、池畑祐治■色指定　前原幸弘、村上和子■撮影　トランスアーツ■音楽／久保譲(藤田意作)■音響監督　本田保則■製作、発売元／Ａ・Ｐ・Ｐ・Ｐ■販売元／ビクター音楽産業株式会社



時空の旅人

テコたちの時空旅行の記録

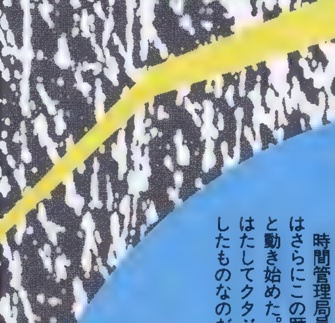
時間逃亡人アギノ・ジロによって、時空の旅人となってしまったテコたち。彼女たちの時空旅行の記録を追ってみよう。ポイントとなる時点は第二次大戦と本能寺の変。テコはこの二つの時点で同一人物と出会った。その恋は、はたして成就するのだろうか？

■12月東宝洋画系公開予定■原作／眉村卓（角川文庫版）■脚本／大和屋竺／真崎守／竹内啓雄■キャラデザイン／萩尾望都■作画監督／野田卓雄■美術監督／男鹿和雄■監督／真崎守









1986	現代
1945	東京大空襲
1941	太平洋戦争
1868	大政奉還・明治維新
1603	徳川幕府
1600	関ヶ原の戦い
1590	秀吉、全国統一
1582	本能寺の変
1568	室町幕府滅亡

異聞本能寺

関ヶ原の戦いで出会った平野兵蔵はジロたちとともに本能寺の変、前夜にやってきてしまった。兵蔵は明智光秀を討ち、本能寺の信長に光秀の首を持参。ここで、ついに歴史が変わってしまった。

時間管理局員、セドウド・ジンはさらにこの歴史を修正しようと動き始めた。狂った歴史ははたしてクタジマが、計画したものなのだろうか？

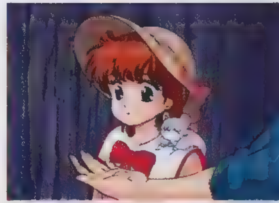


時間管理局員セドウド・ジンの手により、歴史は正しく流れ始めた。本能寺にいたテコたちもこの変に巻きこまれる。彼女たちは助かるか？



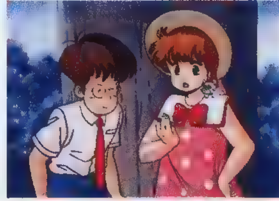
魔法のスター マジカルエミ

さりげない日常描写に♥









舞が〝マジカルエミ〟になれる魔法を返すより前の夏の物語。

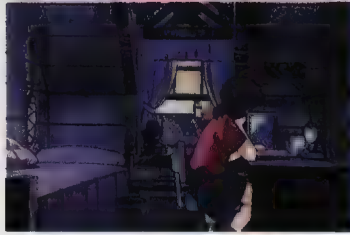
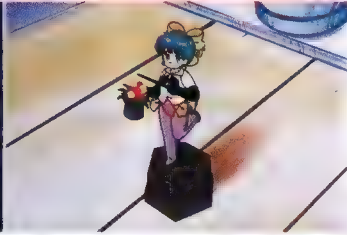
合宿から返ってきた将は、舞へのお土産をどこへやってしまったかを忘れて困っていた。舞のほうは、お母さんに教えてもらったあやとりで時間をつぶしている。

夕方、おつかいに出た舞は帰りに武蔵と遊んでいるうちに夕立ちに会う。

その夕立ちの中、将は舞へのお土産、桜貝を持ってきた。夕立ちがあがって、空には二重の虹。舞は走り出す。

雨上りの地面、舞のいたずら書き、エミと舞の似顔絵は、エミが消え、舞のほうだけが残っていた。





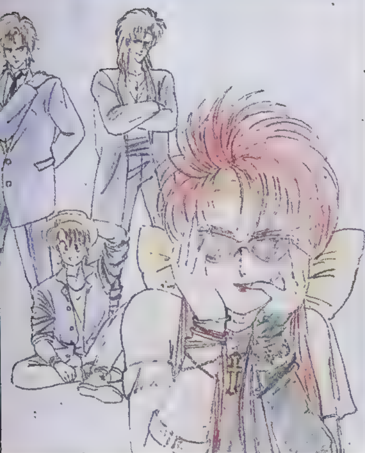
おまけ
イベント時に流された「ごめんなさい」フィルムが収録されているよ。





■発売中■HiFiステレオ■カラー60分■¥9,800■監督・演出・絵コンテ／安濃高志■キャラクターデザイン・作画監督／岸義之■脚本／小西川博司

獣戦機隊SONGS



『超獣機神ダンクーガ』も音楽ビデオで再登場。こちらも一曲は新曲、新作カットが入る。新曲は矢尾一樹が歌い、獣戦機隊4人組でも一曲歌うんだ。また、ファン参加のアイ・キャッチも収録される。

■発売日／11月21日予定■HiFiステレオ■カラー30分予定■価格未定■販売／SVI

ミンキーモモSONGスペシャル

『ミンキーモモ』のオリジナルビデオ『夢の中の輪舞(ロンド)』が出てからすでに一年以上たってしまったが、ここにきて、再びモモが登場することになったぞ。

今回、『SONGスペシャル』ということで、再編集とあの数々の名曲が中心だが、一曲だけ新曲が入り、さらにそのパートは新作カットになるんだ！

■発売日／11月21日予定■HiFiステレオ■カラー／30分■価格未定■発売／ビクター音楽産業■販売ネットワーク■アニメーション制作／葦プロ



アーバン・スクウェア

©エモーション

琥珀の追撃

前回の作監の本橋秀之さんの話を聞いて、ますます期待が大きくなった「アーバン～」。

売れない放送作家の松本良は、ふとした事から美術品の密売の現場を見てしまう。

そんな良を殺そうとする密売組織の人間たち。これに刑事の望月一夫と、美女の田村由紀がからんで、大追跡劇を展開する。

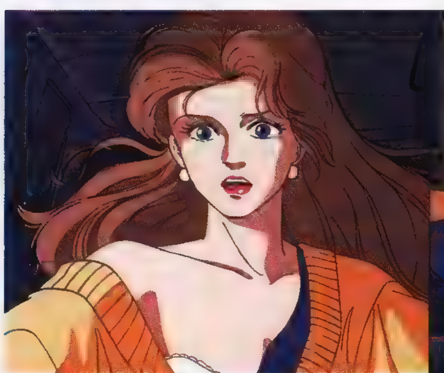
もちろん、その中には、カーチェイスあり、銃撃戦ありとみどころはたくさんだ。

脚本が「うる星やつら」の伊藤和典というのも期待大。

▲はっきり言って主人公の良よりカッコイイ望月一夫。シブイ中年の魅力がある。
▶主人公の松本良、殺し屋辺見との格闘で、ライフルが暴発してしまうが……。

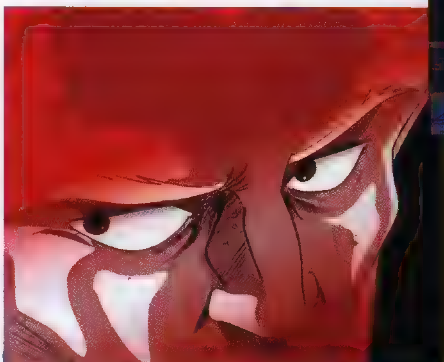


本年度最大の娯楽アクション!!



◀本作品唯一の女性キャラ、田村由紀。彼女は、場面が変わるたびに服装と髪型を変えて出てくる。
唯一の女性キャラならではのスタッフの力の入れようだ。
▼敵に追われる良。同じ走るシーンでも望月と違い三枚目の走り方だ。





■CAST／松本良(主役)・井上和彦／田村由紀（ヒロイン）・山田栄子／望月一夫（刑事）・田中信夫／辺見（殺し屋）・井上真樹雄／空手挙五郎（刺客）・千葉繁／下原（刑事）・鈴置洋行■11月15日発売■¥9,800■ネットワーク



①16㎜フィルム貸し出し

●ビデオテープではなく、16㎜フィルムを貸し出します。

●映写機、スクリーンなどは含みません。

●貸し出し期日は10月20日以降になります。

☆申し込み方法

封書にて、

1、学校名、団体名など
2、代表者名・連絡先（要☎）
3、上映日・会場（収容人数）
予定入場者数

を書いて申し込んで下さい。

☆スケジュールの都合上、お早目にお申し込み下さい。なお、上映日が重なる場合には抽選になりますのでご了承下さい。

☆学園祭に限らず、イベントや上映会でのご希望もどうぞ。

☆お申し込み、お問い合せは、
〒150 東京都渋谷区神山町10－3
㈱ネットワーク
フロンティア事業部
☎03－485－9611

②原画コピープレゼント

☆御希望の方は、60円切手を同封の上、
〒150 東京都渋谷区神山町10－3
エモーション ファミリークラブ
までお申し込み下さい。

③完成イベント招待

●11／1 名古屋市公会堂 15時
●11／9 東京・渋谷パンテオン 19時半

☆往復ハガキにて、希望会場と住所・氏名・年齢を明記の上、ネットワーク AE企画まで、お申し込み下さい。

☆締め切り／10月25日(消印有効)

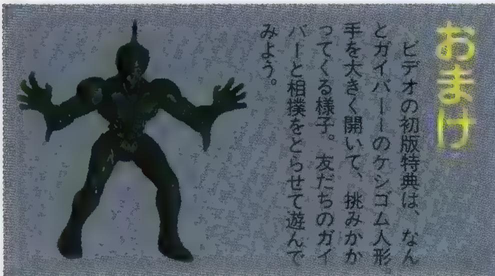
強殖装甲ガイバー





■発売日／11月予定■カラー55分■￥9,800■プロデューサー／芦田豊雄、加藤長輝■監督、演出、絵コンテ／わたなべひろし■脚本構成／伊武紋太■キャラクターデザイン／いんどり小屋

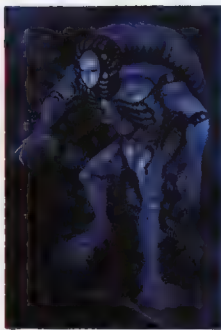
高屋良樹の人気マンガのアニメ化作品「ガイバー」、CASTはまだ未定だが、原画はすべて上がったらしい。
いんどり小屋のキャラクターと、ホラー感覚のガイバー、ゾアノイドたちが、どうからみながら動くのか、今からたのしみなところだ。
この作品、ビデオとしての発売のほかに、マンガの連載が同じ雑誌である「グレイ」とともに、東映洋画系で12月13日から上映もされるぞ。



おまけ
ビデオの初版特典は、なんとガイバーのケシゴム人形手を大きく開いて、挑みかかってくる様子。友だちのガイバーと相撲をとらせて遊んでみよう。

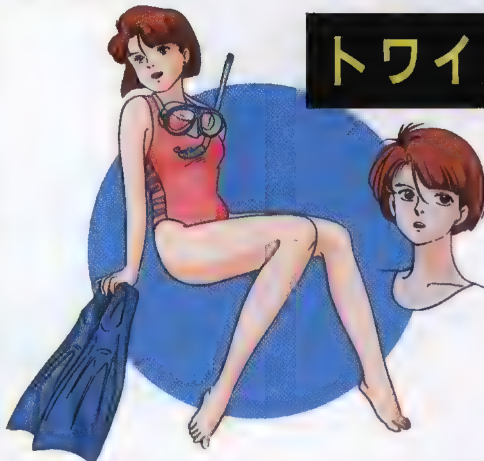


学園特捜 ヒカルオン

越智一裕が全身全霊を叩き込んで制作進行中の「ヒカルオン」。越智監督のノリも今や最高潮。音楽に関しても、自ら主題歌の歌詞を作詞している！
発売は年内目標。30分、￥9、800。

トワイライトQ



脚本の伊藤和典氏が、「前々からやってみたかったオーソドックスなミステリー」という、野心作。シリーズとして年間三本ずつ発売される予定。第一巻「リフレクション」は、1月15日発売予定。30分、価格は未定。

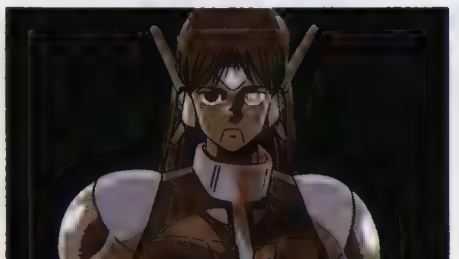
重戦機エルガイム



TVで大人気だったロボットアニメ「エルガイム」がビデオになって戻ってくるぞ。発売されるのは、三本で二本が総集編で一本がオリジナルになる予定で、総集編にも新作が3分付く。一本目は11月5日発売。

ブラックマジック M−66

12月の発売に向けて製作も好調の「M−66」。
北久保弘之氏の描く女性型アンドロイドと、軍部特殊部隊との攻防は期待大。
また、サントラ盤のレコードも発売されるぞ。
カラー45分／HiFiステレオ／￥10,000(予価)





ピンク・ノイズ・シリーズ第3弾として制作中の「魔龍戦紀」も制作が波に乗ってきた。大森英敏によるカラーボードが届いたぞ。
来春発売予定。30分、￥9、800。

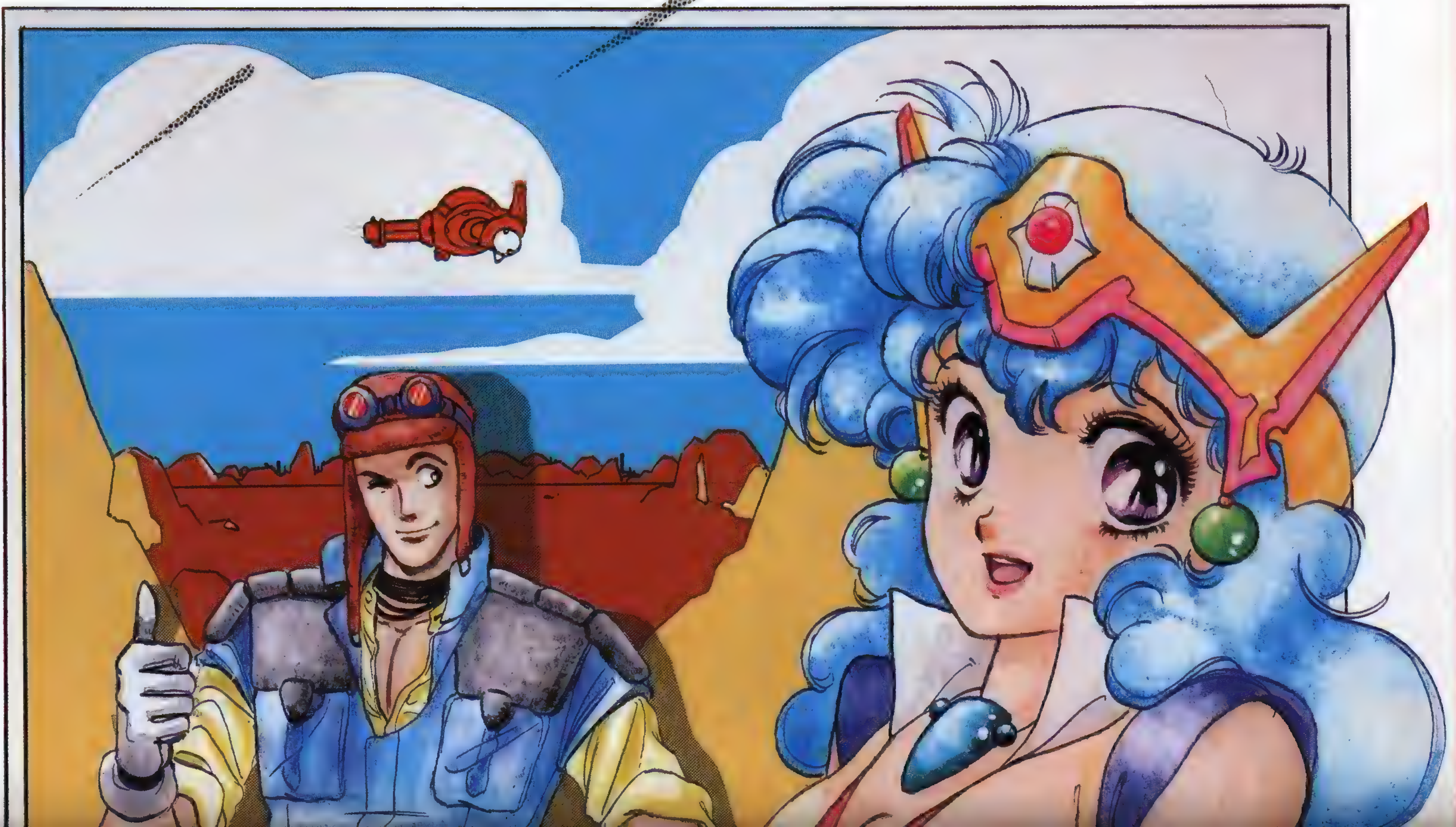
魔龍戦紀

夢次元ハンター

ファンドラ FANDORA

PART Ⅲ ファントス編

グロービアン●ポスター





illustrated by HIDEKO YAMAUSHI

夢次元ハンター
ファンドラ

PartⅢ ファントス編

愛は奇跡を呼ぶか！ ファイナルはスゴイ

▶4回も着がえてくれるファンドラちゃん。こんな中東ルックもよく似合ってしまう

◀こいつはダイタンな戦闘服なのであります。こんなコスチュームであばれまわっちゃうなんて！ うれしい。

▶前号でデッカクあつかったから、今号はこんだけ。パートⅢで大活躍するP・K君です。ファン[illegible]の登場ははじめてのこと。どんな男なんだろうね！

キャラクターデザイン／渡辺真由美 監督／影山楙倫 カナメプロは燃えているゾ!!

ほぼ1年前の'85年9月21日、僕達の前に姿を表わした『夢次元ハンター・ファンドラ』の第3作・完結編がついに制作される。

コンセプトは永井豪。ファンドラは17才のちょっぴり色気があるが、まだまだ少女という設定で生まれた。しかし、1作、2作を通して敵との過酷な戦いをくぐり抜けるうちに、人間的にも成長して来たようだ。やがて少女から大人へと脱皮する時が近づいて来た。そしてなによりも宇宙に平和を取り戻すための最後の闘いが彼女を待っていた。ファンドラの出生の謎もこの3作目で明らかになる！ おもわずコーフンなのだ

この『ファントス編』には楽しみが盛り沢山だ。なんといってもキャラクターデザインが、このところメキメキ腕を上げて来た渡辺真由美だし、その彼女がイメージいっぱいに膨らませて考えてくれたコスチュームデザイン、なんとファンドラは4回も衣裳を替えてしまうのだ。1作目のデザインを担当した田村英樹の流れをくむファンドラだけど、宝冠のデザインを変えてみたりとか、しっかり自分の個性を出そうとする彼女にも注目したいね。女性パワーといえば今回も橋本潮ちゃんが主題歌を歌ってくれるし、おまけにファンドラ役の堀江美都子が挿入歌まで歌ってしまう。最後に出てくるなんてなかなかニクイね。そして彼女達をガッシリと固めてしまうのが監督の影山楙倫。そして演出は『ザ・ヒューマノイド』の政木伸一。なかなか新しい事を見せてくれる演出をしてくれることうけあいだ。カナメプロダクションの作るファンドラはもう早く見たくてたまらないッ!!

発売／日本コロムビア

11.21 発売予定

レーザービジョン・ディスク／12.21発売予定
V C69-9308 β C69-9808
HiFiステレオ／カラー40分 ¥8,800

STAFF ■総合プロデューサー／芝崎寛政■プロデューサー／長尾聡浩■原案／永井豪■脚本／水出弘一／山田隆司■監督／影山楙倫■演出／政木伸一■プロダクションデザイン／豊増隆寛■キャラクターデザイン／渡辺真由美／山内英子■メカニックデザイン／池田昭浩／西井正典■作画監督／池上裕之■美術監督／河野次郎■音響監督／松浦典良■音楽／青木望

CAST ■ファンドラ／堀江美都子■クエ／神谷明■ヨグ=ソゴス／井上真樹夫■ドン・バンス／藤本譲■P・K／未定

シングルレコード11月1日発売予定！（タイトル未定）主題歌／橋本潮 挿入歌／堀江美都子 CH-132 ¥700 音楽集11月21日発売予定！



▶かなりリアルっぽくなっているエル・クィーン号(略してエルク／ＬＱ号) かなりハデなアクションシーンもあるというから、メカにも目がはなせない

▶一目みて豊増隆寛氏のデザインしたメカってわかっちゃうね。こ[illegible]のかも今回の見せ場の一つになっているのだ

●ストーリー

デッドランダーでの闘いの後、次元宇宙のほとんどはヨグ＝ソゴスの手に落ちていた。一方、No.1の次元ハンターと呼ばれる男、Ｐ・Ｋに助けられたファンドラ。彼女は宝珠にまつわる秘密をクエから知らされる。その青い宝珠は彼の不注意によってヨグ＝ソゴスの手に渡り、次元が乱れてしまった事。そして醜いドラゴンがクエの本当の姿である事も……。ファンドラは宝珠探しに利用されたとクエを罵る。折り悪く二人の話に割り込んで来たＰ・Ｋに子供扱いされ、怒りにまかせてファンドラは宝珠をかざす。が、その時Ｐ・Ｋの叱咤が彼女の心に突き刺さった。

「人を傷つけるということは、自分の心にも傷をつけるという事だ。その傷のいたみの分らん奴に次元ハンターをする資格は無い」

ヨグ＝ソゴスとの闘いに敗れ、逃れて来たドン・バンス長官。彼からヨグ＝ソゴスが次元の中心であるファントスへ戻ると知らされたクエは、ファンドラに意外な事実を告げる。ファントスこそがファンドラの故郷であり、彼女はその唯一の王位継承者だったと。ファンドラは自分の意志でヨグ＝ソゴスとの対決を決意した。クエとＰ・Ｋの部下であるＧＫと共にファントスへ降り立ったファンドラ。ヨグ＝ソゴスのいる魔宮聖殿へと進入した。ヨグ＝ソゴスと対決するファンドラ。赤と青の宝珠の光が飛び交う。ドラゴンに変身するクエ。ヨグ＝ソゴスも悪魔に姿を変えた。ファンドラに危機がおとずれる、ヘビの化物との死闘で傷つきながらも最後の力を振り絞って命を賭けてファンドラを救うクエ。クエの愛にうたれ、全ての迷いを振り切ったファンドラの最後の一撃は、ヨグ＝ソゴスをたおした。

死闘は終わった。一対の宝珠が再びそろった。次元は平和を取り戻すだろう。だが、クエはいない……。Ｐ・Ｋの胸で鳴咽するファンドラ、しかし、その時Ｐ・Ｋの目に、人間の姿のクエが映った。振り返り、その姿を確かめたファンドラは、クエの胸に飛び込んでいった。驚きのＧＫ達にＰ・Ｋが呟く。

「愛は奇跡を呼ぶってことさ……。」

まぶしい朝日の中、聖殿の鐘が鳴り響く。ひとつの終わりと、ひとつの始まりを告げるかの様に

当初、夢次元シリーズとして企画されていた『夢次元ハンター・ファンドラ』。それが今回パートIIIで、完結編となってしまう。製作発表会での出席者のコメントを集めてみよう。

●総合プロデューサー／芝崎寛政

「永井豪のアイディアを当時はやっていた美少女ものとマッチして、シリーズ化された。3部構成で動いていたものがようやく完結する。これで1と2と3をミックスして海外売りを展開して行きたいと思っている。」

●原案／永井豪

「自分で生み出したキャラクターだけど、自分で漫画を描いていないので、なんとなく自分で生んだ子供を養子にやった感じがする。生みの親としてはファンドラに幸せになってもらいたい。」



●プロデューサー／長尾聡浩

「シリーズ化した作品というのは2作、3作という風に行くとだんだんボルテージが下がっていくのが常なんですけど、今回はそういうことのないようにかなり力を入れるつもりです。

今回はキャラクターデザインの渡辺真由美を中心とする若手のグループの力をためしてみるというのを目標に置いています。『ファンドラ』についてもっと語りたい部分があったけど、限られた時間の中で、どのような見せ場を作って行くかということを考えた結果、彼女の内面的な面はちょっと物足りないかもしれないけど、その分、戦闘シーンの見せ場の連続にしています。後半20分ぐらいはハデな戦闘シーンになります。」



▼右がクエで左が次元警察長官ドン・バンスだ。今回クエはファンドラと愛し合ってしまうとか……。でもクエの本当の齢は300才とも言われているのにそんなのありかナ…？　ドン・バンスさんもなんとか元気みたいです。

悪魔に変身したヨグ=ソゴス。ファンドラははたして勝つ事が出来るのか!?

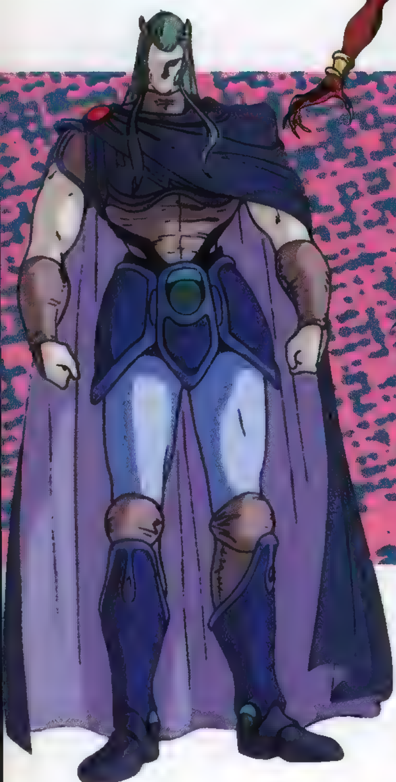


▶なんか出てくるたびに顔の違うヨグ=ソゴスさんです。なかなかのオチャメさんなのかもしれないね。毎回変身しての登場です。小さな角がチャーミングだ。





◀ヨグ=ソゴス軍。なかなかカッコヨクて、とんな活躍を見せてくれるのかワクワクしてしまうね。こんな悪役ならついつい贔屓してしまうゾ。



◀ヨグ=ソゴスの変身した悪魔。パートⅡでも悪魔に変身したが、こいつとは顔がチト違っているね。きっとパートⅡでファンドラを倒したもんだから、悪魔がお気に入りなんだろうな……。

●監督／影山楙倫

『ファンドラ』の魅力は息もつかせないアクションですね。その中でファンドラの女心というか……少女から徐々に大人に成長して行く部分みたいなものを出そうと思っています。

セリフで説明している所を全部切りまして、アクションの中で感情の表現みたいな物を入れています。」

●ファンドラ／掘江美都子

「私の年令に合ったやりやすいキャラクターだった。後半がアクションということで、これはまたつかれるナーと思いました。」

バビ・ストック－II
愛の鼓動の彼方に

THE REVENGE OF EYESMAN

悪の帝国として全宇宙に魔の手を伸ばすベンティカ帝国。闇の世界に絶大な力をもって君臨するベンティカ帝国だったが、一つだけ知られてはならない秘密があった。

その秘密を解く鍵を握っているのは、実はあどけない少女・ムーマだった。ムーマは自分がそんな重大な秘密を持っている事も知らず、ベンティカに捕われていたのだった。

だが、警察惑星の名局員・ケイトに救出された事をきっかけに、腕に地図のようなイレズミが隠されている事を知る。この地図は何を示しているのか？　悪の帝国の存亡にまで関わる重大な秘密とは一体何なのだろうか？

また、終身刑の身でありながら、ムーマ同様ケイトに救出された青年バビ。彼の両親もまたベンティカの手で連れ去られていたのだ。

バビ、バビの相棒で元地下ボクシング界のチャンプ・サミィ、ケイト、ムーマはベンティカ帝国の野望を打ち砕くために、地図の秘密を明かすことができるのだろうか。

圧倒的迫力でせまる『バビ・ストック』シリーズ完結編。最後に勝つのは強大な力か、超能力か、はたまた愛か!?　愛の鼓動の彼方にある物は!?



BAVI STOCK

ムーマの地図の謎とは何だ!?

前作『バビ・ストック―I　果てしなき標的(ターゲット)』で出てきた謎が、いよいよ『愛の鼓動の彼方に』で明かされる。ムーマの腕に浮かんだ地図は何を意味するのか？　そしてベンティカ帝国に連れさられたバビの両親とは!?　植物惑星を舞台にくり広げられる完結編に期待しよう！



にっかつビデオフィルムズ

11.25 発売予定

V β NA-502

HiFiステレオ／カラー　¥9,800

STAFF ■脚本／寺田憲史■監督／矢部秋則■作画監督／高橋英吉■原画／香川浩／梶谷光春／後藤正行　北村卓士／大坪嘉清　浜野裕治／中山和子■美術／新井寅雄■色彩設定／若菜陽子■背景／プロダクション・アイ■撮影　スタジオ・コスモス■音響監督／松浦典良■協力／ベル・ザ・キャット／スタジオ・コックピット■主題歌「Sail on　～風に向って」■唄／令多映子■作詞／小林和子／とべあきお■作曲／上田正樹■音楽／粟原正巳■プロデューサー／栃平吉和■総合プロデューサー／芝崎寛政■製作／スタジオ・ユニコーン

CAST ■バビ／古谷徹■サミィ／田中秀幸■ケイト／戸田恵子■ムーマ／冨永みーな■ルースミラー／弥永和子■アイズマン／小杉十郎太■ピノ／室井深雪



▲バビ・ストック。ベンティカ打倒を胸に秘める熱血漢。



▲微笑むバビとムーマ。すさみがちなバビの心を柔げるのがムーマの笑顔。



▲肩を寄せるバビとムーマ。二人の愛の行方も物語のポイントの一つだ。



プロデューサー
栃平吉和（スタジオ・ユニコーン）

「みなさん、お待たせしました。いよいよ『バビ・ストックーI』の続編、そしてバビを主人公にしたシリーズの完結編でもある『バビ・ストックーII THE REVENGE OF EYESMAN ―愛の鼓動の彼方に―』の完成が近づきました。

前作『バビ・ストックーI』で出てきた謎の解明や、バビとアイズマンの男の戦い、そしてバビとムーマの愛など、見所盛りだくさんの作品になります。

最初この作品の企画が出された時、前作の続編にするか、あるいはタイトルは『バビ・ストックーII』でも全く違う作品として制作するかで、意見が分かれました。どちらにしても一長一短があり、意見をまとめるまで相当時間がかかりましたが、続編にするという事でスタッフの意見もまとまりました。前作から時間が経過したという設定なので、成長期のバビとムーマは少し大人っぽくデザインし直しましたが、サミィ、ケイト、ルースミラー、アイズマンなどは前作と同じデザインで登場します。前作でファンになった方はもちろん、そうでない人達にもこの個性あふれる魅力的なキャラクターを是非見てほしいと思います。また今回初登場の新キャラクター、不思議な力を持つお天婆娘・ヒノや植物惑星の長老にも声援を送って頂きたいと思います。

現在スタジオ・ユニコーンは、オリジナルビデオアニメ中心でやっています。今まで多くのオリジナルビデオアニメが世に出ましたが、本当にビデオならではの作品、ビデオでしか出来ない作品というのはごく少数でしかないと思います。当社でも『カリフォルニア・クライシス』でかなり実験的な映像作りに挑戦しました。おかげ様で各方面で大きな反響を得る事ができましたが、僕自身まだまだ不満な点もあります。これからもビデオだからこそ作れるアニメ、そしてより多くの人に愛して頂けるアニメ作りを目指すつもりです。

さて、この『愛の鼓動の彼方に』は、そんな僕からの一つの解答としてプロデュースしました。ぜひ一度御覧下さい」



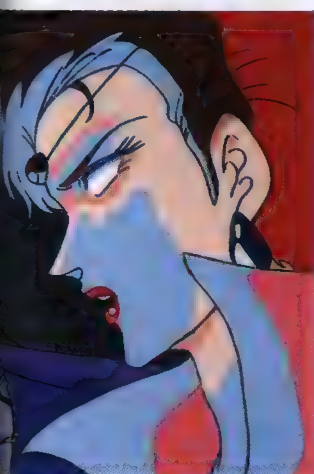
MUMA

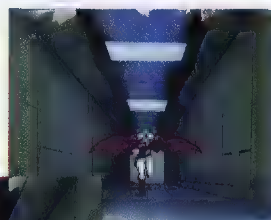
▲ムーマ。ベンティカ帝国に捕われたショックと精神的苦痛で一時言葉を失うが、バビ達との出合いで明るさを取り戻した。彼女の腕にはベンティカ帝国の存亡を左右する秘密が。
▼バビ、ムーマ、植物惑星の長老。長老は長い間"成長の樹"を守ってきたが、ルースミラーの出現により"成長"が止まってしまう。

EYESMAN

バビとアイズマンの男の戦いにも決着をつける時が来た！

巨額の賞金がかかったホバーレースで思わぬ敗北を喫したアイズマン。彼の冷徹なコンピュータは、バビ達を倒すため緻密な計算を続けているのだ。







◀ルースミラー以外、アイズマンを確実に従わせられる者はいない。そのルースがベンティカ帝国を脱走した！主人を救うため、アイズマンは走る。たとえ帝国を裏切ろうとも。

◀▼"奴らを殺せ！"女司令官ルースミラーの命令を受けたアイズマン。感情を持たない彼の頭脳は的確に獲物を追いつめてゆく。









■ストーリー・ダイジェスト

ベンティカ帝国の謎を秘めた美少女・ムーマ。彼女の腕にはその謎を解き明かす地図が描かれていた。宇宙支配を企むベンティカ帝国・第三惑星の女司令官・ルースミラーは、片腕と頼るアンドロイドのアイズマンとともにムーマを追っていた。一方、ムーマを守るのは、犯罪人ではあるがベンティカ帝国の鍵を握る男として収容所から救い出されたバビ・ストック。そして相棒のサミイ。また元警察惑星（警察惑星はベンティカの手により破壊された）の女性特務班員ケイトもその一員である。

両者の闘いは、ムーマの腕の地図に描き出された「植物惑星」へと移ってゆく。

× × ×

ムーマの腕の地図に描かれた惑星を求めて飛行する宇宙船。宇宙船にはバビ達一行の他にケイトが街で手に入れた“人見知りするロボット”キャロも乗り込んでいた。パイロット室のC．G．に導かれるままに着陸したのは、鬱蒼と木々が生い茂る植物惑星だった。一行は着陸するやいなやおかしな恐竜に襲われた上、宇宙船を壊されてしまう。その上、この星の原住民であるピノ一族に捕らえられ、部落に連行される。そして何と、バビは一族の中で一人だけ人間の姿をした少女ピノに一目惚れされてしまったのだ。ほのかな嫉妬の炎を燃やすムーマ。

と、突然惑星に大震動が起き、バビ達が連行されている部落の大地も揺れ動く。長老によって統治されているこの植物惑星は、宇宙をさまよう死者の霊を木々の霊が悪徳の手から守り、宇宙の調和を保つ役割をしているのだ。が、今この星の空気を乱す者が侵入した。そしてこの星の象徴である“成長の樹”の成長が止まった。長老は、今まさに崩壊せんとしている“成長の樹”をみんなで看とれと告げるのだった。惑星のあらゆる生物が見守る中、燃え上がる“成長の樹”。生命の証が燃えつきた。

その頃、ルースミラーとアイズマンはかつて垣間見たムーマの腕の地図をたよりに植物惑星に姿を現せた。

一方、成長の樹の最期を看とどけた一行は長老に連れられ、ムーマの腕の地図に印された石碑の前に来た。しかしこの石碑はルースミラーが探し求めている物でもあったのだ。いつの間にか一行の頭上に現れたルースミラー。そして彼女こそ、この星の空気を乱し、成長の樹の生命を奪った存在なのだ。

石碑にこめられた謎をめぐって、ルースミラーとアイズマンはバビ達に壮絶な闘いを挑んだ。この闘いの勝者は誰か？　植物惑星の運命は？　そして石碑の奥に隠されていた謎とは……。バビとムーマの愛の力は惑星の危機を救えるのか!?



▲バビによって初めて屈辱感を味わったアイズマンは復讐を誓う。

ルースミラーはバビ達を追い帝国を脱走。アイズマンも続く！

▼ゲイラ司令。ベンティカ帝国上層部の一人。ルースミラーの上官にあたる。









RUTH MILLER

グリーン・エクスプレス
―秘められた爆音―

速報！ 女性ライダーのバイクアニメ登場!!



バイクを題材にしたアニメの人気の高さは『バリバリ伝説』や『ペリカンロード』で実証済みだが、今度は女性ライダーを主人公にしたビデオアニメが登場する。

この作品『グリーン・エクスプレス――秘められた爆音――』は、16才の女の子・真理子が主人公。ある事件がきっかけで本格的ライダーを目指すようになった彼女が、耐久8時間レースで活躍するまでの愛と感動の物語。

メカニックデザインには、本誌でも素晴らしいデザインの数々を披露してくれた㈱ブーメランが協力。本格的近未来メカは、今までのメカにあきたらないファンの心をきっと満足させるはずだ。また、セクシーな真理子の健康的なお色気も見逃せない。

次号から克明に進行具合を報告するので乞うご期待！



▶主人公・真理子。小岩の寿司屋「魚松」の一人娘。柔道二段の父・勇太郎に男の子のように育てられ、中三まで柔道を習っていた。出前の手伝いをするうちバイクに興味を持つ。



TDKコア

発売日未定
V β 未定

STAFF ■総合プロデューサー／芝崎寛政■監督／栃平吉和■脚本／渡辺真美■キャラクターデザイン／井口忠一■作画監督／井口忠一■メカニックデザイン／香川浩■色彩設定／横山忍■美術監督／新井寛雄■企画／株式会社ヒロメディア■製作／株式会社ヒロメディア・プロダクション株式会社（スタジオユニコーン）

友&愛で

めったにお目にかかれないかわいい会員の女のコの表紙が目印！

もらえます。



スペシャルインタビュー、あまりにも難しいクイズなど読みごたえアリ。

レンタルヒットチャート、新譜情報など最新音楽情報満載のB5判52ページ。

毎月5日発行。お早めにお近くの友&愛へ！

レコードをレンタルする際、スタッフにお申しつけ下さい。

「私達おっちょこちょいよね」「そう！おたがいによく言われるね」



鶴ひろみVS山本百合子

山本：10代の頃私がレギュラーでやっていた青春もので『南十字星』というドラマがあったんです。佐々木功さんや高見知佳ちゃんなんかが出ていたんですけど、そのドラマで2話連続のツッパリ姉ちゃんが出てくる話があったんですよ。そのオーディションを受けに来ていたのがひろみなんですよ。

鶴：落ちましたけどね。(笑)

山本：私は撮影所に行くと必ずスタッフルームに顔出して「お早ようございます」って声を掛けるんです。その日もスタッフルームに顔出したら、そのツッパリ姉ちゃんばっかりのオーディションをやってて10何人がワーッと並んでる所だったんですよ。その10何人がバッとこっちを向いて怖くなっちゃって「どうも！」って言ってドアも閉めちゃったんですよ。

鶴：そうなんです。でも、その開けた時は百合子だっていうのは知らなくて、後知り合ってから私オーディション受けたんだって話になってその時女の子がワッと開けてさ…って話したら「それ、あたし…」って…(笑)ねえ。

山本：今『南十字星』なんて再放送されたらドヒャアだね。『赤い絆』っていう百恵ちゃん主演のドラマにも私は出てたんですね。それがつい最近放映されてみんなに笑われたんです。それからアニメファンの人達ってその時代の私なんて知らないからウケまくっちゃってるでしょうね。仲間も笑ってましたけどね…。

鶴：(笑)最近よく私のところに泊まりに来るんですよ彼女は。私の家をね、ホテルと感違いしてるらしくって…。朝羽田空港へ行く時とかね。

山本：私の家から遠いんですよ羽田は。丁度いいところに住んでるんですよ彼女は、翌日早いと前日の夜から難波家におじゃまして…。置き傘も置き歯ブラシもあるんですよ。あそこの家のあの部屋は私のものだっていう…(笑)。今度表札も出しておこうかと…(笑)もう勝手知ったるというか、勝手に冷蔵庫開けるしね…。

鶴：気を使わなくて済むんですよね。泊まりに来ると気を使っちゃうでしょう？　そういうのって無いのね。

山本：私、洗い物してますからね、彼女の家で…。

鶴：私より台所立ってるのが長いんだもの。

山本：たまに間違えてね、私を妻だと思ってる時があるみたいです難波圭一は…。(冗談だよって。

鶴：(爆笑)

山本：そんなことはないけど、でも圭ちゃん(難波圭一さん)も結婚する前から一緒に遊んでたから泊まりに来た客っていう扱いしてもらえないんですよ。

この業界に限らずね、本当に仕事仲間で仲良くなれるのって珍しいと思うんですよ。私なんか歌っている時も新人歌手同志で仲良くても、お腹の中ではこんな奴に負けてたまるかって思ってるんです。

鶴：すごくやるキャラクターが似てるからライバルになるのね。

山本：それで決めたんです。同じオーディション受けてどっちかに決ったら…負けた方が手を出して「おめでとう！」って言うんです。美しい友情でしょう？　これからもきっといっぱいあると思うんです同じ役の取り合いって……。

——どうもありがとうございました。山本さん次回もよろしく。8月21日／西銀座・ブリッジにて

他にも楽しい話がたくさんあったけど、これまでね。

矢尾一樹の ぬすんでなんぼ





連載第1回

記念すべき第1回目のゲストは 僕の大センパイ 若本紀昭さんなのだ！

皆さん、こんにちは♡すっかり秋めいてきた今日この頃、いかがお過ごしですか？ 今回からこのページを担当する、矢尾一樹です。

この「ぬすんでなんぼ」は毎回、俺になにかしら縁のある方々をお呼びしてしまうという、非常に素晴しい企画なのであります。

おっと！ タイトルに何かあると思ったあなたっ!! 鋭いですねェ。あるんですよォ、実は。その名のとおり、ゲスト様のおいしそうなお話は、しっかり盗んじゃおうというわけ。

記念すべき第一回目のゲスト様は、『超獣機神ダンクーガ』でご一緒した、若本紀昭さんです。

若本さんとのエピソードは最初のアテレコ。そのあたりのおいしいお話をこれからじっくりといただかせてもらいます。尚、スパイスは皆さん各自でご用意下さいね。

俺のレコードぜったい聞いてくれよな！

矢尾一樹「[illegible]」キャンペーン[illegible]
10月12日（日）横浜　神奈[illegible]
14：30より　問い合わせはヨ[illegible]　TEL045-[illegible]
10月18日（土）関東地区　[illegible]　関東AVCへ　[illegible]
10月25日（土）福岡　ベス[illegible]　[illegible]30より　福[illegible]　092-[illegible]
10月26日（日）大阪　梅田東映パラス　8：30より　[illegible]414-5959
10月26日（日）大阪　天満橋松阪屋屋上　13：30より　[illegible]
11月1日（土）名古屋　名古屋市公会堂　18：30より　[illegible]AVC　[illegible]
11月2日（日）仙台　仙台市戦災復興会館　18：00[illegible]
11月9日（日）札幌　キクヤスタジオS　[illegible]　札幌AVC　[illegible]

矢尾：若本さんと知り合ったのは『ダンクーガ』でしたね。

若本：あれはどの位、演ったっけ？

矢尾：9ケ月程ですね。1話目のときシャピロに殴られるか、蹴られるのがあって。アドリブっていうやつです。芝居をやってたからしゃべりだと思って……。実は息の芝居だったという。それで声を出したら若本さん「お前、殴られたことあるのか[illegible]」って。

若本：（笑）うそつけっ！

矢尾：本当ですよ。うわぁ、怖い、この人怖いッ！」って思っちゃいましたよ。俺の役ってヒーローじゃないけど、前に進んでい[illegible]んです。若本さんはシャピロみたいな役が多いんですか？

若本：俺の場合は両極端だね。シャピロは静の方だね。かと思えばこの前わめき散らしてそこらじゅう[illegible]れ[illegible]るのなんかあったし。

矢尾：へえー。

若本：どっちがいいのか俺もわからないけど。一樹もそうだろうけど、暴れる役はやり易いね。自分をフルに出せて。それだけ淡々としゃべるのは難しいと云えるんだよね。

矢尾：そうですね。俺は若本さんの思い出というと、新宿三丁目の[illegible]服装が俺そっくりという……。

若本：そう、キンキラキンなのがイキがって歩いてるの。横断歩道の前で止まったから後ろから行って。当時アタッシュケースみたいなカバンを持ってたから、一樹だと思って、バーンとやってね。「気どって歩くんじゃないよ！」と言って。振り返ったら全くの別人……。

矢尾：（爆笑）その話に尾ヒレを付けて俺が云いふらしたんです。実は若本さんは謝まらなくて、振り返ったら焦って「うーん、何でもないッ」ってね。今ではあの辺りを歩いてると、後ろから若本さんが来るんじゃないかって、振り返ったりするんですよ。（笑）

若本：（笑）そういえば『ダンクーガ』って、人気があったんだってね。

矢尾：いや、あれは終ってから火がついたんですよ。来年またやるの、ご存知ですか？

若本：『ダンクーガ』？

矢尾：ええ。

若本：ビデオで？

矢尾：ビデオとあとは映画です。

若本：それは知らなかった。できれば一貫したストーリーで、しっかりしたヤツを作ってほしいね。

矢尾：ええ。でもこんなに人気が出るとは思ってなかったですよ。

若本：[illegible]獣戦機隊ライブ』なんかもや[illegible]しねえ……。

矢尾：（笑）はい、やらせてもらってます。来年はキャンペーンがあるんですよ。ライブであちこちと。

若本：3人[illegible]

矢尾：[illegible]は3人なんですけど。まだ全然決まっていない[illegible]、誰を呼んでもいいって……。

若本：ギャラくれるんだったら行くよ。

矢尾：そりゃ、当然出ますよ。（笑）

若本：北海道まで行こうかなぁ……。

矢尾：[illegible]も言ったんですよ。北海道は絶対に行きたいって。うまい寿司屋さんがあるそうで、行きたいなぁと。

若本：ついでに温泉にもつかって。

矢尾：のんびりと二、三泊して……。

二人：（笑）

矢尾：若本さん、歌は？

若本：歌うけど、俺はノリノリのやつは歌えないなあ。

やってやるぜ

矢尾一樹のぬすんでなんぼ



矢尾：そんなノリノリじゃなくて。

若本：そういう曲もあるの?

矢尾：俺たちから話を持って行ったんです。やりたいって。

若本：是非、呼んで下さいよ。いいところがあれば。おいしいところだけ……。(笑)

矢尾：差し上げます！(笑)

若本：話はかわるけどさ、一樹が役者になろうと思ったのは、小さい頃からなの?

矢尾：俺ね、ガキの頃から特に目立つヤツだったの。

若本：う……ん、みたいだなあ。

矢尾：何かいたずらしても先頭きってやっていて、絶対先生に怒られるヤツ。自分はやってなくても先生に「矢尾！」って云われるタイプだったんです。

若本：いるよね。「お前か悪いっ！」って云われるの。

矢尾：ええ。とにかく目立つことが好きで。一番最初はオーケストラのコンダクターになりたくて。小沢征爾というコンダクターがいるんですけど、この方の指揮が派手。「これはカッコイイ！ 派手だッ!!」と思い、先生に強引に頼んでブラスバンドの指揮をやらせてもらいました。当時、陸上競技会とダブッていて、スポーツ刈りにしてたんです。本番にその頭で指揮したら、ドッとわいて『わかせた賞』なんかもらったんですよ。(笑)それも熱がさめて……。その頃姉とよく芝居を観に行ってたんです。『オセロー』を観たときなんですが、その主役が倒れて代役が立ったんです。芝居が終った後のその人のあいさつに、もの凄く感動しましてね。で「芝居をやりたいっ！」と思いました。そんなとき『怪物ランド』の赤星さんの妹が、中学の同級だった俺が芝居をやりたがってると聞いたらしく、劇団に連れて行ってくれたんです。そこで作・演出担当の平光さんと会って、面白そうだということから次の舞台に出させてもらったんです。その後小さな事務所に入って、俳協へ。俺、25才で自分の名がある程度のものになってなかったら、やめようと決めてたんです。丁度25で『パース』をもらって、今は30までにしたんです。そのとき街で俺を見かけた人に「あれ、矢尾一樹じゃない?」って言われなかったらやめようかと……。

若本：俺は大学4年のとき、まわりが就職騒ぎの中どうしようかなぁと思ってたの。で一応1ヶ月位勉強して、大学院を受けたんだ。面接のときに「君は……全然出来てないねえ」って云われて。(笑)大学時代勉強してなかったからやろうと思ったけど、それじゃって云うんで、就職組。結局3次試験のグループディスカッションまでいっちゃって。7人ぐらいのグループなんだけど、これもパスして本社へ行ったときのこと。働いている人たちを見て「サラリーマンは出来ないなあ」と思ったね。次にGメンみたいのがあってそこへ行ったら年齢で駄目。その次が消防団で視力で駄目。次に行ったのは警視庁警察官。そこも1年8ヶ月でやめて、次は消費者連盟。そりが合わなくて、生命保険のセールスを1年ぐらいでやめて、そんなある日、黒沢良さんが声優学校を開くっていうんで受けに行ったの。20人しかとらないのに500人程来ていて。プリント渡されて読むんだけど、みんな上手いんだよね、芝居とかやってるらしくて。俺はとにかくデカい声で読んでさ。その後質問で真ん中辺にいた人が俺によく質問するんだ。今は他の仕事やってるけど、この世界の大御所でね。その人がいい点をつけてくれたらしいんだ。そこで1年間やって出て行った――と。これが俺のはじまりなのね。俺はこの仕事始めて10年位たってから、この世界でやっていけると思ったね。

(終)

■後記

矢尾一樹

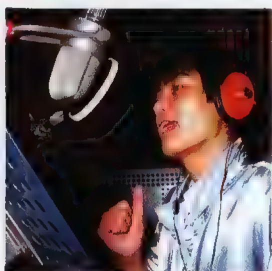
最初お会いしたとき怖いイメージをもってたんだけど、すごくしゃべってくれたし、真面目な人だなあと思った。実際話してみたらやっぱりまじめ。役者さんの一人だから、これからもどんどん一緒に酒を飲みたいなあなんて思ってしまった矢尾が一人ここにいます。次回は冨永みーなちゃんです。では。

次回のゲストは、ライブを一緒にやる冨永みーなちゃんだ。来月もやってやるぜ！

レコーディング

それでは俺の初のLPレコードの紹介をしよう。まだ制作中なんだよね。全編ロックでノリがめちゃくちゃいいんで、でっかいスタジオに全員集めてライブ形式でやろうと思ってます。音もすごく厚くて俺の好きなアレンジしてくれて、問題はあと歌だけですという。(笑)レコードの中に『やってやるぜ！』という曲があるんだけどともかくあの〝やってやるぜ〟でみんな盛り上がるからと曲を書いて作ってくれたんだ。この曲は頭からファンの歓声を入れてるんだよ。ライブ版じゃないのにスタジオにファンを入れてやるのもはじめての試みじゃないかと思っている矢尾でした。

発売日は11月21日予定。発売はビクター音楽産業さんだ。みんな買ってくれよな！

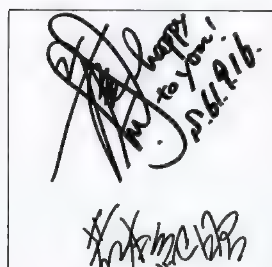


プレゼント

さて、わたくしこと矢尾一樹とシャピロ・キーツこと若本紀昭さんの寄せ書きのサン色紙をプレゼントだ。やあ、すごいねえ、これは！ 天下の二大男優のサインだ。と、このページを見ている君たちみんなにプレゼントしたいところだが、しかし残念なことに10枚しかない。これはみんなたくさんハガキを書くしかないかな?

おおっと！ 忘れちゃ困るなあこの俺のページの感想やこの本の感想も書いてくれなきゃダメだぜ。(よいしょ♡)

次回からは、色紙だけじゃなくもっと他の、みんなが喜ぶようなものもプレゼントしよう。だから希望みたいなものも書いてくれよな。それじゃあ待ってるぜ。応募については68ページだ！



矢尾一樹のロングインタビューを掲載!!
『ザ・ヒューマノイド』記録全集　発売中





●いかがでしたか、今月から連載の“矢尾一樹の『ぬすんでなんぼ』のコーナー”。本人、スタッフともヤル気いっぱいでこれからも毎回ゲストからみんなへの楽しいインタビューを聞き出すつもりです。読者のみんなも“あの人をよんで”とか“あのスターのサインがほしい”とかいう希望があったら、ぜひ『グロービアン』までおてがみちょうだいませ。まってるよん！　というわけでこのへんで広告をひとつ。『ヒロメディア』製作のオリジナル・アニメ『ヒューマノイド』の主人公、エリックの声も矢尾一樹さんがやってたんだぜ。『ヒロメディア』より発売中の記録全集には、子供時代の話とか興味深いインタビューがバッチリ収録されている。矢尾さんのことがもっと詳しく知りたいよおーとお嘆きのファンのあなた!!『ヒューマノイド』記録全集ロングインタビューもよろしく。

PRESENT ●プレゼント



▲①とってもカワイイ(?)「**タランチュラ**」アルプス商事より2名様

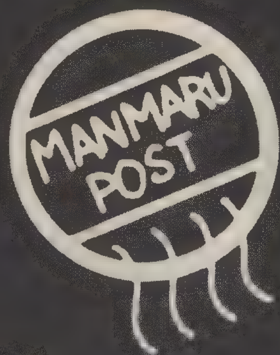


▲②「**すいとるくん**」株式会社ミドリより5名様

●その他のプレゼントは、モデルメーカー、フカヤより**フィギュアモデル**(**1-12マジカルエミOPタイプ、舞夏服タイプ、舞冬服タイプ**を各1名様、ディフォルメエミBNDタイプを各2名様)、海洋堂より**1/6エミ、1/6舞**を各3名様、ツクダホビーより『天空の城ラピュタ』シータとパズーを各2名様にプレゼント。また**矢尾一樹のサイン色紙**を10名様にプレゼントしちゃいます。●プレゼント希望者はハガキに①今月号で一番良かった内容②好きなアニメ作品やキャラクター③好きな声優④『グロビアン』に一言、を明記の上、〒107東京都港区赤坂4—2—23赤坂エミネンス中川205号㈱ヒロメディアまで。

MANMARU POST





今月から〝グロービアン〟は内容一新! てなわけで、「まんまるPOST」も「MANMARU－POST」と改名いたしましたデス。来月からは、カラーページも加わる予定。念願かなってイラストをカラーで載せられるのです! これからも、ヨロシク!!

秋です。体育祭・学園祭の季節です。お祭り騒ぎ大ー好き! だからPOSTもほんのちょっぴりニギヤカになりました。(来月はもっとカラフルだよー。)——秋深し、トナリは何をする人ぞ。夜も長いし、ビデオを見るには良い時期かしら。学園祭で、自分達のアニメを発表するのもマルですね。でも徹夜でセル描いたりすると、いつのまにか左側の髪の毛がアニメックスで染まってたりするのよね。困りモンです。まあ、何はともあれ新装MANMARU・POST、ガンガン元気に始めよう!!

『グロービアン』を〝すごい! まさに情報誌の芸術だ!!〟と友達みんなに宣伝した。すると次の発売日、近所の本屋に行ってみたら最新号が一冊もない! みんなに先を越されてしまった!! 結局、いろんな本屋を廻って、買うのにとても苦労をした。この努力をかって、だからプレゼントください。お願いします。

(群馬 小貫光一クン)

Ⓟ最近、この手の葉書きが増えてるのよね。努力をかって、一発目に載せたげる。あとは知ーらないっと。宣伝、もっとしてね。

フレアちゃんが載んなくなっちゃって残念だよーん。あっ! それと、声優さんにスポットをあてた企画はどんどんやってほしい! 全くの僕の個人的趣味で言わせていただければ、

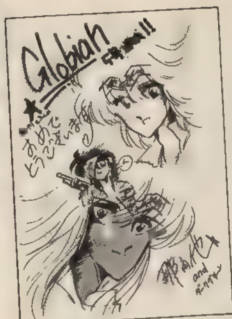
『野郎や小娘はどーでもいい! お姉様をもっと出せ!!』

——失礼しました。

(神奈川県 深澤浩二クン)

Ⓟ私は野郎が好きなんだよっ! 矢尾一樹クンが出てルンルンなんだから。時に、お姉様が好きなら、ヒロメディアの野村さんはイカガカナ?

街はすっかり秋の色。心淋しくなったなら、POSTで心を暖めて。


▲東京 魔美クン。もう6号さ。

連作お手紙、まとめて載っけてしまうのじゃ!

ふりーとーくて『くりいむれもん』が買えないとか言っている人がいたけど、俺なんか別に老けて見えない(むしろ年令よりガキに見られる)のに、高一の時に『くりいむれもん』買っちゃったんだぜい!! 別に店員さんも〝年いくつ?〟なんて聞かないしね。思いきって買いなさいっ!!

アニメファンはひと目でアニメファンだと判ってしまうのはなぜか? みんな共通点がある。
①アニメキャラクターの紙袋をもっている。(一発で判る)
②髪がボサボサ
③運動グツをはいている。(スーSwissとかコンバースじゃないヤツ)
④パステル調の服を好む
絶対とは言えないが、以上の点に注意してもらいたい。私の場合、どっかのCity boy(とは言わないが)かくれアニメファンなのであった!

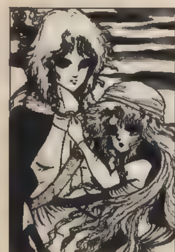
僕は美少アニメにどっぷりつかってしまいました。もうのがれることはできないのかっ!? 別にのがれたくもないけどね。
どんどんアニメにむしばまれていく自分がこわい。このまま大人になってしまうのだろうか……。アニメってまだ一部ではガキの見るものと思われてるし。でも、悪いことしてるわけじゃないからね。このへんが難しいところだよねっ!!

(神奈川 Crapクン)

Ⓟ本当はもっとあったんだけど、3枚選ばせてもらいました。君のその根性、見あげたモンだぜ屋根屋のフンドシです。

間違ったままにしとくのはプライドが許さないので、必ず載せて下さい。9月号の〝まんまるPOST〟で、「AH-64」の個定武装が25ミリとなっていましたが、あれは私の感違いで、本当は30ミリでした。編集部の人や読者の皆様にごめーわくをかけたことを深くお詫びします。
編集部の人があやまる必要はないんですよ『カリフォルニア・クライシス』の設定さんのせいなんだから。

(富山 匿名希望クン)


▲埼玉 白浜雅子クン。

MANMARU POST

今のアニメにモノ申す!



▲東京　まっする日本クン。CALL MEはホント思わずヨイね、

先日『ウインダリア』を入手しました。はっきり言って、僕は嬉しくなった。人殺しが当り前となった現在のアニメ界にも、このような作品が出てきてくれるとは。

最近のアニメ技術にはめざましいものがあります。が、その反面、技術のみに頼り、派出な戦闘シーンやベッドシーン等を売りものとしているアニメも少くなく、単に刺激を求める現代の若者の思考を象徴しているようにも思える。それを否定することはできないし、僕も好んで見てもいる。でも、人が殺されるシーンを必要以上に露骨に描きすぎてはいないだろうか? メカアクションや破壊シーンは大好きな僕でも、特に最近多い、目玉が飛び出すような死に方にはどうかと思ってしまう。

ホラーブームを筆頭に残酷な死に方が流行し、人の死というものは完璧に軽視されていると思う。しかし『ウインダリア』は違う。確かに、その中にも多くの死者を出すシーンが数か所あるが、必要以上の殺しやラブシーンは出てこない。だから僕は『ウインダリア』を今までになかった最高の作品と言っても悪くないはずと思えるのだ。

露骨な殺しあいがなくても楽しめる作品もある。本当に良いアニメというのは、家族そろって堂々と安心して見られるものではないかと痛感するこの頃です。

(大阪　ねんねんクン)

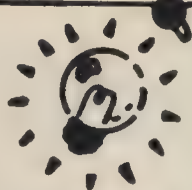
Ⓟ他のみんなの意見もきかせてね。

9月号76ページの〝メタル少年・ユージくん〟とは何者なのでありましょうか? 実は私もメタル少年でありながら、アニメファンです。私もVOW WOWの『ナイトレス・シティ』とLOUDNESSの『クレイジー・ナイト』をおすすめします。

(千葉　斎藤秀明クン)

Ⓟ彼はMr.コトブキのギターの弟子です。Mr.コトブキは何でもできます。天才です。神様です。「アニメニア21」に来てたヘビメタにーちゃんは、もしかして、斎藤クン!?

高野ファンの松沼えりことはコノ子だ!!



●前略

9月号ではしっかり名前を出していただきました、本当に、本当にありがとうございましたっっ!!(ふんっイヤミだよっ! ふんっふんっっ!!)

個人的ですみませんが、業界新聞の高野氏の記事、あっありがとうございました。あれ以来、高野修F・C の連中には目をつけられて大声で名前を呼ばれるし、全く困ったもんです。(自業自得と人は言う。)まっ、まさか本当に出るなんて思ってなかったのですが、いやあ、自分が出した手紙が記事のきっかけだなんて、うかつな事はできないと思い知りました。しかし、いつのまにか高野さんにF・C ができていたのにはオドロイタ。

P・S アニメニア21に来ていた『グロービアン』のおねーさんへ「写真使っちゃいやだあ!」

(栃木　松沼絵理子クン)

Ⓟイヤヨイヤヨも好きのうち。可愛いいから皆に見せてあげちゃう。アイドルは、キミだ!



映画、観たよ!

8月16日『ガルフォース』と『アイシティ』観ました!!『ガル』は、期待が大きすぎた分少しものたりなかったけど、『アイシティ』は、メチャクチャ良かったですっ!!

アイが本当にかわいかった♡「パパ」なんてケイに言う時、もう抱きしめたくなる程! ケイトゥも、色気のあるかわいさがあって良いわ♬ ライローチンは頭が二つになって「ゲッ」って感じ。DNAのおばけにもマイリました。「もっとDNAが欲しい」って言った時には思わず〝オバンバ〟を思い出してしまいました。なにしろ『アイシティ』はおもしろかったです。

『ガル』は、船内にエイリアンが侵入した時、すっごくこーふんしたけど、そのあともう少し盛り上ってほしかったな。

一つ不満は、アイちゃんのポスターが欲しかったこと。売ってるポスターはアイが小さくって……。大きなアイちゃんのポスターが欲しいよ!紙ぶくろも欲しかったな。(本屋に行っても『アイシティ』のものは全然売ってないだもん。)

でも良かったのは、初日に行ったせいか、表が『レダ』で裏が『バンパイアハンターD』の下じきをもらえたことです。得しちゃった♡

あーあ、『ウインダリア』も見たかったな。大阪でしかやってないんだもん。アニメ映画、もっと京都で上映してほしいなあ。

(京都　砂羽クン)

Ⓟ私は秘かに『ガルフォース』のファンです。新しい神話って面白いよ。

憶

憶えてますか? 9月号の未来が暗いおねーさんです。おかげ様であの貴重な日曜日の賜物で、『プロジェクトA子』のビデオを購入できました。あの、何とも言えない破壊シーンの数々、思わず〝しのぶさん〟を連想して『うる星やつら』が見たくなり、また、亜弓先生を見て『マミ』が見たくなる連鎖反応に、ただ、ただ、胸が高なるのでした。西島克彦氏……同い年なのにすごい人なんですね。ちなみに私、今一番欲しいものは〝職〟、『グロービアン』に一言言うなら〝雇って下さい!!〟です。

(神奈川　未来が暗いおねいさんクン)

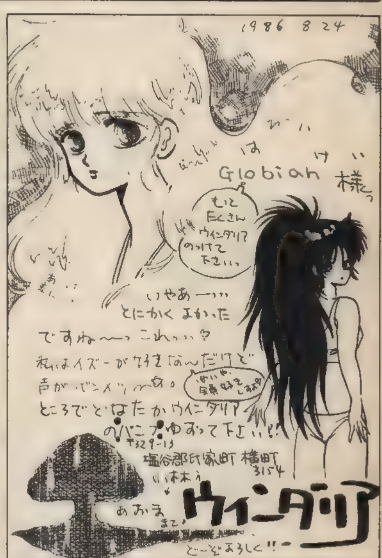
Ⓟいらっさい、いらっさい。編集部ではヒトデが足りなくて四苦八苦してるのですよ。お友達になろーね♬

歌

歌う声優さんのインタビュー」には感動してしまった。しかし、イベントについての記事だけでなく、一般的な質問もしてほしかった。声優さんって、あまりくわしいところまで知ることができないからこういう企画を進めてほしいと思ふ。

(東京　百合田弘二クン)

Ⓟこれからも、声優さんについて、ドンドンとりあげていくから期待して待っててね。今月から矢尾一樹クンの連載も始まったし、より充実!



▲栃木　あおまクン。不幸の手紙はよしてね

水着の着れないダイエット中の女編集員さんへ

太るのは、運動量を栄養の摂取量が上回ってしまうからにほかなりません。だから何かスポーツをするのが、ダイエットには一番ですね。しかし、私達読者に面白い『グロービアン』を読ませようと必死になって毎日デスクワークばかりしているのでしょうから、そんなヒマがある訳ないのも当然です。故に、栄養の摂取を抑えるのがてっとり早い方法なんですが、生命活動の必然で、腹がへるのはあたりまえ。何もしなくても必ず空腹になります。これが今までのダイエットネックでした。

そこで提案! 食欲を失くすことができれば、きっとやせられるはずです。

昨今、なぜかホラー映画、それも血糊ドバドバのスプラッターが流行しています。「あんな気色悪いもん人類の観るモンじゃないっ!」と言いつつ僕はファンです。(特に〝ゾンビ〟は大好きです)あれを食事中にずっと眺めていれば、いやでも食べたくなくなります。「ダイエットしたい!」とわめいている妹で実験したところ、2日は満足に何も食べられないようでした。(3日めには怒り出しました)これなら手間もかかりません。一度やってみてはどうですか?

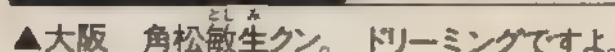
尚、作品としては〝ギニーピッグ〟シリーズがおすすめです。これは15才未満が視聴禁止になった程残虐です。少なくとも一週間は何も食べられないことは確実でしょう。そうなれば5kgは減るはずですよ。

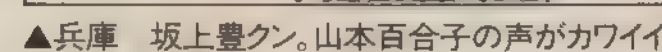
(宮城　佐々木隆クン)

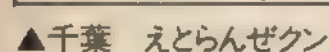
Ⓟ貴重な御意見、ありがとうございます。しかし、私はスプラッタの類を見ても平気な体質の上、あちこち飛びまわっているのでビデオ観ながら食事はできないのです。困ったわ。

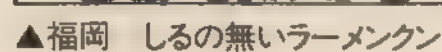
MANMARU POST


▲西やん！　もといMOOクン。マミちゃん好きですっ!!!!


▲大阪　角松敏生クン。ドリーミングですよ。

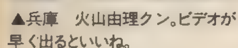

▲兵庫　坂上豊クン。山本百合子の声がカワイイ

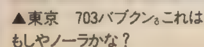

▲千葉　えとらんぜクン


▲福岡　しるの無いラーメンクン

▶七瀬・七生クン。秋に見ると、ブルルっ！


▲沢・礼クン。きゃいきゃい、サディスティックで良いわ！


▲兵庫　火山由理クン。ビデオが早く出るといいね。


▲東京　703パブクン。これはもしやノーラかな？


▲富山　陽山飛斗クン。おひかえありがとさんです！

ひとことメッセージ

『バイオレンスジャック』を見ていた。すると妹が「くりいむレモン」を見ているんでしょー？」とさわぎだした。なぜだろう？（富山　きんぱるクン）

Ⓟそりゃああた、決まってるでしょ。なんたって原作は永井豪大先生ですよ。お姉様がしばっていたぶるシーンなんていかにもね♡

最近のポストは四角いぞ！（埼玉　大山正揚クン）

Ⓟいーじゃないの、ピンクのゾウが空を飛ぶ時代なんだから。まーるく行こうよ！

あっ、早く『ルーツ・サーチ』が見たい!! 私は美少女が好き。美少年も大好き!! むつみ先生のキャラは、美少女・美少年がいっぱいで大好き!! だから、『ウインダリア』も見るんだい!!（千葉　茶羅クン）

Ⓟ私はロマンスグレーのおじさまが好きです。

ビデオが無くても『グロービアン』を買う権利はあるんだ！　友人〇のアホー!!（広島　地球人クン）

Ⓟそうだ！　ビデオが無いのが何故悪いんや!!　一緒に言ったげる。友人〇のバカァ!!（えーんえーん）

すってなキャッチフレーズは（熊本　ガーやんクン）さんだ心に『グロービアン』どーかな？

Ⓟうっ嬉しい、やっとコピーが来たよお。うううっ涙。

住所がややこしいぞ！　赤坂エミネンスは舌がかみそうだ。もっと短かくしてくれー。（大阪　アントニオ荏木クン）

Ⓟんな事、言ったって。

来年、創刊一周年記念に（先の事考えると鬼が笑うというけれど）ぜひ全員プレゼントをください。（千葉　崎田和弘クン）

Ⓟハハハと鬼のデスクが笑ってる。

MANMARU POST

▼福岡　アベベクン。今月もThank you！



編集部からのシュート

8月の末〝グロービアン・A・Vフェスティバル〟の取材に行ってきました。もう会場中、人・人・人の海。ついでに男臭くって、ナイーブな私はあっちふらふら、こっちふらふら。写真撮ってたら、「そのカメラは古い」などと言われて大弱り。だってズーム付きのカメラ、今修理中なんだもん！ その上(関係者顔してなかったのか)「おねーさん、場内整理の人?」とか言われて大ショック。「私はグロービアンの編集さんですっ！」と言うたは良いけど恥ずかしい。ああ、複雑な乙女ゴコロ。でも、そのせいあってか、先日編集部に読者クン達が遊びに来てくれました。(ホラ、君達のコトだよ！)

どうも自分が方向音痴のせいか、間違った道を教えるのが得意らしくて(文字情報の山下さん、先月は全く逆方向を教えて汗ダクにさせてしまってスミません) 彼らもしっかり迷ってから来てくれました。ちょうどその時できてきた色校を見て読者クン達はキャー。お三時に出したジュースにも手をつけず、それでもおダンゴはしっかり食べて、ニコニコ帰って行きました。ウチの男性軍は無愛相だけど、根は良い人だから、又遊びにいらっしゃいね。他の皆んなも暇な時をねらって遊びにおいでマセ。

形は変ってもコンセプトは変わりません。〝皆で作ろうMANMARU・POST〟が合言葉。イラスト・お便り、どんどん参加してね。もちろんセルもOK。待ってるよ。

そうそう、印刷会社の担当さんも妙齢の女の人に変わったの。寿さんの鼻の下の長いこと。「でへへ、町田さん、お茶飲みに行きましょーよー」。アアナサケナイ。言ってやってー。ともあれ、又来月ね！

あのー、ちょっと、判らないんだけど…

宮城の佐々木隆クンから質問来たぜ！ お答えしましょーじゃないの。他のみんなも考えてみてね。

Q 松井菜桜子さんのF・C はありますか?

A 松井菜桜子さんのF・C は現在ありません。事務所、ファンの人達で盛りあげている所だそーです。でき次第、お知らせしますね。

Q 何故、目を使いすぎると近眼になるのでしょう?

A 目はカメラのレンズと同しような構造をしています。目を使いすぎると目のピントあわせ用筋肉が疲れて、焦点がボケたまま固定されてしまうのです。つまり目が五十肩してしまうんですねー。これが近眼の原理です。だから、ピップエレキバンをはれば直るんでないかな? 多分。

Q 何故、人間は酸素がないと生きてゆけないんですか?

A それはネ、そうなってるんだからしかたないの。(Mr・寿談)

MANMARUPOSTは原稿募集中！

貴方の事を話して下さい。ただ今POSTでは各種様々なお便り原稿を募集しています。例えばこんなテーマのお便りくださいね。

●思い出に残る昔のアニメ

●君のまわりの可愛い子

また、来月から(多分・おそらく)イラストがカラーになる予定。匿名希望の人はP・Nも忘れずにね！

〈あて先〉　〒107　東京都港区赤坂4－2－23赤坂エミネンス中川205号 ㈱ヒロメディアM・P(マンマルポスト)係まで。



▶京都　吸血部隊クン。『ルーツ・サーチ』、なかなか良かったよね。

デスクのうらみごと

最近、お便りに女の子が増えて来た、うれしい。うちの男スタッフは皆喜んでいる。なんせ今まで「おっかわいい封筒！ 女の子かナ～ゲッ男からだ～!!」男がかわいい封筒使うなよナ～」なんて会話が多かったもんな。佐々木くんなんかは女の子の手紙でほほづりまでしている。男の子はもうすごく男っぽい封筒なんかで下さい。うちの中村さんが喜びますから。

ところで、ガラーッと形が変わってしまった『グロービアン』。スタッフだってとまどっているのだからして。だから「エーッ！ これが『グロービアン』なの!?」という君からの声が聞こえて来そうだ。一番心配なのは『グロービアン』と気付かなくて誰にも買ってもらえないこと。「う～む、『グロービアン』がない、こりゃつぶれたナ」なんて言ってる人もいそうでこわいナ～。「カラーがへった」「ページ数がへった」「いいとこがなくなったー」(もともとなかったりして)という声も聞こえそう。これはカクゴしてたりするからバンバンお便り下さい。笑って読んでしまえるんだよー。なかなかアニメ雑誌になってしまったし、読みごたえは前よりあると思うけど、どー!?

夏休みは終ってしまって残念だ。でも安心(?)しっかり頭はまだ夏休みのまま。早く冬休みが来ないかナ～！ などと考えてしまうのだ。なんせ編集業界は冬休みが長い。12月25日から1月10日ぐらいまで印刷所が休んでしまうので、12月頭までに2月号を作らなければならない。それを業界では〝恐怖の年末体制〟と呼んでいるんだけど、逆にそれが長い休みになる。そう考えると頭は次に冬休みになってしまった。(H・O)

〝君の考えた作品がビデオになってしまうぞ大賞〟のお知らせ！

〝君の考えた作品がビデオになってしまうぞ〟に御応募どうもありがとう。さて、先月号でも紹介したように、MANMARU・POSTでは〝年間グランプリ〟を制定します。これはビデオ化とは関係なく、あくまでも『グロービアン』本誌の中だけのものです。以下の事項を念頭において、よりいっそうふるって応募して下さい。

■年間グランプリ　1本
賞金10万円　副賞：ビデオデッキ・東芝ビュースター

■準グランプリ
1本
賞金5万円　副賞：シチズン液晶ポケットTV (モノクロ)

■佳作　3本　賞品：天体望遠鏡

■応募者全員に記念品を贈呈

〈規定〉

●作品の全権は㈱ヒロメディアに帰属します。

●アニメ化の場合は、著作権は作者と㈱ヒロメディアの間に制定します。

●作品の返却はできかねますので、コピーをとってお送り下さい。

〈コース〉

❶なにがなんでもプロになりたいなコース

Aストーリー (400字詰め原稿用紙5枚以内のあらすじもつける)

Bキャラクターデザイン

Cメカデザイン

❷アイデアだけはあるんだけどなコース

A原案

Bキャラクターのアイデア

Cメカのアイデア

以上力作をお待ちしています。



MANMARU POST

君の考えた作品がアニメになってしまうぞ!

狂気の中にしか心の平和は得られないのか

　この企画にいつも沢山の御応募ありがとう。もっと本数を載せてほしいという要望にもうなずけますが紙面にも限りがあるし、中途半端に名前と一言ストーリーを載せるよりもできるだけその人の言葉で思いを伝えたいとも思うのです。その件は現在考慮中。皆さんの意見も聞かせて下さい。

　今月は神奈川の砂山一樹さんの作品を紹介します。感想等もお寄せ下さい。

〈企画意図〉

　この物語には世界征服をたくらむ異星人やマッド・サイエンティストは登場しません。描かれるのは政治家達の勝手な都合で起こった、正義も悪も存在しないただの戦争です。

　この物語には世界の運命や人類の未来を背負ったヒーローは登場しません。戦っているのは、私達と同じように悩み、苦しみ、傷つく、弱くて悲しい一個人です。彼らは彼らなりの理由を持って戦いに赴きます。それは必ずしも正義感や愛国心からとは限りません。中には個人的な、他人に話したら笑われてしまうような理由もあるでしょう。しかし、彼らは戦います。自分自身のために。自分のしていることが「人殺し」だと知りながら。そして、その一個人の思いとはまったく掛け離れた所で戦局は進み、終っていきます。深い傷あとを彼らに残して……。

　辛い話です。でも、そういう物語を描くことによって、「戦争ってバカバカしいものなんだ」と思う人が一人でも増えてくれたらいいと思います。

〈ストーリィ展開〉

　火星での戦闘が膠着状態になってからおよそ2ケ月。地球軍の最前線基地に増補戦力を積んだ輸送用シャトルが降下し、基地内はにわかに活気づいていた。

　新型パワード・スーツ「サンドドラゴン」の調整作業に追われる中、重装歩兵第二小隊の隊長長、ランス・フレミング中尉は司令官から、その幼い顔立ちには不似合いな軍服に身を包んだ一人の少女を紹介された。

　少女の名はエリス・クライ。3年前に事故で機能を失った右手と両足をスーパー・バイオニック（超強化生体）化することによって、常人の2～5倍以上の反応速度を身につけ、ゲリラ制圧要員として、専用のパワード・スーツ「ファイアー・ボール」と共に、前線に送り込まれてきたのだった。

　エリスはランスの小隊に配属された。ランスとその部下たちは、いくら並外れた能力を持っているとはいえ、こんな子供に人殺しができるのだろうかと懸念した。

　数日後、地球軍の重装歩兵部隊は火星ゲリラたちの要塞基地へと出撃する。エリスにとっては初陣であったが、兵士達の予想を裏切って、エリスの駆る「ファイアー・ボール」は単体戦力としては驚異的な戦果をあげた。その戦いぶりは冷静沈着そのもので、むしろ冷酷ですらあった。

　この戦いでエリスは一人前の戦士として認められた。しかし、明るく振る舞うエリスの瞳の裏に暗い影が宿っているのにランスは気付いた。ランスは軍に手足を使えるようにしてもらった恩を楯に戦いを強制されているのではないかとエリスに問いただす。エリスは自分の意志で戦っているのだから心配しないでほしいと答える。が。彼は何かふに落ちない物をその態度から感じ取っていた。

　そしてある日。地球軍はゲリラの歩行戦車の秘密基地を攻撃した。しかし、各隊とも苦戦を強いられ、戦闘時間も予定をはるかに上回っていた。その中でランスは、まるで別人のように動きが鈍く、逃げ腰の戦闘をしているエリスの「ファイアー・ボール」に気付く。ランスはエリスを援護し、後退させた。装備を取ったエリスは恐怖に引きつり、小刻みに震えていた。その様子を見てランスは、エリスが感情抑制剤を使い、恐怖感を押さえて戦闘をしていたことに気付く。何故そうまでして、戦いの中に身を置くのかと尋ねるランスにエリスは答える。

　――戦いの中でしか、私は一人前の人間として認めてもらえないと。

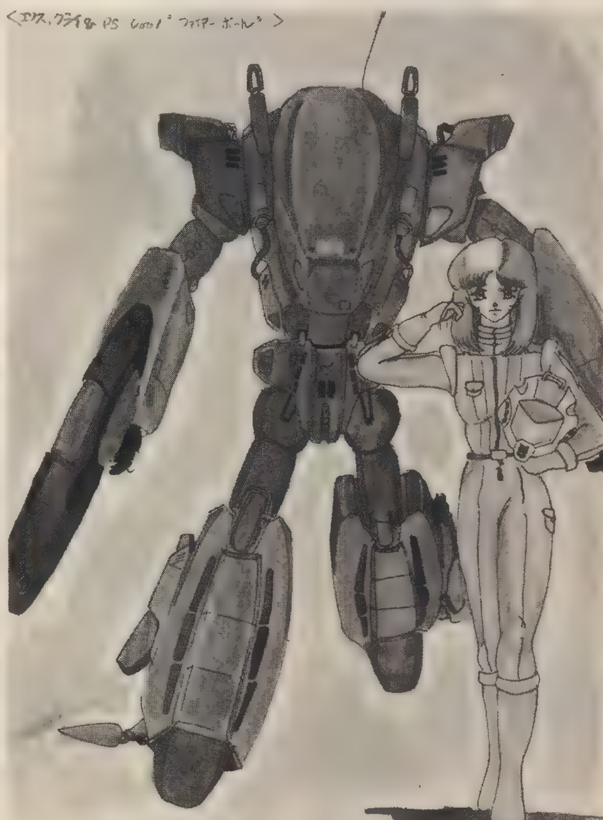
　やがて戦局は進み、ついに地球軍は火星の首都制圧作戦を敢行した。ランスはエリスを置いていこうとするが、戦いで戦果をあげることでしか作り物の手足をつけていることへのコンプレックスを打ち消せないエリスは強引についてきてしまう。

　しかし、ゲリラ軍の抵抗は激しく、戦闘は長時間に及んだ。感情抑制剤の効力がきれはじめ、次第に増してくる恐怖と戦いながら、戦闘を続けるエリス。

　街のあちこちで爆発が起こり、街は敵も味方も巻き込んで崩壊していった。やがて爆発がおさまり、かつて街の姿をしていた荒野には、ただ静けさだけが漂っていた。爆発のショックで気を失っていたエリスも目を覚まし、もはや使い物にならなくなった装備を脱ぎ捨て、廃墟をさまよう。ふと傷を負って倒れている自分と同じくらいの年頃のゲリラ軍の少年をみつける。エリスは少年の傷の手当をしてやるが、正気を取り戻した少年はナイフを振りかざしてエリスに襲いかかってきた。少年の一撃はそれ二人はもみ合いになる。エリスはとっさに銃を構え、引き金を引いてしまう。弾丸は少年の腹に命中するが、鮮血にそまりながらもなお、地球軍への憎しみの言葉を吐きながらエリスににじりよってくる。動転したエリスは二発、三発と続けざまに銃弾を少年に打ち込んだ……。

　弾をうちつくし、我にかえったエリスはすでに物いわぬ肉塊と化した少年を見てようやく自分が何をしたのかに気付いた。そして、わきおこる罪悪感と恐怖はエリスの精神を責めさいなみ、彼女を発狂へと追いやった……。

　多大な犠牲を出したものの首都制圧戦は地球軍の勝利に終わった。



　内戦状態にはピリオドが打たれ、地球軍は一部の部隊を残して火星から引きあげていった。

　数日後、ランスは、一足先に地球へ送り帰されたエリスに会いに、彼女の故郷を訪ねる。ニューオリンズの片田舎で牧場を経営しているエリスの母親に連れられ高原に行くと、そこには虚ろな瞳をして、ひとりごとをいいながら花飾りを編んでいるエリスがいた。ランスは哀れみの言葉を漏らす。だが、エリスの母親は言うのだった。

　あの子は、ああなってようやく普通の少女として、心の平和を手に入れることが出来たのだと……。

　軍人だったころには一度も見せることはなかったエリスの透き通るような笑顔を見ると、ランスはその言葉にうなずかずにはいられなかった。

〈END〉

［寸評］

　どこかにあったような気もする内容だが、文章の上手さで一気に読んでしまった。戦績をあげることでしか自らのアイデンティティを見出すことのできない少女が、現在の私達への警告ともとれ、身が引きしまる。

　しかし、自分の世界に閉し込もってしまったエリスを〝心の平和〟という一言でくくってしまうラストは、あまりにも安直に思える。狂気は美しいものではない。キツイようだが頭で組みたてたストーリーに自分で酔っているのではないか!? 人物を掘り下げて、エリスは何故事故にあったのか、何故前戦を望むのかといった感情のゆれを描いてほしかった。他の人物も同様に血を通わせて……。

　文章と映像の違いをふまえて、次回作にトライしてほしい。酷評なのは期待している証だから。



グローバル学園

英語の解説は古藤　晃先生とT・スキルマン先生。マンガはおおやまさひろ先生。

ファンドラちゃんとガイストくんの恋の道は遠くて険しい。2人の仲をいつもジャマするパイアちゃんは、今回も変なヤツラを連れてきちゃった。どうする!?









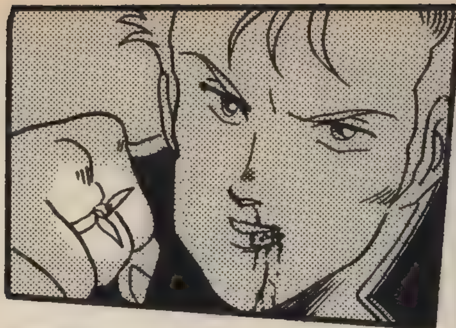




古藤　晃先生
代々木ゼミナールの英語講師。多数の著書は受験生に絶大な人気を博す。41才。

①英語そのものはカンタンだけど、実際に“日本語らしい日本語”にするのはそう楽ではない。直訳したら「もし、あなたが、私に好きになって欲しいなら、あなたは変わらなくてはならない」となる。でも、キミはこんな日本語を使うかな？　直訳がおかしいと思ったら、思い切って意訳してみよう。こんなのはどうだ。
〔わたしに気にいってほしいなら、今のままじゃダメよ〕
Promise me.は命令文。no more～は［～はもうたくさん］。No More Hiroshimaなどとよく使われる。fightingは［ケンカ］のこと。
「約束よ。もう暴力はダメ」
②このcauseはbecauseのこと。完全な口調だ。bringはもともと［ものを運ぶ］という意味だから、この場合は［人を連れてくる］こと。
〈忘れちゃいないだろうな、ファンドラ。今度はダチもいっしょだぜ」
namelyは［つまり、すなわち］といった意味。この場合は、［友達を連れてきた］という前の発言を受けて、［その友達というのは、つまり、われわれのことで］と、名乗り出ているわけだ。
「つまり、おれたちのことで」
ever-dreadedのeverは［いつも、常に］という意味。dreadedは［恐れられている］。つまり［いつも恐れられている］。思いきって訳そう。
「泣く子もだまる」
warriorは［戦士］のこと。［高校戦士］じゃおかしいので、こんなふうに訳そう。
［校内暴力団だ］
⑤最初のWhat's wrong?はよく使う表現だ。正式には、What's wrong with you?などとwith～をつけて使う。
［どこか具合が悪いのか？］というのが直訳。ふつうの日本語でいえば［どうしたの？］といった意味。これはぜひ憶えておこう。stick up for～は、ちょっとむずかしい。［～を弁護する、守る］といった意味。
「どうしたの、ガイスト、そいつをかばうつもり？」
⑥go onにはいろんな意味がある。ふつうは何かを［続ける］という意味。Mitsuko goes on with do study.とあれば［ミツコは勉強を続けた］ということになる。でも、この場合は相手になにかをするよう促している。まあ、口語的な表現といえる。guyは《ガイ》と続む。タフガイのガイだ。［男］のこと。
「え～い、やっておしまい」
⑦「ガイスト」
⑧　Don't forget.は否定形の命令文だ。［～してはならない］と訳す。
「ガイスト……忘れないでね、わたしとの約束……」
You are next.は、わかるね。babyは、相手が男女いずれであっても用いるけど、好意や愛情をこめて使うこともあれば、人を小馬鹿にした時に使うこともある。
「お次はあんたの番さ」
⑨ mad は、本来は［気が狂っている］という意味だが、いろんな使い方がある。たとえば、He was mad about Ikuko.とくれば、［彼はイクコに夢中だった］となる。Kyoko was mad for a baby.なら、［キョウコは、あかんぼうが欲しくてたまらなかった］となる。この場合は、こんなふうに大胆に訳そう。
「もう、私の怒りは爆発寸前!!」
⑩文章の形は命令文だ。
「正義の宝珠を受けてみなさい!!」
⑪ともに擬音だ。テキトーに訳してもかまわない。こんなのはどうだろう。
「ぎゃあっ！」
「ぐっ！」
⑫これを［わたしは戻ってきます］などと訳したら間がぬけてしまう。
「おぼえといで、ファンドラ！」

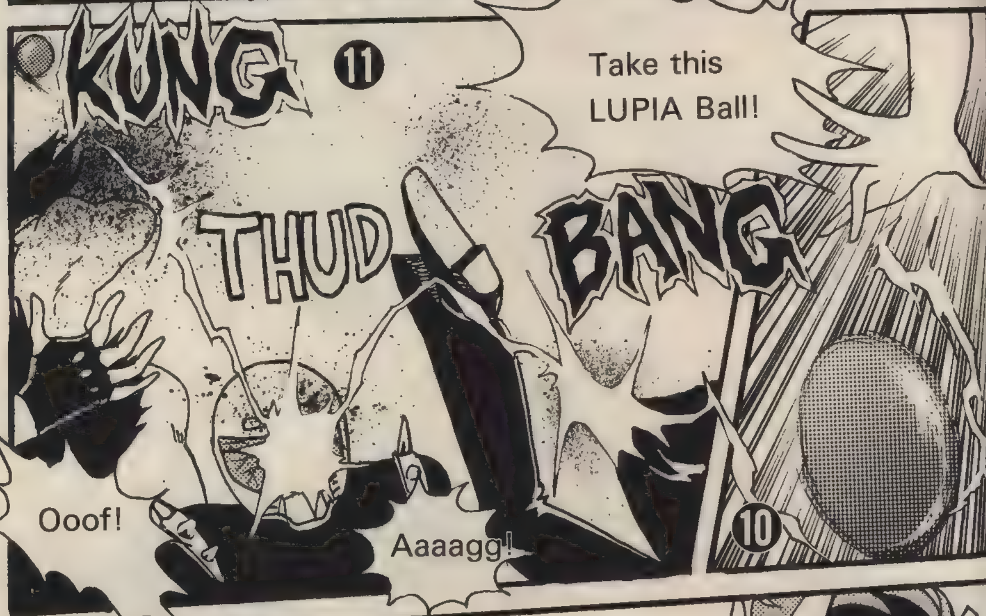


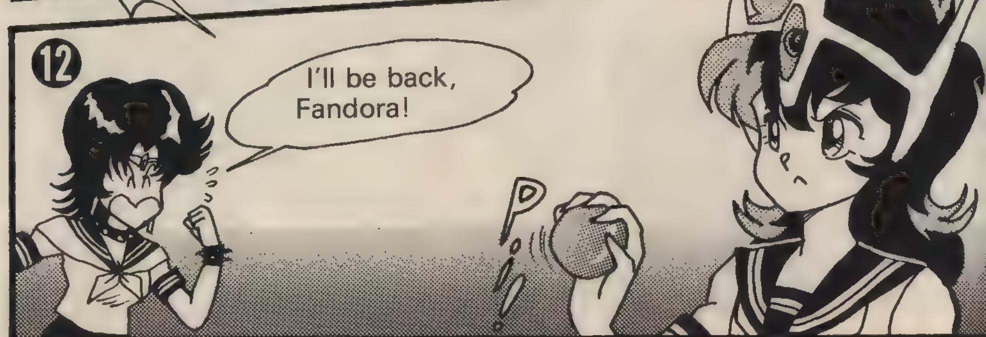








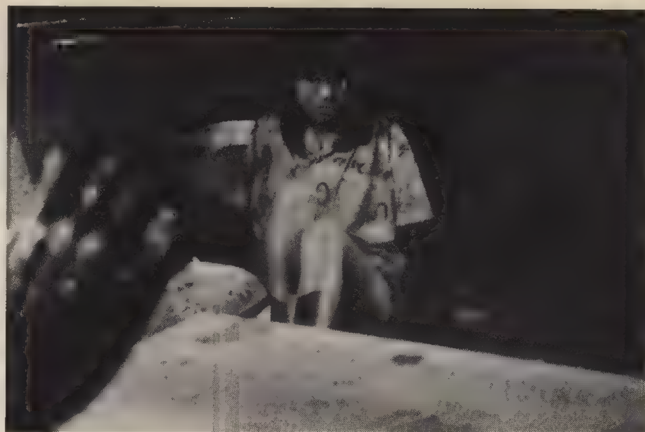




おおや先生と古藤先生にはげましのお便りを出そう。質問でも何でも結構だよ。あて先はヒロメディア、ファンドラ英語コーナーまで。

3つのお願い聞いてちょうだい、見てらっしゃい!!

SFとホラーはとっても仲良し。どちらもファンタスティック・ワンダーランドの世界の住人なんだ。



MOMOCO CLUB ORIGINAL VIDEO

ストレンジハウス〈仮題〉

芸能マガジン〝MOMOCO〟(学研発行) とエモーションがタイアップして、MOMOCOクラブの中のアイドルたちが出演するホラータッチのオリジナルビデオなのだ。

脚本と監督は〝アギ～鬼神の怒り～〟などで有名な早川光氏。あっと驚くモンスターデザインには、おなじみ出渕裕氏があたっている。数々の名作ホラーの名場面のパロディぽいシーンもたくさんあり、特撮ホラーの世界とアイドル路線をドッキングさせた楽しい作品に仕上がっている。詳細は次号で紹介できると思うので、乞う、御期待ね！

(11月5日発売　ネットワーク　¥7,800)



出演は主人公の理香役に村田紀子ちゃん、姉のさとみ役に立野陽子ちゃん、理香の友達のメグミ役に姫乃樹リカちゃん、ケイ役に滝本志保ちゃん、そして律子役に三宮しのぶちゃん。

みんなカワイイ女の子ばかりで、〝じょおしこーせー〟に弱いランボーくん、じゃなかった、私としては、思わずゴックンものの超オススメビデオなのだ。いやーなんてったってアイドルですよ！　ちなみに私は三宮しのぶちゃんのファンです。









▲毛むくじゃらの腕が首をしめる。神出鬼没なバケモノは、唐突に現われては女の子を襲うので、見ていてビックリお化け屋敷的パニックムービーなのだ。見どころは何といっても名作ホラー映画を思わせるようなシーンで、〝ハウス〟〝ポルターガイスト〟〝キャリー〟〝エルム街の悪夢〟などなど見せ場は盛りだくさんだよ。

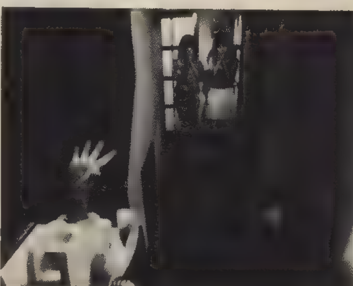
あたしは普通の女子高生、理香ちゃん。だけど最近ゆーうつなの。両親は転勤で九州へ行っちゃってるし、女子大生のお姉ちゃんは親がいないのをいいことに夜遊びにはげんじゃって帰りが遅いし、おまけに、1人ぼっちのこの家にはオバケが出るし……。もォーイヤ！　こんな生活！

だけど今日はチョッピリ安心。同級生の友だちが泊まりに来てくれたから。

でもねえ、やっぱり、やっぱりオバケが出ちゃったの。みんな次々に食べられちゃって、あたし悲しい。おまけにやってきたおまわりさんまで食べられちゃった。ねえお願い、あたしを1人にしないでよー！　というわけで、物語はいったいどうなるのでしょうか？

▼怪物の腕は電話器からでさえ飛び出して襲ってくる。ほとんどエルム街のフレディくんのノリですな。こりゃ大笑いだぜ。





ジョージ・パル／SFXの世界 ファンタスティック・タイム・マシン





主な代表作品は、〝月世界征服〞〝地球最後の日〞〝宇宙戦争〞〝親指トム〞〝タイムマシーン〞など、SFXとアニメーションを駆使した傑作ばかり。素晴しい映像と痛烈な社会批判が感じられる作品の数々は、どれも必見なのだ。









先月号でも紹介したけど、とても良い作品なので取り上げちゃうもんね、というビデオなのだ。

ＳＦＸの元祖で、いわばＳＦのお父さんみたいなこのジョージ・パルというおじさんは、とても偉大な人なのだ。いつもニコニコしていて、ホントに特撮が好きで、いくつになっても常にチャレンジすることを忘れないという、大先生というよりオトモダチになりたいと思ってしまう人である。彼の未公開作品、特にアニメーションの公開、ビデオ化を切に望む私です。

（10月26日発売　ＳＶＩ　97分　￥12,800）

グズー／嵎菟卯

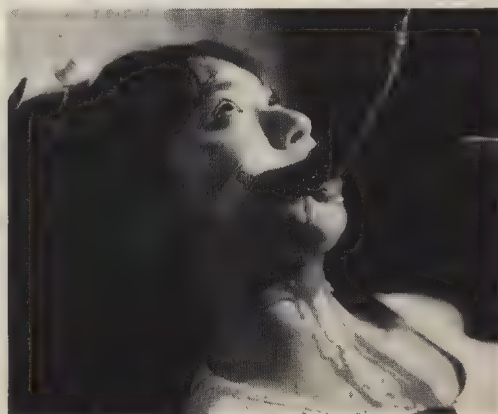
この作品も先月大特集したけど、オリジナルビデオをシリーズ化していくという意気込みを買ってまた紹介しちゃうのだ。今回はパートⅠということで導入部。モンスターの登場がメインであるが、この後どう展開していくのか非常に気になる。

（10月21日発売　MASUDA　60分　￥9,800）



4人の美少女たちが次々に謎のモンスターに襲われる。無気味な触手を持ち貪欲に肉をむさぼるグズーは次から次へと生物の寄生を繰り返し、最終的にはヒューマノイドの形態へ変化していくという。監督は奇才ガイラ氏。特撮はオーソリティ松山仁氏が担当している。
出演は丸山秀美の他にオーディションで選ばれたカワイイ女の子たちで、やっぱりホラーには美少女がつきものなのだと納得してしまう。必見!
※予約特典として定価を千円割引きします。問合わせは☎03(579)1331迄







ビデオがおいしい季節です。消化不良をおこさないようによくかんで味わいましょう。

今宵はみんなでファンタスティックビデオナイトだ!!

恐竜の島

〝ターザン〟のE.R.バロウズ原作の〝時に忘れられた世界〟の映画化作品。

第一次大戦中、Uボートで漂流した人の中で伝説の島カプローナを発見する。しかしそこはかつての古代生物と原始人が生存する失なわれた時の世界だった……。

（10月21日発売　RCAコロンビア　¥15,800）



原始獣レプティリカス



驚異的な生命力をもつ古代の怪物が長い眠りから醒め、現代の街を恐怖に陥れるＳＦスペクタル映画。シッポの破片から本体が再生するというアイデアは斬新で、'62年製作という古さをカバーしている。大戦闘シーンもあるけど、こういう映画につきものの美女もしっかり登場してます。（10月21日発売　ＲＣＡコロンビア　¥12,000）

ナイト・オブ・ザ・コメット



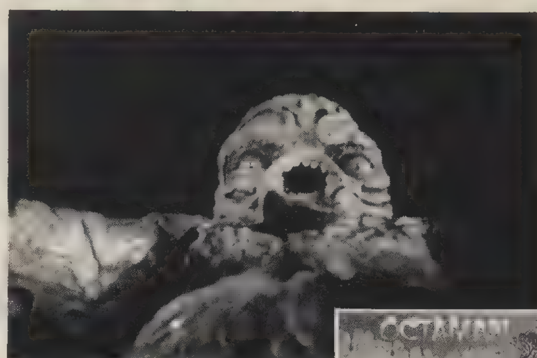
謎の彗星大接近により地球上の生物のほとんどが死滅し、どういうわけかゾンビの大群が襲い出し、またどういうわけか美人姉妹が人類希望の星として、愛と希望を求めて冒険に旅立つのだ。大笑い!!（11月25日発売　にっかつ　¥14,800）

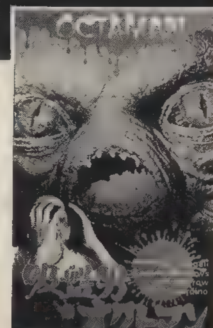
▲▼ハレー彗星ブームを狙って製作されたＳＦゾンビ・コメディという色モノではあるが、〝人類ＳＯＳ〟とか〝ナイト・オブ・ザ・リビングデッド〟といった過去の名作のパロディなんかもあって楽しめます。そうそう、第15回パリ国際ファンタスティック映画祭にも参加しているんだぜい。





吸盤男オクトマン





突然ですが放射能はコワイ。特にゴジラみたいなモンスターを生み出しちゃう点がコワイのだ。この恐怖のタコ人間〝オクトマン〟もそのクチである。いかにぬいぐるみであってもやっぱりコワイのである。（９月15日発売　ＨＲＳフナイ　¥14,800）

ファンゴリア ビデオマガジンVol.2

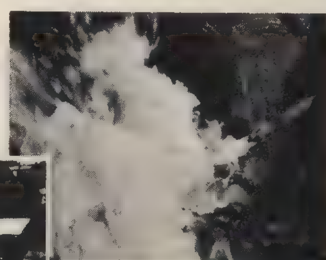


スプラッターの次はオカルトというわけで大好評のシリーズ第２弾は、実際の超自然現象を特集している。内容はドキュメントフィルムに加え、オカルト映画の名場面などなど。（10月21日発売　パックインビデオ　¥9,800）

地獄の魔女狩り

〝魔女狩り〟といえば、中世のヨーロッパで実際に行なわれ、噂によれば11～19世紀の間に800万人以上もの女の人が殺されたらしい。うーん、実にもったいないというかバカげた話で、そんなに魔女がいたとは思えないし、ホントに恐ろしい時代があったものだ。

というわけでこのビデオは、必然的にスプラッター＋すけべ物語になるわけですな。実際にあった話かと思わせるところがコワイところだ。（11月１日発売　東宝　¥15,000）





▲▼残酷でエロチックな拷問の数々は、舌抜き、火あぶり、首斬り、水責め、焼きゴテなど、見るに堪えないもの。

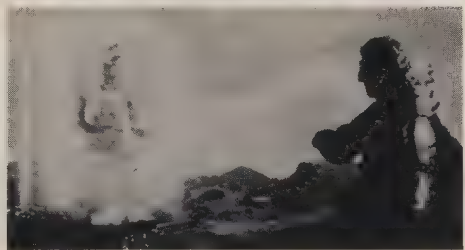


ゴジラ対メカゴジラ

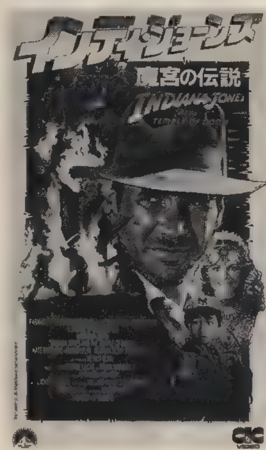
ゴジラ生誕20周年記念映画というめでたいこの作品は、なんとゴジラが自分そっくりのメカゴジラと戦うのだ。だけどしょせんはロボットで、天下無敵のゴジラにはかなわないぜ。
（11月1日発売　東宝　¥12,800）







インディ・ジョーンズ
魔宮の伝説



知らない人は〝人間じゃない〟、見てない人は〝友達なくす〟とまで言われた大ヒット映画が遂にビデオになった。ルーカス＝スピルバーグという超強力コンビがコケルはずはなく、僕らはもはやひれ伏してひたすら拝むしかない。そう、世の中〝売れる奴が勝つ〟のだ。とにかく、この究極のジェットコースター映画は必見、保存版なのだ。（10月21日　発売　ＣＩＣビクター　¥10,500）

恐竜の惑星



宇宙船の事故で不時着した惑星は、狂暴な恐竜たちが住む惑星だった。隊員たちは生きのびるために、恐竜狩りをはじめる。'79年作品。（11月25日発売　にっかつ　¥14,800）



スタッフのほとんどがＳＦＸマンという職人手造り風の映像が楽しめる作品で、人形アニメの大御所レイ・ハリーハウゼンも特別参加している。ぬいぐるみとは一味違った特撮は、究極の３Ｄアニメと呼んで！

LDソフト　今月のオススメ
惑星ソラリス

'72年カンヌ国際映画審査員特別賞を受賞したＡ・タルコフスキー監督のソビエトＳＦ映画の傑作。（165分ノーカット完全版）

人間の潜在意識を探り実体化する〝海〟に被われた惑星ソラリスの探査ステーションを舞台に繰り広げられるこの物語は、まるで絵画を見ているような徹底した映像美、哲学的なストーリーで構成されていて、一度その世界に浸ってしまうと思わずやみつきになるという本格的カルトＳＦ映画なのだ。
（11月21日発売　東宝　¥12,500）







劇団 夢の遊民社
小指の思い出

今年の８月には代々木競技場を満杯にする程、大メジャーになってしまった「夢の遊民社」。(『笑っていいとも』に出ている松尾一樹君もここの劇団員です。)メジャーになるのは嬉しいけれど、チケットは即日完売でなかなか手に入らない。そこで結成10周年記念ファン投票第1位作品のビデオが発売される。それも野田秀樹氏のウルワシイ女装でセンセーションを巻き起した『小指の思い出』だ。これはファンならずとも見逃せない。

物語は、当り屋・赤木圭一郎（上杉祥三）を狂言廻しに、過去と現在が交錯しながら展開する。謎の女・粕羽聖子（野田秀樹）の持つ妄想の白い実を追って、彼は現代の歩行者地獄から中世のニュールンベルグへ、そして架空の当り屋専門学院へとリープする。その影には一つの殺人事件も隠されているのだが……。

難解そうな話のようだが、役者の動きを見ているだけでグイグイ劇へ没入してしまう。(キメのシーン以外は一時も停まっていないのだ。)装置・衣装もビデオ化に備え、かなり豪華になっている。映像美と役者の汗、そして笑可しくも怖しい言葉遊びで夢の世界を浮遊したい。









ハードな肉トレの成果を見よ!! 野田氏の女装も美しい(？)'86年9月下北沢本多劇場にて収録。
■11月21日発売 ＳＶＩ 110分 ￥14,800

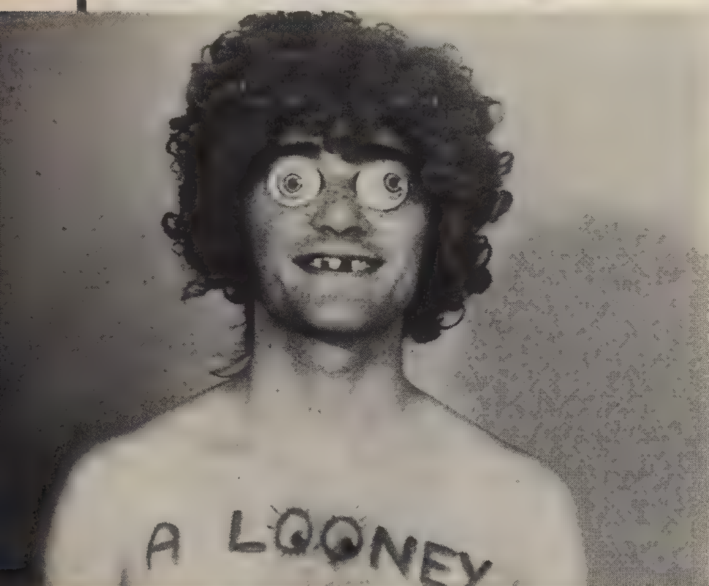
野田秀樹

〈略歴〉1955年長崎県生まれ。駒場高校をへて、東京大学法学部入学。演劇研究会に所属し、'76年、劇団「夢の遊民社」結成。'81年同大同学部中退、演劇に没頭。同年元キャンデーズの伊藤蘭を迎えた初の伊紀國屋ホール公演『少年狩り一末はあやめも知れぬ闇』で注目をあびる。'83年『野獣降臨(のけものきたりて)』で第27回岸田戯曲賞受賞。'86年『石舞台七変化(ノトシヘンゲ)』3部作一挙上演。円城寺亜矢と結婚。現在劇団夢の遊民社代表・座付作者兼演出家兼俳優・小説家。



▶本番前の素顔のスナップ

空飛ぶモンティ・パイソン VOL.8

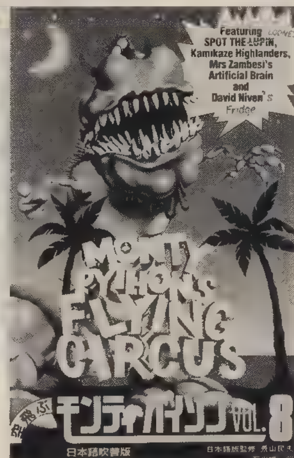


やった、ついに出た!! モンティ・パイソンの日本語吹替版が10年前の時と同じ声優メンバーで復活したぞ!!

思い起こせば10年前、東京12チャンネル(現TV東京)で放映されたこの番組は、当時10年早いギャグと言われた。そして10年たった現在見返してみると、やっぱり10年早いギャグのような気もする。やっぱり日本人には無理かな?(9月21日発売 ポニー ¥12,800)



出演はジョン・クリーズに納谷悟郎、エリック・アイドルに広川太一郎、テリー・ジョーンズに飯塚昭三、グラハム・チャップマンに山田康雄、マイケル・ペリンに青野武、テリー・ギリアムに古川登志夫と、いや一今考えると凄いメンバーだったんですねえ。



新・バルカン超特急
暗号を歌う女

この映画ははっきり言って傑作です。絶対に見なさい。主演のシビル・シェパードはきれいだし、エリオット・グールドは素晴しい。私はヒッチコックのよりも好きだもんね。(パック・イン・ビデオより発売中 ¥12,800)



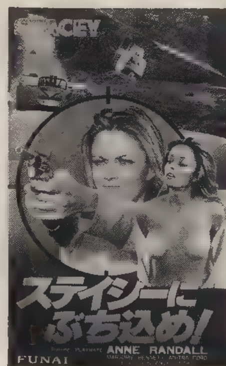
刑事マルティン・ベック

俗にスウェーデンの"87分署シリーズ"と呼ばれているマイ・シュヴァル=ペール・ヴァールの"マルティン・ベック"シリーズ7作め"唾棄すべき男"の映画化作品。(10月21日発売 パック・イン・ビデオ ¥12,800)



ステイシーにぶち込め!

思わずビックリしてしまうタイトルですが、ビデオを見てまたビックリ!! しっかりしたハードボイルドだったんですもの。1人称セリフはカッコイイし、腕は立つ。おまけにおっぱいがデカイんだぜ。(9月15日発売 H.R.S.フナイ ¥14,800)



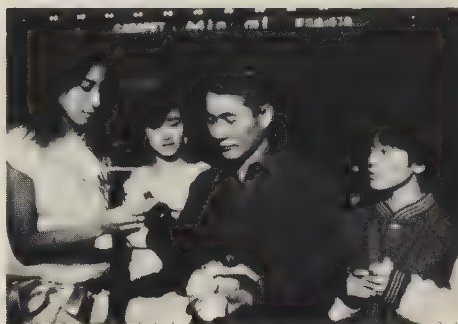
昭和四十六年、大久保清の犯罪

'83年にTBS系で放映され好視聴率をあげたテレビ番組がビデオ化された。今だに戦後最大の連続女性誘拐殺人事件といわれている犯人役をビートたけしが怪演している。ここには"タケちゃんマン"のたけしはいない。(9月5日発売 JHV ¥14,800)



◀出演は写真の手塚理美のほかに、佐藤慶、木内みどり、岡本かおり、川上麻衣子、八神康子、太田あや子、三上寛など。

ビートたけし



▲出演は田中美佐子、小林聡美、岸田今日子、佐藤慶

イエスの方舟(はこぶね)

ビートたけし主演の社会派ドラマ第2弾は、'85年に放映されたこの"イエスの方舟(はこぶね)"で、たけしは方舟の主宰者"千石イエス"を演じた。多くの女性信者を率いた愛すべきオッチャン役は、まさに適役といえる。(9月15日発売 JHV ¥14,800)



西村知美

FUSHIGI・ドリーミング in AUSTRALIA



学研のMOMOCOコンテストで優賞し、映画"ドン松五郎の生活"でデビューしたアイドルだよ。(10月16日発売 東芝EMI ¥7,000)



『うる星やつら』『天使のたまご』などでおなじみの押井　守監督初の実写作品がついに近日公開される。独自の映像手法を追求する押井映画を、早くも一挙に誌上公開だ!!

紅い眼鏡

正義を行えば、世界の半分を怒らせてしまう



◀ガランとした廃工場にプロテクト・ギアをつけた3人の〝ケルベロス〟がジープに乗って逃げてくる。



▼逃走中の彼らに追手がせまる。銃を構える紅一（千葉　繁）とみどり（鷲尾真知子）





◀脱走する時にみどりは左足に深手を負ってしまった。心配そうに気遣う紅一。





◀追手を全滅させたあと、国外逃亡するためのヘリコプターがやってきた。しかし、みどりと蒼一郎（田中秀幸）は傷を負ってしまい動けない。必ず日本に戻ってくることを誓い、紅一は1人でヘリコプターへと走った。

ストーリー

20世紀末、激増する都市犯罪とその凶悪化に対抗するため、警視庁はその部内に〈対凶悪犯罪特殊武装機動特捜班〉を編成した。特殊強化服と重火器で武装した彼らは〈地獄の番犬＝ケルベロス〉と呼ばれ犯罪者たちを震えあがらせたが、同時にその非情ともいえる捜査活動に世論の非難が集中し、ついにその組織の解体を余儀なくされた。しかし彼らの一部は武装解除を拒否し、武力をもってこの決定に抵抗した。後に〈ケルベロス騒乱〉と呼称されたこの事件は、当局の苛烈な弾圧と決起者の全員逮捕をもって終局を迎えるが、その中にあってただひとり突入班員、都々目紅一（千葉　繁）は強化服と共に国外逃亡を果たした。

それから三年――。

大きなトランクひとつを携えて紅一が帰ってきた。しかしそれを待ち構えていたかのように彼を尾けまわす不審な影。空港でふりきったのもつかの間、今度は安ホテルのシャワールームで謎の一団の襲撃を受ける。乱闘の末辛くも夜の街へ脱出したものの〈街〉はすっかりその装いを変えていたのだ。

なんと公序良俗に反するという理由の、立ち喰いによる軽食販売禁止法、通称〈タチキンホー〉により、街は確実に変っていた。

空白の三年間に一体何があったのか?

夜明けを期して紅一は無人の映画館に潜り込んだ。スクリーンには謎の少女〈兵藤まこ〉が映っていた。そして、この時から紅一の悪夢巡りが始まるのである――。

映画館のトイレで痛めつけたチンピラから聞き出したもぐりの立喰いそば屋で、紅一は伝説の立ち喰い師〈月見の銀二〉（天本英世）に出会う。そしてかつての僚友、鳥部蒼一郎（田中秀幸）に再会するが、今は転向者として負け犬の生活を送っていた。ところが、二人とも実はケルベロスの残党狩りに執念を燃やす公安刑事、室戸文明（玄田哲章）に通していて、紅一は裏切られ、つかまってしまう。さらにそこで紅一のかつてのパートナー、鷲尾みどり（鷲尾真知子）にも出会うのだった。

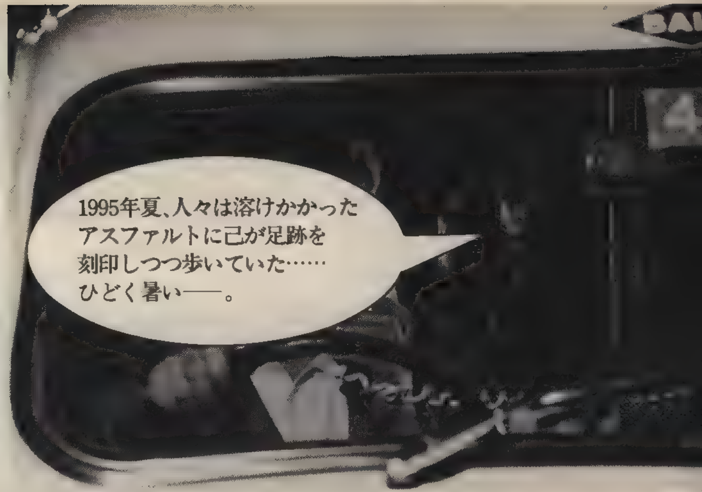
文明の奇妙な尋問と凄惨な拷問。そして延



▲3年ぶりに日本に帰ってきた紅一。その目的は一体何か？　組織の再建、それとも権力への復讐か？



▲街中いたる所に貼られてある謎の少女のポスター



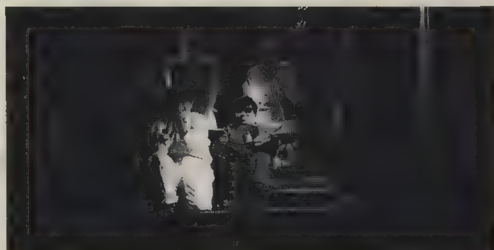
▲対話タクシーの中で運転手に呟く紅一。
▶紅一が泊まっている安ホテルの前にパトカーと輸送車が停まる。
◀紅一がシャワーを浴びている間に、コマンドー達は次々に階段を上ってくる。







▲紅一の部屋をとり囲んだ白塗りのコマンドー達。彼らはケルベロスの残党狩りに執念を燃やす公安刑事室戸文明の手下だ。



▶トロッコに乗って現れる文明。隣の部下は紅一を熱心に撮影している。



▲コマンドー達を得意のプロレス技で全滅させた紅一は、トランクと服を手にベランダから逃げ出した。
▼紅一を尋問する室戸文明（玄田哲章）。彼が知りたいのは紅一が何の目的で帰ってきたのかということ。





▶紅一を押さえつけ、むりやりウイスキーを飲ませる拷問シーン。
◀洗面器で文明の手下達をはり倒した紅一の得意げなポーズ!!



々と繰り返される脱出劇のなかで、敵と味方、正義と悪、虚構と現実の境界をさまよい現実感を失っていく紅一。そして物語は衝撃的なラストをむかえる──。

※　※　※

■映画を深読みしたい人のためのキーワード

①いぬのおまわりさん……この童謡に歌われているような寓話的世界が展開される。いわばこの映画は〈犬と猫の物語〉という言い方もできる。その証拠に随所に犬と猫が登場する。歌詞をじっくり考えてみよう。

②パートカラー……35ミリフィルム・モノクロ作品でありながら、冒頭の戦闘シーンとラストの少女がタクシーに乗ってからのシーンはカラーである。これはストーリーの構成上その方が分かりやすいということだ。カラーとモノクロの部分の持っている意味は決定的に違うのである。

③夢……これは押井作品を語る上で重要なキーワードである。現実との対比、時間に対する概念などをとりまぜて考えると、おのずからタイトルの意味、少女が象徴しているものがみえてくるのではないだろうか？

※　※　※

■スタッフ

監督は押井　守。脚本は押井　守と伊藤和典という、TVアニメ『うる星やつら』からの名コンビ。話題のプロテクトギアのデザインには、『機甲界ガリアン』のメカデザインで有名な出淵　裕。印象的な音楽は、川井憲次が担当している。企画は紅い眼鏡制作委員会、製作は㈱オムニバスプロモーションで、これが映画製作第一弾になる。

■キャスト

主人公の都々目紅一には『うる星やつら』のメガネ役で有名な千葉　繁。謎の少女には『天使のたまご』の兵藤まこ。月見の銀二役には永遠の死神博士、天本英世が独特の味を出している。そしてかつての僚友には田中秀幸と鷲尾真知子、敵役に玄田哲章が熱演している。他にも永井一郎、古川登志夫、大塚泰生などアニメファンにはおなじみ。平野　文も声だけだがちょっと出演している。





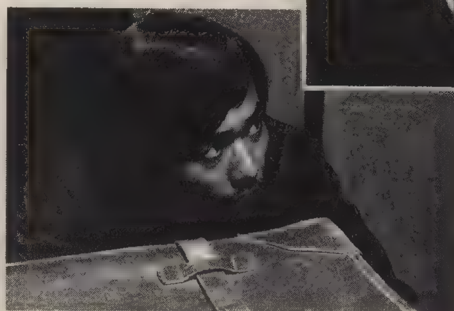
▲かつての僚友、蒼一郎は賭けビリヤードで生計を立てていた。写真中央はカモになった中年男（永井一郎）。



▲もぐりの立ち喰いそば屋で月見の銀二（天本英世）に昔の仲間の行方を尋ねる紅一。

▲蒼一郎の部屋で再会する２人。しかし３年という空白は長く、蒼一郎は今は転向して負け犬の日々を送っていた。
▼「みどりに逢えばきっと後悔する」と蒼一郎は意外な言葉を口にする。
▶月見の銀二はもとより、蒼一郎までが文明の手先だった。トイレに行こうとする紅一の頭を蒼一郎のキューが突く!!







▲蒼一郎の言った通り、みどりは文明の情婦になっていた。かつての栄光の見る影もない。

▼みどりに助けられた紅一は全身傷だらけで、まるでミイラ男のようだ。





▲「私が死んじゃおうか」紅一を殺せないみどりは銃口を自分の頭に向ける。あわてる紅一。
▶紅一を送り出すみどり。
「そんなに見つめないでよ。私はあなたを見れないんだもん」





◀私はもうあなたの仲間じゃない、やっとそう思えるようになったのに……。

押井守監督インタビュー

——今回実写が初めてということで、アニメとの違いとか苦労した点とかありましたか？

「細かいことは沢山ありますけれど全体として言えば、多少表現手段の違いはあれど基本的には大きな構造としての映画というのは変わらないと言えますね。ただ、一番やっぱり手間どったのは生身の人間が芝居をするという感覚と、いつもアニメでやっているようなタイミングで絵を動かしていくという感覚との違いについて、もうひとつ摑み切れなかったというか、踏みこめなかったという気はします。」

——キャスティングはどのようにして決めたんですか？

「いつもアニメでやっているように、キャラクターの絵をマンガで描いていって、そこから割り出しました。でもその人がマンガに似たのか、マンガがその人に似たのかはよく分からないんですが、まあ、たまたまテレビで『うる星やつら』をやった時の枠の中でスンナリ決まったというところもありますけど。」

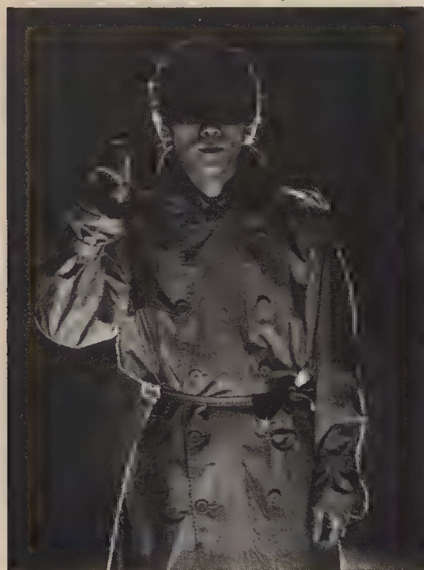
——主演した千葉　繁さんはどうでしたか？

「この映画の主人公はやっぱり千葉くんだからちょうど良かったかなと思いますね。あの役を松田優作みたいな役者がやるんじゃなくて、どちらかといえばヒーローになりえないようなタイプの男が演じることで、その滑稽さと同時に真摯な感じの両方が出せるんじゃないかと思ったんです。」

——物語についてお伺いしたいんですが、結構テーマみたいなのがみえにくいと思うんですけど、そのへん誤解されないように伝えたいこととかはありますか？

「いや、間違ってくれても僕はかまわないと思ってるんです。見る側には誤解する権利があるというか、映画というのは完全なものじゃないから、つくって世の中に出して半分ができて、あとは見る人がその半分を手掛りにもう半分を自分でくっつけて、自分だけの映画をつくる権利があると思います。だからメッセージみたいなものは当然ありますけれど、それよりも見た人が自分なりに誤解してくれたかなということに興味がありますね。」

紅い眼鏡



▲みどりから渡されたモーゼルを持ち、闇に立ちつくす紅一。

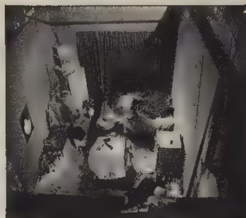


▶「紅一、逃げろ!! 俺たちは今でもチームだ」紅一の危機を蒼一郎が救う。

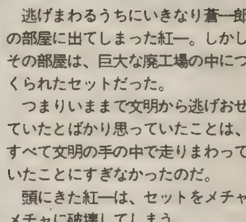


▲文明の追手をふり切って逃げまわる紅一だが、どうしても出口を見つけ出すことができない。迷路の中で見た光景とは一体？









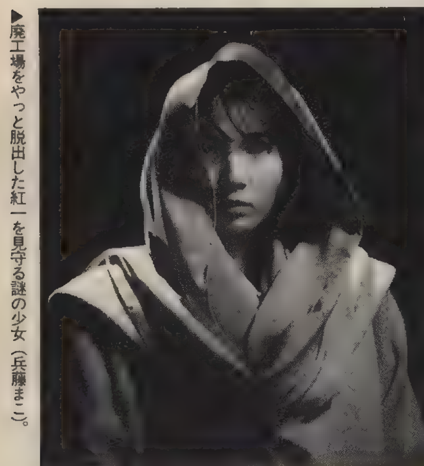
逃げまわるうちにいきなり蒼一郎の部屋に出てしまった紅一。しかしその部屋は、巨大な廃工場の中につくられたセットだった。

つまりいままで文明から逃げおせていたとばかり思っていたことは、すべて文明の手の中で走りまわっていたことにすぎなかったのだ。

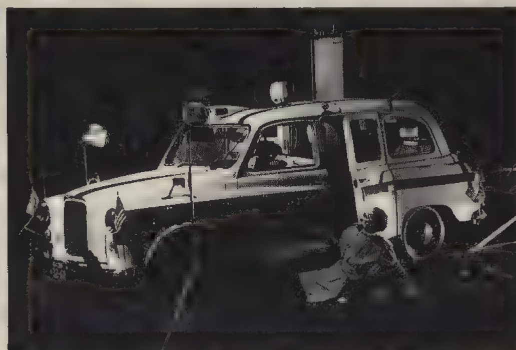
頭にきた紅一は、セットをメチャメチャに破壊してしまう。



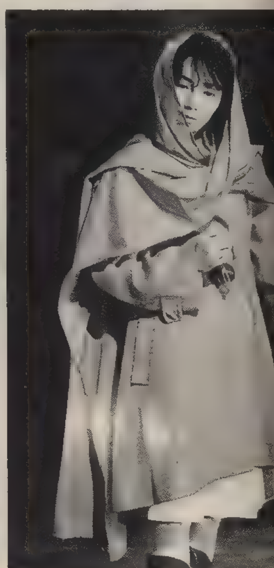
▲拷問イスのセットにたどりついた紅一は、そこでマンボを踊っている文明に出会う。呆然とする紅一の前で文明は踊り続ける。



▶廃工場をやっと脱出した紅一を見守る謎の少女（兵藤まこ）。



▲やっとのことで逃げのび、タクシーに乗り込んだと思った紅一だったが、運転手はいつのまにか文明になり、タクシーもやはりセットだった。

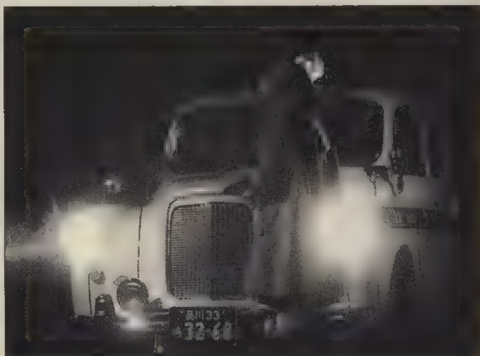


▶紅い眼鏡を手にした少女。この少女の正体は一体何？

▼クラクションにふり向いた少女の傍には、例の対話タクシーが停まっている。少女を乗せたタクシーは夜の道を空港へと向かう。



◀タクシーの運転手が少女に電話で話しかける、「お嬢さんがお出迎えする夢はどんな夢です?」



——映画の大きな流れとしては割と単純なつくりなんですけど、セリフの言いまわしとかが難解なんで混乱しちゃうと思うんですが？

「まあセリフは実はほとんどどうでもいいことを言ってるんで(笑)本当に僕がこめた部分というのはしごく単純なことで、言ってみればある時代みたいなものですよね。ある時代と戦うこととか、時代に置き去りにされるとか、それをどういうふうにつくっていくかということを言いたかったというのはあります。やっぱり今の時代を信用してないというようなことだと思いますね。今の時代というのは全部ウソで、映画は未来の話になっているけれど実は過去の話であって、15年ぐらい前にある決定的な時代みたいなのがあり、そこから実はまっすぐ行けば別の時代が待っていたハズなのに、実際には巧妙に曲げられたウソの上にウソを重ねて作られた現実が今の時代なんじゃないかなという思いはどこかにあると思います。」

——その辺が設定にあらわれているんですね。

「そうですね。3年たって戻ってきた男や街が変わっていたというのは、僕らは連続的に生きてきたから今の時代のウソさかげんが見えないけれど、どこかひとつの世界へ行って突然今の時代に帰ってくればたぶんビックリすると思うんですね。何でこんな世の中になっちゃったのかなと——。まあそのへんを考えながらマジメなものとそれをちゃかしたいという両方の欲求がせめぎあってる映画です」。

——どうもありがとうございました。



▲映画撮影中の押井　守監督(写真右はじ)。普段は物静かな感じだけど、いざ映画の話になるといつまでもつきない。

新作映画紹介

首都消失

もし、東京が謎の物体〝雲〟に包まれて外部と音信不通になったら。小松佐京のSF小説『首都消失』の映画化が急ピッチで進められている。映画は二つのパートから構成され、ドラマ部分は多田利雄監督。今回は特撮部分の中野昭慶監督にインタビューしてみた。

特撮監督

中野昭慶

特撮はドラマの化学調味料。ドラマにいかにとけこむか、面白くするかが僕らの仕事だと思っている。



『首都消失』の特撮シーンは、東京・砧の東宝撮影所で製作されていた。バスケットコートが10コ以上入りそうな大きなスタジオでは、ホリゾント一杯に空が描かれ、特撮マン達は装置のチェックに余念がない。忙しい撮影のあい間をぬって、中野監督は気さくに、セットの説明や〝雲〟のイメージ、映画観などをエネルギッシュに語って下さった。

「今回のテーマは〝雲〟ですね。一口に雲と言っても仙人の乗る雲とか、色々種類があるだろうけど、〝とにかくどえらい怪物で恐いぞって感じの雲を出したい。ただ、映像化にはある程度説得力が必要だから、リアルでかつ不気味なものを作りたいと思ってます。

僕は閉所恐怖症の気味があって〝雲に閉じこめられる〟って設定だけで、もうたまらなく怖い。だけど、そんな事平気な人もいる訳だから、そういう人が見ても嫌だと思わせるようにしなくてはね。」

本日の撮影は、主人公二人が謎の雲の正体を調査するシーンの背景。「はい、良かったら出して」の声で、坂に張られた布の上からもうもうと煙が落ちてくる。緊張がみなぎる。「用意！　スタート!!」カチンコが鳴り、カメラが回る。うごめく真白な煙の中に時折シューッと灰色の煙柱がのたうち、光がはじける。「ハイ、

OK！」その間、わずか十数秒。午前中一杯用意して1カットのみ収録。

「あの灰色の煙は秘密兵器。映像に変化を持たせるために、フライアッシュというコークスの粉をガスでふき出させるんです。白い煙は俳優が出る時はロスコーという水性で人畜無害の煙を使うんだけど、コストも高いし、特撮では油性を使います。シャツを洗ってもおちないほど汚いし臭いし体に悪いんだけど、特撮は効果優先。健康は二の次ですからね。」

一日が終わると耳や鼻穴が真黒になるという。そうまでして撮り続ける特撮の魅力とは何なのだろうか？



映画は愛娘のよう

「魅力ねえ…無いんじゃないかな（笑）。僕は元々特撮志望じゃなかったんです。助監督志望で入社したら、汚ないんで先輩が行きたがらなかった特撮に廻されて。新人だからって（笑）。でも、映像で物を語るなら、その表現のテクニックを全部身につけなければと思ってやっているうちに20年も過ぎてしまいました（笑）。まともに聞かれると困るけど、手間ひまかけて作ったものを一瞬のうちにふっとばす快感はありますね。今回も雲が破壊するビルのミニチュアを作るのに2ヶ月かかったんだけど、失敗したから撮り直して訳にはいかないでしょう。準備を100%完全なものにして「用意！」の声がかかる時の緊張感は凄いですね。胃がキリキリします。ただそうまでしないと本物はできないし、同じ映像を作るなら見たい映像を作りたい。」

「インパクトのある絵が好きです。色を意識した強い画面が。服だって、〝ここに赤のポイントがほしいわ〟って思うでしょう。それが個性だと思うんです。僕は火が好きですぐ使っちゃう。だけど〝雲〟には困りました。白は影もできないし、反射して色もつかない。〝雲〟自体が宇宙線を放出する発光体という設定なので、光の中の影のこわさを出す為、存在する光は全て使いました。手におえない娘を扱うように、なだめすかしながら撮っていますよ（笑）。」

レーザー・ライト・ストロボ等、試行錯誤をくり返し、さらにフィルムに透過光処理をほどこし合成する。編集作業も自分でする。映画は自分の娘のように、お嫁に出すまでみとってやりたい、と監督。丹精して作った分だけ、人の手に渡った時の淋しさはひとしおだという。

「映画は感覚の柔い30代位までの若い人にもどんどん撮ってもらいたい。感性が豊かな人はこっちの持っているものをいつのまにか引き出して触発される。舛田さんもそういう一人です。特撮は独立では存在しなくて、ドラマと関って初めて効果のあるものです。僕は、特撮はドラマの味付けを良くする化学調味料だと思っている。いかに溶け込んで面白くするか、その為に話し合って触発しあう。それが大切だし、そしてそれがまた一つのドラマじゃないかと思えるんです。」

［プロフィール］

昭和10年生まれ。東宝入社後、特撮マンとして円谷英二の補佐をする。現在、日本の特撮の第一人者。代表作品73年『日本沈没』（アジア映画祭・特殊技術賞）84年『ゴジラ』



STORY

ある夏の朝、東京は濃い霧に覆われていた。その異状現象の影響により、東京では、テレビ・電話・テレックス等、全ての通信電波の途絶えが始まり首都はブラックアウトと化していた。

この事態をいち早く察知したKSテレビの報道マン田宮洋介（山下真二）は、ヘリで空路東京へ向ったが、首都圏を覆った異様な巨大乳白色の雲を眼前に言葉を失ってしまう。高さ2千メートル、半径30キロメートルの巨大な円盤型の謎の雲は、日本のあらゆる中枢機能と約2千万人の生命を呑み込み、日本を重大な危機に陥らせようとしていた。

この異常現象で動けなくなった新幹線で知りあった、北斗電気技術開発部長・朝倉達也（渡瀬恒彦）とラリーキャスターの小出まり子（名取裕子）は、朝倉の旧友・航空自衛隊二空佐・佐久間英司（夏八木勲）のジープで、東京へと向かうがムダであった。

かろうじて北斗電機厚木中央研究所についた朝倉は、電子工学の権威・大田原教授の協力を得、謎の〝雲〟に対する調査隊を編成する。一方まり子もテレビ中継を開始した田宮と合流し、[illegible]の調査を見守る。

朝倉はアメリカとの共同調査を行うべく、まり子と共に米軍軍事用最新センサーを積んだEP3Eに乗り、巨大台風の渦のような不気味な〝雲〟の上空に出た。〝雲〟の切れ目から必死に内部の状況をつかもうとするが、突然上空から稲妻が機体を襲い、〝雲〟からもそれに反応するように青白いスパークが放たれる。高エネルギーを発するビームに、機は墜落寸前となる。

中央集権の拠点、東京を失った政治の混乱は著しく、国の機能も徐々に失われ始め、国際間の緊迫もせまりつつあった。共同調査以後、これまで協力的だったアメリカの態度も急変し、収集した情報を日本側に提供しなくなり、異状物体は〝雲〟の調査の独占を申し入れてきた。

こんな状況でも常に冷静で優しい朝倉に好意を抱くまり子。[illegible]ながらも彼女を忘れ切れぬ田宮。一方〝雲〟の中の人々の命は[illegible]データ分析の結果、〝雲〟の壁を破る唯一の可能性が見出され、朝倉は最後の希望にかけ、謎の雲に挑むが……

85年日本SF大賞を受賞した小松左京の『首都消失』を壮大なスケールとSFXで描くシュミレーション・パニ[illegible]人間ドラマ[illegible]月一杯で撮影は終了し、[illegible]月からはスタジオの特殊処理や編集にとりかかっている。小松作品がどう料理されるのか[illegible]が待ち遠しい。

STAFF・CAST

■原作／小松左京
■監督／舛田利夫
■撮影／飯村雅彦
■特撮監督／中野昭慶
■製作／関西テレビ放送・[illegible]・大映(株)
■朝倉達也／渡瀬恒彦 ■小出まり子／名取裕子 ■田宮洋介／山下真二 ■松[illegible]／石野陽子 ■大田原精一郎／大滝秀治 ■佐久間英司／夏八木勲 ■三[illegible]／石橋蓮司 ■[illegible]原梢子／加藤治子 ■中田代議士／丹波哲郎 ほか
（86年作品 東宝洋画系で来春公開予定）





ゴーストハンターズ

中国神秘主義とアクション満載の 冒険・コメディ・クンフー・幽霊物語

10月に開催される〝東京国際ファンタスティック映画祭〟の人気No.1作品がこの『ゴーストハンターズ』だ。（原題は『ビッグトラブル・イン・リトルチャイナ』）『ハロウィン』等の監督ジョン・カーペンターの最新作で、視覚効果は『ゴーストバスターズ』のリチャード・エドランド、主演がカート・ラッセルというのだから、期待は高まるはず。そして12月からは全国ロードショーも決定。お正月映画の超オススメ作品だ。

友人ワン・チー（デニス・ダン）の誘拐された恋人を取りもどすため、トレーラー運転手ジャック・バートン（カート・ラッセル）らはNYはリトルチャイナへ乗りこむ。しかし犯人はなんと中国系悪霊ロー・パンの一味。彼は2千才の妖術使いで、古代の呪いから自分を解放し肉体を取り戻してくれる緑の瞳の乙女を探しつづけていたのだ。ジャック達に襲いかかる不気味で奇想天外な、又、少々ヌケた感じの妖怪達。果たして彼らは無事花嫁を取り戻すことができるのだろうか……。

リアルでかつファンタジックな映像が速いテンポで展開する。中国の神話や武道と最先端のSFXが融合した型破りな娯楽映画だ。





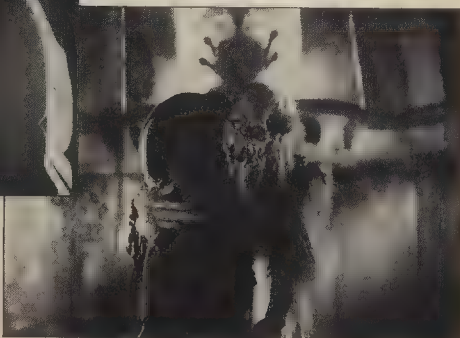
◀古代2000年の歴史を持つ、悪漢ロー・パンと部下の嵐軍団。ロー・パンは肉体が無いにも関らず、車椅子に釘づけの老人から身の丈2mの怪人へと自在に変身する魔力を持っている。手下は他にも荒らくれ・目・針・幸運のジョーなどフザケた名前の奴もいて、特に〝目〟はただ飛んでるだけというヘンなヤツ。
▲嵐軍団のまん中の男はフクレて死んでしまうのだ。



ジャック達は様々な場所に赴く。さかさま地獄・灰の川地獄・不実者の館・閻魔大王の名誉の間等々。現れる怪物のメイクアップやSFXもスゴイ！ ◀は嵐軍団〝稲妻〟の攻撃。▼は下っ端の〝荒くれ〟。ぐえっ！

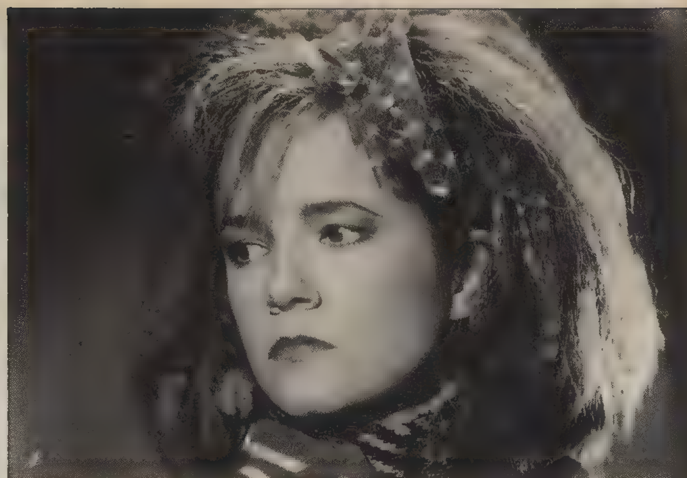






■監督／ジョン・カーペンター■制作／ラリー・J・フランコ■撮影監督／ディーン・カンディ■視覚効果／リチャード・エドランド■特殊効果／ジョウゼフ・アンシン（1986年作品 20世紀フォックス 来春東宝系で公開予定）

HOWARD THE DUCK



G(ジョージ)・ルーカス総指揮！アヒル型ヒーロー登場!!





宇宙の彼方の地球に似たアヒル星から、スーパーマンならぬスーパーダック・ハワードがやってきた。得意の合気道で助けた女の子と恋に落ち、恋の為、地球征服を企む悪と戦うのだ！
　マーベルコミックの人気漫画を総指揮ルーカスがSFXを駆使して映画化。特に40分ノンストップのSFXとアクションのクライマックスは圧観！　他の映画のパロディも盛沢山。ヒロインはリー・トンプソン。ハワードとのベッドシーンもあるとかないとか…。

ハワード・ザ・ダック

F/X 引き裂かれたトリック

教訓・芸は身を助く 特殊効果の作り方教えます。









映画の特撮マンがある日政府の依頼を引きうける。特殊効果の技術で偽装殺人をしてほしいというのだ。だが、成功した瞬間から彼は証拠隠滅のため命を狙われる。警察もあてにはならない。彼は自分のSFX技術を駆使して、追手に立ちむかう。
　話は単純だが、たたみかけるように事件が起こり、気をそらさない。また、対抗手段のFX技術もバラエティに富み、特殊効果とはこう作るのか、と勉強できる。車で肉屋に突っ込むシーンはエグイのでスプラッターファンにも良いかもね。

11月上旬公開予定

アリアの涙

ぐっすん



CHAPTER I
マッドからの挑戦

「きゃー！　ドロボーウ！」

朝、小さな駅の前で、とどろく一つの悲鳴。だが、今時そんなモノに耳を貸す者はいない。ただ一人、この少女を除いては……。

〝何？　女の人の悲鳴！　近いわ？〟。

この一見、平凡な中学生にしか見えない少女こそ、実は、世界の平和を守るために日夜戦う現代の正義の味方家族の長女、池内アリアなのだ！

ただし、彼女には、家族のみんなと同じようなスーパー能力は、なかったりする。

〝ひさびさの事件だわどうしましょ。〟

何せ今は、登校の途中。学校までは、まだ10分はかかる。このままドロボウにかまっていたら、遅刻してしまう可能性もあるわけだ。

それから、変身という問題もあった。

変身と言っても、人目を避けた所で掛け声をあげたり、ポーズをとるだけで姿が変わるわけじゃない。

平たく言うと、着替えだったりする。

しかし、駅の近くに、着替えられる所なんかあるわけがない。

〝どうしましょう。駅のトイレは汚れているので入りたくないし……。洋服屋さんで着替えさせてもらうには、何かお買物しなきゃ悪いでしょうし。今月は、もうお小遣いあまり残っていないのよね。ハンカチ一枚買うだけじゃあだめかしら。〟

はやくも大ピンチの我らがアリアちゃん！

これがアリアのお父さんなら、背広の下にいつでもヒーローコスチューム（つなぎのタイツとマント）を着こんでいて、どこでも上下を脱ぐだけの5秒フラットで変身してしまうのだが、アリアの方は、そうはいかない。

彼女のコスチュームは、ピンク系のレオタード。それを下着の代りに制服の下に着ればいいのだが、いかんせん学校では、色の付いた下着をゆるしていない。

いくら世界の平和を守るためであっても、正義の味方は、校則ですら破る事はゆるされないのだ。

〝あー！　学校の方もあぶない時間になってきてるわ。どうしたらいいの。ぐっすん。〟

涙ぐむアリア。彼女は、異常に気が弱い。

〝学校ん!?そうだ！　学校の更衣室を使えばいいんだわ。ついでに、先生の所に行って出席を確認してもらえば遅刻にもならない。なんて、私って頭がいいのかしら。ルン！〟

泣いたカラスがもう笑うアリアだった。

〝それではドロボウさん、これから変身するために学校に行ってきますから、どうぞその間、15分ほどですから、逃げずにそのままでいてください。〟

小さな胸の前で手を合わせ、まだ見ぬドロボウにお願いしたアリアは、学校に向っていきおいよく走り出した。

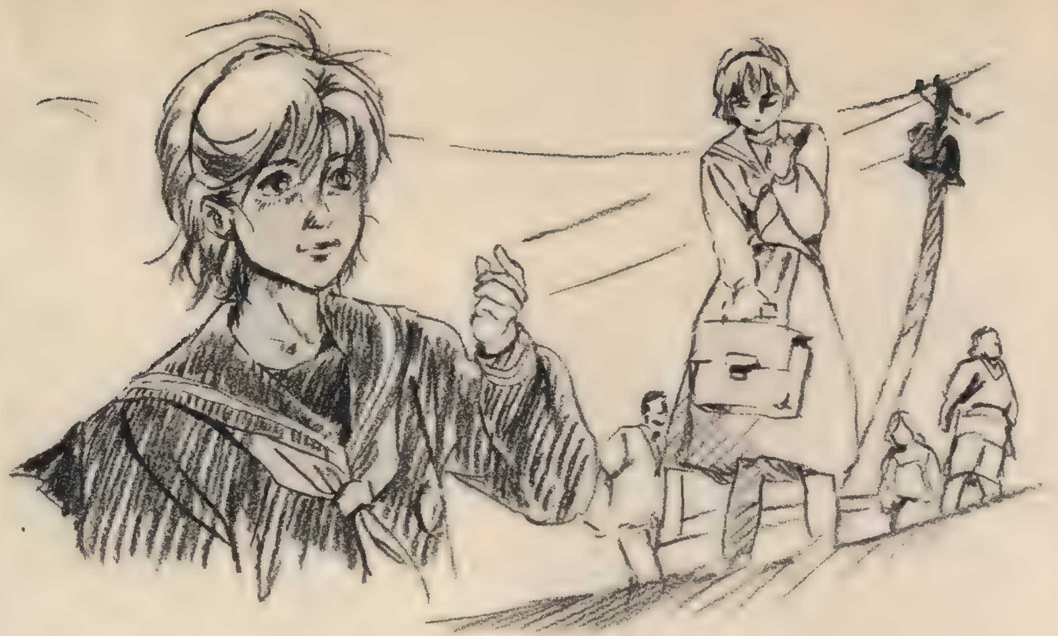
もちろん、それが他人の目には、ドロボウが怖くて逃げ出したように見えるが彼女は気づいていない。

20分後。

アリアは、駅前で呆然と立っていた。もちろん変身はとげられ、ピンクのレオタードにピンクの肩あて、ピンクのゴーグルにはハートマークがピカリ。しっかりスーパーレディの姿になっている。

〝また、逃げられてしまったわ……。やっぱり、約束の15分以内に戻れなかった私が悪いのね。きっとドロボウさんは、17分ぐらいまっていてくれたんだわ。それを私ったら……。ああ、なんてバカなんでしょう。ぐっすん。〟

ほおを伝う涙をふくのを忘れて、ゆっくり



と学校へと戻ってゆくアリア。彼女が教室に戻ると一時限目の授業にいなかったという事で、無断早退あつかいになっている事を、アリアはまだ知らない。

さて、こちらは所変って池内家。お父さんがいる。お母さんがいる。そして、おじいさんがいる。ごくごく平凡に見えるこの家族こそ、正義の味方の一家なのだ。

お父さんは、スーパージャック、バリバリのスーパーヒーローだ。

お母さんは、スーパークィーン、今はアリアの妹弟をおなかにかかえて産休中。

おじいさんは、東京キング。かってのスーパーヒーローも歳には勝てず引退、隠居の身。

何？　説明だけ聞いても信じられない。なら、なんの気ない夫婦の会話をちょっと聞いてみてくれ。

母「あなた〜、地獄博士から、世界征服の予告状がきているわよ。」

父「え〜！　あのご老体、まだ世界征服の夢を捨ててなかったのか。まいったな、もう引退しちまったかと思って、暑中おみまいも出さなかったぞ。」

母「来る九日に、大山ダムにて行動を起すそうよ」

父「九日！　今日の事じゃないか。でも今日はたしか、Ｄｒ・マッドの幼稚園バス誘拐計画の日だろ。」

母「そうね。」

父「まいったな。しょうがない、Ｄｒ・マッドには別の日にしてもらおう。地獄博士の方は、がんこだから、日を変えてくれと言っても聞いてくれないだろうからな。」

母「でもあなた、どうやってＤｒ・マッドに連絡とるんですか。私は今のＤｒ・の秘密基地の場所って知りませんよ。」

父「市ヶ谷だろ。」

母「いいえ、あそこは、だいぶ前に、自衛隊の駐屯地内だったんで、立ち退きさせられて。」

父「ああ、そうか。思い出した。あの後、平和島の方に引っ越したんだ。」

母「え、平和島の秘密基地って、Ｄｒ・マッドさんのだったんですか。あれは先月、お産の事でむしゃくしゃしてた時に、私が破壊しちゃいましたよ」

父「じゃあ、今、どこにいるんだろう？」

「ただいま。」

そんなこんなの内にアリアが、学校から帰ってきた。どうやら、早退あつかいになったために午後の授業に出るのをあきらめて帰ってきたらしい。ヒーローコスチュームから制服に着替え忘れている事からも、ショックがむちゃくちゃ大きかっだ事がわかる。

アリアは、帰ってくるなり、おじいさんの部屋に飛び込んだ。

「ねえ、おじいちゃん。ちょっと相談があるんだけど。」

「相談？　なんじゃ？」

アリアを見つめるおじいちゃん。

「私……。」

おじいさんの視線を気にしながら、おずおずと話し始めるアリア。

「私、強くなりたいの！」

「……なぜ強くなりたいんじゃ。お前。」

ゆっくり聞きかえした。

「うん。だって、みんなのように世界の平和を守りたいんですもの。」

ぐっと、拳をにぎりしめるアリア。おもわずスポコンである。

「よし、わしも東京キングとよばれた男だ。なんとかしてやろう。」

流石に大正生まれである。スポコンには弱い。自分も拳をにぎりしめながら答えると、押入の奥から一つの薬ビンを取り出した。ビンには、虫喰と変色でほとんど読めなくなったラベルがはられていて、中には、白い薬の粒が詰まっている。

それを不安そうな顔で受け取るアリア。

「これ、強くなるお薬？」

「そうじゃ、先祖代々我が池内家に伝わる秘薬・強気ｉｎｇじゃ。こいつを一粒飲めば、どんな軟弱な奴でも勇気百倍じゃ」

正義の味方独特のみょうなフリをまじえ、カンラカラカラと笑いながら体全体で力説するおじいさん。

「強ＫＩＮＧか……。」

おじいさんの話を心に、その名を口にしてみるアリア。まだ、何かひっかかっているらしい。

「お前の父さんだって、初めての戦いの時には、これを飲んで度胸をつけたんじゃぞ。」

この一言は決定的だった。日ごろお父さんのように強い正義の味方になりたいと思っていたアリアである。この言葉に心を動かされないはずがない。

「じゃあ……私、飲んでみる。」

「まて、この薬には、いくつか注意せねばならぬ事があるのじゃ。」

けげんそうにおじいちゃんを見るアリア。

「よく聞くのじゃぞ。まず、飲みすぎぬ事。一日一粒を限度とし、それをこえる服用は、せぬ事。つぎに、効能は、服用よりいっとき以内という事を頭においておくのじゃ。」

「いっときって？」

「今の二時間の事じゃ。」

「はい。わかりました。」

「よしよし、いい返事じゃ。では、飲んでみなさい。」

静かにうなずくアリア。顔には、緊張の色が出ている。

〃そうよ、これを飲めば、だめヒロインから脱皮する事ができるのよ。勇気を出して、アリア。〃

そう自分に言い聞かせると、アリアは、薬を一粒飲みこんだ。

ゴックン！

静寂………。

イ！

奇声をあげるアリア。

急に胸が苦しくなったらしく、しきりにもがき始める。顔などは、赤くなったり、青くなったりしている。

やがて、その苦しみが和らぐと同時に、その苦しみを吸い取って大きくでもなったように気力がどんどん増してゆく。さらに、顔つきまでが少しづつ変化しているようだ。目はつり上がり、口は冷たい微笑を湛えている。歯までが、心なしか尖ってきたようだ。

今や、アリアは異常な高揚感に押し包まれていた。

が、突然、そのすべてに終止符が打たれた。

「うふ。」

アリアの顔には、今までのアリアとは、別人のような不敵な笑いがこぼれていた。

「ふははははは！　パワーが漲っとるで！」

どうやら性格までが、パワーアップされて



いるらしい。いや、前の性格が崩壊してしまっているのかも……。このアリアからは、前の弱々しいアリアは想像できない。
「うむ、すごい強気だ。ほとんど異常だな。」
　自分で薬を飲ませておいて、何をのんきな事を言っているのだ、このじいさんは。
「敵だ！　敵がほしい！　悪党はいないのかうぉ～っ！」
　怖しいほどの迫力である。ほとんど女ナマハゲになっている。これなら、どんな悪党もはだしで逃げ出すに違いない。
「敵か？　おお、そういえばDr・マッドと地獄博士の作戦日が重なって、父さんがこまっとったぞ。お前、Dr・マッドの方に行ってやりなさい。」
「やった！　やってやるぜ！」
　もともと、スーパーレディのコスチュームを着たままのアリアである。そのまま外に飛び出そうとする。
「Dr・マッドは、三丁目のすみれ幼稚園のバスを襲う気じゃ。いけアリア！　いや、今日からお前は、強気INGレディだ！」
　かってに名前まで作ってしまった。
「おし！　強KINGレディいってくるぜ！」
　そういって飛び出したアリアを見送るおじいさんの目には、感動の涙がるいるいと流れていた。
　そのころ、何も知らないDr・マッドたち一味は、幼稚園児の送迎用のバスを誘拐すべく、三丁目の交差点で未だ遅しと待ち構えていた。
「ふふふ、今日こそは、スーパージャックに一泡吹かせてやる。」
　このセリフを言った、黒の上下に黒いマント、黒いサングラスという黒づくめの青年こそ、Dr・マッドその人である。
　ちなみに、目や髪はもちろんの事、彼はパンツまで黒い物を使用していた。残念ながら、肌は色白だったが。
　しかし、彼こそは、この世に産まれ出た時から、ある秘密結社によって悪党の中の悪党になるように育てられた悪魔の申し子。
　今までに彼がやってきた悪事の数々は、人々を驚愕させ、恐怖に震えおののかせる。
　まず、三才で女に手を出し泣し。（スカートめくり。）
　四才で、飲酒。（急性アルコール中毒で入院。）
　五才で、喫煙。（急性気管支炎で入院。）
　六才で、競輪、競馬、マージャンと賭事の鬼になり、打博界に嵐を巻き起こす。（秘密結社の金を全部すり、打博界に観音の嵐を巻き起こした。）
　その後、二十才になるまで地下に潜伏、あらゆる学問を体得する。（実は、小さいころからの不健康な生活がたたり、ずっと群馬のサナトリュームに入院していた。）
　二十四才になった今、原因不明のまま崩壊した組織を復興させ、世界征服のために動き出したのだった。（復興といっても、ナチスドイツの流れをくむ巨大組織が、彼と手下3人の小組織へと変化してたりするが。）
　以上、Dr・マッドの経歴なのだ。
「ふふふ、というわけで、私が世界の支配者Dr・マッドだ。」
「誰と話しているんですか。」手下A。
「ほんとうに」手下B。「まったく。」手下C。
　こいつらが、Dr・マッドの所にのこった手下三人組。
「うるさい。俺は、読者と話しているのだ！　君たち、今日は、俺が、スーパージャックを倒すから、以後、応援するように。」
「何です？　読者って？」
「ばかもの！　我々は、小説の中のキャラクターなのだ。」
「ああ、あのDr・がお考えになった、自己小説中人物化次元論の事ですか。」
　うさん臭そうな顔つきで言う手下B。
「それより、あんな事言っていいんですか。スーパージャックを倒すなんて。」
　手下Cは、Dr・の発言をまったく気にしていない。
「勝てる！　いや、勝つしかない！　今回の幼稚園バス誘拐も、スーパージャックを倒すためのおとり作戦にしかすぎんのだ。それに今回は、秘密兵器もある。」
　マントを翻しながら、力説するDr・マッド。
　傍目には、変態以外の何者にも見えない。
「秘密兵器って、あれですか？」
　そう言って手下Aの指さした方には、リヤカーに積まれた鉄クズ、もとい、ロボットがあった。
「その通り、私が今日の計画に間に合わせるために三日間徹夜で造り上げた、地上最強のスーパーロボット・ツヨイゾXだ。」
　と、言うわりには、あまり強そうなロボットではなかった。
　廃品を多用して造ったらしく、胴などは大型冷蔵庫である。他にも、ちらほらとおなじみの電化製品が、顔を見せている。「それが、いまいち信用できないんだよな。」「何！」
「きました！」
　すべてを打ち消すように、双眼鏡を持った手下Cが声を上げた。「バスか？　それともスーパージャックか？」
　慌てるDr・マッド。まだ若い。
「いや、どうやら女の子のようなんですが、すごい形相でこちらに突っ込んできます。」
　即座に答える手下C。どうやら彼は、三人の中では比較的有能らしい。
「何、どれ私に見せろ。」
　そう言って双眼鏡を取るDr・マッド。
「う～む、ヒーローコスチュームを身に付けているな。この前、我々の基地を破壊した女とは違うが、しかし、正義の味方となれば、戦闘で迎えるのが悪党の礼儀。」
　そう言うと即座にリヤカーの所に走りより、ロボットに乗り込もうとするDr・マッド。だが、乗るといっても、3mほどの小さなロボットである。コックピットは死ぬ程狭い。
　悪戦苦闘のすえに乗り込んだ時には、もう

アリアは目の前に来ていた。
「待っていたぞ。正義の味方よ。私は、地球の青年支配者Ｄｒ・マッド。お前の名は？」
ロボットの中から、高らかに声をかけるＤｒ・マッド。おそらく自分に酔っている事だろう。
「あたいは、強ＫＩＮＧレディ！　スーパージャックの娘だ。神妙にあたいにやられろ！」
「何だと！　生意気な女だ！」
Ｄｒ・は、生意気な女がきらいだった。
(理由は書かない。だれでも触れられたくない過去があるものさ。)
そうこうしている内に、誘拐されるはずだったバスもやって来た。子供たちは、Ｄｒ・マッドのロボットに大喜びだ。
そんな子供たちに、いい所を見せようと、まずアリアがしかけた。
「いくぜ悪党！　強ＫＩＮＧパンチ！」
アリアのパンチが、ロボットのボディに向って炸裂する！

ボキ！

今のは、アリアの手の方から音がした。
「い、痛え！　ちくしょう。なかなかやるな。む、薬の効いている時間も、のこりすくなくなってきやがったぜ。何せ、勢いにまかせて、一時間半も走ってきちまっからな。バスを使うべきだったぜ。こうなったらしかたない。いきなり決め技だ！」
と、言ってジャンプするレディ。もちろん、「とう」と言う掛け声も忘れない。
「強ＫＩＮＧレディ！　きりもみ回転真空電撃キック！」

ボキ！

再びレディの体の方が砕けた。
賢明な読者は、もうお気付きの事だろう、あのおじいさんがくれた薬は、力を強くする薬ではなったのだ。そう、「強気ｉｎｇ」だったのである、気力だけを強くする薬。まさに「強気ｉｎｇ」だったのである。
それを「強ＫＩＮＧ」だと勘違いしたアリアの悲劇であった。
「う、……いてえ、いて………いたい………ぐっすん。」

おまけに、その薬さえ切れてきたらしい。手と足を赤くはらしアリアは、ペタンとおしりから道に座り込んでしまった。
「うえ〜ん。」
「あ、あいつ女の子、泣かしたぞ！」
「最低な奴だな。」
それを見ていた幼稚園児が一斉にＤｒ・マッドに向って罵声を浴びせかける。まるで、まだ何もしていないＤｒ・が極悪人あつかいだ。
〃なんなのだこれは！　地球の支配者となるこの私が、なんで幼稚園児にバカにされなくてはならないのだ！
よし、とりあえずあの女の子を泣きやませよう。〃
Ｄｒ・マッドはやっとの思いでロボットから降りると、アリアの所にかけよった。ちなみにＤｒ・マッドの手下たちは、幼稚園児と一緒になって、Ｄｒ・の悪口を言っている。
「よし、よし、泣くのはおやめ、お前はよくやった。ただ、すこしばかり私の造ったツヨイゾＸの方が強かっ(た)ただけだ。」
「うえ〜ん。」
しかし、Ｄｒ・マッドのなぐさめも、今のアリアにはまるで効果がなかった。おそらく、薬の反動で、いつもよりさらに弱気になっているのだろう。
「だから、もう泣くな」
「だって、はじめて勇気を出して悪党さんと戦ったのに〜。」
そう言って顔を上げ、Ｄｒ・の方を見つめるアリア。
かわいそうに、その目は真っ赤だ。
が、そのアリアと目が合った瞬間、Ｄｒ・マッドの胸に一つの思いが生まれた。
〃か、かわいい。
こんな子を泣かすなんて、俺はなんてひどい奴なんだ。なんとかして、この子をなぐさめる方法はないのか!?〃
それは、恋にも似た感情だった。(いつでも恋は、唐突なものさ。)
〃そうだ、一つだけ方法がある。〃

「よし、私の負けだ。」
「え？」
Ｄｒ・マッドの言葉にビックリするアリア。
「私の負けだと言っているのだ。」
まじまじとアリアに見つめられて、すこしてれぎみに答えるＤｒ・マッド。
「じゃあ。」
「君の勝ちだ。お嬢さん。」
「うわ〜、うれしい！　ありがとう悪党さん。」
アリアは、自分の正義を愛する心が、敵にも通じたのだと思った。
そして、無邪気に喜ぶアリアを見ながらＤｒ・マッドは、恋人のために何かしてやれたような喜びにかみしめていた。
今のＤｒ・マッドなら、愛のために死ねるだろう。
そして、そのＤｒ・マッドの心が神に通じたのか、昼間だというのに、夕日が二人をあたたかく包んでいた。(ほんとかよ。)

つづく(かな？)

え：戸塚村吾平
ぶん：千葉智宏



戦え！ランボーくん

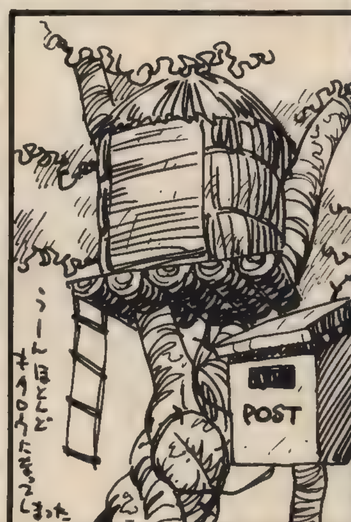
超強力的連載爆発過激漫画
清涼飲料水的世俗浄化人間
日夜活躍救世主乱暴君!!

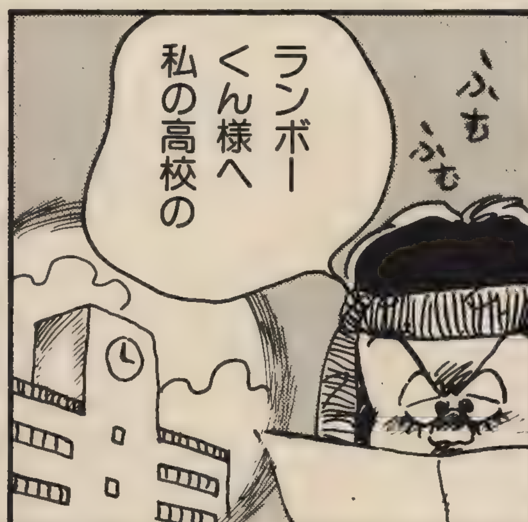


パート3"淫虐のブルマ"

●さすがのランボーくんもじょおしこーせーのブルマにはかなわない。思わず力がはいってしまったカンフー先生にはげましのお便りを出そうってなもんやの三度笠!!

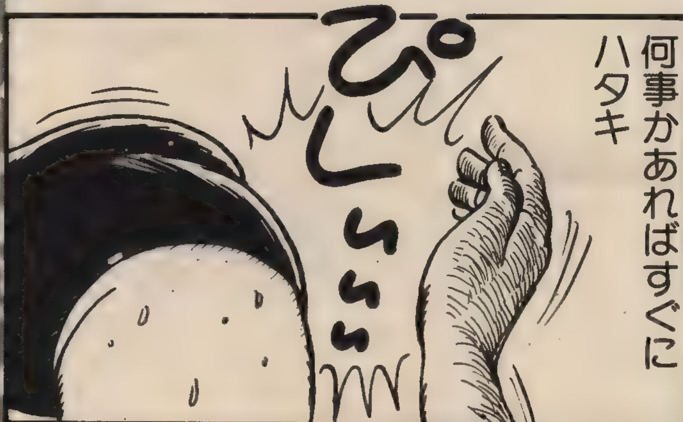
企画・制作：海坊主社／イラスト：中野カンフー
助っ人：春出　真／助っ人の助っ人：コトブキ・ササキ



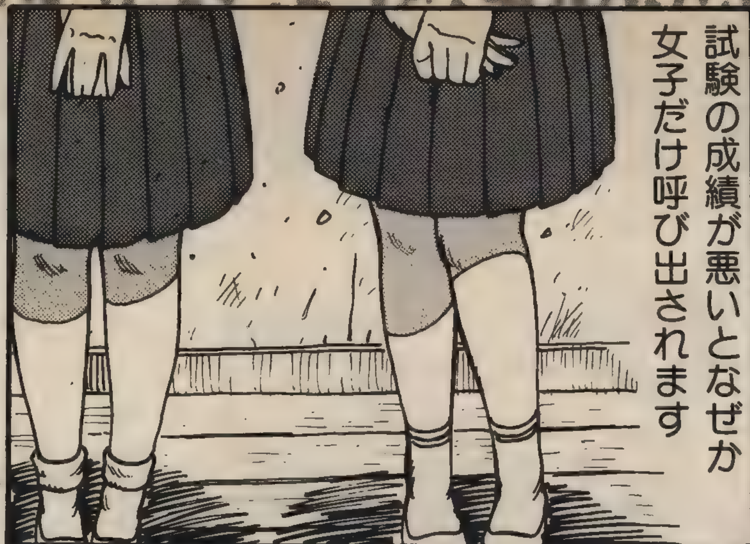











試験の成績が悪いとなぜか
女子だけ呼び出されます

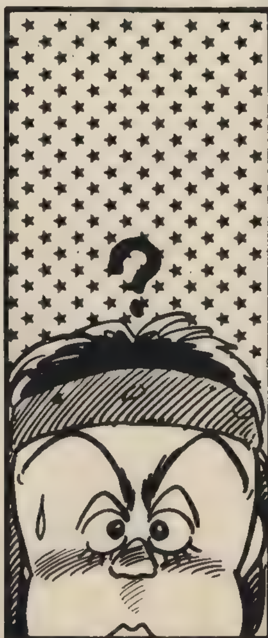

お願いです。ランボー……
しゅたたたたたたた


ぐわあっしゃあん
!
ビクッ


ドガガガ
ガガガガガ


ドサッ
!


あーんもーっ
せっかくいいところだったのに!


?


センセェ起ってよぉ
ねェってばー
Kongtu!
お願いです。ランボーくん幸わせなわたし達をどう
見守っていてください♡
教訓
手紙は最後まで読んでから行動しましょう。

これはなんたってうれしい。特別なおまけが付いてるゾ

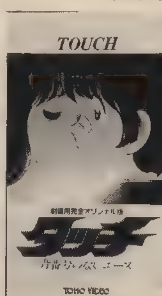
ビデオソフトが買えちゃうぞ！

アイシティ（東宝）



V β TA 1379
¥12,000
収録時間
カラー／ステレオ／Hi-Fi
超近代的なビル街を舞台に、一人の少女をめぐる壮絶な追跡劇。未来と過去を操る犯罪組織対伝説のトリガーのこの戦いはパス・ワード〝アイ・シティ〟によって解明される。

タッチ〈背番号のないエース〉（東宝）



V β TA1373
¥12,800
収録時間 93分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
監督 杉井ギサブロー
原作 あだち充
テレビ番組の編集ものではない劇場用の完全オリジナル版として制作。

幻夢戦記レダ（東宝）



V β TA1404
¥12,000
収録時間 72分
カラー／Hi-Fi
監督 湯山邦彦
17才の少女が作った曲はなんと異次元世界への鍵だった。伝説の女神・レダに変身した少女の行手には……。

テクノポリス21C（東宝）



V β TA1273
¥14,000
カラー
監督 松本正志
西暦２００１年、現代科学の枠を集め洗練された都市機能に頻発する凶悪な犯罪。
それらに対応すべく確立されたのが、特捜マシーン隊と呼ばれるテクノポリスであった。

ナイン〈オリジナル版〉（東宝）



V β TA1235
¥14,000
収録時間 71分
カラー
原作 あだち充
監督 杉井ギサブロー
連戦連敗の野球部を救おうと入部し、生まれて初めて野球に挑戦する克也！めざせ甲子園！恋と涙の青春ヒット・エンド・ラン！

ナイン2〈恋人宣言〉（東宝）



V β TA1257
¥14,000
収録時間 67分
カラー
原作 あだち充
監督 杉井ギサブロー
弱体野球部に入部した新見克也、克也に恋のアタックをする雪美や、内気な百合たちがくりひろげる恋と涙の青春ドラマ2！

ナイン〈完結編〉（東宝）



V β TA1292
¥12,800
収録時間 73分
カラー／Hi-Fi
原作 あだち充
監督 杉井ギサブロー
克也も３年生。甲子園出場も最後のチャンスになるというのに、のんびりムードの克也たちに中尾監督が考えたウソとは何か？

うる星やつら2〈ビューティフル・ドリーマー〉（東宝）



V β TA1262
¥14,000
収録時間 98分
カラー
原作 高橋留美子
監督 押井 守
あたるとラム達は妖怪〝夢邪鬼〟の夢の中に閉じこめられてしまった。もがけばもがくほど、ふりかかる災難の数々。

ルパン三世〈バビロンの黄金伝説〉（東宝）



V β TA1415
¥14,000
収録時間 100分
カラー
原作 モンキー・パンチ
バビロニア文明が何処かに隠したという黄金のバベルの塔。そのありかを教えるヒントがニューヨークにあると聞きやって来たルパン。

火の鳥 2772〈愛のコスモゾーン〉（東宝）



V β TA1274
¥14,000
収録時間 94分
カラー
原作 手塚治虫
監督 杉山 卓
永遠の生命をもつという火の鳥を狂言廻しに、不老不死の欲望にとりつかれた人間達を通して、愛とは何か、生命とは何かを追求する。

伊賀野カバ丸〈オリジナル版〉（東宝）



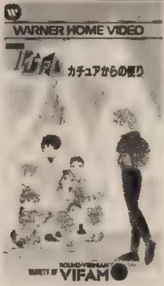
V β TA1279
¥14,000
収録時間 87分
カラー
原作 亜月 裕
演出 小華和ためお
小さい頃から忍者伊賀野才蔵にスパルタ教育を受けたカバ丸と疾風。月日が流れカバ丸は東京へ。そこで待ち受けていたのは金玉学園対王玉学園での疾風との宿命の対決だった。

セロ弾きのゴーシュ（キング）



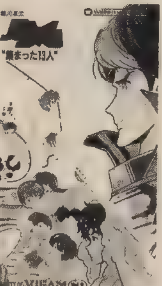
V K50V－10006
β K50B－10006
¥15,000
収録時間 63分
カラー
原作 宮沢賢治
監督 高畑 勲
キャラ・デザイン 才田俊次
宮沢賢治の情味豊かな寓話を、すぐれた絵と音楽で忠実に再現した心なごむ作品。

銀河漂流バイファム〈カチュアからの便り〉（ワーナー・パイオニア）



V 10PV－28
β 10PX－28
¥9,800
カラー／モノラル／Hi-Fi
収録時間 50分
テレビ番組編集版のPart1。
11人の子供達のところへ、カチュアとジミーからビデオ・テープが届いた。だがそのテープにはとんでもない秘密が……。

銀河漂流バイファム〈集まった13人〉（ワーナー・パイオニア）



V 10PV－29
β 10PX－29
¥9,800
収録時間 50分
カラー／モノラル／Hi-Fi
テレビ番組編集版のPart 2。
カチュアとジミーが続きのテープを持って地球へやって来た。再会を喜び合う13人。さて……。

銀河漂流バイファム〈消えた12人〉（ワーナー・パイオニア）



V 13PV－30
β 13PX－30
¥13,800
収録時間 50分
カラー／Hi-Fi
オリジナル・ビデオ。順調に航行中のジェイナス号……と次々に起きる奇怪な出来事。実は16才の誕生日をむかえる艦長スコットのために……

銀河漂流バイファム〈〝ケイトの記憶〟涙の奪回作戦!!〉（ワーナー・パイオニア）



V 12PV－39
β 12PX－39
¥11,800
収録時間 60分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
記念式典に参加すべくクルト星に降りたったロディー達。そこには死んだはずのケイトが。ケイトの過去は取り戻せるか。

青い鳥（日本コロムビア）



V JA－10001
β JA－10002
¥12,800
収録時間 116分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
本当の幸福って何だろう？……
チルチルとミチルが青い鳥を求めて旅をするミュージカル・アニメーション。

アルプスの少女ハイジ（日本コロムビア）



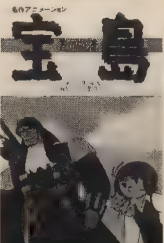
V C69―9242
β C69―9742
¥7,800
収録時間 107分
カラー／Hi-Fi
美しいアルプスの山山を背景にハイジがくり広げる心暖まるアニメーション。

ガンバ 冒険者たち〈総集編〉（ジャパン・ホーム・ビデオ）



V β KL－2003
¥14,800
カラー
ネズミの国を滅ぼそうとする敵に勇敢に立ち向かう仲間たちの愛と友情と勇気を描く。

宝島 PART 1～13（ジャパン・ホーム・ビデオ）



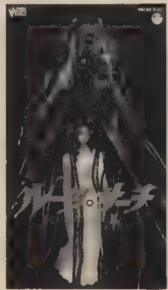
V β KL－2004～2016
各¥8,800
収録時間 50分
カラー
ジムが！ シルバーが！私たちの心に語りかける感動の名作。テレビバージョン全26話各巻２話収録。

※印は18才未満の方は購入できません。

グロービアンだけの特別企画 ●ビデオソフト通信販売

月々わずか1,000円で,君の欲しい

ルーツ・サーチ〈食心物体X〉
（日本コロムビア）



V C69-9295
β C69-9795
¥9,800
収録時間 45分
ステレオ／カラー／Hi-Fi
宇宙船内で次々と乗組員が殺されていく。しのびよる怪奇物体のカゲ。果たしてその正体は!? 残されたバズとモイラに最後の恐怖が……。

装鬼兵M.D.ガイスト
（日本コロムビア）



V C69-9276
β C69-9776
¥9,800
収録時間 45分
カラー／ステレオ
HiFi
監督 池田はやと
M.D.とはモースト・デンジャラス。それは破滅への暗号。スーパー・バイオレンス・アクション・アニメの決定版。

夢次元ハンター ファンドラ〈レム・ファイト編〉
（日本コロムビア）



V C69-9233
β C69-9733
¥7,800
収録時間 35分
カラー／HiFi
次元暦2002年、小惑星が輝く次元宇宙空間。突然Dワープで現われたギャラムの宇宙船と、それを追うファンドラのLQ号。今、次元を超えた戦いが始る。

夢次元ハンター ファンドラII〈デッドランダー編〉
（日本コロムビア）



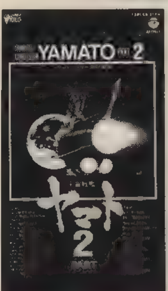
V C69-9268
β C69-9768
¥8,800
収録時間 42分
カラー／HiFi
復讐に燃えてヨグソゴスが復活。そしてファンドラと美青年ソートをめぐる愛。

ペリカンロード クラブ・カルーチャ
（日本コロムビア）



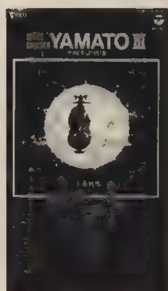
V C69-9282
β C69-9782
¥9,800
収録時間 55分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
監督 山本暎一
作監 宇田川一彦
バイク・女・友情・学園……「現在」をとらえた青春路線のアニメ。
"カルーチャ"はスペイン語でゴキブリ。

テレビシリーズ 宇宙戦艦ヤマト2〈総集編〉
（日本コロムビア）



V C69-9189
β C69-9689
¥12,800
収録時間 96分
カラー
宇宙を席巻しようとするズォーダー大帝の魔の手が地球へ。島大介との愛ゆえにテレサは一人で……

テレビシリーズ 宇宙戦艦ヤマトIII〈総集編〉
（日本コロムビア）



V C69-9190
β C69-9690
¥12,800
収録時間 96分
カラー
人類の滅亡まであと1年。新艦長古代進の手でヤマトは第2の地球をもとめて旅立った。

超能力少女 バラバンバ※
（ジャパン・ホーム・ビデオ）



V β KA-1025
¥9,800
収録時間 30分
カラー
原作 永井豪
異次元の世界からやって来た謎の美少女〈バラバ〉の愛と冒険を描く。

ザ・ヒューマノイド〈哀の惑星レザリア〉
（東芝EMI）



V TT88-1141
β TT88-1141
¥8,800
収録時間 45分
カラー／Hi-Fi
監督／政木伸一
エリックとアーロンは惑星レザリアで美貌のヒューマノイド"アントワネット"に出会った。地球人とメガロス人の激戦に、アントワネットの心が燃えた。

那由也〈SFロマンアニメーション〉
（東芝EMI）



V TT14-1151HI
β TT14-1151FI
¥14,000
収録時間 75分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
アザドーとジャルナーの戦いに巻き込まれた那由也。宇宙の真理を捜すその戦いは、地球から冥王星へとその場を移した。

カリフォルニア・クライシス〈追撃の銃火(ひばな)〉
（松竹）



V β SE-0825
¥9,800
収録時間 45分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
監督 西久保瑞穂
澄みきった青空の下で、謎の少女マーシャを追って壮絶なカーチェイスが展開。

超人ロック（松竹）



V β SE-0385
¥14,800
収録時間 119分
カラー／ステレオ
Hi-Fi
緑の髪の超戦士ロック。撃て！魔女の千年王国を！コンピューター・アニメも見所。

エリア88〈ACT I 裏切りの大空〉
（キング）



V K98V-12
β K98B-12
¥9,800
収録時間 50分
カラー／Hi-Fi
原作 新谷かおる
監督 鳥海永行
キャラ・デザイン／作画監督 岡田敏靖
手に汗にぎる激しい戦闘シーン。真・涼子・神崎をからめた人間ドラマ。圧倒的なラストシーン。

エリア88〈ACT II 狼たちの条件〉
（キング）



V K98V-13
β K98B-13
¥9,800
収録時間 57分
カラー／Hi-Fi
原作 新谷かおる
監督 鳥海永行
キャラ・デザイン
作画監督 岡田敏靖

エリア88〈ACTIII：燃える蜃気楼〉
（キング）



V K98V-12
β K98β-12
¥9,800
収録時間 50分
カラー／モノラル／Hi-Fi
遠い砂漠の空に、憎しみと望郷の思いを抱いて戦う真。自分を外人部隊へ落とし入れた神崎への復讐、そして最愛の女性涼子の元へ戻るために。

ジャスティ
（キング）



V K98V-16
β K98B-16
¥9,800
収録時間 44分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
原作 岡崎つぐお
監督／作画監督 高橋資祐
主題歌「孤独の戦士」麻倉未稀

〈聖美神女学園の妖夢〉ドリームハンター麗夢2（キング）



V K28V-10016
β K28B-10016
¥12,800
収録時間 60分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
女子学園で美少女が3人も殺された。捜査に乗り出した麗夢が大活躍

ユリシーズ31 VOL.I 未知への旅立ち
（キング）



V K28V-10013
β K28B-10013
¥12,800
収録時間 97分
カラー／モノラル／Hi-Fi
日仏合作のSFファンタジー。
全4話収録。

リヨン伝説フレア※
（宇宙企画）



V β FF-02
¥9,800
収録時間 30分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
宇宙一美しいと言われている水の惑星リヨンは別名「禁断の惑星」とも呼ばれていた。「リヨン星に近づくな」そんな伝説の謎が、今、解き明かされる。

バビ・ストックーI
（にっかつビデオ）



V β NA-501
¥10,800
収録時間 45分
カラー／ステレオ／Hi-Fi
警察惑星のスペシャル・エージェントのケイトは巨大な敵、ベンティカ帝国のルース・ミラーの手から謎を持つ1人の少女、ムーマを求い出した。

※印は18才未満の方は購入できません。

今月もバッチリだゾ!!

●ビデオソフト通信販売

魅力のソフトはあるかナ!?

スターウォーズ 〈松竹〉

V β 1130
¥18,500
収録時間 121分
カラー ステレオ
Hi-Fi
'77アメリカ
監督 J・ルーカス
出演 M・ハミル他
銀河帝国の独裁体制の打倒をめざすレイア姫をたすけて、ルーク青年やロボット達が大活躍。

スターウォーズ 〈帝国の逆襲〉(松竹)

V β 1425
¥19,500
収録時間 124分
カラー ステレオ
Hi-Fi
'80 アメリカ
監督 A・カーシュナー 出演 M・ハミル、H・フォード
ダース・ヴェーダーを首領とする帝国軍の逆襲が始まった。レイア姫をリーダーとする反乱軍の運命は!?

スターウォーズ 〈ジェダイの復讐〉

(松竹)
V β 1478
¥19,500
収録時間 132分
カラー ステレオ
Hi-Fi
監督 R・マーカンド
出演 M・ハミル、H・フォード
緊迫のクライマックスを迎える最終章。

メーキング・オブスターウォーズ

"帝国の逆襲"
—SPFX 特撮のすべて— (松竹)
V β 1112
¥ 9,800
収録時間 98分
カラー
'77、'80アメリカ
合成だけに1年を要したと言われる氷の世界をのし歩く帝国軍の戦闘機との闘いのシーンなど、製作上の秘話、特撮のタネ明しをする。

河合奈保子 〈9½ Fantastic Journey〉

(日本コロムビア)
V C61—9248
β C61—9748
¥ 9,800
収録時間 52分
カラー ステレオ/Hi-Fi
ロスからニューヨークへ。クラシカルなキャンピング・カーに乗って、奈保子は大陸横断の旅へ……。

First 杉浦 幸

(ワーナー・パイオニア)
V 05PV—54
β 05PX—55
¥ 4,800
収録時間 27分
カラー/ステレオ
Hi-Fi
〈収録曲〉
悲しいな 初めまして 瞳はテレパシー
全3曲収録

ニンジャ 〈転生の章〉

(キング)
V K48V—15001
β K48B—15001
¥14,800
収録時間 92分
カラー/モノラル/Hi-Fi
全米で大ヒットしているアメリカン・ニンジャ・シリーズ。アメリカのエスニック・カルチャーを代表する未公開アクション。

ニンジャII 〈修羅ノ章〉

(キング)
V K48V—15055
β K48B—15055
¥14,800
収録時間 86分
カラー/モノラル/Hi-Fi
'83 アメリカ
6才のニンジャ坊ややおばあさんニンジャも登場。ラストは日本ニンジャとガイジン・ニンジャがビルの屋上で対決!

na・ma・i・Ki 中山美穂 (キング)

V K68V—20
β K68B—20
¥ 6,800
収録時間 27分
カラー ステレオ
Hi-Fi
9月のベニス、水の都の晩夏を舞台に美穂の夢と現実が交差する。
〈収録曲〉
ときめき 「C」 ガラスの雨 センチメンタル通信 生意気 全5曲

スーパーマン 〈1 激闘編〉

(アスミック)
V A38H—104
β A38B—104
¥ 3,800
収録時間 25分
カラー/Hi-Fi
おなじみのテーマに乗って颯爽と現れ、瞬く間に難事件を解決する20世紀最大のヒーロー。幻のスーパーマン・アニメがこれ。

湯村輝彦 〈テリー100チャンネル〉

(アスミック)
V A88H—201
β A88B—201
¥ 8,800
収録時間 30分
カラー/ステレオ
Hi-Fi
イラスト界の王者、"KING TERRY"こと、湯村輝彦が贈る、愛と感動の大スペクタクル・ビデオ。

日比野克彦 〈ヒビノ・シアター〉

(アスミック)
V A88H—203
β A88B—203
¥ 8,800
収録時間 30分
ステレオ/カラー/Hi-Fi
現代グラフィック界の寵児、日比野克彦のビデオ・パフォーマンス。もうB・G・V・を完全に超えたアート・ビデオ。

実戦/芦原カラテ 〈基本編〉

(講談社)
V β 番号なし
¥ 9,800
収録時間 60分
カラー/モノラル
構成・実技指導 芦原英幸
芦原カラテ 4つのラインとポジショニング/突きの基本/受けの基本/蹴りの基本/基本の型/投げの型/ストレッチ・トレーニング

実戦/芦原カラテ 〈応用編〉

(講談社)
V β 番号なし
¥ 9,800
収録時間 60分
カラー/モノラル
構成・実技指導 芦原英幸
芦原カラテ 4つのラインとポジショニング/基本の型/投げの型/組手の型/実戦の型 パワーアップ・トレーニング/一般の方のための護身術

高橋名人の「ファミコンゲーム別攻略法」

(東宝)
V β TC 1375
¥4,800
収録時間 30分
カラー
ファミコンの神様・高橋名人が数々のソフトを材料にテクニックやスコア・アップの秘訣を伝授します。

大友由香 〈君の瞳にKISS〉

(宇宙企画)※
V β UM-27
¥13,500
収録時間 30分
カラー/ステレオ/Hi-Fi
「卒業式の日は雪でした。今春、短大を卒業しました。いつもわがままで勝気でその分涙もろい私です。だから、やさしく、強く、私を抱いて!」

早川愛美 〈ヒロイン愛美PART II〉

(宇宙企画)※
V β UJ-35
¥14,800
収録時間 40分
カラー/ステレオ/Hi-Fi
ディスコでステップを踏む愛美。それを見つめる誰かの視線。真夜中の扉を背にして雨の街をはしる愛美、"もう、くたびれちゃった、貴男の腕に抱かれたい。

杉原光輪子 〈薄毛の19才〉※

(にっかつビデオ)
V β NY-893
¥14,800
収録時間 63分
カラー
'86年は薄毛ギャルがお・い・し・い。美形の光輪子が清楚なスケベチックで迫る。映画版。

北原ちあき 〈もう帰れない〉

(宇宙企画)※
V β VS-02
¥13,500
収録時間
カラー
ひとりで、鏡に映る自分の姿を見たりすると感じるの。今回は目一杯、女を感じさせられちゃった。

開米ゑみ子 〈牝の肖像〉

(宇宙企画)※
V β OX-14
¥12,000
収録時間 30分
カラー
プールサイドに響く歓声の声、落ちてゆくしたたり、ためらいを脱いで今すぐ牝になれ!

※印は18才未満の方は購入できません。

VHDだっておもしろいゾ!!

こちらはVHDのコーナーです。

生徒諸君



VHD
TVDV－1006
¥9,500
収録時間81分

カラー
庄司陽子の大ヒット作品。いつも陽気なナッキーとその仲間たちの青春。原田知世らのアフレコ風景も収録。

タッチ



VHD
TVDV－1009
¥9,500
収録時間93分

カラー／ステレオ／ドルビー
和也、達也、南、青春真っ盛りの3人の爽やかな汗が光る。劇場版完全オリジナル作品。

ナイン2〈恋人宣言〉



VHD
TVDV－1002
¥9,500
収録時間 67分 カラー

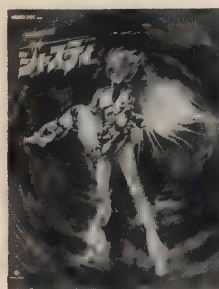
弱体野球部に入部した新見克也に積極的に恋のアタックをする雪見や自分の気持ちを表わせない百合がくりひろげる青春ドラマ。

ナイン〈完結編〉



VHD TVDV－1004
¥9,500 収録時間 73分 カラー
甲子園出場の最後のチャンスをモノにした青秀高校野球部を描く。

ジャスティ



VHD
K68R－9002
¥6,800
収録時間44分

カラー／ステレオ
岡崎つぐおのヒットコミックのアニメ化。銀河系最強の超能力者ジャスティとクリミナルエスパーの一大スケール・バトル。

幻魔大戦



VHD
VHPP－44001～2
（2枚組）
¥8,800 収録時間 131分

カラー／ステレオ
SF作家平井和正の代表作を、巨費を投じてアニメ化した劇場公開の角川アニメ第1作。超能力者同志の激しい戦闘を描く。

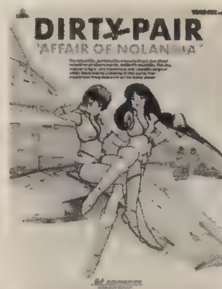
ボビーに首ったけ



VHD
VHPP－68014
¥5,800
収録時間 44分

カラー／ステレオ
超人気作家片岡義男の現代小説をアニメ化したオートバイに乗る若者が主人公のライトタッチな作品。

ダーティーペアの大勝負〈ノーランディアの謎〉



VHD
BEHD－1001
¥8,800
収録時間55分
カラー／ステレオ

ラブリーエンジェル号が護衛する宇宙艇が、着陸寸前に原因不明の大爆発！その事故機にはケイとユリにも秘密にされた、この世には存在しないという重要な物が積載されていた。

アニメビジョンVol.4



VHD
VHP－49253
¥4,900
収録時間60分

カラー／ステレオ
「扉を開けて」「11人いる」「ガルフォース」などの紹介

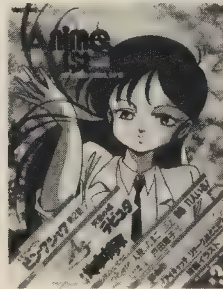
アニメビジョン Vol.2



VHD
VHP－49227
¥4,900
収録時間58分

カラー（一部モノクロ）／ステレオ
「メガゾーン23PART II」「ウィンダリア」などの新作紹介。声優インタビューは、冨永みーなが登場。

アニメビジョン Vol.3



VHD
VHP－49241
¥4,900
収録時間60分

カラー（一部モノクロ）／ステレオ
「天空の城ラピュタ」や「プロジェクトA子」「バリバリ伝説」「天使のたまご」他を紹介。声優は戸田恵子。

MOMOCO CLUB 第4号



VHD
VHM－49013
¥4,900
収録時間57分

カラー／ステレオ
"Miss Momoco かがわ SPECIAL"や資生堂"ミス・ヘアーコロン"オーディションの模様。映画「童貞物語」の撮影風景ほかを収録

MOMOCO CLUB 第5号



VHD
VHM－49016
¥4,900

収録時間 60分 カラー／ステレオ
エントリーギャルが総登場する"Miss VHD"の投票経過リポートや出演者のプロモーション・ビデオほかを収録。

サザンオールスターズ〈paa poo LIVE〉



VHD
VHM－58017
¥5,800

収録時間 60分 カラー／ステレオ
ほとばしる汗と歓声、武道館いっぱいにくりひろげられたヒット曲の数々。サザンならではのホットなライブ。'82.1.26 収録

MOMOCO CLUB 第7号



VHD
VHM－49024
¥4,900
収録時間53分

カラー／ステレオ
ミス・モモコクラブグランプリ大会の模様や酒井法子チャンが大活躍する「クレープ倶楽部」などモリ沢山の内容。

松本伊代〈Doki Doki コンサート〉



VHD
VVM－3
¥5,800
収録時間46分
カラー／ステレオ

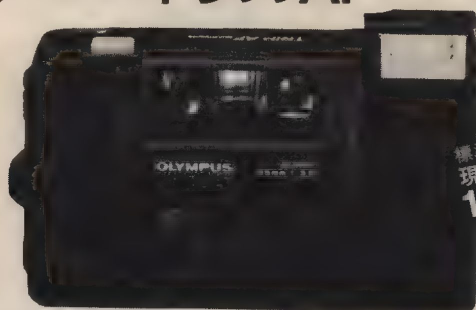
渦巻く歓声とIYOコール、オリジナル曲から最新ヒットまで歌って踊り、熱い興奮に包まれた日比谷野外音楽堂のライブ・コンサート。
'83.8.20 収録

グロービアン愛読者へ今月の通販特選商品Best5

ヒロメディア・ワールド・ショッピング

旅に一番、小さくて軽いデート付オートフォーカス。

商品番号
①オリンパストリップAFクォーツデート



標準価格37,800円
現金特別価格
19,800円

- ○小型・最軽量、だから旅行専科。
- ○撮影場所が暗かったり、レンズバリアが閉まっていたら、シャッターが降りない親切設計。
- ○夜や暗いところに強い赤外アクティブ方式。
- ○日付や時間が写し込めるデート機構を内蔵。
- ●形式／35㎜オートフォーカス式レンズシャッターカメラ
- ●サイズ／幅115×高さ66×厚さ50(㎜)
- ●重さ／230g(電池別)　★ストラップ付き

撮りたいときに、すぐ光る。

商品番号
②オリンパスピカソS（スーパー）クォーツデート



標準価格49,800円
現金特別価格
33,800円
ローン価格40,000円
月々8,000円×5回

- ○「1.5秒ですぐピカソ」でおなじみ、シャッター・チャンスを逃さない！
- ○シャッターを押すだけの全自動コンパクト・カメラ。
- ○フィルムは、印に合わせて入れてフタを閉じるだけの自動フィルム装てん。
- ○日付や時刻を写真に入れることもできる。
- ●型式／35㎜全自動オートフォーカス式レンズシャッターカメラ
- ●サイズ／幅133×高さ69×厚さ56(㎜)
- ●重さ／370g(電池含む)
- ★電池、ソフトケース、ストラップ付

観る場所を選ばない!!

商品番号
③シチズン液晶ポケットTV(モノクロ)　色Ⓐブラック Ⓑレッド Ⓒホワイト



標準価格24,000円
現金特別価格
19,800円

- ○Yシャツのポケットにも入る小さなボディに大きな画面。
- ○VHF(1～12CH)はもちろん、UHFもOK。
- ○電池、専用ACアダプター、専用カーアダプター(別売)と、3種の電源が使える。
- ○ブラックマトリクス方式採用で一層見やすい2.5インチ高密度画面。
- ●サイズ／縦70×横120×厚21(㎜)
- ●重さ／200g(電池含む)
- ●画面／2.5型モノクロ液晶画面
- ●スピーカー／直径25㎜のダイナミック・スピーカー
- ●電源／3電源方式
- ★専用ACアダプター、電池、イヤホーン、ケース付

ブックサイズのカラーTV。

商品番号
④シチズンブックビジョン(カラー)

- ○うすさ23.5㎜のペーパーバックサイズ。
- ○見やすい大型2.7インチカラー画面。
- ○ビデオモニターとして使用可能(音声・映像)。
- ●サイズ／縦178×横105×厚23.5(㎜)
- ●重さ／約490g(電池含む)
- ●画面／2.7型カラー液晶画面
- ●スピーカー／直径36㎜のダイナミック・スピーカー
- ●電源／4電源方式
- ★専用ACアダプター、電池、イヤホーン、ケース付

BOOKVISION

標準価格57,300円
現金特別価格
39,800円
ローン価格48,000円
月々8,000円×6回

TVの音が楽しめる、うれしいWデッキ。

商品番号
⑤コロムビアステレオW-55　色Ⓐブラック Ⓑレッド



標準価格49,800円
現金特別価格
39,800円
ローン価格42,000円
月々3,500円×12回

- ○TV音声チューナー内蔵でTVの音声を録音できる。
- ○ダブルデッキで録音・再生・編集は自由自在。
- ○出力3.5W＋3.5Wのクオリティー・パワー。
- ○プレーヤーはオートリターン。
- ○マイクミキシング回路内蔵。
- ○1ウエイ16cmフルレンジ・バスレフ型スピーカーで迫力サウンド。
- ●センター寸法／幅400×高さ185×奥行き358(㎜)
- ●スピーカー寸法／幅193×高さ275×奥行き190(㎜) 1本2㎏

- ●お申し込みはハガキで！官製ハガキに下記のようにご記入になり、11月15日必着でご投函ください。(電話でのご注文はご容赦下さい)

郵便はがき 140 東京都品川区東品川3-25-1 牧田電機ビル2F (株)ヒロメディア 受注センター 「グロービアン」ワールド・ショッピング係	①ご希望の商品番号、商品名、色 ②ご住所 ③ご氏名 ④お電話番号 ⑤ご職業(学校名) ⑥未成年の方は、保護者の方のご氏名、ご捺印 ⑦お届け曜日(ご希望の曜日がある場合にご記入ください。時間の指定はできません。) ⑧ローンをご希望の場合は「ローン希望」とご記入ください。

- ●本号の提供価格は11月15日まで有効です。
- ●標準価格とは、メーカー・総代理店の希望する小売価格です。現金特別価格、ローン価格ともグロービアンならではの大変お得な特別価格です。
- ●お問い合わせは 電話03-458-9999 グロービアン係まで。
- ●商品は全国どこでも無料で配達します。
- ●商品はお申し込みから約10～20日間でお届けします。尚、お申し込みが集中しますと少々遅れる場合がございますが、あらかじめご了承ください。
- ●同時に申し込まれた商品が別々にお届けになる場合があります。
- ●現金一括支払いの場合、商品の代金は商品お届け時に商品と引き換えに現金でお支払いください。原則としてお届け前にお電話いたします。
- ●ローンには2種類があります。
  ファミリー信販のローン(商品番号⑤ステレオのみ適用)
  まずローンの申込用紙をお送りいたしますので、必要事項をご記入の上、ご返送ください。その後ローン審査の承認がおりた時が「ご注文受付日」となりますので、通常よりもお届けまでの日数がかかります。
  当社のローン(商品番号②ピカソと④ブックビジョンに適用)
  商品に郵便振替用紙を同封いたしますので、毎月、裏面の支払い期限日までに郵便局からお支払いください。
- ●代金先払い(現金書留郵便)でもご利用いただけます。
  お留守がちの方、商品を注文される方と受け取る方が異なる場合(贈り物など)にご利用ください。お申し込み方法の必要事項(①～⑦)をご記入になった文書を現金書留封筒に入れ、代金とともにお送りください。

株式会社ヒロメディア受注センター
〒140 東京都品川区東品川3-25-1 牧田電機ビル2F 電話03-458-9999

キリトリ線 ✂

のりしろ　のりしろ

大信販預金口座振替依頼書（金融機関用）

顧客番号																		
0	2	0	0	1	2													

銀行コード	支店コード



銀行 / 信用金庫 / 信用組合	本店 / 支店 御中
預金種別	口座番号
1.普通(総合口座) 2.当座	
フリガナ	銀行お届け印
預金者名	印
銀行お届け住所	

●振替指定日　株式会社大信販の指定する日（休日の場合は翌営業日）
●振替開始　株式会社大信販の事務手続完了次第
株式会社大信販へ支払う利用代金等を、預金口座振替により支払うこととしたいので下記事項確認のうえ依頼します。

200円の収入印紙をお貼り下さい

印

記

1.貴行に請求書が送付されたときは、私に通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえ支払ってください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳、同払戻請求書の提出または小切手の振出しはしません。
2.振替日において請求書記載金額が預金口座から払戻すことのできる金額（当座貸越を利用できる範囲内の金額を含む。）をこえるときは、私に通知することなく、請求書を返却してもさしつかえありません。
3.この契約を解約するときは、私から貴行に書面により届出ます。なお、この届出がないまま長期間にわたり会社から請求がない等相当の事由があるときは、とくに申出をしない限り、銀行はこの契約が終了したものとして取扱ってさしつかえありません。
4.この預金口座振替についてかりに紛議が生じても、貴行の責による場合を除き、貴行には迷惑をかけません。

		検	印	印鑑照合
1.印鑑相違	2.住所相違			
3.口座番号相違	4.預金種別相違			
5.該当口座なし	6.その他(　)			

口座振替依頼書に不備がありましたら上記該当個所に○印をつけ、取りまとめ店経由にて至急大信販にご返却ください。

「グロービアン」
ビデオソフト申込書

※お申込みの際には裏面の「お申込みの内容」をよくお読みになって署名捺印してください。
※太線の中だけご記入ください。

申込日 昭和　年　月　日

フリガナ		印	性別 男・女	生年月日 大・昭　年　月　日
お申込者おなまえ				
郵便番号		自宅電話	(　)	
フリガナ				
ご住所				

主婦、学生の方は、ご主人またはご両親の承諾後、必ずご記入ください。

○で囲んでください ご本人・ご主人・ご両親	ご主人さま ご両親さま おなまえ	フリガナ	印
ご職業 フリガナ 勤務先またはご商売			
フリガナ 所在地		電話　(　)	

●通信販売注文書

商品番号	商品名	○印 VHS	β	VHD	数量	金額	贈物

↓お届先欄（贈り物の場合のみお書きください）　（商品合計額）　円+(送料)500円=(合計金額)　円

お届先ご住所	〒□□□-□□		
お届先お名前		TEL	市外局番(　) —

●お客様がお申込みになる会社名

東京都港区赤坂4-2-23 赤坂エミネンス中川 205号
株式会社ヒロメディア
電話番号 03-585-8457

●集金代行受託会社／株式会社大信販

委託者コード						区分	
2	0	0	1	2	4	0	0

捨印　捨印

顧客番号																		
0	2	0	0	1	2													

※下記の欄は「預金口座依頼書」と同じ内容を記入して下さい。

お支払い預金口座	金融機関	支店名	1.普通(総合) 2.当座
	口座番号	預金者名義	

引落日　毎月27日（休日の場合は翌営業日）

※1巻当り月々の引落金額を2,000円以上に希望される場合はご記入ください。(千円単位)

1巻当り毎月(　),000円ずつ引落してください。

のりしろ　のりしろ　のりしろ　のりしろ

キリトリ線 ✂

MONTHLY **Globian** グロービアン

お申込の内容

私は、私が「代金支払い方法」のとおり貴社より購入した商品代金を、表記記載の通り貴社に分割支払するにつき以下の通り契約します。

1.（契約成立時点）
本契約は貴社が所定の手続きにより承認したとき、成立するものとします。

2.（商品の引渡し）
購入商品は、本契約成立後、直ちに私に引渡されます。

3.（商品代金の支払い）
私は表記の金額を、貴社所定の表記支払方法により、支払期日までに貴社に支払います。

4.（所有権に伴う特約）
購入商品の所有権は、貴社の私に対する割賦債権の担保として貴社に留保し、分割払金合計額完済まで貴社にあることを認めるとともに、次の事項を遵守します。
① 購入商品につき善良な管理者の注意をもって使用保管し、質入れ、譲渡、賃貸等貴社の所有権を害する行為はいたしません。
② 購入商品につき、第三者から強制執行、仮処分、仮差押等をうけたときは、購入商品が貴社の所有であることを主張証明するとともに貴社の指示に従います。
③ 住所、又は勤務場所を変更する場合は、貴社へ書面により事前に連絡します。
なお、貴社の営業担当地域外に住所、又は勤務場所を変更し、契約時における支払方法の履行が困難となるときは、貴社と協議のうえ他の支払方法に変更するか、または残金額を住所変更5日前までに一時に現金にて支払います。
④ 分割払金合計額完済までに購入商品が火災、盗難等により滅失、毀損したときは、直ちに貴社に通知し、残金額を一時に支払うか、または表記支払方法により債務の履行を継続します。

5.（期限の利益喪失）
私が次のいずれかに該当するときは、当然に期限の利益を失い、残金額の即時支払いを請求され、または購入商品の返還を要求されても異議ありません。
① 分割払金の支払いを遅滞し、貴社から20日以上の相当な期間を定めてその支払いを書面で催告されたにもかかわらず、その指定期日までに支払わなかったとき。
② 強制執行、仮処分、仮差押等をうけたり、その他私の信用状態に著しい変化が生じたとき。
③ その他本契約の義務に違反し、その違反が契約の重大な違反になるとき。

6.（遅延損害金および費用等）
① 私が分割払金の支払いを遅滞したときは、支払期日の翌日より支払日に至るまで、また期限の利益喪失の場合は、残金額に対し期限の利益喪失の日より完済の日に至るまで、貴社に対して年29.2%の遅延損害金を支払います。
② 本契約に基づく諸取引に関して権利の行使又は保全に要する費用は、私が負担します。
③ 分割払金の支払遅滞等、私の都合により貴社が訪問集金する場合は、訪問集金費用として、訪問回数1回につき500円を別に支払います。
④ 貴社の要求により商品を返還したときは、貴社と合意の上決定した再販価格による処分代金を、残債務の弁済に充当清算することとします。

7.（見本と現物の相違による契約の解除）
私が見本又はカタログにより契約した場合には、商品納入時に確認し、万一見本と現物が異なっているときは、直ちに貴社に商品の交換を申し出るか、契約の解除をすることができます。

8.（商品の瑕疵担保責任）
商品の瑕疵故障については、私と貴社との間で協議し、商品の交換・残金の支払等を決定するものとします。

9.（支払方法）
私は本契約により支払うべき代金を表記記載の銀行口座より株式会社大信販の口座振替制度により支払います。但し貴社より、支払方法の変更を通知されたときは指定された支払方法により支払います。

60円
切手

107-□□

（受取人）

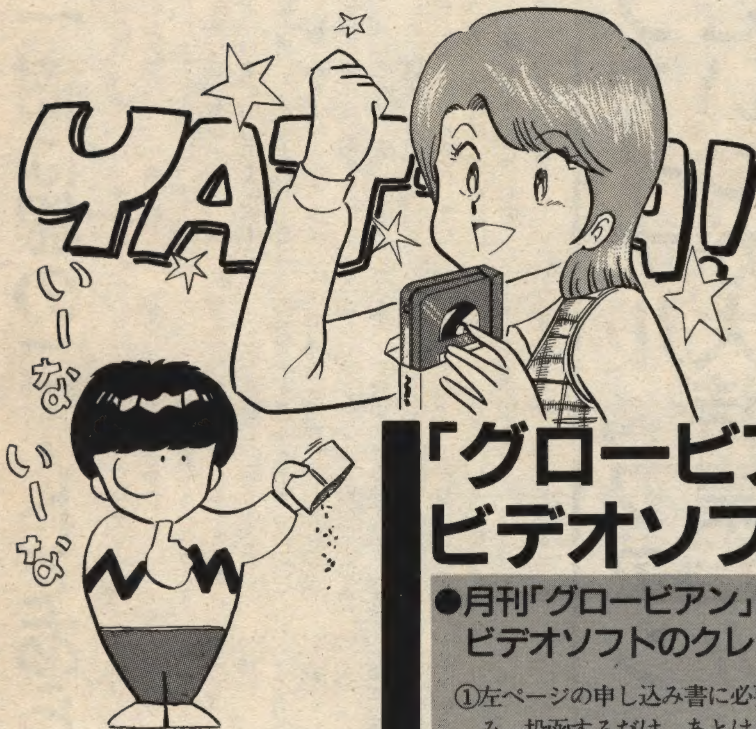
東京都港区赤坂4-2-23
赤坂エミネンス中川205号
㈱ヒロメディア
「グロービアン」通信販売係行

差出人

おところ（〒　　）	
おなまえ	

キリトリ線

では、どうすればいいのか？



今まで欲しくてたまらなかったあのビデオがラクラク買えちゃう!!

●200円の収入印紙は必ず貼ってください
●ボールペンで記入して下さい。

「グロービアン」ビデオソフト通信販売

●月刊「グロービアン」だけが扱う、ビデオソフトのクレジット販売

①左ページの申し込み書に必要事項を書き込み、投函するだけ。あとはあなたの預金口座から毎月1巻申し込みにつき1,000円ずつ自動的に引き落とされます。
②金利および手数料はいただきません。
③通販でお買い上げの方は自動的に〝グロービアン・メンバー〟に入会できます。
※商品は宅配便にて配達します。
※送料は1度の配達で500円を申し受けます。
※原則として、セロファン包装を解いた商品は返品できません。（但し不良品は交換致します）

代金支払い方法

●1巻お求めの場合

毎月1,000円ずつをお客様ご指定の金融機関から引きおとさせて頂きます。
〈例〉7,800円の商品の場合／7,800円＋送料500円＝8,300円
（1,000円×7回）＋最終月1,300円＝8,300円

●2巻お求めの場合

毎月2,000円ずつをお客様ご指定の金融機関から引きおとさせて頂きます。
〈例〉7,800円と12,800円の商品の場合／7,800円＋12,800円＋送料500円＝21,100円
(2,000円×10回)＋最終月1,100円＝21,100円

●3巻以上お求めの場合

1巻、2巻の方法に順じてお支払い頂きます。

●尚、1巻当り月々の引きおとし金額を2000円以上(千円単位)でも承ります。御希望の方は申し込み書の該当欄にその旨御記入下さい。



Globian 7



ついにファイナル『ファンドラ』こいつが大特集だ!!

『夢次元ハンター・ファンドラ』を次号では大特集してしまおうと思っている。なんせ今のオリジナル・ビデオ・アニメの火付け役といっても良い作品だけに、3部の出来が気になってしまうだろう。それをバッチリ紹介しちゃおうというわけだ。ページが減ったってパワーは2倍の『グロービアン』だ!!

そしてもう一つの特集は「究極のモンスター」モンスターの大集合だ。某『スター○』誌と同じというウワサもあるが、それはアハハハだ◎ 読みごたえのあるビジュアルアニメ誌として次号もガンガン、ガンバってしまうのだ◎ ヨロシクネ！

第7号11月10日発売



●一樹は銀のコートであらわれた

今月号からはじまった、矢尾一樹さんの〝ぬすんでなんぼ〟読んでくれたかナ？ 今やビッグアイドルに成長しつつある一樹！ バイタリティもすごいもので、ページの中にも書いてあるとおり、この〝ぬすんでなんぼ〟というタイトルは一樹のネーミング。なんでも吸収していこう！ ということでこの企画には大のり気。㊙話しなんかもたくさん聞けるんじゃないだろうか？ それにしても最近の一樹の人気たるやすごいものだ。ファンクラブが近々出来るらしいのだが、それが今から申し込みがゾクゾクと来ているらしい。(そのファンクラブの会報に〝ぬすんでなんぼ〟のページに載りきれなかった話や裏話しが載る予定とか…両方読むときっとおもしろいヨ)

対談は一樹が今、LPレコードのレコーディング真最中、ということで、青山のビクタースタジオでおこなわれた。当日はあいにくの雨。青山でバッチリ決めた写真を撮ろうと思っていたのに残念。来月では『バース』で一緒だった冨永みーなちゃん。対談はおしるこやさんでしょうかナ？ なんて予定している。それで対談を毎回どったのレストランとかバーでしょうじゃないかとスタッフ、「芦田豊雄さんとカラオケバーで対談なんてどう？」「あっ！ 僕ステーキが食べたい」「値段の高いバーを取材費で落としてみんなで飲み食いするという手も…」 なぜかスタッフのたのしみになってしまった。

LAST WORDS

●「記事ぐらいオレが書いてやる!!」と勢いのみで言ったばっかりに、〝原稿ゲンコー!〟とみんなにつつかれる。だから最近なるべく会社に近づかないようにしている。読者のみなさまがた、ページ数は減ったけど、どーか『グロービアン』を見捨てないでください!! (ヒロメディアのウガンダとはボクのことです)

●オレが〝ヒロメディアの池田だ、文句があるか〟と先月号に書いた。池田の代筆のものです。文句など出るはずがなく、落ちこんでいます。(オレがヒロメディアの池田だ!!)

●今月はいろんな人に原稿を頼んだ。何とか原稿は集まったが、書いてくれない人もいた。誰でもいいから原稿書いてくれ。

●あたしさぁ、このままごはん食べようとたらおはしが転って思わず笑っちゃった……んまっ、おげれつね (時に意味はない寿)

●ヒロメディアの池田課長はよくスケベなビデオを持って来て、「ほら、心ゆくまで見なさい」と言ってくれる。僕はうれしい。(斎藤)

●そのビデオは会社で食時の時間にスタッフみんなで見ている。ひどい時は一日中「あは〜ん、うっふ〜ん」というヘンな声がこだましていた。(H・O)

●近々編集部で野球を観に行く予定。ビール片手になぜか「色校がなんだーっ」と叫ぶ小集団がいたら粉れもなく私達です。(後指さされますみ)

●ライトアップにバイトで来てくれていたつばきちゃんは、無事、就職が内定した。それがいまでも学生のりで「だってえ〜、この〜、はなしかたあ〜、なおさなきゃ〜 いけないんだけどお〜身に付いちゃったからあ〜」と喋っている。僕は不安だ。そして、もう一人。斎藤くんが〝自分のやりたい事を目指して〟新しい事にチャレンジする。とにかく二人ともガンバってくれればとてもうれしい。(H・O)

月刊「グロービアン」11月号
昭和61年11月1日発行（毎月1回1日発行）
第1巻第6号
発行・編集人／芝崎寛政
発行所／株式会社 ヒロメディア
〒107 東京都港区赤坂4-2-23赤坂エミネンス中川205号 電話03(585)8457代表
振替・東京6-25348
印刷所／図書印刷株式会社

編集／有限会社 ライトアップ
〒162 東京都新宿区原町1-20佐藤ビル3F
電話03(232)3384
大橋博之/池田豊/斎藤和紀/佐々木寿/中村真寿美/羅美亜企画/アトリエよしいけ
デザイン●岡田儀親
レイアウト●RAINBOW INC. 室井恵一/中谷慎次
写真●荒谷良一

Globian 11 新創刊第1号 月刊グロービアン

カナメプロが総力を結集して制作するファンドラ三部作、
愛の完結編 制 作 快 調 !!

壮絶な闘いの末、ファンドラを敗った
ヨグ=ソゴスは今や全次元に
強大な支配を及ぼそうとしていた。
今や次元の平和を救うことができるのは…。

オリジナル・アニメ・ビデオ

夢次元ハンター ファンドラ FANDORA
PartIII ファントス編

原作/永井 豪　プロデューサー/長尾聡浩
監督/影山楙倫　キャラクター・デザイン/渡辺真由美・山内英子
脚本/水出弘一、山田隆司　作画監督/池上裕之
プロダクション・デザイン/豊増隆寛

ビデオ　音楽集　11/21 発売　ビデオ予約特典：ファンドラ・イラスト・シール

主題歌　さよならは言わない 歌:橋本 潮/
ENDLESS WAY 歌:堀江美都子
シングル 11月1日発売 ●CH-132 ¥700

**夢次元ハンター・ファンドラPartIIIファントス編
フィルム・コンサート**

11/1　名古屋・名古屋市公会堂 15:30〜
㊣ヤマギワ・メルサ店 ☎052(582)2022
11/9　東京・コロムビア本社4Fホール 13:00〜/15:00〜(2回)
㊣日本コロムビア・ビデオ部宣伝グループ ☎03(584)8111(代)
11/24 大阪・大阪府立労働センター 14:30〜
㊣日本コロムビア・ビデオ部宣伝グループ ☎03(584)8111(代)

出演予定:橋本 潮、堀江美都子、他 ●各会場とも入場整理券が必要です。
入場方法/名古屋:ヤマギワ・メルサ店にお問い合わせ下さい。
東京・大阪:各レコード店、ビデオ・ショップにて整理券を配布します。
お近くのお店にない場合は〒107東京都港区赤坂4-14-14
日本コロムビア㈱ビデオ部宣伝グループ あてお申し込み下さい。

イラスト:渡辺真由美

©ヒロメディア/カナメプロ/ダイナミック企画

新感覚で描く「おしゃれ」なSFホラー・アニメーション、好評発売中!!

SF アドヴェンチャー・ホラー・アニメーション

ルーツ・サーチ 食心物体 X

キャラクター・デザイン、
作画監督/小林早苗
(いんどり小屋)
監督/須貝 尚
脚本/島田 満
制作協力/芦田豊雄
企画・制作/日本コロムビア㈱、
㈱ヒロメディア、プロダクション・ウエイブ
エンディング・イラストレーション:
加藤直之





イラスト:加藤直之



©ヒロメディア/
日本コロムビア/
プロダクション・ウエイブ

レーザー・ビジョン・ディスクいよいよ登場!!
10月21日発売 ●C59-6163 ¥7,800(CLV1面)

ビデオ・カセット 好評発売中
●C69-9295(V)
●C69-9795(β) 45分 ¥9,800

「ルーツ・サーチ音楽集」好評発売中
音楽・シンセサイザー/東海林 修　主題歌/かおりくみこ
スキャット/島田 満
●LP:CX-7285/MT:CAY-799 各¥2,500

■お問い合わせ先
日本コロムビア株式会社
〈ビデオソフト販売課〉
〒107 東京都港区赤坂4-14-14
☎03(584)8111
札幌レコード営業所/☎011(231)5365
仙台レコード営業所/☎0222(62)1611
関東レコード営業所/☎03(836)5581
東京レコード営業所/☎03(836)5551
横浜レコード営業所/☎045(681)8361
名古屋レコード営業所/☎052(586)1321
大阪レコード営業所/☎06(245)3101
広島レコード営業所/☎082(221)4327
四国レコード営業所/☎0878(31)1401
福岡レコード営業所/☎092(291)7151



「グロービアン」11月号　昭和61年11月1日発行（毎月1回1日発行）第一巻第6号　編集発行人／芝崎寛政　東京都港区赤坂4-2-23赤坂エミネンス中川205号☎03(585)8457　発行 ㈱ヒロメディア
雑誌 03281-11　　図書印刷 Printed in Japan　定価450円